

**「第五次島本町総合計画」策定のための
アンケート調査
【結果報告書】**

平成 31（2019）年 1 月

島 本 町

目次

1	住民アンケート調査の概要	1
2	住民アンケート調査の結果	2
1	あなた自身のことについて	2
2	まちづくりに関する情報について	7
3	島本町での暮らしについて	12
4	まちづくりの取組への評価	29
5	今後のまちづくりの取組について	41
6	将来の島本町について	57
3	中学生アンケート調査の概要	121
4	中学生アンケート調査の結果	122
1	島本町に関する情報について	122
2	島本町での暮らしについて	124
3	島本町の将来について	129
5	住民アンケート調査票	135
6	中学生アンケート調査票	147

1 住民アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第五次島本町総合計画」の策定にあたり、16歳以上の住民を対象として、まちづくりの現状や課題、将来像などについての意向を把握し、計画づくりの基礎資料として役立てるために実施しました。

(2) 調査方法・実施期間

調査方法	郵送による配布・回収
調査対象者	16歳以上の住民 3,000人
調査期間	平成30年8月10日～平成30年8月31日
回収結果（回収率）	1,615件（53.8%）

(3) 報告書の見方

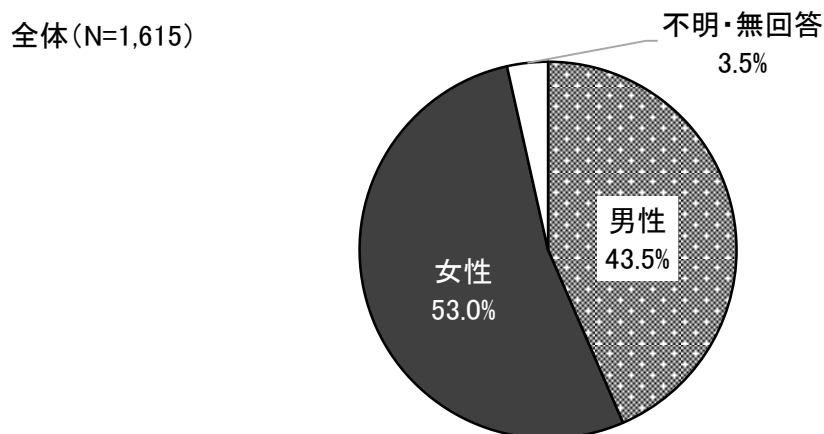
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- クロス集計表では、各区分において、最も割合が高い選択肢は濃い塗り（文字は白抜き）で、次に割合の高い選択肢は薄い塗りで表示しています。
- 本調査でいただいたご意見について、文章は原則として原文のまま掲載しています。なお、明らかな誤字・脱字は訂正するとともに、特定の個人・団体等が判別でき、その権利や利益を侵害する恐れがあるなど、公表することが適切でないと判断した表現については、一部修正しています。

2 住民アンケート調査の結果

1 あなた自身のことについて

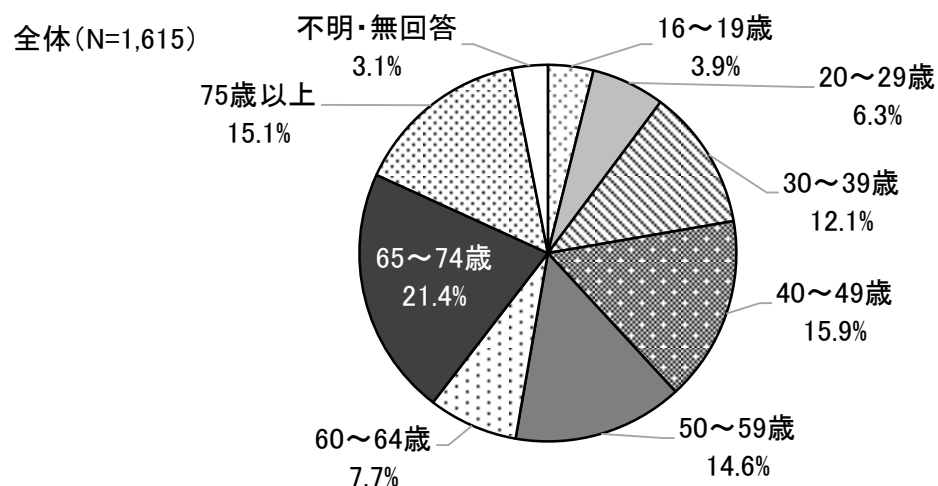
問1 あなたの性別をお答えください。（単数回答）

性別については、「男性」が43.5%、「女性」が53.0%となっています。



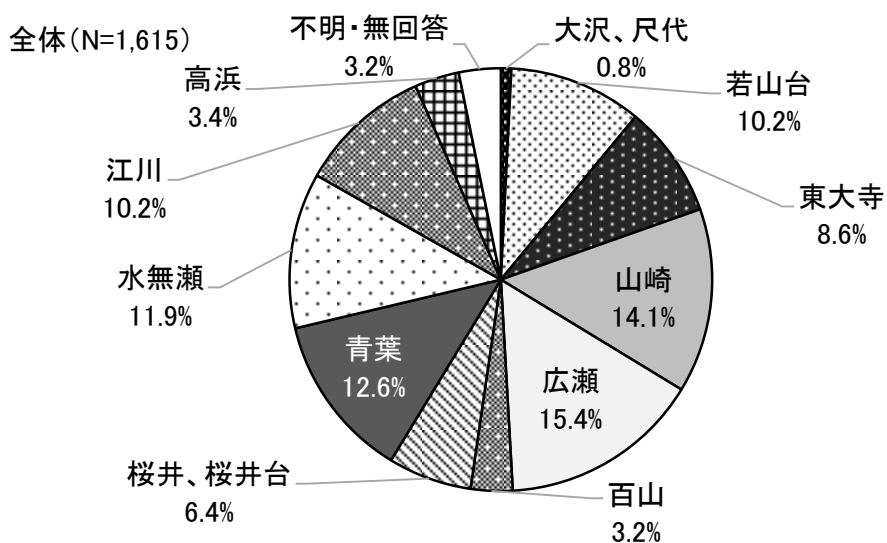
問2 あなたの年齢（平成30年8月1日時点）をお答えください。（単数回答）

年齢については、「65～74歳」が21.4%と最も高く、次いで「40～49歳」が15.9%、「75歳以上」が15.1%となっています。



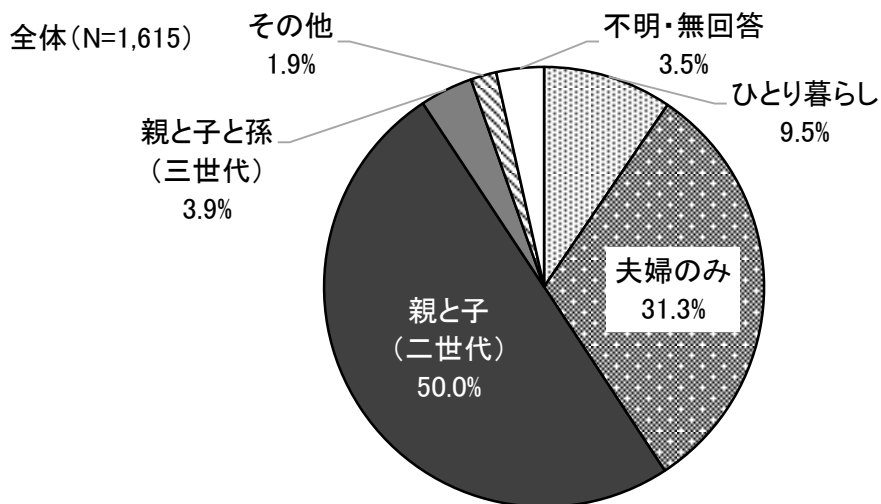
問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(単数回答)

居住地区については、「広瀬」が15.4%と最も高く、次いで「山崎」が14.1%、「青葉」が12.6%となっています。



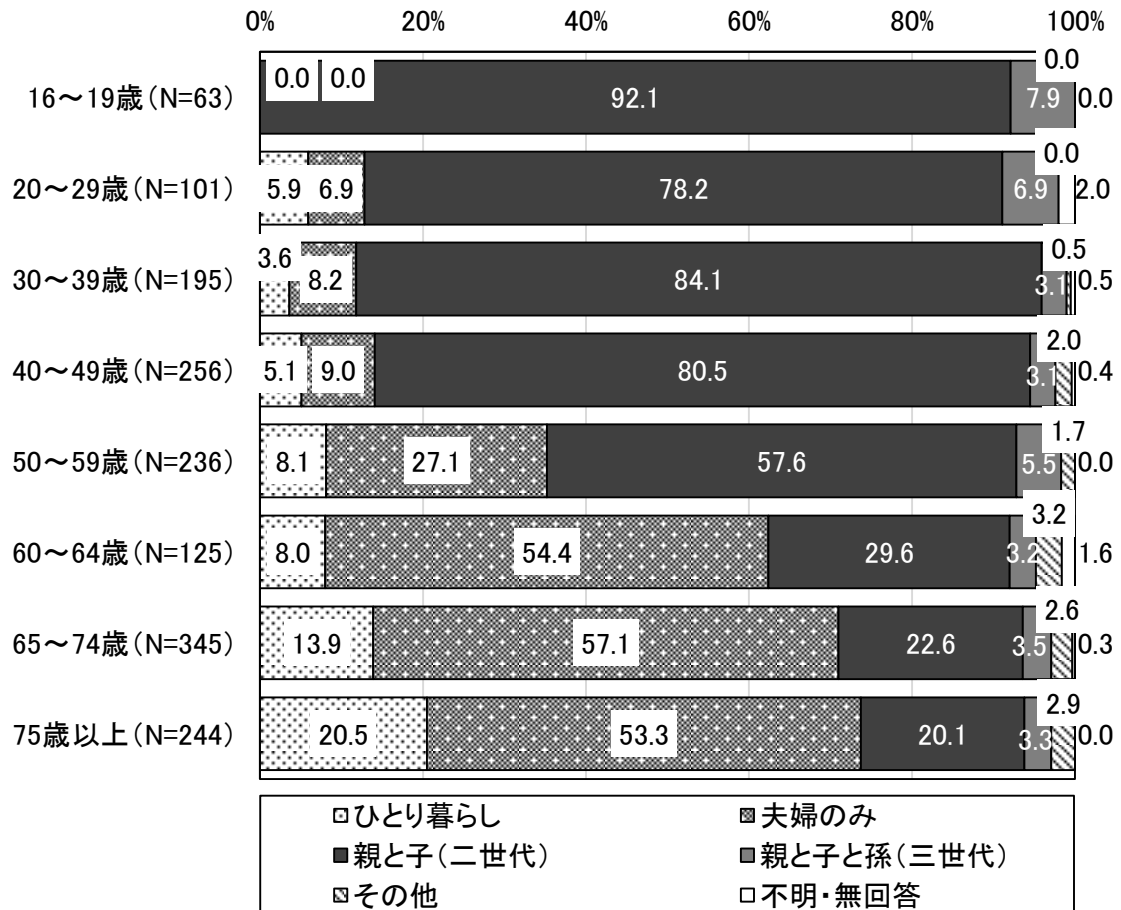
問4 あなたの家族構成について、お答えください。(単数回答)

家族構成については、「親と子(二世代)」が50.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が31.3%、「ひとり暮らし」が9.5%となっています。



■問4「家族構成」のクロス集計（年代別）

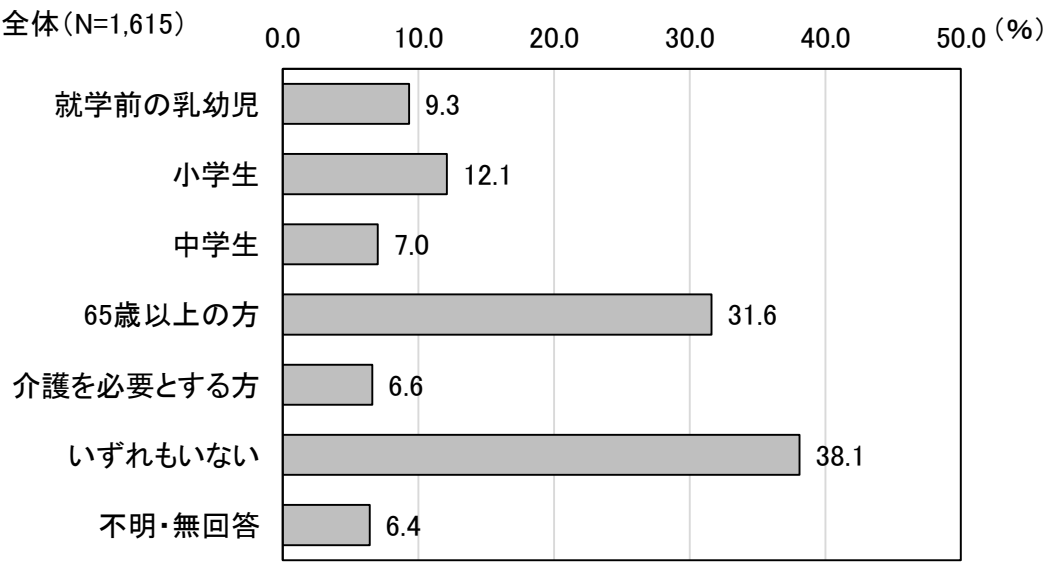
年代別にみると、50 歳代以下では「親と子（二世代）」が最も高くなっています。また、年代が上がるにつれて「親と子（二世代）」の割合は減少し、「ひとり暮らし」、「夫婦のみ」が増加する傾向にあります。



問5 あなたの同居家族の中で、次のような方（あなた自身を含む）はいますか。（複数回答）

同居家族については、「いずれもない」が 38.1%と最も高く、次いで「65 歳以上の方」が 31.6%、「小学生」が 12.1%となっています。

なお、【中学生以下の子どものいる世帯】（就学前の乳幼児、小学生、中学生のいずれかを回答した方）は 21.9%となっています。



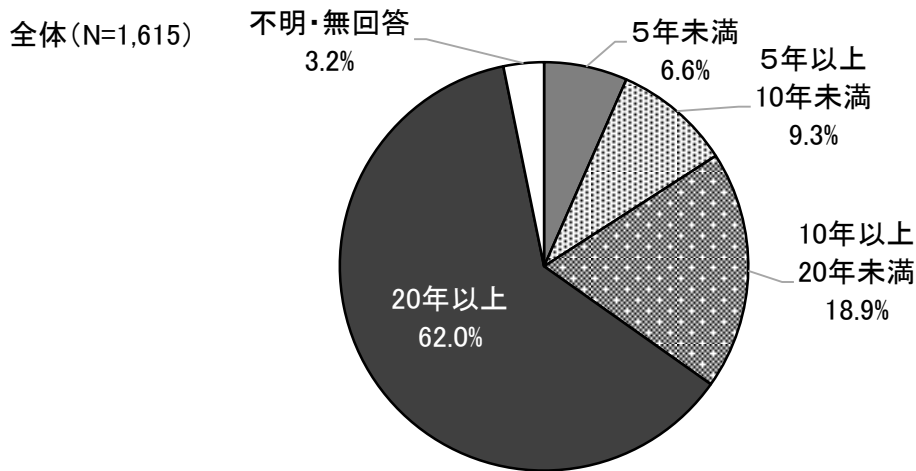
■問5「同居家族」のクロス集計（居住年数別）

居住年数別にみると、10 年未満では「就学前の乳幼児」、10 年以上 20 年未満では「いずれもない」、20 年以上では「65 歳以上の方」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	就学前の乳幼児	小学生	中学生	65歳以上の方	介護を必要とする方	いずれもない	不明・無回答
全体		1,615	150	195	113	510	106	615	103
		100.0	9.3	12.1	7.0	31.6	6.6	38.1	6.4
居住年数別	5年未満	106	45	20	2	8	3	42	2
		100.0	42.5	18.9	1.9	7.5	2.8	39.6	1.9
	5年以上10年未満	151	55	53	13	16	3	40	4
		100.0	36.4	35.1	8.6	10.6	2.0	26.5	2.6
	10年以上20年未満	306	20	85	69	41	9	127	6
		100.0	6.5	27.8	22.5	13.4	2.9	41.5	2.0
	20年以上	1,001	30	37	29	445	90	405	42
		100.0	3.0	3.7	2.9	44.5	9.0	40.5	4.2

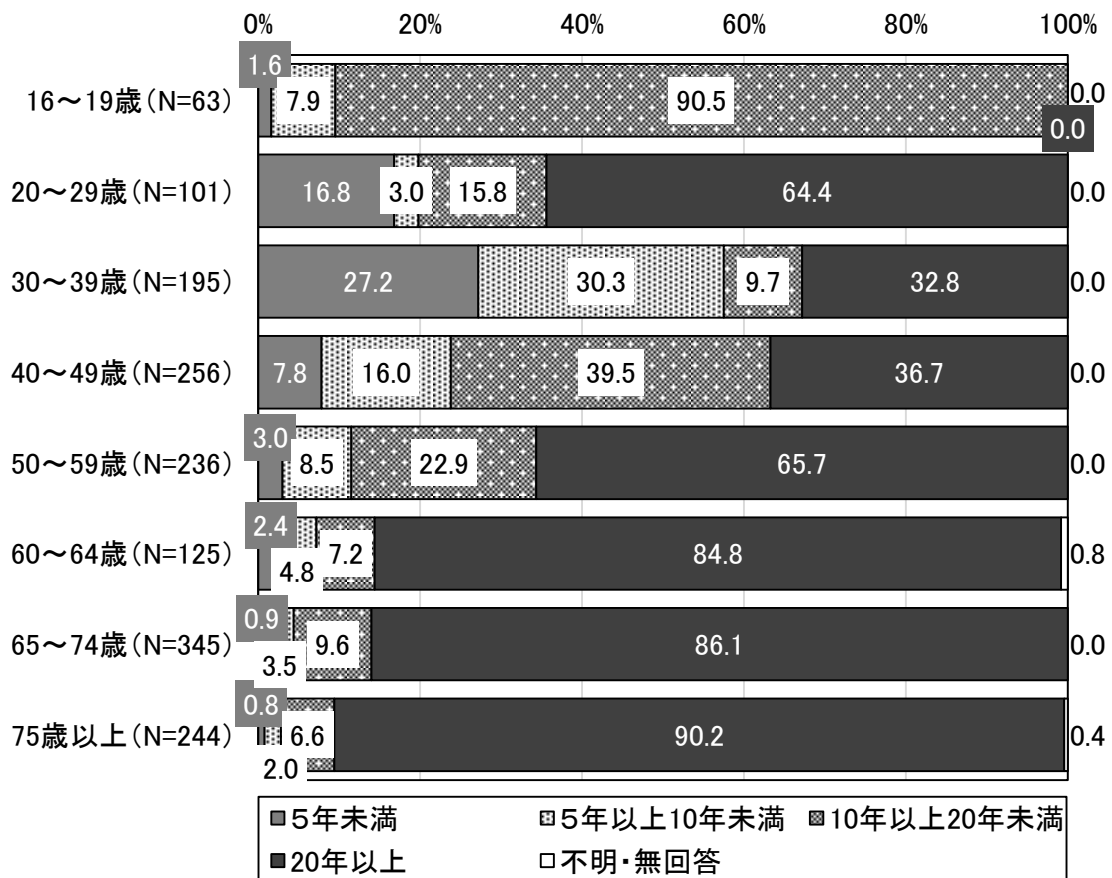
問6 あなたが島本町にお住まいの期間（通算）をお答えください。（単数回答）

居住年数については、「20 年以上」が 62.0%、「10 年以上 20 年未満」が 18.9%、「5 年以上 10 年未満」が 9.3%となっています。



■問6「居住期間」のクロス集計（年代別）

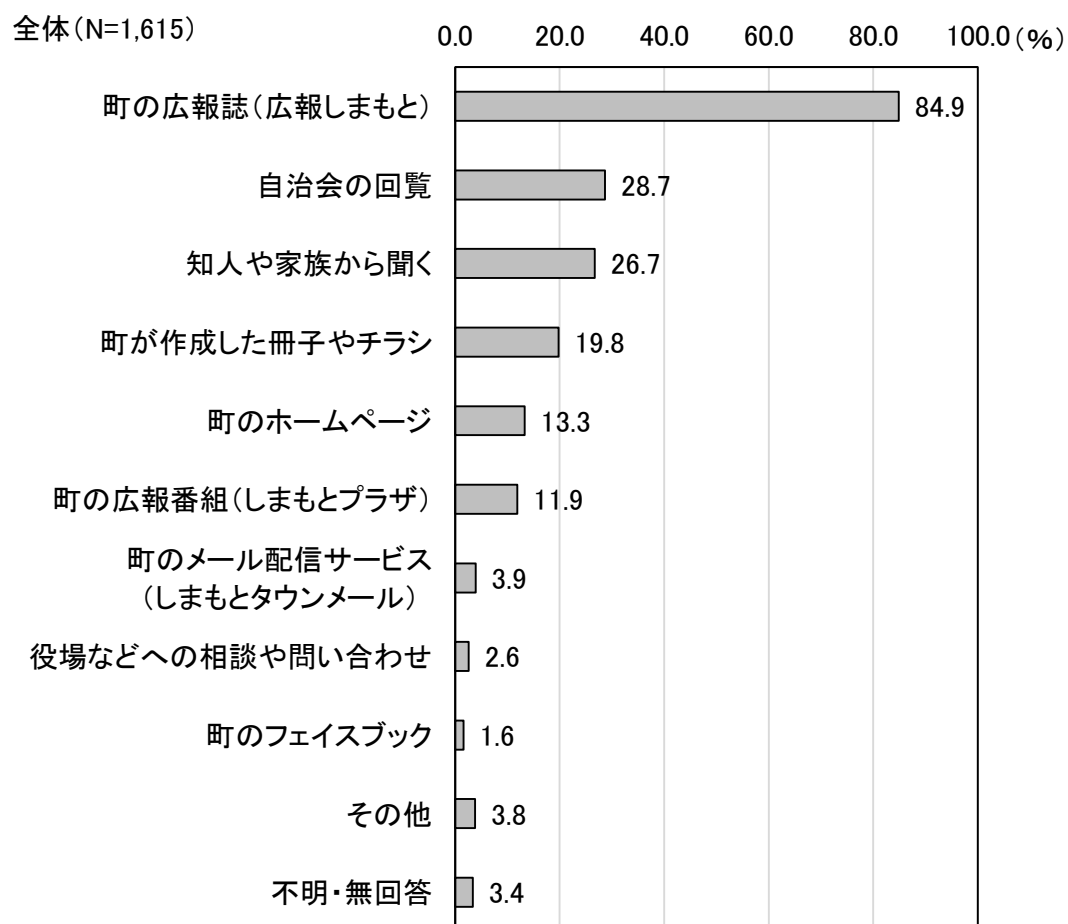
年代別にみると、20 歳代と 50 歳以上では、「居住 20 年以上」の割合が 6 割を超え、60 歳以上では 8 割を超えています。一方、40 歳代は「居住 10 年以上 20 年未満」が約 4 割と比較的高くなっています。「居住 10 年未満」の割合が最も高いのは 30 歳代で、6 割弱となっています。



2 まちづくりに関する情報について

問7 あなたは、町政やまちづくりに関する情報を、主にどの手段で得ていますか。（3つまで複数回答）

町政やまちづくりに関する情報収集の手段については、「町の広報誌（広報しまもと）」が84.9%と最も高く、次いで「自治会の回覧」が28.7%、「知人や家族から聞く」が26.7%となっています。



■問7「町政等に関する情報収集手段」のクロス集計（年代別）

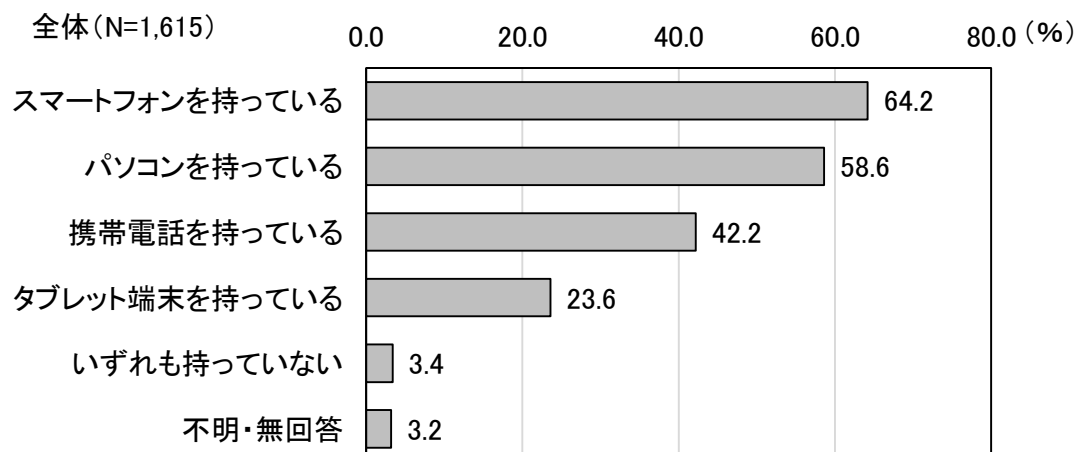
年代別にみると、いずれの年代においても「町の広報誌（広報しまもと）」が最も高く、特に30歳代以上では8割を超えています。次いで、40歳代以下では「知人や家族から聞く」が高く、50歳代以上では「自治会の回覧」が高くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	町の広報誌 (広報しまもと)	町のホームページ	町のフェイスブック	町の広報番組 (しまもと)	町のメール配信 (しまもと)	町が作成した冊子	役場などへの相談	自治会の回覧	知人や家族から聞く	その他	不明・無回答
全体	1,615	1,371	215	26	192	63	320	42	463	432	61	55
	100.0	84.9	13.3	1.6	11.9	3.9	19.8	2.6	28.7	26.7	3.8	3.4
年代別	16～19歳	63	37	3	0	5	6	1	6	33	4	0
		100.0	58.7	4.8	0.0	7.9	9.5	1.6	9.5	52.4	6.3	0.0
	20～29歳	101	55	16	2	10	8	1	13	42	6	4
		100.0	54.5	15.8	2.0	9.9	7.9	1.0	12.9	41.6	5.9	4.0
	30～39歳	195	167	32	6	14	31	3	38	72	11	2
		100.0	85.6	16.4	3.1	7.2	15.9	1.5	19.5	36.9	5.6	1.0
	40～49歳	256	227	62	3	22	29	6	47	80	14	1
		100.0	88.7	24.2	1.2	8.6	11.3	2.3	18.4	31.3	5.5	0.4
年代別	50～59歳	236	214	35	6	29	47	4	69	52	5	0
		100.0	90.7	14.8	2.5	12.3	19.9	1.7	29.2	22.0	2.1	0.0
	60～64歳	125	117	13	2	16	34	4	48	24	3	0
		100.0	93.6	10.4	1.6	12.8	27.2	3.2	38.4	19.2	2.4	0.0
年代別	65～74歳	345	326	44	3	60	96	11	129	81	11	0
		100.0	94.5	12.8	0.9	17.4	27.8	3.2	37.4	23.5	3.2	0.0
年代別	75歳以上	244	226	10	4	36	68	11	112	48	7	1
		100.0	92.6	4.1	1.6	14.8	27.9	4.5	45.9	19.7	2.9	0.4

問8 あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコン、タブレット端末を持っていますか。（複数回答）

携帯電話やスマートフォン、パソコン、タブレット端末の所持状況については、「スマートフォンを持っている」が64.2%と最も高く、次いで「パソコンを持っている」が58.6%、「携帯電話を持っている」が42.2%となっています。

なお、【携帯電話とスマートフォンのいずれか（または両方）を持っている方】の割合は、92.0%となっています。



■問8「情報端末の保有状況」のクロス集計（年代別・世帯類型別）

年代別にみると、64 歳以下では「スマートフォン」の割合が最も高く、特に 16～39 歳の年代では9割を超えます。65 歳以上では「携帯電話」の割合が最も高くなっています。75 歳以上では「いずれも持っていない」が1割と、他の年代に比べて高くなっています。また、年代が上がるにつれて、「携帯電話」の保有割合は増加傾向、「スマートフォン」は減少傾向となります。

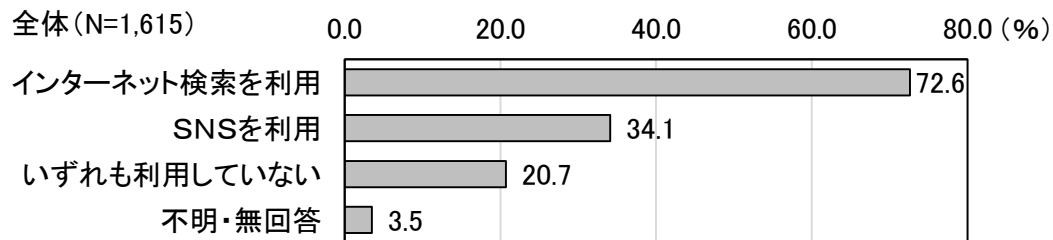
「パソコン」については、20～64 歳までの年代で、6～7割が保有しています。

上段:件数 下段:%		調査数	携帯電話を持 っている	スマ ー ト フ ォ ン を 持 っ て い る	パ ソ コ ン を 持 っ て い る	タ ブ レ ッ ト 端 末 を 持 っ て い る	い ず れ も 持 っ て い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	682 42.2	1,037 64.2	946 58.6	381 23.6	55 3.4	51 3.2
年代別	16～19歳	63 100.0	6 9.5	61 96.8	24 38.1	5 7.9	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	101 100.0	20 19.8	95 94.1	68 67.3	25 24.8	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	195 100.0	63 32.3	181 92.8	139 71.3	67 34.4	0 0.0	1 0.5
	40～49歳	256 100.0	95 37.1	211 82.4	198 77.3	89 34.8	0 0.0	0 0.0
	50～59歳	236 100.0	82 34.7	192 81.4	166 70.3	72 30.5	4 1.7	1 0.4
	60～64歳	125 100.0	51 40.8	89 71.2	76 60.8	32 25.6	3 2.4	0 0.0
	65～74歳	345 100.0	198 57.4	167 48.4	191 55.4	68 19.7	10 2.9	1 0.3
	75歳以上	244 100.0	165 67.6	40 16.4	82 33.6	22 9.0	38 15.6	1 0.4
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	50 33.3	135 90.0	109 72.7	53 35.3	0 0.0	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	67 34.4	176 90.3	148 75.9	63 32.3	1 0.5	0 0.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	34 30.1	101 89.4	90 79.6	40 35.4	1 0.9	0 0.0
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	271 53.1	245 48.0	264 51.8	96 18.8	26 5.1	3 0.6
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	49 46.2	52 49.1	48 45.3	18 17.0	12 11.3	1 0.9

問9 あなたは、情報入手したり共有するために、パソコンやスマートフォンなどを使ってインターネットで情報を検索したり、SNS※を利用していますか。（複数回答）

インターネットや SNS の利用状況については、「インターネット検索を利用」が 72.6%、「SNSを利用」が 34.1%、「いずれも利用していない」が 20.7%となっています。

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）：インターネットを通じて交流や情報共有を行うサービス。ツイッター、ライン（LINE）、フェイスブック、インスタグラムなどがある。



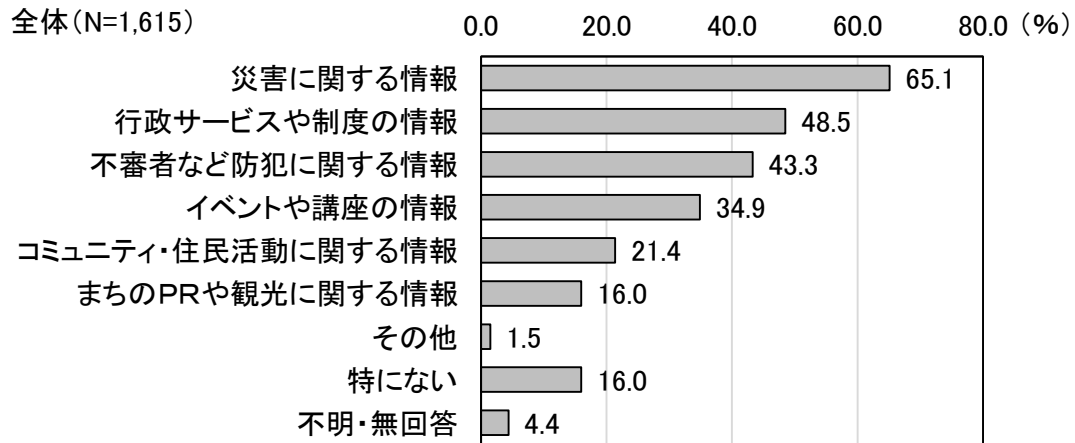
■問9「インターネット利用状況」のクロス集計（年代別・世帯類型別）

年代別にみると、「インターネット検索」の利用は 16～64 歳の年代で8割を超えています。「SNS」の利用は、16～29 歳の年代が7～8割と高くなっています。一方、75 歳以上では、「いずれも利用していない」が7割弱と最も高くなっています。

上段：件数 下段：%		調査数	インターネット検索	SNSを利用	いずれも利用して	不明・無回答
全体		1,615	1,172	550	335	57
		100.0	72.6	34.1	20.7	3.5
年代別	16～19歳	63	51	52	4	0
		100.0	81.0	82.5	6.3	0.0
	20～29歳	101	90	73	1	0
		100.0	89.1	72.3	1.0	0.0
	30～39歳	195	183	113	4	1
		100.0	93.8	57.9	2.1	0.5
	40～49歳	256	241	116	7	1
		100.0	94.1	45.3	2.7	0.4
	50～59歳	236	210	83	20	0
		100.0	89.0	35.2	8.5	0.0
	60～64歳	125	100	35	19	0
		100.0	80.0	28.0	15.2	0.0
	65～74歳	345	223	62	115	3
		100.0	64.6	18.0	33.3	0.9
	75歳以上	244	72	14	164	5
		100.0	29.5	5.7	67.2	2.0
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150	144	87	3	1
		100.0	96.0	58.0	2.0	0.7
	小学生のいる世帯	195	186	93	6	0
		100.0	95.4	47.7	3.1	0.0
	中学生のいる世帯	113	107	69	4	0
		100.0	94.7	61.1	3.5	0.0
	65歳以上の方のいる世帯	510	309	121	178	6
		100.0	60.6	23.7	34.9	1.2
	介護を必要とする方のいる世帯	106	59	20	43	2
		100.0	55.7	18.9	40.6	1.9

問 10 今後、ホームページやSNS、メールなどで、インターネットを通じた発信・提供を期待する情報はありますか。（複数回答）

期待するインターネット情報については、「災害に関する情報」が65.1%と最も高く、次いで「行政サービスや制度の情報」が48.5%、「不審者など防犯に関する情報」が43.3%となっています。



■問 10「期待するインターネット情報」のクロス集計（年代別・世帯類型別）

年代別にみると、いずれの年代も「災害に関する情報」が最も高くなっています。また、75歳以上では「特にない」が3割と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯類型別にみると、いずれも「災害に関する情報」が最も高く、次いで【中学生以下の子どものいる世帯】では「不審者など防犯に関する情報」が、【高齢者・介護を必要とする方のいる世帯】では「行政サービスや制度の情報」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査 数	度 の 政 サ ー ビ ス や 制	情 報 イ ン タ ー ネ ッ ト や 講 座 の	災 害 に 関 する 情 報	不 審 者 な ど 防 犯 に	報 民 コ ミ ュ ニ テ ィ に 関 する 情 報	に ま ち の P R や 観 光	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615	784	564	1,051	700	346	258	25	258	71
		100.0	48.5	34.9	65.1	43.3	21.4	16.0	1.5	16.0	4.4
年 代 別	16～19歳	63	9	12	43	31	4	5	2	11	0
		100.0	14.3	19.0	68.3	49.2	6.3	7.9	3.2	17.5	0.0
	20～29歳	101	51	32	76	42	15	24	2	12	0
		100.0	50.5	31.7	75.2	41.6	14.9	23.8	2.0	11.9	0.0
	30～39歳	195	106	96	152	110	46	40	2	12	0
		100.0	54.4	49.2	77.9	56.4	23.6	20.5	1.0	6.2	0.0
	40～49歳	256	153	94	206	152	63	54	3	18	2
		100.0	59.8	36.7	80.5	59.4	24.6	21.1	1.2	7.0	0.8
世 帯 類 型 別	50～59歳	236	132	101	169	120	59	42	2	32	2
		100.0	55.9	42.8	71.6	50.8	25.0	17.8	0.8	13.6	0.8
	60～64歳	125	65	51	81	60	33	17	2	18	1
		100.0	52.0	40.8	64.8	48.0	26.4	13.6	1.6	14.4	0.8
	65～74歳	345	176	142	214	130	90	55	9	65	9
		100.0	51.0	41.2	62.0	37.7	26.1	15.9	2.6	18.8	2.6
	75歳以上	244	90	35	107	53	35	21	3	90	10
		100.0	36.9	14.3	43.9	21.7	14.3	8.6	1.2	36.9	4.1
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児のいる世帯	150	87	92	116	94	44	33	2	4	1
		100.0	58.0	61.3	77.3	62.7	29.3	22.0	1.3	2.7	0.7
	小学生のいる世帯	195	111	89	159	129	53	37	1	8	0
		100.0	56.9	45.6	81.5	66.2	27.2	19.0	0.5	4.1	0.0
	中学生のいる世帯	113	58	39	86	68	22	19	2	9	2
		100.0	51.3	34.5	76.1	60.2	19.5	16.8	1.8	8.0	1.8
世 帯 類 型 別	65歳以上の方のいる世帯	510	237	174	307	185	99	71	12	112	15
		100.0	46.5	34.1	60.2	36.3	19.4	13.9	2.4	22.0	2.9
世 帯 類 型 別	介護を必要とする方のいる世帯	106	42	26	61	37	19	13	4	28	3
		100.0	39.6	24.5	57.5	34.9	17.9	12.3	3.8	26.4	2.8

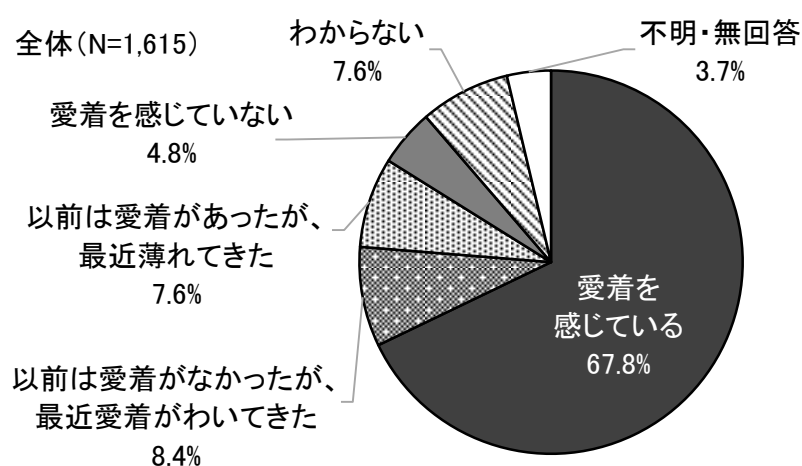
3 島本町での暮らしについて

問 11 あなたは、島本町に愛着を感じていますか。(単数回答)

島本町に愛着を感じるかについては、「愛着を感じている」が67.8%と最も高く、次いで「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」が8.4%となっています。

なお、「愛着を感じている」と「最近愛着がわいてきた」の合計割合は76.2%で、「愛着を感じていない」と「最近薄れてきた」の合計割合は12.4%となっています。

前回調査(平成20年)では、「愛着や誇りを感じるか」との設問に対し、「感じている」が68%と最も高く、「わからない」が20.3%、「感じていない」が8.1%でした。(設問の表現や選択肢の構成は、今回とは一部異なります)



■問 11 「町への愛着度」のクロス集計（年代別・居住地区別・居住年数別）

各区分とも、「愛着を感じている」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	愛着を感じている	いたが、最近愛着がなかった	きたが、最近愛着が薄れた	いたが、最近愛着が薄れた	わからぬ	不明・無回答
全体		1,615 100.0	1,095 67.8	136 8.4	123 7.6	78 4.8	123 7.6	60 3.7
年代別	16～19歳	63 100.0	49 77.8	3 4.8	2 3.2	4 6.3	4 6.3	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	62 61.4	10 9.9	5 5.0	6 5.9	9 8.9	9 8.9
	30～39歳	195 100.0	127 65.1	24 12.3	13 6.7	10 5.1	18 9.2	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	172 67.2	30 11.7	13 5.1	18 7.0	16 6.3	7 2.7
	50～59歳	236 100.0	153 64.8	24 10.2	18 7.6	10 4.2	24 10.2	7 3.0
	60～64歳	125 100.0	80 64.0	8 6.4	12 9.6	11 8.8	12 9.6	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	240 69.6	21 6.1	37 10.7	9 2.6	23 6.7	15 4.3
	75歳以上	244 100.0	181 74.2	13 5.3	19 7.8	7 2.9	16 6.6	8 3.3
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	7 53.8	2 15.4	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	116 70.3	10 6.1	18 10.9	8 4.8	7 4.2	6 3.6
	東大寺	139 100.0	94 67.6	12 8.6	10 7.2	5 3.6	10 7.2	8 5.8
	山崎	228 100.0	159 69.7	18 7.9	12 5.3	13 5.7	24 10.5	2 0.9
	広瀬	248 100.0	158 63.7	27 10.9	25 10.1	9 3.6	20 8.1	9 3.6
	百山	52 100.0	32 61.5	8 15.4	2 3.8	4 7.7	3 5.8	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	70 67.3	8 7.7	10 9.6	3 2.9	9 8.7	4 3.8
	青葉	203 100.0	136 67.0	14 6.9	15 7.4	12 5.9	17 8.4	9 4.4
	水無瀬	192 100.0	143 74.5	17 8.9	7 3.6	6 3.1	11 5.7	8 4.2
	江川	165 100.0	109 66.1	15 9.1	14 8.5	11 6.7	13 7.9	3 1.8
	高浜	55 100.0	39 70.9	2 3.6	4 7.3	3 5.5	7 12.7	0 0.0

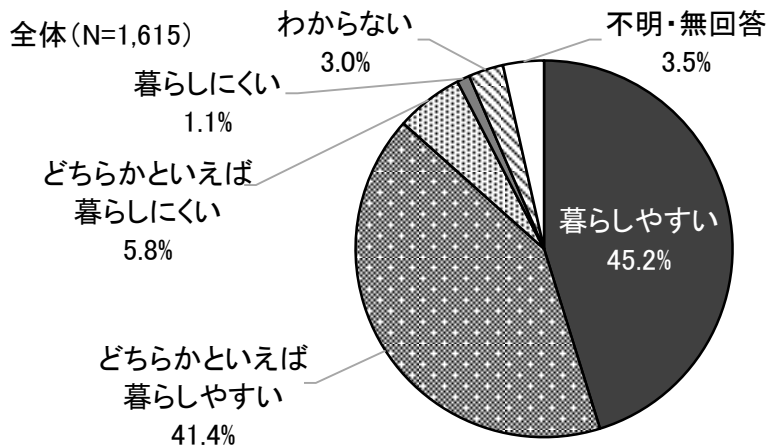
上段:件数 下段:%		調査数	愛着を感じている	いたが、最近愛着がなかった	きたが、最近愛着が薄れた	いたが、最近愛着が薄れた	わからぬ	不明・無回答
全体		1,615 100.0	1,095 67.8	136 8.4	123 7.6	78 4.8	123 7.6	60 3.7
居住年数別	5年未満	106 100.0	52 49.1	19 17.9	5 4.7	16 15.1	12 11.3	2 1.9
	5年以上10年未満	151 100.0	88 58.3	25 16.6	7 4.6	12 7.9	12 7.9	7 4.6
	10年以上20年未満	306 100.0	193 63.1	39 12.7	13 4.2	20 6.5	25 8.2	16 5.2
	20年以上	1,001 100.0	732 73.1	50 5.0	93 9.3	27 2.7	72 7.2	27 2.7

問 12 あなたにとって、島本町は暮らしやすいまちですか。(単数回答)

島本町の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が45.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしやすい」が41.4%となっています。

なお、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計割合は86.6%で、「暮らしにくい」と「どちらかといえば暮らしにくい」の合計割合は6.9%となっています。

前回調査（平成20年）では、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計割合は82.2%で、今回の方が4.4ポイント増加しています。



■問 12 「暮らしやすさ」クロス集計（年代別）

年代別にみると、いずれの年代においても「暮らしやすい」または「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高く、それぞれの合計割合は8割～9割となっています。

上段：件数 下段：%		調査数	暮らしやすい	どちらかといえば暮らしやすい	どちらかといえば暮らしにくい	暮らしにくい	わからない	不明・無回答
全体		1,615	730	668	93	18	49	57
		100.0	45.2	41.4	5.8	1.1	3.0	3.5
年代別	16～19歳	63	44	14	2	1	1	1
		100.0	69.8	22.2	3.2	1.6	1.6	1.6
	20～29歳	101	50	38	2	0	3	8
		100.0	49.5	37.6	2.0	0.0	3.0	7.9
	30～39歳	195	76	99	11	3	3	3
		100.0	39.0	50.8	5.6	1.5	1.5	1.5
	40～49歳	256	116	108	17	5	3	7
		100.0	45.3	42.2	6.6	2.0	1.2	2.7
年代別	50～59歳	236	105	100	14	1	9	7
		100.0	44.5	42.4	5.9	0.4	3.8	3.0
	60～64歳	125	51	57	9	1	6	1
		100.0	40.8	45.6	7.2	0.8	4.8	0.8
年代別	65～74歳	345	145	144	22	3	16	15
		100.0	42.0	41.7	6.4	0.9	4.6	4.3
年代別	75歳以上	244	122	92	13	3	7	7
		100.0	50.0	37.7	5.3	1.2	2.9	2.9

■問 12「暮らしやすさ」クロス集計（地区別・世帯類型別・居住年数別）

各区分では、いずれも「暮らしやすい」または「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高く、それぞれの合計割合は8割～9割となっています。

上段:件数 下段:%		調査数	暮らしやすい	どちらかといえば暮らしやすい	どちらかといえば暮らしにくい	暮らしにくい	わからない	不明・無回答
全体		1,615 100.0	730 45.2	668 41.4	93 5.8	18 1.1	49 3.0	57 3.5
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	5 38.5	6 46.2	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	63 38.2	70 42.4	16 9.7	2 1.2	7 4.2	7 4.2
	東大寺	139 100.0	57 41.0	58 41.7	11 7.9	2 1.4	3 2.2	8 5.8
	山崎	228 100.0	97 42.5	106 46.5	13 5.7	2 0.9	8 3.5	2 0.9
	広瀬	248 100.0	118 47.6	98 39.5	14 5.6	1 0.4	10 4.0	7 2.8
	百山	52 100.0	25 48.1	20 38.5	3 5.8	1 1.9	0 0.0	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	38 36.5	52 50.0	8 7.7	1 1.0	2 1.9	3 2.9
	青葉	203 100.0	103 50.7	79 38.9	5 2.5	3 1.5	4 2.0	9 4.4
	水無瀬	192 100.0	101 52.6	73 38.0	6 3.1	1 0.5	4 2.1	7 3.6
	江川	165 100.0	76 46.1	68 41.2	7 4.2	3 1.8	8 4.8	3 1.8
	高浜	55 100.0	27 49.1	21 38.2	5 9.1	1 1.8	1 1.8	0 0.0

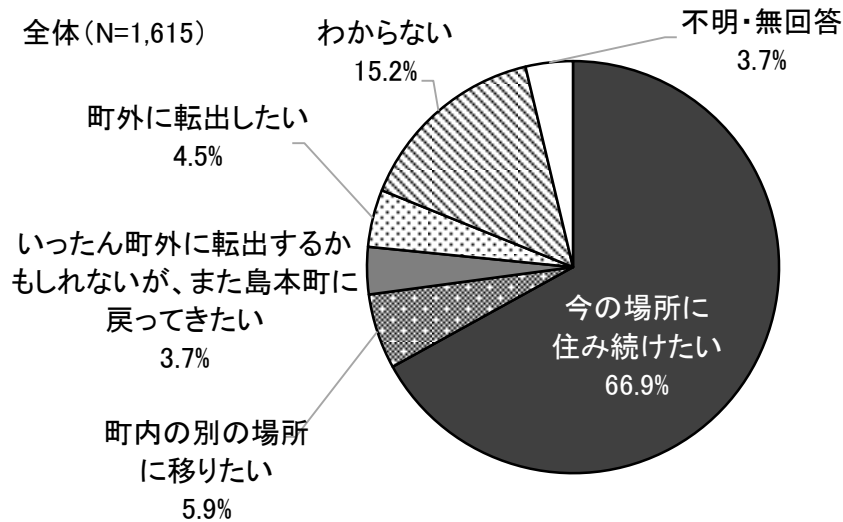
上段:件数 下段:%		調査数	暮らしやすい	どちらかといえば暮らしやすい	どちらかといえば暮らしにくい	暮らしにくい	わからない	不明・無回答
全体		1,615 100.0	730 45.2	668 41.4	93 5.8	18 1.1	49 3.0	57 3.5
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	56 37.3	78 52.0	8 5.3	1 0.7	2 1.3	5 3.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	87 44.6	89 45.6	11 5.6	1 0.5	2 1.0	5 2.6
	中学生のいる世帯	113 100.0	54 47.8	45 39.8	9 8.0	0 0.0	2 1.8	3 2.7
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	228 44.7	207 40.6	34 6.7	5 1.0	21 4.1	15 2.9
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	42 39.6	41 38.7	13 12.3	- 0.0	6 5.7	4 3.8
居住年数別	5年未満	106 100.0	32 30.2	58 54.7	9 8.5	3 2.8	2 1.9	2 1.9
	5年以上10年未満	151 100.0	59 39.1	66 43.7	15 9.9	3 2.0	2 1.3	6 4.0
	10年以上20年未満	306 100.0	135 44.1	121 39.5	16 5.2	6 2.0	12 3.9	16 5.2
	20年以上	1,001 100.0	484 48.4	405 40.5	50 5.0	5 0.5	32 3.2	25 2.5

問 13 あなたは今後も島本町に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

今後の島本町への定住意向については、「今の場所に住み続けたい」が66.9%と最も高く、次いで「わからない」が15.2%、「町内の別の場所に移りたい」が5.9%となっています。

なお、町内への居住意向を示す「今の場所に住み続けたい」、「町内の別の場所に移りたい」、「また島本町に戻ってきたい」の合計割合は76.5%となっています。

前回調査（平成20年）では、「住み続けたい」が45.6%、「できれば住み続けたい」が35.6%、「できれば町外に移転したい」が6.6%、「町外に移転したい」が1.8%、「わからない・考えたことがない」が8.3%でした。（選択肢の構成は、今回とは一部異なります）



■問 13「定住意向」のクロス集計（年代別）

年代別にみると、いずれの年代においても「今の場所に住み続けたい」が最も高くなっていますが、30歳以上の6～8割に対し、16～29歳では3～4割と比較的低くなっています。

上段:件数 下段:%		調 査 数	今 の 場 所 に 住 み 続 け たい	町 内 の 別 の 場 所 に 移 りたい	い っ た ん 町 外 に 転 出 す る か も し れ な い が 、 ま た 島 本 町 に 戻 っ て き た ま す	町 外 に 転 出 し た い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	1,080 66.9	96 5.9	60 3.7	73 4.5	246 15.2	60 3.7
年 代 別	16～19歳	63 100.0	27 42.9	3 4.8	10 15.9	7 11.1	15 23.8	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	36 35.6	3 3.0	20 19.8	11 10.9	23 22.8	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	131 67.2	14 7.2	7 3.6	9 4.6	31 15.9	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	165 64.5	19 7.4	7 2.7	16 6.3	42 16.4	7 2.7

上段:件数 下段:%		調 査 数	今 の 場 所 に 住 み 続 け たい	町 内 の 別 の 場 所 に 移 りたい	い っ た ん 町 外 に 転 出 す る か も し れ な い が 、 ま た 島 本 町 に 戻 っ て き た ま す	町 外 に 転 出 し た い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	1,080 66.9	96 5.9	60 3.7	73 4.5	246 15.2	60 3.7
年 代 別	50～59歳	236 100.0	146 61.9	15 6.4	8 3.4	7 3.0	53 22.5	7 3.0
	60～64歳	125 100.0	81 64.8	5 4.0	2 1.6	10 8.0	24 19.2	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	265 76.8	16 4.6	4 1.2	6 1.7	40 11.6	14 4.1
	75歳以上	244 100.0	198 81.1	18 7.4	2 0.8	4 1.6	13 5.3	9 3.7

■問 13「定住意向」のクロス集計（地区別・世帯類型別・居住年数別）

各区分では、いずれにおいても「今の場所に住み続けたい」が最も高くなっています。

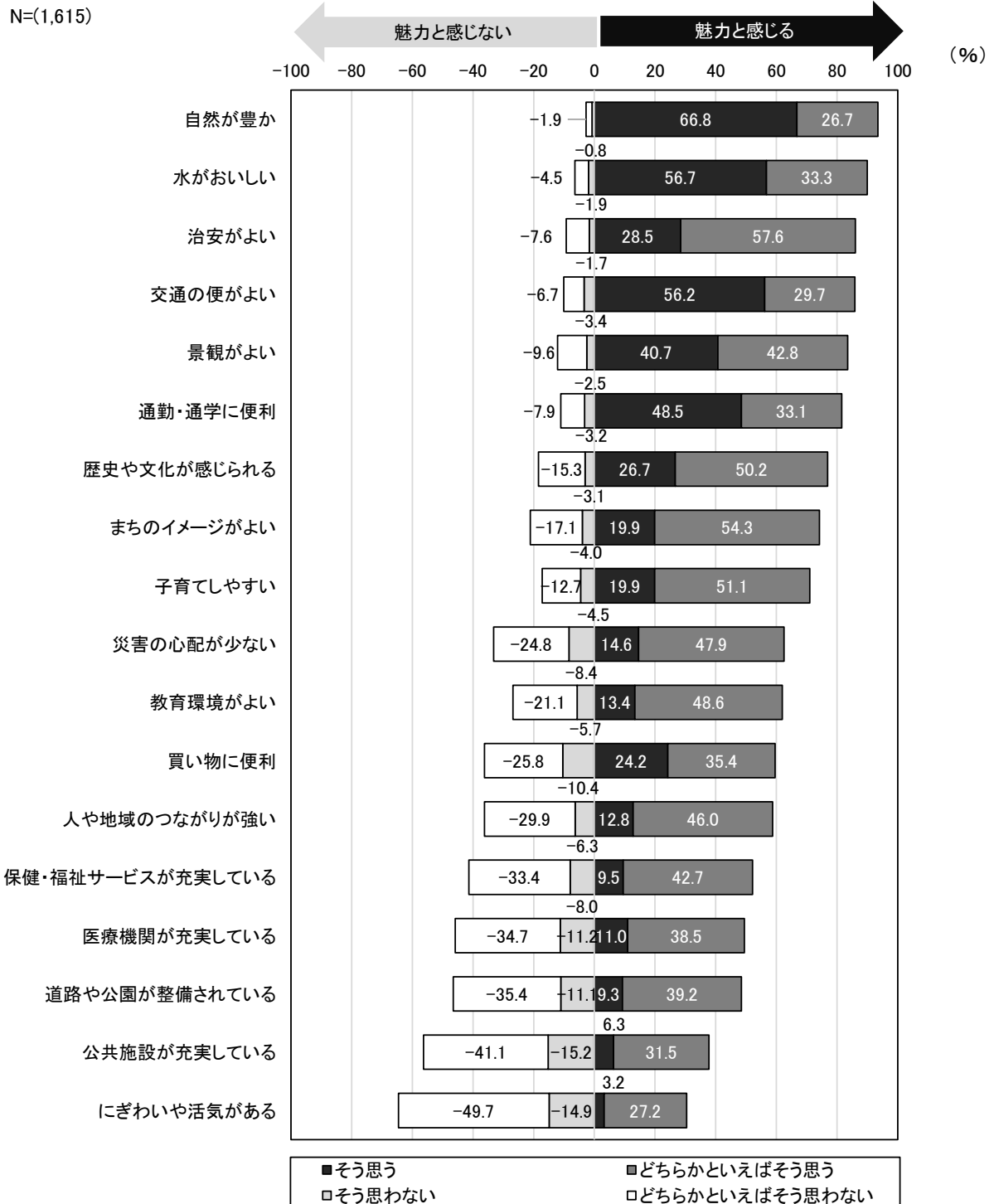
上段:件数 下段:%		調査 数	け 今 た い の 場 所 に 住 み 続 け たい	町 内 の 別 の 場 所 に 移 り たい	い づ れ も し れ な い が 、 ま ま の 場 所 に 居 て き たい	町 外 に 転 出 し たい	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	1,080 66.9	96 5.9	60 3.7	73 4.5	246 15.2	60 3.7
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	8 61.5	2 15.4	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	102 61.8	19 11.5	6 3.6	8 4.8	24 14.5	6 3.6
	東大寺	139 100.0	90 64.7	8 5.8	5 3.6	7 5.0	20 14.4	9 6.5
	山崎	228 100.0	148 64.9	13 5.7	16 7.0	7 3.1	40 17.5	4 1.8
	広瀬	248 100.0	164 66.1	20 8.1	6 2.4	10 4.0	42 16.9	6 2.4
	百山	52 100.0	31 59.6	5 9.6	0 0.0	2 3.8	11 21.2	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	67 64.4	8 7.7	2 1.9	5 4.8	18 17.3	4 3.8
	青葉	203 100.0	139 68.5	10 4.9	9 4.4	9 4.4	27 13.3	9 4.4
	水無瀬	192 100.0	141 73.4	4 2.1	10 5.2	7 3.6	22 11.5	8 4.2
	江川	165 100.0	121 73.3	3 1.8	4 2.4	11 6.7	23 13.9	3 1.8
	高浜	55 100.0	39 70.9	1 1.8	1 1.8	3 5.5	11 20.0	0 0.0

上段:件数 下段:%		調査 数	け 今 た い の 場 所 に 住 み 続 け たい	町 内 の 別 の 場 所 に 移 り たい	い づ れ も し れ な い が 、 ま ま の 場 所 に 居 て き たい	町 外 に 転 出 し たい	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	1,080 66.9	96 5.9	60 3.7	73 4.5	246 15.2	60 3.7
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	108 72.0	12 8.0	4 2.7	8 5.3	13 8.7	5 3.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	139 71.3	11 5.6	6 3.1	9 4.6	25 12.8	5 2.6
	中学生のいる世帯	113 100.0	69 61.1	13 11.5	3 2.7	5 4.4	20 17.7	3 2.7
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	382 74.9	29 5.7	11 2.2	19 3.7	55 10.8	14 2.7
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	67 63.2	6 5.7	2 1.9	8 7.5	19 17.9	4 3.8
	5年未満	106 100.0	65 61.3	6 5.7	3 2.8	10 9.4	20 18.9	2 1.9
居住年数別	5年以上10年未満	151 100.0	102 67.5	7 4.6	4 2.6	8 5.3	24 15.9	6 4.0
	10年以上20年未満	306 100.0	169 55.2	23 7.5	19 6.2	19 6.2	60 19.6	16 5.2
	20年以上	1,001 100.0	713 71.2	57 5.7	34 3.4	33 3.3	136 13.6	28 2.8

問 14 あなたが感じる島本町の「よいところ・魅力」についてお答えください。（各項目ごとに単数回答）

島本町のさまざまな資源や特性などについて、よいところや魅力を感じる「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計割合では、「自然が豊か」、「水がおいしい」、「治安がよい」、「交通の便がよい」、「景観がよい」、「通勤・通学に便利」が8割を超え、高くなっています。

一方、よいところや魅力と感しない「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計割合では、「にぎわいや活気がある」と「公共施設が充実している」が5割から6割と比較的高くなっています。



※魅力度の高い順に並び替え（不明・無回答は除く）

■問 14-1「自然が豊か」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	どちら かとい えばそ う思 う	どちら かとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	不 明・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	1,079 66.8	431 26.7	31 1.9	13 0.8	61 3.8
年 代 別	16～19歳	63 100.0	53 84.1	8 12.7	0 0.0	1 1.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	72 71.3	19 18.8	2 2.0	0 0.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	147 75.4	43 22.1	1 0.5	1 0.5	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	179 69.9	60 23.4	6 2.3	1 0.4	10 3.9
	50～59歳	236 100.0	152 64.4	68 28.8	4 1.7	3 1.3	9 3.8
	60～64歳	125 100.0	80 64.0	38 30.4	5 4.0	0 0.0	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	210 60.9	109 31.6	7 2.0	6 1.7	13 3.8
	75歳以上	244 100.0	159 65.2	71 29.1	5 2.0	1 0.4	8 3.3
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	11 84.6	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	122 73.9	34 20.6	4 2.4	0 0.0	5 3.0
	東大寺	139 100.0	96 69.1	29 20.9	3 2.2	1 0.7	10 7.2
	山崎	228 100.0	160 70.2	58 25.4	4 1.8	2 0.9	4 1.8
	広瀬	248 100.0	159 64.1	70 28.2	6 2.4	5 2.0	8 3.2
	百山	52 100.0	40 76.9	9 17.3	0 0.0	0 0.0	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	64 61.5	34 32.7	2 1.9	1 1.0	3 2.9
	青葉	203 100.0	129 63.5	63 31.0	0 0.0	0 0.0	11 5.4
	水無瀬	192 100.0	131 68.2	48 25.0	5 2.6	1 0.5	7 3.6
	江川	165 100.0	102 61.8	54 32.7	4 2.4	2 1.2	3 1.8
	高浜	55 100.0	36 65.5	17 30.9	2 3.6	0 0.0	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	108 72.0	35 23.3	1 0.7	1 0.7	5 3.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	143 73.3	44 22.6	2 1.0	0 0.0	6 3.1
	中学生のいる世帯	113 100.0	84 74.3	21 18.6	2 1.8	1 0.9	5 4.4
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	318 62.4	160 31.4	8 1.6	7 1.4	17 3.3
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	60 56.6	33 31.1	6 5.7	3 2.8	4 3.8
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	87 82.1	16 15.1	1 0.9	0 0.0	2 1.9
	5年以上10年未満	151 100.0	109 72.2	35 23.2	0 0.0	1 0.7	6 4.0
	10年以上20年未満	306 100.0	200 65.4	83 27.1	5 1.6	2 0.7	16 5.2
	20年以上	1,001 100.0	655 65.4	283 28.3	23 2.3	10 1.0	30 3.0

■問 14-2「水がおいしい」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	どちら かとい えばそ う思 う	どちら かとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	不 明・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	915 56.7	537 33.3	72 4.5	31 1.9	60 3.7
年 代 別	16～19歳	63 100.0	49 77.8	10 15.9	2 3.2	1 1.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	62 61.4	25 24.8	4 4.0	2 2.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	109 55.9	73 37.4	8 4.1	2 1.0	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	135 52.7	96 37.5	11 4.3	7 2.7	7 2.7
	50～59歳	236 100.0	129 54.7	74 31.4	18 7.6	6 2.5	9 3.8
	60～64歳	125 100.0	68 54.4	47 37.6	6 4.8	2 1.6	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	181 52.5	132 38.3	11 3.2	6 1.7	15 4.3
	75歳以上	244 100.0	154 63.1	69 28.3	9 3.7	4 1.6	8 3.3
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	7 53.8	4 30.8	0 0.0	1 7.7	1 7.7
	若山台	165 100.0	100 60.6	46 27.9	12 7.3	2 1.2	5 3.0
	東大寺	139 100.0	82 59.0	41 29.5	5 3.6	3 2.2	8 5.8
	山崎	228 100.0	121 53.1	88 38.6	11 4.8	5 2.2	3 1.3
	広瀬	248 100.0	142 57.3	81 32.7	10 4.0	8 3.2	7 2.8
	百山	52 100.0	34 65.4	13 25.0	1 1.9	1 1.9	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	56 53.8	39 37.5	3 2.9	2 1.9	4 3.8
	青葉	203 100.0	107 52.7	75 36.9	9 4.4	1 0.5	11 5.4
	水無瀬	192 100.0	119 62.0	55 28.6	9 4.7	1 0.5	8 4.2
	江川	165 100.0	89 53.9	60 36.4	7 4.2	6 3.6	3 1.8
	高浜	55 100.0	29 52.7	23 41.8	3 5.5	0 0.0	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	73 48.7	67 44.7	3 2.0	2 1.3	5 3.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	112 57.4	66 33.8	11 5.6	1 0.5	5 2.6
	中学生のいる世帯	113 100.0	66 58.4	35 31.0	5 4.4	3 2.7	4 3.5
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	276 54.1	184 36.1	26 5.1	6 1.2	18 3.5
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	59 55.7	35 33.0	4 3.8	3 2.8	5 4.7
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	60 56.6	36 34.0	6 5.7	2 1.9	2 1.9
	5年以上10年未満	151 100.0	80 53.0	56 37.1	6 4.0	4 2.6	5 3.3
	10年以上20年未満	306 100.0	184 60.1	87 28.4	12 3.9	6 2.0	17 5.6
	20年以上	1,001 100.0	561 56.0	347 34.7	46 4.6	18 1.8	29 2.9

■問 14-3「景観がよい」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	658 40.7	692 42.8	155 9.6	40 2.5	70 4.3
年 代 別	16～19歳	63 100.0	35 55.6	21 33.3	5 7.9	1 1.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	37 36.6	43 42.6	10 9.9	3 3.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	83 42.6	83 42.6	19 9.7	6 3.1	4 2.1
	40～49歳	256 100.0	106 41.4	109 42.6	24 9.4	7 2.7	10 3.9
	50～59歳	236 100.0	93 39.4	107 45.3	19 8.1	5 2.1	12 5.1
	60～64歳	125 100.0	41 32.8	63 50.4	13 10.4	6 4.8	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	134 38.8	151 43.8	35 10.1	9 2.6	16 4.6
	75歳以上	244 100.0	111 45.5	95 38.9	25 10.2	3 1.2	10 4.1
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	4 30.8	7 53.8	0 0.0	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	79 47.9	63 38.2	14 8.5	3 1.8	6 3.6
	東大寺	139 100.0	60 43.2	56 40.3	11 7.9	3 2.2	9 6.5
	山崎	228 100.0	96 42.1	104 45.6	19 8.3	3 1.3	6 2.6
	広瀬	248 100.0	96 38.7	108 43.5	23 9.3	9 3.6	12 4.8
	百山	52 100.0	22 42.3	20 38.5	6 11.5	1 1.9	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	37 35.6	46 44.2	16 15.4	2 1.9	3 2.9
	青葉	203 100.0	87 42.9	85 41.9	17 8.4	3 1.5	11 5.4
	水無瀬	192 100.0	83 43.2	77 40.1	19 9.9	5 2.6	8 4.2
	江川	165 100.0	60 36.4	78 47.3	15 9.1	7 4.2	5 3.0
	高浜	55 100.0	15 27.3	28 50.9	10 18.2	2 3.6	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	61 40.7	62 41.3	17 11.3	5 3.3	5 3.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	89 45.6	81 41.5	16 8.2	2 1.0	7 3.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	51 45.1	46 40.7	9 8.0	1 0.9	6 5.3
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	194 38.0	224 43.9	50 9.8	19 3.7	23 4.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	39 36.8	46 43.4	13 12.3	4 3.8	4 3.8
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	51 48.1	38 35.8	11 10.4	4 3.8	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	58 38.4	71 47.0	15 9.9	2 1.3	5 3.3
	10年以上20年未 満	306 100.0	135 44.1	123 40.2	24 7.8	6 2.0	18 5.9
	20年以上	1,001 100.0	395 39.5	440 44.0	100 10.0	28 2.8	38 3.8

■問 14-4「交通の便がよい」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	908 56.2	479 29.7	109 6.7	55 3.4	64 4.0
年 代 別	16～19歳	63 100.0	34 54.0	20 31.7	6 9.5	2 3.2	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	51 50.5	36 35.6	3 3.0	3 3.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	108 55.4	64 32.8	14 7.2	6 3.1	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	143 55.9	76 29.7	17 6.6	11 4.3	9 3.5
	50～59歳	236 100.0	130 55.1	69 29.2	20 8.5	8 3.4	9 3.8
	60～64歳	125 100.0	72 57.6	38 30.4	10 8.0	4 3.2	1 0.8
	65～74歳	345 100.0	199 57.7	98 28.4	23 6.7	10 2.9	15 4.3
	75歳以上	244 100.0	146 59.8	64 26.2	12 4.9	11 4.5	11 4.5
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	3 23.1	2 15.4	1 7.7	4 30.8	3 23.1
	若山台	165 100.0	55 33.3	59 35.8	30 18.2	14 8.5	7 4.2
	東大寺	139 100.0	59 42.4	48 34.5	15 10.8	9 6.5	8 5.8
	山崎	228 100.0	112 49.1	82 36.0	20 8.8	11 4.8	3 1.3
	広瀬	248 100.0	150 60.5	73 29.4	13 5.2	4 1.6	8 3.2
	百山	52 100.0	26 50.0	19 36.5	3 5.8	1 1.9	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	54 51.9	39 37.5	6 5.8	1 1.0	4 3.8
	青葉	203 100.0	143 70.4	44 21.7	5 2.5	1 0.5	10 4.9
	水無瀬	192 100.0	145 75.5	36 18.8	0 0.0	4 2.1	7 3.6
	江川	165 100.0	101 61.2	49 29.7	7 4.2	4 2.4	4 2.4
	高浜	55 100.0	35 63.6	14 25.5	5 9.1	1 1.8	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	81 54.0	48 32.0	14 9.3	2 1.3	5 3.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	122 62.6	51 26.2	11 5.6	6 3.1	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	65 57.5	31 27.4	10 8.8	4 3.5	3 2.7
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	282 55.3	152 29.8	37 7.3	20 3.9	19 3.7
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	57 53.8	36 34.0	4 3.8	4 3.8	5 4.7
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	55 51.9	35 33.0	9 8.5	4 3.8	3 2.8
	5年以上10年未 満	151 100.0	65 43.0	59 39.1	17 11.3	4 2.6	6 4.0
	10年以上20年未 満	306 100.0	163 53.3	84 27.5	24 7.8	18 5.9	17 5.6
	20年以上	1,001 100.0	599 59.8	287 28.7	55 5.5	29 2.9	31 3.1

■問 14-5「通勤・通学に便利」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	どちら かとい えばそ う思う	どちら かとい えばそ う思わ ない	そう 思わ ない	不 明・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	783 48.5	535 33.1	127 7.9	52 3.2	118 7.3
年 代 別	16～19歳	63 100.0	29 46.0	21 33.3	10 15.9	2 3.2	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	45 44.6	37 36.6	8 7.9	3 3.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	96 49.2	72 36.9	15 7.7	8 4.1	4 2.1
	40～49歳	256 100.0	130 50.8	90 35.2	19 7.4	8 3.1	9 3.5
	50～59歳	236 100.0	119 50.4	83 35.2	21 8.9	3 1.3	10 4.2
	60～64歳	125 100.0	62 49.6	46 36.8	8 6.4	6 4.8	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	170 49.3	110 31.9	24 7.0	12 3.5	29 8.4
	75歳以上	244 100.0	111 45.5	62 25.4	16 6.6	9 3.7	46 18.9
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	3 23.1	3 23.1	2 15.4	4 30.8	1 7.7
	若山台	165 100.0	41 24.8	66 40.0	27 16.4	17 10.3	14 8.5
	東大寺	139 100.0	48 34.5	48 34.5	24 17.3	6 4.3	13 9.4
	山崎	228 100.0	93 40.8	92 40.4	22 9.6	8 3.5	13 5.7
	広瀬	248 100.0	128 51.6	88 35.5	15 6.0	2 0.8	15 6.0
	百山	52 100.0	27 51.9	17 32.7	3 5.8	0 0.0	5 9.6
	桜井、桜井台	104 100.0	46 44.2	42 40.4	6 5.8	1 1.0	9 8.7
	青葉	203 100.0	119 58.6	56 27.6	6 3.0	5 2.5	17 8.4
	水無瀬	192 100.0	131 68.2	41 21.4	2 1.0	5 2.6	13 6.8
	江川	165 100.0	92 55.8	50 30.3	11 6.7	3 1.8	9 5.5
	高浜	55 100.0	34 61.8	17 30.9	4 7.3	0 0.0	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	73 48.7	56 37.3	12 8.0	4 2.7	5 3.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	109 55.9	64 32.8	11 5.6	6 3.1	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	54 47.8	41 36.3	10 8.8	4 3.5	4 3.5
	65歳以上の方 のいる世帯	510 100.0	237 46.5	169 33.1	41 8.0	19 3.7	44 8.6
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	50 47.2	32 30.2	11 10.4	2 1.9	11 10.4
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	53 50.0	33 31.1	13 12.3	5 4.7	2 1.9
	5年以上10年 未満	151 100.0	62 41.1	62 41.1	14 9.3	4 2.6	9 6.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	135 44.1	101 33.0	37 12.1	10 3.3	23 7.5
	20年以上	1,001 100.0	511 51.0	324 32.4	58 5.8	32 3.2	76 7.6

■問 14-6「買い物に便利」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	どちら かとい えばそ う思う	どちら かとい えばそ う思わ ない	そう 思わ ない	不 明・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	391 24.2	572 35.4	417 25.8	168 10.4	67 4.1
年 代 別	16～19歳	63 100.0	11 17.5	21 33.3	20 31.7	10 15.9	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	15 14.9	20 19.8	45 44.6	13 12.9	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	33 16.9	72 36.9	56 28.7	31 15.9	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	53 20.7	75 29.3	80 31.3	39 15.2	9 3.5
	50～59歳	236 100.0	48 20.3	85 36.0	76 32.2	19 8.1	8 3.4
	60～64歳	125 100.0	26 20.8	63 50.4	23 18.4	11 8.8	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	104 30.1	132 38.3	72 20.9	21 6.1	16 4.6
	75歳以上	244 100.0	92 37.7	83 34.0	36 14.8	21 8.6	12 4.9
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	3 23.1	3 23.1	6 46.2	0 0.0
	若山台	165 100.0	13 7.9	53 32.1	62 37.6	29 17.6	8 4.8
	東大寺	139 100.0	25 18.0	51 36.7	38 27.3	17 12.2	8 5.8
	山崎	228 100.0	43 18.9	84 36.8	73 32.0	25 11.0	3 1.3
	広瀬	248 100.0	68 27.4	93 37.5	60 24.2	20 8.1	7 2.8
	百山	52 100.0	8 15.4	13 25.0	20 38.5	8 15.4	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	29 27.9	28 26.9	28 26.9	16 15.4	3 2.9
	青葉	203 100.0	73 36.0	68 33.5	37 18.2	13 6.4	12 5.9
	水無瀬	192 100.0	69 35.9	72 37.5	32 16.7	9 4.7	10 5.2
	江川	165 100.0	36 21.8	64 38.8	44 26.7	16 9.7	5 3.0
	高浜	55 100.0	17 30.9	23 41.8	10 18.2	5 9.1	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	29 19.3	48 32.0	45 30.0	21 14.0	7 4.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	48 24.6	66 33.8	50 25.6	25 12.8	6 3.1
	中学生のいる世 帯	113 100.0	26 23.0	35 31.0	35 31.0	14 12.4	3 2.7
	65歳以上の方 のいる世帯	510 100.0	143 28.0	185 36.3	114 22.4	48 9.4	20 3.9
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	30 28.3	35 33.0	25 23.6	12 11.3	4 3.8
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	9 8.5	40 37.7	29 27.4	26 24.5	2 1.9
	5年以上10年 未満	151 100.0	24 15.9	44 29.1	51 33.8	26 17.2	6 4.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	65 21.2	90 29.4	96 31.4	39 12.7	16 5.2
	20年以上	1,001 100.0	283 28.3	378 37.8	231 23.1	74 7.4	35 3.5

■問 14-7「子育てしやすい」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	321 19.9	826 51.1	205 12.7	72 4.5	191 11.8
年 代 別	16～19歳	63 100.0	12 19.0	38 60.3	6 9.5	3 4.8	4 6.3
	20～29歳	101 100.0	22 21.8	51 50.5	12 11.9	1 1.0	15 14.9
	30～39歳	195 100.0	44 22.6	95 48.7	36 18.5	13 6.7	7 3.6
	40～49歳	256 100.0	62 24.2	121 47.3	29 11.3	23 9.0	21 8.2
	50～59歳	236 100.0	47 19.9	128 54.2	33 14.0	10 4.2	18 7.6
	60～64歳	125 100.0	19 15.2	80 64.0	10 8.0	8 6.4	8 6.4
	65～74歳	345 100.0	67 19.4	178 51.6	47 13.6	5 1.4	48 13.9
	75歳以上	244 100.0	37 15.2	110 45.1	29 11.9	7 2.9	61 25.0
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	3 23.1	5 38.5	3 23.1	1 7.7	1 7.7
	若山台	165 100.0	35 21.2	77 46.7	23 13.9	5 3.0	25 15.2
	東大寺	139 100.0	20 14.4	71 51.1	18 12.9	16 11.5	14 10.1
	山崎	228 100.0	43 18.9	124 54.4	31 13.6	5 2.2	25 11.0
	広瀬	248 100.0	54 21.8	125 50.4	33 13.3	10 4.0	26 10.5
	百山	52 100.0	7 13.5	33 63.5	4 7.7	1 1.9	7 13.5
	桜井、桜井台	104 100.0	17 16.3	53 51.0	16 15.4	6 5.8	12 11.5
	青葉	203 100.0	46 22.7	104 51.2	22 10.8	10 4.9	21 10.3
	水無瀬	192 100.0	40 20.8	95 49.5	28 14.6	3 1.6	26 13.5
	江川	165 100.0	36 21.8	77 46.7	21 12.7	10 6.1	21 12.7
	高浜	55 100.0	9 16.4	36 65.5	4 7.3	3 5.5	3 5.5
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	40 26.7	69 46.0	26 17.3	10 6.7	5 3.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	61 31.3	93 47.7	24 12.3	12 6.2	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	35 31.0	53 46.9	11 9.7	10 8.8	4 3.5
	65歳以上の方 のいる世帯	510 100.0	90 17.6	259 50.8	65 12.7	18 3.5	78 15.3
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	16 15.1	46 43.4	16 15.1	5 4.7	23 21.7
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	20 18.9	51 48.1	19 17.9	10 9.4	6 5.7
	5年以上10年 未満	151 100.0	29 19.2	76 50.3	23 15.2	10 6.6	13 8.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	69 22.5	160 52.3	30 9.8	16 5.2	31 10.1
	20年以上	1,001 100.0	192 19.2	513 51.2	130 13.0	34 3.4	132 13.2

■問 14-8「教育環境がよい」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	216 13.4	785 48.6	341 21.1	92 5.7	181 11.2
年 代 別	16～19歳	63 100.0	23 36.5	29 46.0	7 11.1	3 4.8	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	15 14.9	49 48.5	22 21.8	2 2.0	13 12.9
	30～39歳	195 100.0	25 12.8	100 51.3	48 24.6	16 8.2	6 3.1
	40～49歳	256 100.0	42 16.4	111 43.4	62 24.2	20 7.8	21 8.2
	50～59歳	236 100.0	22 9.3	127 53.8	52 22.0	17 7.2	18 7.6
	60～64歳	125 100.0	10 8.0	73 58.4	27 21.6	8 6.4	7 5.6
	65～74歳	345 100.0	39 11.3	178 51.6	69 20.0	15 4.3	44 12.8
	75歳以上	244 100.0	36 14.8	91 37.3	48 19.7	8 3.3	61 25.0
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	5 38.5	4 30.8	1 7.7	1 7.7
	若山台	165 100.0	20 12.1	83 50.3	28 17.0	10 6.1	24 14.5
	東大寺	139 100.0	13 9.4	67 48.2	28 20.1	15 10.8	16 11.5
	山崎	228 100.0	31 13.6	111 48.7	55 24.1	6 2.6	25 11.0
	広瀬	248 100.0	38 15.3	109 44.0	68 27.4	13 5.2	20 8.1
	百山	52 100.0	7 13.5	26 50.0	11 21.2	1 1.9	7 13.5
	桜井、桜井台	104 100.0	7 6.7	58 55.8	19 18.3	9 8.7	11 10.6
	青葉	203 100.0	28 13.8	108 53.2	38 18.7	9 4.4	20 9.9
	水無瀬	192 100.0	33 17.2	80 41.7	43 22.4	7 3.6	29 15.1
	江川	165 100.0	28 17.0	73 44.2	34 20.6	14 8.5	16 9.7
	高浜	55 100.0	5 9.1	37 67.3	8 14.5	4 7.3	1 1.8
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	21 14.0	71 47.3	42 28.0	11 7.3	5 3.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	44 22.6	97 49.7	38 19.5	11 5.6	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	29 25.7	50 44.2	21 18.6	8 7.1	5 4.4
	65歳以上の方 のいる世帯	510 100.0	64 12.5	251 49.2	95 18.6	26 5.1	74 14.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	9 8.5	50 47.2	20 18.9	5 4.7	22 20.8
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	14 13.2	55 51.9	26 24.5	6 5.7	5 4.7
	5年以上10年 未満	151 100.0	20 13.2	66 43.7	38 25.2	14 9.3	13 8.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	60 19.6	138 45.1	64 20.9	16 5.2	28 9.2
	20年以上	1,001 100.0	118 11.8	498 49.8	207 20.7	53 5.3	125 12.5

■問 14-9「医療機関が充実」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	う ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	う ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	178 11.0	621 38.5	560 34.7	181 11.2	75 4.6
年 代 別	16～19歳	63 100.0	11 17.5	27 42.9	19 30.2	5 7.9	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	15 14.9	32 31.7	38 37.6	7 6.9	9 8.9
	30～39歳	195 100.0	20 10.3	71 36.4	72 36.9	29 14.9	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	21 8.2	93 36.3	91 35.5	42 16.4	9 3.5
	50～59歳	236 100.0	15 6.4	88 37.3	90 38.1	35 14.8	8 3.4
	60～64歳	125 100.0	7 5.6	52 41.6	50 40.0	14 11.2	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	32 9.3	133 38.6	133 38.6	28 8.1	19 5.5
	75歳以上	244 100.0	53 21.7	108 44.3	50 20.5	16 6.6	17 7.0
	75歳以上	244 100.0	53 21.7	108 44.3	50 20.5	16 6.6	17 7.0
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	4 30.8	5 38.5	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	12 7.3	68 41.2	60 36.4	19 11.5	6 3.6
	東大寺	139 100.0	12 8.6	43 30.9	51 36.7	22 15.8	11 7.9
	山崎	228 100.0	17 7.5	80 35.1	103 45.2	22 9.6	6 2.6
	広瀬	248 100.0	27 10.9	99 39.9	82 33.1	30 12.1	10 4.0
	百山	52 100.0	2 3.8	19 36.5	23 44.2	4 7.7	4 7.7
	桜井、桜井台	104 100.0	7 6.7	48 46.2	35 33.7	11 10.6	3 2.9
	青葉	203 100.0	37 18.2	78 38.4	57 28.1	20 9.9	11 5.4
	水無瀬	192 100.0	34 17.7	77 40.1	57 29.7	14 7.3	10 5.2
	江川	165 100.0	17 10.3	62 37.6	58 35.2	22 13.3	6 3.6
	高浜	55 100.0	7 12.7	26 47.3	12 21.8	10 18.2	0 0.0
	高浜	55 100.0	7 12.7	26 47.3	12 21.8	10 18.2	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	11 7.3	52 34.7	55 36.7	26 17.3	6 4.0
	小学生のいる世帯	195 100.0	15 7.7	73 37.4	75 38.5	26 13.3	6 3.1
	中学生のいる世帯	113 100.0	12 10.6	35 31.0	48 42.5	15 13.3	3 2.7
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	67 13.1	203 39.8	167 32.7	48 9.4	25 4.9
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	12 11.3	41 38.7	31 29.2	17 16.0	5 4.7
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	7 6.6	30 28.3	43 40.6	24 22.6	2 1.9
	5年以上10年未満	151 100.0	14 9.3	46 30.5	60 39.7	26 17.2	5 3.3
	10年以上20年未満	306 100.0	32 10.5	119 38.9	101 33.0	34 11.1	20 6.5
	20年以上	1,001 100.0	121 12.1	407 40.7	340 34.0	92 9.2	41 4.1

■問 14-10「保健・福祉サービスが充実」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	う ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	う ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	153 9.5	689 42.7	540 33.4	129 8.0	104 6.4
年 代 別	16～19歳	63 100.0	10 15.9	35 55.6	14 22.2	3 4.8	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	8 7.9	43 42.6	31 30.7	7 6.9	12 11.9
	30～39歳	195 100.0	15 7.7	72 36.9	83 42.6	19 9.7	6 3.1
	40～49歳	256 100.0	18 7.0	95 37.1	94 36.7	33 12.9	16 6.3
	50～59歳	236 100.0	13 5.5	102 43.2	90 38.1	20 8.5	11 4.7
	60～64歳	125 100.0	6 4.8	45 36.0	60 48.0	12 9.6	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	41 11.9	155 44.9	106 30.7	20 5.8	23 6.7
	75歳以上	244 100.0	38 15.6	119 48.8	49 20.1	13 5.3	25 10.2
	75歳以上	244 100.0	38 15.6	119 48.8	49 20.1	13 5.3	25 10.2
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	4 30.8	4 30.8	3 23.1	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	11 6.7	78 47.3	51 32.1	12 7.3	11 6.7
	東大寺	139 100.0	10 7.2	50 36.0	49 35.3	20 14.4	10 7.2
	山崎	228 100.0	20 8.8	102 44.7	79 34.6	13 5.7	14 6.1
	広瀬	248 100.0	23 9.3	102 41.1	83 33.5	24 9.7	16 6.5
	百山	52 100.0	4 7.7	20 38.5	22 42.3	3 5.8	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	11 10.6	41 39.4	42 40.4	5 4.8	5 4.8
	青葉	203 100.0	19 9.4	91 44.8	64 31.5	14 6.9	15 7.4
	水無瀬	192 100.0	27 14.1	86 44.8	58 30.2	8 4.2	13 6.8
	江川	165 100.0	17 10.3	66 40.0	55 33.3	20 12.1	7 4.2
	高浜	55 100.0	3 5.5	26 47.3	19 34.5	6 10.9	1 1.8
	高浜	55 100.0	3 5.5	26 47.3	19 34.5	6 10.9	1 1.8
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	9 6.0	62 41.3	57 38.0	17 11.3	5 3.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	18 9.2	70 35.9	77 39.5	24 12.3	6 3.1
	中学生のいる世帯	113 100.0	9 8.0	45 39.8	39 34.5	15 13.3	5 4.4
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	56 11.0	230 45.1	154 30.2	35 6.9	35 6.9
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	15 14.2	41 38.7	32 30.2	11 10.4	7 6.6
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	3 2.8	42 39.6	43 40.6	13 12.3	5 4.7
	5年以上10年未満	151 100.0	10 6.6	50 33.1	63 41.7	20 13.2	8 5.3
	10年以上20年未満	306 100.0	26 8.5	132 43.1	96 31.4	28 9.2	24 7.8
	20年以上	1,001 100.0	110 11.0	442 44.2	324 32.4	66 6.6	59 5.9

■問 14-11「公共施設が充実」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	う ど ち ら か と い え ば	そう 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	102 6.3	509 31.5	664 41.1	246 15.2	94 5.8
年 代 別	16～19歳	63 100.0	10 15.9	25 39.7	19 30.2	8 12.7	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	7 6.9	28 27.7	44 43.6	13 12.9	9 8.9
	30～39歳	195 100.0	16 8.2	55 28.2	80 41.0	39 20.0	5 2.6
	40～49歳	256 100.0	10 3.9	66 25.8	117 45.7	51 19.9	12 4.7
	50～59歳	236 100.0	13 5.5	67 28.4	103 43.6	42 17.8	11 4.7
	60～64歳	125 100.0	5 4.0	32 25.6	66 52.8	21 16.8	1 0.8
	65～74歳	345 100.0	18 5.2	115 33.3	149 43.2	41 11.9	22 6.4
	75歳以上	244 100.0	23 9.4	104 42.6	68 27.9	25 10.2	24 9.8
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	9 69.2	2 15.4	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	10 6.1	59 35.8	62 37.6	26 15.8	8 4.8
	東大寺	139 100.0	7 5.0	40 28.8	54 38.8	29 20.9	9 6.5
	山崎	228 100.0	15 6.6	61 26.8	112 49.1	30 13.2	10 4.4
	広瀬	248 100.0	16 6.5	73 29.4	106 42.7	39 15.7	14 5.6
	百山	52 100.0	2 3.8	18 34.6	23 44.2	6 11.5	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	4 3.8	45 43.3	37 35.6	13 12.5	5 4.8
	青葉	203 100.0	19 9.4	58 28.6	79 38.9	30 14.8	17 8.4
	水無瀬	192 100.0	18 9.4	59 30.7	77 40.1	26 13.5	12 6.3
	江川	165 100.0	10 6.1	52 31.5	64 38.8	33 20.0	6 3.6
	高浜	55 100.0	1 1.8	18 32.7	30 54.5	6 10.9	0 0.0
	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	8 5.3	40 26.7	68 45.3	29 19.3	5 3.3
世 帯 類 型 別	小学生のいる世 帯	195 100.0	14 7.2	54 27.7	82 42.1	40 20.5	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	4 3.5	29 25.7	53 46.9	23 20.4	4 3.5
	65歳以上の方 のいる世帯	510 100.0	31 6.1	182 35.7	202 39.6	65 12.7	30 5.9
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	7 6.6	34 32.1	35 33.0	22 20.8	8 7.5
	5年未満	106 100.0	6 5.7	33 31.1	42 39.6	22 20.8	3 2.8
居 住 年 数 別	5年以上10年 未満	151 100.0	6 4.0	33 21.9	70 46.4	37 24.5	5 3.3
	10年以上20年 未満	306 100.0	24 7.8	90 29.4	117 38.2	54 17.6	21 6.9
	20年以上	1,001 100.0	66 6.6	336 33.6	416 41.6	127 12.7	56 5.6

■問 14-12「道路や公園が整備されている」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	う ど ち ら か と い え ば	そう 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	150 9.3	633 39.2	572 35.4	179 11.1	81 5.0
年 代 別	16～19歳	63 100.0	16 25.4	30 47.6	12 19.0	4 6.3	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	15 14.9	40 39.6	35 34.7	3 3.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	19 9.7	85 43.6	59 30.3	29 14.9	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	19 7.4	85 33.2	104 40.6	37 14.5	11 4.3
	50～59歳	236 100.0	18 7.6	97 41.1	81 34.3	31 13.1	9 3.8
	60～64歳	125 100.0	4 3.2	52 41.6	53 42.4	15 12.0	1 0.8
	65～74歳	345 100.0	28 8.1	120 34.8	143 41.4	34 9.9	20 5.8
	75歳以上	244 100.0	31 12.7	109 44.7	66 27.0	18 7.4	20 8.2
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	4 30.8	7 53.8	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	18 10.9	67 40.6	54 32.7	18 10.9	8 4.8
	東大寺	139 100.0	10 7.2	47 33.8	52 37.4	20 14.4	10 7.2
	山崎	228 100.0	21 9.2	97 42.5	84 36.8	22 9.6	4 1.8
	広瀬	248 100.0	23 9.3	92 37.1	92 37.1	29 11.7	12 4.8
	百山	52 100.0	4 7.7	28 53.8	12 23.1	4 7.7	4 7.7
	桜井、桜井台	104 100.0	5 4.8	44 42.3	40 38.5	11 10.6	4 3.8
	青葉	203 100.0	28 13.8	73 36.0	66 32.5	22 10.8	14 6.9
	水無瀬	192 100.0	25 13.0	72 37.5	71 37.0	13 6.8	11 5.7
	江川	165 100.0	14 8.5	68 41.2	53 32.1	24 14.5	6 3.6
	高浜	55 100.0	2 3.6	25 45.5	23 41.8	5 9.1	0 0.0
	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	11 7.3	54 36.0	56 37.3	24 16.0	5 3.3
世 帯 類 型 別	小学生のいる世 帯	195 100.0	20 10.3	70 35.9	72 36.9	28 14.4	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	14 12.4	40 35.4	44 38.9	11 9.7	4 3.5
	65歳以上の方 のいる世帯	510 100.0	43 8.4	208 40.8	184 36.1	50 9.8	25 4.9
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	9 8.5	41 38.7	34 32.1	15 14.2	7 6.6
	5年未満	106 100.0	10 9.4	48 45.3	33 31.1	13 12.3	2 1.9
居 住 年 数 別	5年以上10年未 満	151 100.0	12 7.9	49 32.5	62 41.1	23 15.2	5 3.3
	10年以上20年未 満	306 100.0	34 11.1	120 39.2	98 32.0	34 11.1	20 6.5
	20年以上	1,001 100.0	94 9.4	400 40.0	360 36.0	101 10.1	46 4.6

■問 14-13「治安がよい」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ ない	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	461 28.5	931 57.6	122 7.6	28 1.7	73 4.5
年 代 別	16～19歳	63 100.0	30 47.6	27 42.9	3 4.8	2 3.2	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	35 34.7	51 50.5	6 5.9	0 0.0	9 8.9
	30～39歳	195 100.0	70 35.9	106 54.4	12 6.2	4 2.1	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	75 29.3	152 59.4	15 5.9	5 2.0	9 3.5
	50～59歳	236 100.0	54 22.9	144 61.0	26 11.0	3 1.3	9 3.8
	60～64歳	125 100.0	25 20.0	86 68.8	9 7.2	4 3.2	1 0.8
	65～74歳	345 100.0	91 26.4	204 59.1	31 9.0	3 0.9	16 4.6
	75歳以上	244 100.0	71 29.1	133 54.5	17 7.0	6 2.5	17 7.0
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	9 69.2	1 7.7	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	40 24.2	103 62.4	10 6.1	4 2.4	8 4.8
	東大寺	139 100.0	36 25.9	78 56.1	15 10.8	2 1.4	8 5.8
	山崎	228 100.0	55 24.1	137 60.1	24 10.5	6 2.6	6 2.6
	広瀬	248 100.0	80 32.3	138 55.6	14 5.6	6 2.4	10 4.0
	百山	52 100.0	15 28.8	32 61.5	2 3.8	0 0.0	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	27 26.0	61 58.7	10 9.6	2 1.9	4 3.8
	青葉	203 100.0	65 32.0	115 56.7	9 4.4	2 1.0	12 5.9
	水無瀬	192 100.0	72 37.5	89 46.4	20 10.4	1 0.5	10 5.2
	江川	165 100.0	45 27.3	104 63.0	10 6.1	2 1.2	4 2.4
	高浜	55 100.0	13 23.6	38 69.1	4 7.3	0 0.0	0 0.0
	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	52 34.7	81 54.0	9 6.0	3 2.0	5 3.3
世 帯 類 型 別	小学生のいる世 帯	195 100.0	60 30.8	114 58.5	15 7.7	1 0.5	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	37 32.7	63 55.8	7 6.2	2 1.8	4 3.5
	65歳以上の方 のいる世帯	510 100.0	140 27.5	303 59.4	37 7.3	10 2.0	20 3.9
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	24 22.6	61 57.5	13 12.3	2 1.9	6 5.7
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	37 34.9	58 54.7	8 7.5	1 0.9	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	43 28.5	90 59.6	9 6.0	4 2.6	5 3.3
	10年以上20年未 満	306 100.0	89 29.1	169 55.2	24 7.8	5 1.6	19 6.2
	20年以上	1,001 100.0	282 28.2	586 58.5	78 7.8	16 1.6	39 3.9

■問 14-14「災害の心配が少ない」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ ない	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	235 14.6	773 47.9	400 24.8	135 8.4	72 4.5
年 代 別	16～19歳	63 100.0	6 9.5	34 54.0	17 27.0	5 7.9	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	13 12.9	44 43.6	30 29.7	6 5.9	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	25 12.8	82 42.1	68 34.9	16 8.2	4 2.1
	40～49歳	256 100.0	15 5.9	116 45.3	82 32.0	32 12.5	11 4.3
	50～59歳	236 100.0	25 10.6	117 49.6	63 26.7	24 10.2	7 3.0
	60～64歳	125 100.0	18 14.4	63 50.4	36 28.8	7 5.6	1 0.8
	65～74歳	345 100.0	62 18.0	178 51.6	65 18.8	22 6.4	18 5.2
	75歳以上	244 100.0	67 27.5	116 47.5	30 12.3	17 7.0	14 5.7
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	1 7.7	2 15.4	8 61.5	0 0.0
	若山台	165 100.0	31 18.8	80 48.5	37 22.4	11 6.7	6 3.6
	東大寺	139 100.0	13 9.4	69 49.6	36 25.9	13 9.4	8 5.8
	山崎	228 100.0	26 11.4	121 53.1	60 26.3	16 7.0	5 2.2
	広瀬	248 100.0	45 18.1	114 46.0	57 23.0	22 8.9	10 4.0
	百山	52 100.0	9 17.3	28 53.8	12 23.1	0 0.0	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	12 11.5	42 40.4	28 26.9	19 18.3	3 2.9
	青葉	203 100.0	35 17.2	92 45.3	53 26.1	9 4.4	14 6.9
	水無瀬	192 100.0	30 15.6	95 49.5	45 23.4	13 6.8	9 4.7
	江川	165 100.0	23 13.9	78 47.3	46 27.9	13 7.9	5 3.0
	高浜	55 100.0	5 9.1	30 54.5	15 27.3	5 9.1	0 0.0
	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	12 8.0	63 42.0	57 38.0	13 8.7	5 3.3
世 帯 類 型 別	小学生のいる世 帯	195 100.0	12 6.2	86 44.1	75 38.5	17 8.7	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	11 9.7	55 48.7	28 24.8	14 12.4	5 4.4
	65歳以上の方 のいる世帯	510 100.0	96 18.8	252 49.4	98 19.2	41 8.0	23 4.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	21 19.8	49 46.2	20 18.9	10 9.4	6 5.7
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	7 6.6	47 44.3	39 36.8	10 9.4	3 2.8
	5年以上10年未 満	151 100.0	14 9.3	67 44.4	53 35.1	12 7.9	5 3.3
	10年以上20年未 満	306 100.0	23 7.5	144 47.1	93 30.4	28 9.2	18 5.9
	20年以上	1,001 100.0	187 18.7	493 49.3	206 20.6	77 7.7	38 3.8

■問 14-15「歴史や文化が感じられる」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	どちら かとい えばそ う思 う	どちら かとい えばそ う思 わな い	そう 思 わ な い	不 明・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	432 26.7	810 50.2	247 15.3	50 3.1	76 4.7
年代別	16～19歳	63 100.0	25 39.7	26 41.3	11 17.5	0 0.0	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	26 25.7	45 44.6	20 19.8	2 2.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	52 26.7	104 53.3	30 15.4	6 3.1	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	56 21.9	137 53.5	42 16.4	12 4.7	9 3.5
	50～59歳	236 100.0	51 21.6	130 55.1	37 15.7	8 3.4	10 4.2
	60～64歳	125 100.0	28 22.4	72 57.6	17 13.6	6 4.8	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	100 29.0	171 49.6	48 13.9	8 2.3	18 5.2
	75歳以上	244 100.0	81 33.2	103 42.2	36 14.8	8 3.3	16 6.6
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	7 53.8	2 15.4	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	34 20.6	86 52.1	32 19.4	7 4.2	6 3.6
	東大寺	139 100.0	33 23.7	65 46.8	27 19.4	5 3.6	9 6.5
	山崎	228 100.0	66 28.9	124 54.4	30 13.2	4 1.8	4 1.8
	広瀬	248 100.0	69 27.8	117 47.2	40 16.1	13 5.2	9 3.6
	百山	52 100.0	9 17.3	27 51.9	13 25.0	0 0.0	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	27 26.0	50 48.1	17 16.3	5 4.8	5 4.8
	青葉	203 100.0	54 26.6	109 53.7	23 11.3	3 1.5	14 6.9
	水無瀬	192 100.0	65 33.9	92 47.9	23 12.0	2 1.0	10 5.2
	江川	165 100.0	49 29.7	74 44.8	29 17.6	7 4.2	6 3.6
	高浜	55 100.0	11 20.0	36 65.5	6 10.9	2 3.6	0 0.0
世帯 類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	29 19.3	87 58.0	23 15.3	6 4.0	5 3.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	52 26.7	106 54.4	25 12.8	7 3.6	5 2.6
	中学生のいる世帯	113 100.0	32 28.3	54 47.8	16 14.2	6 5.3	5 4.4
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	141 27.6	240 47.1	83 16.3	17 3.3	29 5.7
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	34 32.1	43 40.6	20 18.9	5 4.7	4 3.8
居住 年数別	5年未満	106 100.0	29 27.4	48 45.3	25 23.6	2 1.9	2 1.9
	5年以上10年未満	151 100.0	38 25.2	85 56.3	17 11.3	6 4.0	5 3.3
	10年以上20年未満	306 100.0	81 26.5	144 47.1	48 15.7	10 3.3	23 7.5
	20年以上	1,001 100.0	271 27.1	510 50.9	152 15.2	31 3.1	37 3.7

■問 14-16「にぎわいや活気がある」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	どちら かとい えばそ う思 う	どちら かとい えばそ う思 わな い	そう 思 わ な い	不 明・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	52 3.2	440 27.2	802 49.7	241 14.9	80 5.0
年代別	16～19歳	63 100.0	5 7.9	27 42.9	24 38.1	5 7.9	2 3.2
	20～29歳	101 100.0	2 2.0	27 26.7	49 48.5	15 14.9	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	7 3.6	73 37.4	87 44.6	25 12.8	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	10 3.9	55 21.5	138 53.9	41 16.0	12 4.7
	50～59歳	236 100.0	4 1.7	53 22.5	132 55.9	40 16.9	7 3.0
	60～64歳	125 100.0	0 0.0	35 28.0	66 52.8	22 17.6	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	11 3.2	82 23.8	180 52.2	53 15.4	19 5.5
	75歳以上	244 100.0	11 4.5	76 31.1	106 43.4	33 13.5	18 7.4
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	3 23.1	5 38.5	5 38.5	0 0.0
	若山台	165 100.0	7 4.2	37 22.4	82 49.7	31 18.8	8 4.8
	東大寺	139 100.0	1 0.7	39 28.1	64 46.0	25 18.0	10 7.2
	山崎	228 100.0	7 3.1	69 30.3	119 52.2	28 12.3	5 2.2
	広瀬	248 100.0	6 2.4	63 25.4	123 49.6	47 19.0	9 3.6
	百山	52 100.0	2 3.8	11 21.2	30 57.7	6 11.5	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	3 2.9	27 26.0	48 46.2	20 19.2	6 5.8
	青葉	203 100.0	9 4.4	60 29.6	101 49.8	20 9.9	13 6.4
	水無瀬	192 100.0	10 5.2	49 25.5	101 52.6	21 10.9	11 5.7
	江川	165 100.0	3 1.8	50 30.3	79 47.9	28 17.0	5 3.0
	高浜	55 100.0	2 3.6	20 36.4	30 54.5	3 5.5	0 0.0
世帯 類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	4 2.7	48 32.0	70 46.7	22 14.7	6 4.0
	小学生のいる世帯	195 100.0	9 4.6	69 35.4	89 45.6	22 11.3	6 3.1
	中学生のいる世帯	113 100.0	6 5.3	30 26.5	56 49.6	16 14.2	5 4.4
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	15 2.9	124 24.3	270 52.9	74 14.5	27 5.3
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	3 2.8	26 24.5	52 49.1	20 18.9	5 4.7
居住 年数別	5年未満	106 100.0	1 0.9	29 27.4	54 50.9	20 18.9	2 1.9
	5年以上10年未満	151 100.0	5 3.3	45 29.8	68 45.0	28 18.5	5 3.3
	10年以上20年未満	306 100.0	12 3.9	81 26.5	153 50.0	37 12.1	23 7.5
	20年以上	1,001 100.0	32 3.2	273 27.3	507 50.6	148 14.8	41 4.1

■問 14-17「まちのイメージがよい」のクロス集計 ■問 14-18「人や地域のつながりが強い」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	321 19.9	877 54.3	276 17.1	65 4.0	76 4.7
年 代 別	16～19歳	63 100.0	29 46.0	26 41.3	6 9.5	1 1.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	30 29.7	52 51.5	8 7.9	3 3.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	49 25.1	110 56.4	27 13.8	6 3.1	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	55 21.5	137 53.5	42 16.4	11 4.3	11 4.3
	50～59歳	236 100.0	32 13.6	141 59.7	47 19.9	8 3.4	8 3.4
	60～64歳	125 100.0	15 12.0	79 63.2	23 18.4	7 5.6	1 0.8
	65～74歳	345 100.0	57 16.5	180 52.2	74 21.4	15 4.3	19 5.5
	75歳以上	244 100.0	49 20.1	123 50.4	43 17.6	12 4.9	17 7.0
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	7 53.8	1 7.7	3 23.1	0 0.0
	若山台	165 100.0	31 18.8	87 52.7	33 20.0	6 3.6	8 4.8
	東大寺	139 100.0	29 20.9	66 47.5	25 18.0	11 7.9	8 5.8
	山崎	228 100.0	47 20.6	135 59.2	36 15.8	6 2.6	4 1.8
	広瀬	248 100.0	43 17.3	136 54.8	49 19.8	10 4.0	10 4.0
	百山	52 100.0	12 23.1	29 55.8	8 15.4	0 0.0	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	18 17.3	61 58.7	16 15.4	4 3.8	5 4.8
	青葉	203 100.0	42 20.7	113 55.7	29 14.3	6 3.0	13 6.4
	水無瀬	192 100.0	48 25.0	94 49.0	35 18.2	5 2.6	10 5.2
	江川	165 100.0	33 20.0	86 52.1	29 17.6	11 6.7	6 3.6
	高浜	55 100.0	11 20.0	33 60.0	10 18.2	1 1.8	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	36 24.0	82 54.7	22 14.7	5 3.3	5 3.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	53 27.2	102 52.3	31 15.9	4 2.1	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	25 22.1	64 56.6	16 14.2	4 3.5	4 3.5
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	85 16.7	288 56.5	94 18.4	17 3.3	26 5.1
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	16 15.1	55 51.9	20 18.9	8 7.5	7 6.6
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	27 25.5	59 55.7	14 13.2	4 3.8	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	31 20.5	76 50.3	33 21.9	6 4.0	5 3.3
	10年以上20年 未満	306 100.0	70 22.9	157 51.3	47 15.4	11 3.6	21 6.9
	20年以上	1,001 100.0	188 18.8	555 55.4	176 17.6	42 4.2	40 4.0

上段:件数 下段:%		調査 数	そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	206 12.8	743 46.0	483 29.9	102 6.3	81 5.0
年 代 別	16～19歳	63 100.0	19 30.2	32 50.8	9 14.3	2 3.2	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	18 17.8	40 39.6	30 29.7	4 4.0	9 8.9
	30～39歳	195 100.0	37 19.0	93 47.7	48 24.6	13 6.7	4 2.1
	40～49歳	256 100.0	36 14.1	121 47.3	72 28.1	15 5.9	12 4.7
	50～59歳	236 100.0	21 8.9	116 49.2	77 32.6	13 5.5	9 3.8
	60～64歳	125 100.0	6 4.8	60 48.0	40 32.0	17 13.6	2 1.6
	65～74歳	345 100.0	32 9.3	148 42.9	130 37.7	14 4.1	21 6.1
	75歳以上	244 100.0	33 13.5	108 44.3	70 28.7	17 7.0	16 6.6
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	8 61.5	2 15.4	1 7.7	1 7.7
	若山台	165 100.0	21 12.7	63 38.2	64 38.8	7 4.2	10 6.1
	東大寺	139 100.0	17 12.2	62 44.6	36 25.9	16 11.5	8 5.8
	山崎	228 100.0	28 12.3	121 53.1	69 30.3	5 2.2	5 2.2
	広瀬	248 100.0	35 14.1	112 45.2	70 28.2	21 8.5	10 4.0
	百山	52 100.0	5 9.6	26 50.0	17 32.7	1 1.9	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	18 17.3	46 44.2	29 27.9	7 6.7	4 3.8
	青葉	203 100.0	24 11.8	97 47.8	59 29.1	9 4.4	14 6.9
	水無瀬	192 100.0	30 15.6	87 45.3	53 27.6	10 5.2	12 6.3
	江川	165 100.0	14 8.5	72 43.6	56 33.9	17 10.3	6 3.6
	高浜	55 100.0	9 16.4	25 45.5	20 36.4	1 1.8	0 0.0
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	29 19.3	79 52.7	29 19.3	8 5.3	5 3.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	38 19.5	106 54.4	39 20.0	7 3.6	5 2.6
	中学生のいる世 帯	113 100.0	24 21.2	51 45.1	28 24.8	6 5.3	4 3.5
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	51 10.0	222 43.5	173 33.9	35 6.9	29 5.7
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	16 15.1	38 35.8	36 34.0	9 8.5	7 6.6
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	23 21.7	51 48.1	19 17.9	9 8.5	4 3.8
	5年以上10年未 満	151 100.0	21 13.9	62 41.1	51 33.8	12 7.9	5 3.3
	10年以上20年 未満	306 100.0	46 15.0	146 47.7	79 25.8	14 4.6	21 6.9
	20年以上	1,001 100.0	112 11.2	459 45.9	327 32.7	59 5.9	44 4.4

問 14-19 その他、特に気に入っている島本町の「よいところ・魅力」があれば記入してください。(自由回答)

■ご意見の分類と件数

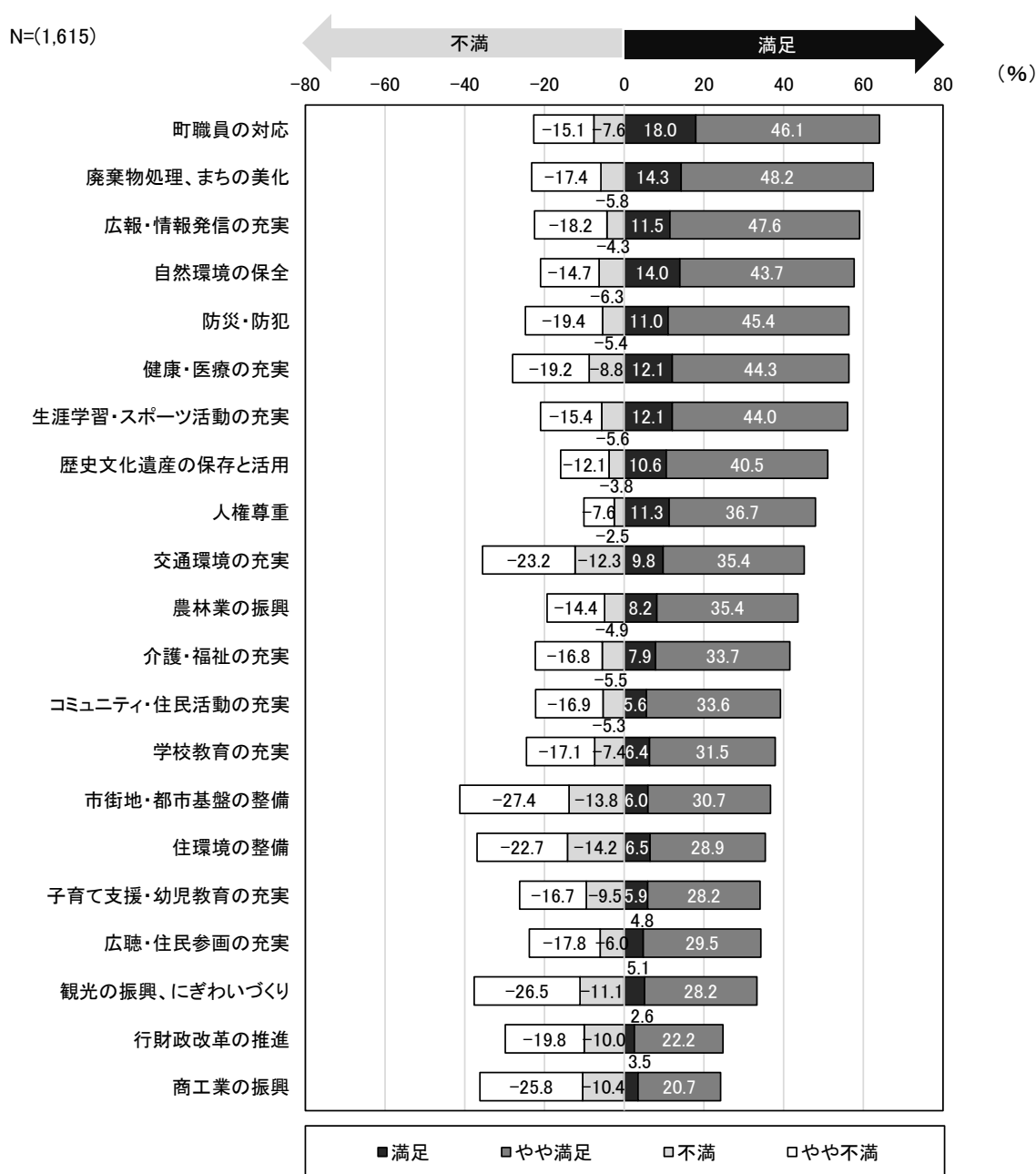
分類	件数	主な内容
自然・景観	76	自然豊か、景観がよい、水無瀬川、川遊びできる、山、緑、田畑、水、桜、ホテル、生物多い、空気がきれい など
環境と利便性の調和	27	交通の便がよく自然豊か・景観がよい など
まちの規模・雰囲気	24	小さな町でサービス受けやすい、ちょうどよい大きさ、人が多すぎない、ゆったり・のんびりしている など
まちの立地・利便性	22	交通の便がよい、京都・大阪に行きやすい、2WAY アクセス など
ひと・地域	20	人が親切、優しい、温かい、地域のつながり など
場所・施設	9	サントリー、水無瀬神宮、若山神社 など
町職員・行政の対応	7	町職員が親切、対応がよい など
公共施設	5	図書館、ふれあいセンター など
イベント	5	イベントが多い、夏まつり、体育祭、文化祭 など
歴史・文化	2	歴史・文化が豊か など
その他	22	静か、治安、子育て、スポーツ、ハイキング など

4 まちづくりの取組への評価

問 15 あなたが感じる島本町のまちづくりの取組への評価（満足度）をお答えください。
（項目ごとに単数回答）

島本町のまちづくりの取組への評価（満足度）について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「町職員の対応」と「廃棄物処理、まちの美化」が6割を超え、高くなっています。その他、「広報・情報発信」、「自然環境の保全」、「防災・防犯」、「健康・医療」、「生涯学習・スポーツ」、「歴史文化」の分野についても、満足系の回答が半数を超え、比較的高くなっています。

一方、「不満」と「やや不満」の合計割合では、「市街地・都市基盤の整備」、「観光の振興、にぎわいづくり」、「住環境の整備」、「商工業の振興」、「交通環境の充実」が3割から4割と、比較的高くなっています。



※満足度の高い順に並び替え（わからない、不明・無回答は除く）

問 15-1「人権尊重」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回答
全体		1,615 100.0	183 11.3	592 36.7	123 7.6	40 2.5	618 38.3	59 3.7
年代別	16～19歳	63 100.0	13 20.6	29 46.0	2 3.2	0 0.0	18 28.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	10 9.9	35 34.7	4 4.0	0 0.0	47 46.5	5 5.0
	30～39歳	195 100.0	19 9.7	60 30.8	16 8.2	8 4.1	90 46.2	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	29 11.3	94 36.7	22 8.6	6 2.3	100 39.1	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	28 11.9	87 36.9	12 5.1	4 1.7	101 42.8	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	9 7.2	39 31.2	15 12.0	2 1.6	57 45.6	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	26 7.5	138 40.0	31 9.0	8 2.3	123 35.7	19 5.5
	75歳以上	244 100.0	43 17.6	91 37.3	18 7.4	11 4.5	67 27.5	14 5.7
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	5 38.5	3 23.1	1 7.7	4 30.8	0 0.0
	若山台	165 100.0	11 6.7	65 39.4	16 9.7	3 1.8	62 37.6	8 4.8
	東大寺	139 100.0	9 6.5	55 39.6	16 11.5	4 2.9	52 37.4	3 2.2
	山崎	228 100.0	28 12.3	86 37.7	16 7.0	6 2.6	83 36.4	9 3.9
	広瀬	248 100.0	34 13.7	84 33.9	20 8.1	7 2.8	96 38.7	7 2.8
	百山	52 100.0	4 7.7	20 38.5	1 1.9	1 1.9	23 44.2	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	20 19.2	31 29.8	13 12.5	2 1.9	34 32.7	4 3.8
	青葉	203 100.0	29 14.3	68 33.5	9 4.4	7 3.4	84 41.4	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	25 13.0	82 42.7	12 6.3	2 1.0	64 33.3	7 3.6
	江川	165 100.0	13 7.9	56 33.9	9 5.5	4 2.4	79 47.9	4 2.4
	高浜	55 100.0	4 7.3	21 38.2	5 9.1	2 3.6	22 40.0	1 1.8
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	14 9.3	50 33.3	10 6.7	5 3.3	70 46.7	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	28 14.4	69 35.4	20 10.3	5 2.6	71 36.4	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	20 17.7	39 34.5	12 10.6	2 1.8	38 33.6	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	62 12.2	179 35.1	46 9.0	14 2.7	187 36.7	22 4.3
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	14 13.2	36 34.0	10 9.4	5 4.7	35 33.0	6 5.7
居住年数別	5年未満	106 100.0	9 8.5	32 30.2	3 2.8	2 1.9	57 53.8	3 2.8
	5年以上10年未 満	151 100.0	16 10.6	41 27.2	12 7.9	3 2.0	75 49.7	4 2.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	34 11.1	114 37.3	16 5.2	8 2.6	125 40.8	9 2.9
	20年以上	1,001 100.0	118 11.8	386 38.6	89 8.9	26 2.6	345 34.5	37 3.7

問 15-2「自然環境の保全」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回答
全体		1,615 100.0	226 14.0	706 43.7	237 14.7	102 6.3	295 18.3	49 3.0
年代別	16～19歳	63 100.0	22 34.9	18 28.6	10 15.9	2 3.2	10 15.9	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	15 14.9	44 43.6	9 8.9	3 3.0	26 25.7	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	24 12.3	87 44.6	25 12.8	19 9.7	38 19.5	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	33 12.9	113 44.1	36 14.1	26 10.2	44 17.2	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	33 14.0	99 41.9	37 15.7	11 4.7	52 22.0	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	9 7.2	50 40.0	24 19.2	9 7.2	30 24.0	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	42 12.2	152 44.1	60 17.4	21 6.1	55 15.9	15 4.3
	75歳以上	244 100.0	42 17.2	121 49.6	28 11.5	10 4.1	32 13.1	11 4.5
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	10 76.9	2 15.4	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	14 8.5	80 48.5	22 13.3	10 6.1	31 18.8	8 4.8
	東大寺	139 100.0	20 14.4	60 43.2	20 14.4	13 9.4	24 17.3	2 1.4
	山崎	228 100.0	27 11.8	118 51.8	26 11.4	12 5.3	38 16.7	7 3.1
	広瀬	248 100.0	43 17.3	99 39.9	31 12.5	18 7.3	53 21.4	4 1.6
	百山	52 100.0	7 13.5	24 46.2	8 15.4	1 1.9	9 17.3	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	14 13.5	40 38.5	22 21.2	10 9.6	14 13.5	4 3.8
	青葉	203 100.0	33 16.3	82 40.4	31 15.3	15 7.4	36 17.7	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	41 21.4	77 40.1	30 15.6	9 4.7	31 16.1	4 2.1
	江川	165 100.0	17 10.3	72 43.6	23 13.9	12 7.3	37 22.4	4 2.4
	高浜	55 100.0	4 7.3	22 40.0	14 25.5	1 1.8	13 23.6	1 1.8
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	16 10.7	72 48.0	22 14.7	15 10.0	24 16.0	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	26 13.3	90 46.2	25 12.8	20 10.3	32 16.4	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	24 21.2	45 39.8	13 11.5	9 8.0	20 17.7	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	76 14.9	219 42.9	77 15.1	39 7.6	83 16.3	16 3.1
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	12 11.3	47 44.3	21 19.8	8 7.5	15 14.2	3 2.8
居住年数別	5年未満	106 100.0	12 11.3	55 51.9	11 10.4	3 2.8	23 21.7	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	24 15.9	63 41.7	15 9.9	14 9.3	32 21.2	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	47 15.4	130 42.5	38 12.4	25 8.2	58 19.0	8 2.6
	20年以上	1,001 100.0	137 13.7	436 43.6	164 16.4	59 5.9	174 17.4	31 3.1

■問 15-3「廃棄物処理、まちの美化」の
クロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	231 14.3	779 48.2	281 17.4	93 5.8	185 11.5	46 2.8
年 代 別	16～19歳	63 100.0	12 19.0	27 42.9	11 17.5	2 3.2	8 12.7	3 4.8
	20～29歳	101 100.0	15 14.9	47 46.5	14 13.9	2 2.0	18 17.8	5 5.0
	30～39歳	195 100.0	28 14.4	99 50.8	28 14.4	8 4.1	30 15.4	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	27 10.5	112 43.8	50 19.5	21 8.2	41 16.0	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	25 10.6	111 47.0	43 18.2	22 9.3	31 13.1	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	10 8.0	66 52.8	19 15.2	9 7.2	18 14.4	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	40 11.6	175 50.7	71 20.6	18 5.2	27 7.8	14 4.1
	75歳以上	244 100.0	66 27.0	118 48.4	39 16.0	8 3.3	8 3.3	5 2.0
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	6 46.2	3 23.1	2 15.4	0 0.0	0 0.0
	若山台	165 100.0	25 15.2	72 43.6	34 20.6	9 5.5	19 11.5	6 3.6
	東大寺	139 100.0	17 12.2	69 49.6	22 15.8	9 6.5	19 13.7	3 2.2
	山崎	228 100.0	31 13.6	107 46.9	41 18.0	9 3.9	33 14.5	7 3.1
	広瀬	248 100.0	43 17.3	116 46.8	39 15.7	15 6.0	28 11.3	7 2.8
	百山	52 100.0	6 11.5	32 61.5	4 7.7	2 3.8	5 9.6	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	12 11.5	47 45.2	21 20.2	13 12.5	9 8.7	2 1.9
	青葉	203 100.0	31 15.3	107 52.7	26 12.8	11 5.4	23 11.3	5 2.5
	水無瀬	192 100.0	31 16.1	89 46.4	40 20.8	11 5.7	18 9.4	3 1.6
	江川	165 100.0	21 12.7	88 53.3	26 15.8	7 4.2	20 12.1	3 1.8
	高浜	55 100.0	4 7.3	23 41.8	19 34.5	2 3.6	6 10.9	1 1.8
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	19 12.7	70 46.7	28 18.7	9 6.0	23 15.3	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	23 11.8	88 45.1	43 22.1	13 6.7	25 12.8	3 1.5
	中学生のいる世 帯	113 100.0	18 15.9	44 38.9	17 15.0	9 8.0	21 18.6	4 3.5
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	73 14.3	254 49.8	99 19.4	24 4.7	46 9.0	14 2.7
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	12 11.3	58 54.7	21 19.8	5 4.7	8 7.5	2 1.9
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	14 13.2	48 45.3	14 13.2	8 7.5	20 18.9	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	22 14.6	70 46.4	24 15.9	7 4.6	24 15.9	4 2.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	38 12.4	135 44.1	62 20.3	20 6.5	42 13.7	9 2.9
	20年以上	1,001 100.0	149 14.9	502 50.1	174 17.4	55 5.5	95 9.5	26 2.6

■問 15-4「防災・防犯」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	178 11.0	734 45.4	313 19.4	88 5.4	250 15.5	52 3.2
年 代 別	16～19歳	63 100.0	18 28.6	29 46.0	5 7.9	1 1.6	9 14.3	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	12 11.9	43 42.6	15 14.9	4 4.0	23 22.8	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	20 10.3	76 39.0	43 22.1	16 8.2	38 19.5	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	15 5.9	101 39.5	81 31.6	16 6.3	38 14.8	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	23 9.7	107 45.3	45 19.1	17 7.2	38 16.1	6 2.5
	60～64歳	125 100.0	6 4.8	53 42.4	25 20.0	5 4.0	31 24.8	5 4.0
	65～74歳	345 100.0	34 9.9	167 48.4	62 18.0	19 5.5	47 13.6	16 4.6
	75歳以上	244 100.0	45 18.4	136 55.7	30 12.3	6 2.5	19 7.8	8 3.3
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	5 38.5	6 46.2	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	若山台	165 100.0	18 10.9	84 50.9	25 15.2	10 6.1	22 13.3	6 3.6
	東大寺	139 100.0	14 10.1	67 48.2	25 18.0	10 7.2	21 15.1	2 1.4
	山崎	228 100.0	28 12.3	105 46.1	42 18.4	14 6.1	31 13.6	8 3.5
	広瀬	248 100.0	33 13.3	96 38.7	50 20.2	18 7.3	45 18.1	6 2.4
	百山	52 100.0	7 13.5	22 42.3	12 23.1	0 0.0	8 15.4	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	9 8.7	45 43.3	26 25.0	8 7.7	11 10.6	5 4.8
	青葉	203 100.0	21 10.3	95 46.8	36 17.7	10 4.9	35 17.2	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	27 14.1	93 48.4	39 20.3	5 2.6	24 12.5	4 2.1
	江川	165 100.0	11 6.7	79 47.9	29 17.6	7 4.2	34 20.6	5 3.0
	高浜	55 100.0	4 7.3	22 40.0	16 29.1	1 1.8	11 20.0	1 1.8
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	14 9.3	63 42.0	39 26.0	12 8.0	21 14.0	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	13 6.7	89 45.6	55 28.2	13 6.7	23 11.8	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	12 10.6	48 42.5	27 23.9	6 5.3	18 15.9	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	57 11.2	241 47.3	99 19.4	21 4.1	76 14.9	16 3.1
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	11 10.4	61 57.5	16 15.1	7 6.6	9 8.5	2 1.9
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	7 6.6	47 44.3	18 17.0	7 6.6	25 23.6	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	17 11.3	61 40.4	28 18.5	11 7.3	31 20.5	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	33 10.8	140 45.8	67 21.9	14 4.6	42 13.7	10 3.3
	20年以上	1,001 100.0	116 11.6	465 46.5	192 19.2	52 5.2	144 14.4	32 3.2

問 15-5 「農林業の振興」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	133 8.2	572 35.4	232 14.4	79 4.9	542 33.6	57 3.5
年代別	16～19歳	63 100.0	8 12.7	28 44.4	6 9.5	2 3.2	17 27.0	2 3.2
	20～29歳	101 100.0	11 10.9	38 37.6	9 8.9	1 1.0	38 37.6	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	20 10.3	78 40.0	18 9.2	11 5.6	65 33.3	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	14 5.5	101 39.5	38 14.8	14 5.5	85 33.2	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	22 9.3	76 32.2	37 15.7	7 3.0	89 37.7	5 2.1
	60～64歳	125 100.0	4 3.2	38 30.4	19 15.2	7 5.6	54 43.2	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	20 5.8	120 34.8	57 16.5	26 7.5	107 31.0	15 4.3
	75歳以上	244 100.0	27 11.1	77 31.6	44 18.0	10 4.1	71 29.1	15 6.1
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	5 38.5	4 30.8	3 23.1	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	14 8.5	59 35.8	24 14.5	8 4.8	52 31.5	8 4.8
	東大寺	139 100.0	11 7.9	50 36.0	18 12.9	13 9.4	43 30.9	4 2.9
	山崎	228 100.0	19 8.3	77 33.8	36 15.8	5 2.2	82 36.0	9 3.9
	広瀬	248 100.0	27 10.9	87 35.1	35 14.1	14 5.6	81 32.7	4 1.6
	百山	52 100.0	5 9.6	22 42.3	7 13.5	0 0.0	15 28.8	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	8 7.7	36 34.6	19 18.3	8 7.7	29 27.9	4 3.8
	青葉	203 100.0	15 7.4	69 34.0	28 13.8	11 5.4	72 35.5	8 3.9
	水無瀬	192 100.0	13 6.8	79 41.1	24 12.5	8 4.2	63 32.8	5 2.6
	江川	165 100.0	11 6.7	54 32.7	22 13.3	6 3.6	68 41.2	4 2.4
	高浜	55 100.0	3 5.5	18 32.7	11 20.0	2 3.6	20 36.4	1 1.8
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	12 8.0	65 43.3	19 12.7	7 4.7	46 30.7	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	14 7.2	88 45.1	27 13.8	11 5.6	53 27.2	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	15 13.3	42 37.2	14 12.4	3 2.7	36 31.9	3 2.7
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	44 8.6	163 32.0	79 15.5	34 6.7	172 33.7	18 3.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	7 6.6	30 28.3	22 20.8	9 8.5	35 33.0	3 2.8
居住年数別	5年未満	106 100.0	8 7.5	42 39.6	5 4.7	3 2.8	45 42.5	3 2.8
	5年以上10年未 満	151 100.0	13 8.6	46 30.5	24 15.9	7 4.6	57 37.7	4 2.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	25 8.2	116 37.9	47 15.4	14 4.6	95 31.0	9 2.9
	20年以上	1,001 100.0	80 8.0	352 35.2	152 15.2	54 5.4	328 32.8	35 3.5

問 15-6 「商工業の振興」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	57 3.5	335 20.7	417 25.8	168 10.4	577 35.7	61 3.8
年代別	16～19歳	63 100.0	6 9.5	20 31.7	13 20.6	4 6.3	19 30.2	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	5 5.0	27 26.7	26 25.7	4 4.0	35 34.7	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	13 6.7	30 15.4	46 23.6	26 13.3	77 39.5	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	5 2.0	62 24.2	73 28.5	35 13.7	77 30.1	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	12 5.1	48 20.3	51 21.6	25 10.6	95 40.3	5 2.1
	60～64歳	125 100.0	0 0.0	21 16.8	30 24.0	12 9.6	58 46.4	4 3.2
	65～74歳	345 100.0	8 2.3	66 19.1	106 30.7	38 11.0	112 32.5	15 4.3
	75歳以上	244 100.0	6 2.5	53 21.7	60 24.6	20 8.2	86 35.2	19 7.8
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	2 15.4	4 30.8	2 15.4	5 38.5	0 0.0
	若山台	165 100.0	5 3.0	31 18.8	47 28.5	16 9.7	56 33.9	10 6.1
	東大寺	139 100.0	3 2.2	34 24.5	40 28.8	12 8.6	46 33.1	4 2.9
	山崎	228 100.0	9 3.9	48 21.1	57 25.0	17 7.5	89 39.0	8 3.5
	広瀬	248 100.0	10 4.0	55 22.2	52 21.0	35 14.1	88 35.5	8 3.2
	百山	52 100.0	2 3.8	5 9.6	19 36.5	3 5.8	20 38.5	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	1 1.0	23 22.1	27 26.0	9 8.7	39 37.5	5 4.8
	青葉	203 100.0	8 3.9	43 21.2	46 22.7	24 11.8	74 36.5	8 3.9
	水無瀬	192 100.0	10 5.2	40 20.8	55 28.6	18 9.4	65 33.9	4 2.1
	江川	165 100.0	6 3.6	35 21.2	41 24.8	21 12.7	59 35.8	3 1.8
	高浜	55 100.0	1 1.8	11 20.0	17 30.9	7 12.7	18 32.7	1 1.8
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	9 6.0	29 19.3	38 25.3	18 12.0	55 36.7	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	8 4.1	47 24.1	57 29.2	21 10.8	59 30.3	3 1.5
	中学生のいる世 帯	113 100.0	6 5.3	27 23.9	34 30.1	8 7.1	36 31.9	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	14 2.7	99 19.4	136 26.7	56 11.0	183 35.9	22 4.3
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	3 2.8	21 19.8	26 24.5	15 14.2	39 36.8	2 1.9
居住年数別	5年未満	106 100.0	5 4.7	17 16.0	27 25.5	10 9.4	45 42.5	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	11 7.3	20 13.2	40 26.5	22 14.6	55 36.4	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	15 4.9	71 23.2	71 23.2	29 9.5	108 35.3	12 3.9
	20年以上	1,001 100.0	24 2.4	219 21.9	267 26.7	102 10.2	351 35.1	38 3.8

■問 15-7「観光振興、にぎわいづくり」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	83 5.1	455 28.2	428 26.5	180 11.1	415 25.7	54 3.3
年代別	16～19歳	63 100.0	10 15.9	20 31.7	18 28.6	4 6.3	10 15.9	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	11 10.9	34 33.7	20 19.8	7 6.9	25 24.8	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	12 6.2	70 35.9	45 23.1	18 9.2	48 24.6	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	11 4.3	73 28.5	81 31.6	28 10.9	58 22.7	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	13 5.5	60 25.4	54 22.9	34 14.4	71 30.1	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	1 0.8	36 28.8	35 28.0	15 12.0	33 26.4	5 4.0
	65～74歳	345 100.0	11 3.2	80 23.2	108 31.3	44 12.8	86 24.9	16 4.6
	75歳以上	244 100.0	12 4.9	72 29.5	53 21.7	26 10.7	70 28.7	11 4.5
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	4 30.8	2 15.4	4 30.8	3 23.1	0 0.0
	若山台	165 100.0	10 6.1	39 23.6	43 26.1	19 11.5	47 28.5	7 4.2
	東大寺	139 100.0	5 3.6	40 28.8	37 26.6	13 9.4	41 29.5	3 2.2
	山崎	228 100.0	13 5.7	72 31.6	63 27.6	22 9.6	49 21.5	9 3.9
	広瀬	248 100.0	12 4.8	72 29.0	67 27.0	32 12.9	60 24.2	5 2.0
	百山	52 100.0	5 9.6	10 19.2	15 28.8	3 5.8	16 30.8	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	5 4.8	31 29.8	23 22.1	12 11.5	29 27.9	4 3.8
	青葉	203 100.0	8 3.9	61 30.0	47 23.2	25 12.3	55 27.1	7 3.4
	水無瀬	192 100.0	12 6.3	53 27.6	53 27.6	27 14.1	43 22.4	4 2.1
	江川	165 100.0	9 5.5	46 27.9	44 26.7	14 8.5	48 29.1	4 2.4
	高浜	55 100.0	2 3.6	17 30.9	20 36.4	5 9.1	10 18.2	1 1.8
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	10 6.7	57 38.0	39 26.0	11 7.3	32 21.3	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	18 9.2	66 33.8	55 28.2	14 7.2	40 20.5	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	10 8.8	30 26.5	31 27.4	12 10.6	27 23.9	3 2.7
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	23 4.5	147 28.8	131 25.7	62 12.2	130 25.5	17 3.3
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	3 2.8	26 24.5	23 21.7	18 17.0	33 31.1	3 2.8
居住年数別	5年未満	106 100.0	8 7.5	39 36.8	23 21.7	6 5.7	27 25.5	3 2.8
	5年以上10年未 満	151 100.0	10 6.6	44 29.1	43 28.5	11 7.3	40 26.5	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	24 7.8	87 28.4	70 22.9	37 12.1	80 26.1	8 2.6
	20年以上	1,001 100.0	39 3.9	275 27.5	278 27.8	121 12.1	254 25.4	34 3.4

■問 15-8「広報・情報発信」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	186 11.5	768 47.6	294 18.2	70 4.3	243 15.0	54 3.3
年代別	16～19歳	63 100.0	13 20.6	28 44.4	5 7.9	3 4.8	13 20.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	14 13.9	33 32.7	16 15.8	5 5.0	29 28.7	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	24 12.3	91 46.7	32 16.4	10 5.1	36 18.5	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	19 7.4	125 48.8	64 25.0	11 4.3	32 12.5	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	25 10.6	113 47.9	41 17.4	16 6.8	36 15.3	5 2.1
	60～64歳	125 100.0	9 7.2	63 50.4	26 20.8	2 1.6	21 16.8	4 3.2
	65～74歳	345 100.0	37 10.7	167 48.4	72 20.9	14 4.1	40 11.6	15 4.3
	75歳以上	244 100.0	39 16.0	127 52.0	32 13.1	7 2.9	27 11.1	12 4.9
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	5 38.5	5 38.5	1 7.7	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	23 13.9	74 44.8	32 19.4	6 3.6	21 12.7	9 5.5
	東大寺	139 100.0	16 11.5	64 46.0	26 18.7	7 5.0	22 15.8	4 2.9
	山崎	228 100.0	31 13.6	101 44.3	44 19.3	8 3.5	35 15.4	9 3.9
	広瀬	248 100.0	26 10.5	120 48.4	40 16.1	18 7.3	38 15.3	6 2.4
	百山	52 100.0	7 13.5	22 42.3	10 19.2	2 3.8	8 15.4	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	14 13.5	50 48.1	19 18.3	4 3.8	14 13.5	3 2.9
	青葉	203 100.0	20 9.9	96 47.3	37 18.2	7 3.4	37 18.2	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	23 12.0	98 51.0	42 21.9	9 4.7	17 8.9	3 1.6
	江川	165 100.0	14 8.5	87 52.7	22 13.3	4 2.4	35 21.2	3 1.8
	高浜	55 100.0	5 9.1	30 54.5	11 20.0	2 3.6	6 10.9	1 1.8
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	17 11.3	75 50.0	27 18.0	7 4.7	23 15.3	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	28 14.4	102 52.3	36 18.5	7 3.6	20 10.3	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	17 15.0	58 51.3	18 15.9	4 3.5	13 11.5	3 2.7
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	63 12.4	228 44.7	106 20.8	21 4.1	74 14.5	18 3.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	13 12.3	46 43.4	19 17.9	5 4.7	21 19.8	2 1.9
居住年数別	5年未満	106 100.0	13 12.3	53 50.0	14 13.2	4 3.8	20 18.9	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	14 9.3	73 48.3	28 18.5	5 3.3	28 18.5	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	41 13.4	139 45.4	50 16.3	18 5.9	48 15.7	10 3.3
	20年以上	1,001 100.0	112 11.2	482 48.2	196 19.6	41 4.1	137 13.7	33 3.3

■問 15-9「広聴・住民参画」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	77 4.8	476 29.5	288 17.8	97 6.0	617 38.2	60 3.7
年 代 別	16～19歳	63 100.0	6 9.5	18 28.6	6 9.5	2 3.2	30 47.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	8 7.9	19 18.8	17 16.8	1 1.0	52 51.5	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	9 4.6	61 31.3	31 15.9	13 6.7	79 40.5	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	9 3.5	74 28.9	54 21.1	22 8.6	93 36.3	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	13 5.5	72 30.5	34 14.4	20 8.5	93 39.4	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	2 1.6	33 26.4	24 19.2	9 7.2	54 43.2	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	12 3.5	109 31.6	73 21.2	17 4.9	116 33.6	18 5.2
	75歳以上	244 100.0	15 6.1	73 29.9	43 17.6	11 4.5	84 34.4	18 7.4
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	6 46.2	3 23.1	1 7.7	1 7.7	1 7.7
	若山台	165 100.0	7 4.2	44 26.7	34 20.6	10 6.1	61 37.0	9 5.5
	東大寺	139 100.0	6 4.3	33 23.7	28 20.1	7 5.0	62 44.6	3 2.2
	山崎	228 100.0	16 7.0	74 32.5	31 13.6	10 4.4	88 38.6	9 3.9
	広瀬	248 100.0	12 4.8	68 27.4	46 18.5	21 8.5	94 37.9	7 2.8
	百山	52 100.0	1 1.9	11 21.2	10 19.2	0 0.0	27 51.9	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	7 6.7	32 30.8	22 21.2	5 4.8	35 33.7	3 2.9
	青葉	203 100.0	9 4.4	59 29.1	33 16.3	15 7.4	81 39.9	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	13 6.8	64 33.3	35 18.2	10 5.2	65 33.9	5 2.6
	江川	165 100.0	2 1.2	52 31.5	25 15.2	14 8.5	69 41.8	3 1.8
	高浜	55 100.0	0 0.0	16 29.1	15 27.3	2 3.6	19 34.5	3 5.5
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	5 3.3	48 32.0	27 18.0	13 8.7	56 37.3	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	12 6.2	64 32.8	35 17.9	18 9.2	64 32.8	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	6 5.3	37 32.7	21 18.6	5 4.4	42 37.2	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	26 5.1	146 28.6	96 18.8	32 6.3	187 36.7	23 4.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	3 2.8	28 26.4	21 19.8	7 6.6	45 42.5	2 1.9
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	7 6.6	34 32.1	11 10.4	4 3.8	48 45.3	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	7 4.6	40 26.5	31 20.5	16 10.6	54 35.8	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	16 5.2	84 27.5	44 14.4	21 6.9	132 43.1	9 2.9
	20年以上	1,001 100.0	44 4.4	301 30.1	196 19.6	53 5.3	367 36.7	40 4.0

■問 15-10「コミュニティ・住民活動」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	91 5.6	543 33.6	273 16.9	86 5.3	566 35.0	56 3.5
年 代 別	16～19歳	63 100.0	10 15.9	21 33.3	5 7.9	3 4.8	23 36.5	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	8 7.9	28 27.7	14 13.9	3 3.0	44 43.6	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	13 6.7	59 30.3	26 13.3	11 5.6	84 43.1	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	7 2.7	85 33.2	55 21.5	13 5.1	92 35.9	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	13 5.5	73 30.9	35 14.8	15 6.4	96 40.7	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	2 1.6	46 36.8	20 16.0	5 4.0	49 39.2	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	17 4.9	117 33.9	76 22.0	19 5.5	100 29.0	16 4.6
	75歳以上	244 100.0	18 7.4	98 40.2	34 13.9	14 5.7	64 26.2	16 6.6
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	7 53.8	3 23.1	1 7.7	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	8 4.8	60 36.4	34 20.6	8 4.8	48 29.1	7 4.2
	東大寺	139 100.0	7 5.0	48 34.5	25 18.0	9 6.5	47 33.8	3 2.2
	山崎	228 100.0	14 6.1	89 39.0	33 14.5	9 3.9	74 32.5	9 3.9
	広瀬	248 100.0	20 8.1	62 25.0	36 14.5	19 7.7	105 42.3	6 2.4
	百山	52 100.0	2 3.8	19 36.5	7 13.5	2 3.8	19 36.5	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	9 8.7	32 30.8	19 18.3	6 5.8	35 33.7	3 2.9
	青葉	203 100.0	12 5.9	72 35.5	29 14.3	10 4.9	74 36.5	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	12 6.3	68 35.4	35 18.2	9 4.7	62 32.3	6 3.1
	江川	165 100.0	3 1.8	55 33.3	30 18.2	8 4.8	66 40.0	3 1.8
	高浜	55 100.0	1 1.8	16 29.1	14 25.5	2 3.6	20 36.4	2 3.6
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	7 4.7	57 38.0	22 14.7	8 5.3	55 36.7	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	10 5.1	69 35.4	39 20.0	11 5.6	64 32.8	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	7 6.2	40 35.4	19 16.8	6 5.3	39 34.5	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	30 5.9	172 33.7	93 18.2	28 5.5	167 32.7	20 3.9
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	5 4.7	30 28.3	25 23.6	5 4.7	39 36.8	2 1.9
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	9 8.5	34 32.1	8 7.5	3 2.8	50 47.2	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	7 4.6	39 25.8	31 20.5	9 6.0	62 41.1	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	21 6.9	97 31.7	48 15.7	20 6.5	111 36.3	9 2.9
	20年以上	1,001 100.0	51 5.1	358 35.8	178 17.8	50 5.0	328 32.8	36 3.6

問 15-11 「交通環境」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	159 9.8	572 35.4	374 23.2	198 12.3	261 16.2	51 3.2
年 代 別	16～19歳	63 100.0	19 30.2	24 38.1	7 11.1	1 1.6	11 17.5	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	13 12.9	39 38.6	18 17.8	4 4.0	23 22.8	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	17 8.7	68 34.9	50 25.6	28 14.4	30 15.4	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	18 7.0	87 34.0	68 26.6	36 14.1	43 16.8	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	23 9.7	68 28.8	57 24.2	17 15.7	47 19.9	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	4 3.2	43 34.4	36 28.8	12 9.6	27 21.6	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	24 7.0	145 42.0	74 21.4	39 11.3	46 13.3	17 4.9
	75歳以上	244 100.0	37 15.2	79 32.4	56 23.0	36 14.8	26 10.7	10 4.1
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	3 23.1	2 15.4	5 38.5	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	12 7.3	50 30.3	45 27.3	30 18.2	20 12.1	8 4.8
	東大寺	139 100.0	10 7.2	48 34.5	35 25.2	25 18.0	18 12.9	3 2.2
	山崎	228 100.0	16 7.0	83 36.4	56 24.6	31 13.6	35 15.4	7 3.1
	広瀬	248 100.0	30 12.1	87 35.1	55 22.2	25 10.1	45 18.1	6 2.4
	百山	52 100.0	4 7.7	19 36.5	13 25.0	4 7.7	9 17.3	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	11 10.6	31 29.8	32 30.8	9 8.7	19 18.3	2 1.9
	青葉	203 100.0	20 9.9	73 36.0	42 20.7	23 11.3	40 19.7	5 2.5
	水無瀬	192 100.0	29 15.1	74 38.5	42 21.9	14 7.3	28 14.6	5 2.6
	江川	165 100.0	19 11.5	61 37.0	30 18.2	20 12.1	32 19.4	3 1.8
	高浜	55 100.0	2 3.6	24 43.6	15 27.3	7 12.7	6 10.9	1 1.8
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	7 4.7	55 36.7	46 30.7	21 14.0	20 13.3	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	22 11.3	72 36.9	52 26.7	23 11.8	24 12.3	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	15 13.3	38 33.6	27 23.9	12 10.6	18 15.9	3 2.7
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	46 9.0	189 37.1	119 23.3	68 13.3	71 13.9	17 3.3
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	10 9.4	40 37.7	25 23.6	14 13.2	14 13.2	3 2.8
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	7 6.6	37 34.9	28 26.4	13 12.3	19 17.9	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	15 9.9	43 28.5	41 27.2	24 15.9	25 16.6	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	39 12.7	121 39.5	54 17.6	32 10.5	51 16.7	9 2.9
	20年以上	1,001 100.0	94 9.4	352 35.2	244 24.4	123 12.3	157 15.7	31 3.1

問 15-12 「住環境の整備」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	105 6.5	467 28.9	367 22.7	229 14.2	388 24.0	59 3.7
年 代 別	16～19歳	63 100.0	11 17.5	27 42.9	8 12.7	3 4.8	13 20.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	18 17.8	28 27.7	11 10.9	6 5.9	34 33.7	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	14 7.2	65 33.3	44 22.6	38 19.5	32 16.4	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	10 3.9	84 32.8	59 23.0	45 17.6	53 20.7	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	16 6.8	64 27.1	58 24.6	38 16.1	55 23.3	5 2.1
	60～64歳	125 100.0	3 2.4	29 23.2	24 19.2	22 17.6	43 34.4	4 3.2
	65～74歳	345 100.0	7 2.0	94 27.2	89 25.8	50 14.5	86 24.9	19 5.5
	75歳以上	244 100.0	24 9.8	64 26.2	62 25.4	22 9.0	59 24.2	13 5.3
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	3 23.1	2 15.4	3 23.1	4 30.8	0 0.0
	若山台	165 100.0	8 4.8	43 26.1	33 20.0	28 17.0	43 26.1	10 6.1
	東大寺	139 100.0	10 7.2	40 28.8	29 20.9	29 20.9	29 20.9	2 1.4
	山崎	228 100.0	13 5.7	69 30.3	55 24.1	30 13.2	53 23.2	8 3.5
	広瀬	248 100.0	19 7.7	68 27.4	57 23.0	35 14.1	61 24.6	8 3.2
	百山	52 100.0	5 9.6	18 34.6	10 19.2	4 7.7	12 23.1	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	7 6.7	30 28.8	24 23.1	13 12.5	27 26.0	3 2.9
	青葉	203 100.0	14 6.9	65 32.0	48 23.6	22 10.8	49 24.1	5 2.5
	水無瀬	192 100.0	17 8.9	55 28.6	44 22.9	27 14.1	41 21.4	8 4.2
	江川	165 100.0	7 4.2	51 30.9	35 21.2	23 13.9	46 27.9	3 1.8
	高浜	55 100.0	2 3.6	13 23.6	19 34.5	10 18.2	10 18.2	1 1.8
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	3 2.0	55 36.7	36 24.0	31 20.7	24 16.0	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	9 4.6	67 34.4	43 22.1	40 20.5	32 16.4	4 2.1
	中学生のいる世 帯	113 100.0	8 7.1	39 34.5	17 15.0	20 17.7	27 23.9	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	29 5.7	137 26.9	120 23.5	72 14.1	128 25.1	24 4.7
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	7 6.6	34 32.1	22 20.8	11 10.4	30 28.3	2 1.9
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	8 7.5	33 31.1	31 29.2	13 12.3	18 17.0	3 2.8
	5年以上10年未 満	151 100.0	7 4.6	47 31.1	29 19.2	27 17.9	38 25.2	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	23 7.5	98 32.0	62 20.3	47 15.4	66 21.6	10 3.3
	20年以上	1,001 100.0	65 6.5	277 27.7	234 23.4	137 13.7	251 25.1	37 3.7

■問 15-13「市街地・都市基盤の整備」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	97 6.0	495 30.7	443 27.4	223 13.8	298 18.5	59 3.7
年代別	16～19歳	63 100.0	15 23.8	26 41.3	6 9.5	3 4.8	12 19.0	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	12 11.9	33 32.7	19 18.8	4 4.0	29 28.7	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	10 5.1	69 35.4	53 27.2	29 14.9	31 15.9	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	11 4.3	84 32.8	79 30.9	44 17.2	34 13.3	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	14 5.9	65 27.5	60 25.4	43 18.2	48 20.3	6 2.5
	60～64歳	125 100.0	1 0.8	32 25.6	39 31.2	20 16.0	29 23.2	4 3.2
	65～74歳	345 100.0	11 3.2	91 26.4	115 33.3	45 13.0	66 19.1	17 4.9
	75歳以上	244 100.0	21 8.6	83 34.0	58 23.8	28 11.5	41 16.8	13 5.3
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	3 23.1	4 30.8	3 23.1	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	7 4.2	44 26.7	47 28.5	24 14.5	34 20.6	9 5.5
	東大寺	139 100.0	7 5.0	47 33.8	36 25.9	20 14.4	27 19.4	2 1.4
	山崎	228 100.0	11 4.8	78 34.2	62 27.2	27 11.8	43 18.9	7 3.1
	広瀬	248 100.0	19 7.7	66 26.6	64 25.8	42 16.9	51 20.6	6 2.4
	百山	52 100.0	5 9.6	17 32.7	13 25.0	4 7.7	10 19.2	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	6 5.8	27 26.0	26 25.0	23 22.1	19 18.3	3 2.9
	青葉	203 100.0	14 6.9	65 32.0	52 25.6	27 13.3	37 18.2	8 3.9
	水無瀬	192 100.0	16 8.3	58 30.2	61 31.8	22 11.5	28 14.6	7 3.6
	江川	165 100.0	7 4.2	63 38.2	41 24.8	18 10.9	33 20.0	3 1.8
	高浜	55 100.0	2 3.6	15 27.3	23 41.8	6 10.9	7 12.7	2 3.6
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	5 3.3	48 32.0	54 36.0	27 18.0	14 9.3	2 1.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	10 5.1	74 37.9	51 26.2	33 16.9	25 12.8	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	11 9.7	31 27.4	35 31.0	14 12.4	19 16.8	3 2.7
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	29 5.7	147 28.8	155 30.4	66 12.9	92 18.0	21 4.1
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	6 5.7	33 31.1	27 25.5	20 18.9	16 15.1	4 3.8
居住年数別	5年未満	106 100.0	6 5.7	38 35.8	30 28.3	12 11.3	18 17.0	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	9 6.0	38 25.2	46 30.5	28 18.5	27 17.9	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	25 8.2	103 33.7	73 23.9	39 12.7	53 17.3	13 4.2
	20年以上	1,001 100.0	55 5.5	304 30.4	280 28.0	136 13.6	192 19.2	34 3.4

■問 15-14「健康・医療」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	196 12.1	716 44.3	310 19.2	142 8.8	195 12.1	56 3.5
年代別	16～19歳	63 100.0	19 30.2	22 34.9	8 12.7	2 3.2	10 15.9	2 3.2
	20～29歳	101 100.0	16 15.8	42 41.6	14 13.9	3 3.0	22 21.8	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	16 8.2	84 43.1	48 24.6	28 14.4	16 8.2	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	18 7.0	102 39.8	67 26.2	32 12.5	33 12.9	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	26 11.0	95 40.3	47 19.9	28 11.9	35 14.8	5 2.1
	60～64歳	125 100.0	7 5.6	64 51.2	21 16.8	10 8.0	19 15.2	4 3.2
	65～74歳	345 100.0	39 11.3	160 46.4	75 21.7	22 6.4	36 10.4	13 3.8
	75歳以上	244 100.0	50 20.5	120 49.2	24 9.8	15 6.1	20 8.2	15 6.1
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	7 53.8	3 23.1	1 7.7	- -	0 0.0
	若山台	165 100.0	17 10.3	80 48.5	30 18.2	10 6.1	20 12.1	8 4.8
	東大寺	139 100.0	16 11.5	65 46.8	26 18.7	15 10.8	13 9.4	4 2.9
	山崎	228 100.0	24 10.5	112 49.1	33 14.5	21 9.2	29 12.7	9 3.9
	広瀬	248 100.0	31 12.5	92 37.1	55 22.2	29 11.7	34 13.7	7 2.8
	百山	52 100.0	5 9.6	19 36.5	14 26.9	5 9.6	6 11.5	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	12 11.5	43 41.3	18 17.3	9 8.7	19 18.3	3 2.9
	青葉	203 100.0	27 13.3	84 41.4	44 21.7	15 7.4	28 13.8	5 2.5
	水無瀬	192 100.0	33 17.2	90 46.9	34 17.7	14 7.3	18 9.4	3 1.6
	江川	165 100.0	17 10.3	73 44.2	32 19.4	17 10.3	22 13.3	4 2.4
	高浜	55 100.0	6 10.9	25 45.5	15 27.3	4 7.3	2 3.6	3 5.5
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	11 7.3	70 46.7	42 28.0	19 12.7	6 4.0	2 1.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	18 9.2	86 44.1	48 24.6	28 14.4	12 6.2	3 1.5
	中学生のいる世 帯	113 100.0	10 8.8	35 31.0	30 26.5	19 16.8	17 15.0	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	64 12.5	248 48.6	91 17.8	35 6.9	55 10.8	17 3.3
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	18 17.0	40 37.7	25 23.6	10 9.4	9 8.5	4 3.8
居住年数別	5年未満	106 100.0	13 12.3	43 40.6	27 25.5	9 8.5	12 11.3	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	13 8.6	55 36.4	42 27.8	18 11.9	19 12.6	4 2.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	39 12.7	124 40.5	58 19.0	32 10.5	42 13.7	11 3.6
	20年以上	1,001 100.0	126 12.6	468 46.8	176 17.6	81 8.1	117 11.7	33 3.3

■問 15-15「介護・福祉」のクロス集計

■問 15-16「子育て支援・幼児教育」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回答
全体		1,615 100.0	127 7.9	545 33.7	271 16.8	89 5.5	529 32.8	54 3.3
年代別	16～19歳	63 100.0	9 14.3	26 41.3	5 7.9	0 0.0	22 34.9	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	12 11.9	32 31.7	13 12.9	3 3.0	37 36.6	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	14 7.2	50 25.6	29 14.9	13 6.7	87 44.6	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	13 5.1	73 28.5	47 18.4	12 4.7	105 41.0	6 2.3
	50～59歳	236 100.0	15 6.4	81 34.3	37 15.7	17 7.2	82 34.7	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	2 1.6	34 27.2	25 20.0	11 8.8	50 40.0	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	30 8.7	129 37.4	72 20.9	22 6.4	78 22.6	14 4.1
	75歳以上	244 100.0	29 11.9	100 41.0	38 15.6	10 4.1	53 21.7	14 5.7
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	8 61.5	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0
	若山台	165 100.0	8 4.8	56 33.9	33 20.0	6 3.6	54 32.7	8 4.8
	東大寺	139 100.0	13 9.4	47 33.8	24 17.3	10 7.2	43 30.9	2 1.4
	山崎	228 100.0	16 7.0	69 30.3	35 15.4	13 5.7	86 37.7	9 3.9
	広瀬	248 100.0	27 10.9	78 31.5	40 16.1	21 8.5	75 30.2	7 2.8
	百山	52 100.0	3 5.8	13 25.0	9 17.3	0 0.0	24 46.2	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	11 10.6	37 35.6	16 15.4	4 3.8	34 32.7	2 1.9
	青葉	203 100.0	14 6.9	71 35.0	34 16.7	13 6.4	66 32.5	5 2.5
	水無瀬	192 100.0	19 9.9	77 40.1	35 18.2	8 4.2	48 25.0	5 2.6
	江川	165 100.0	9 5.5	48 29.1	25 15.2	8 4.8	72 43.6	3 1.8
	高浜	55 100.0	1 1.8	21 38.2	14 25.5	3 5.5	13 23.6	3 5.5
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	8 5.3	44 29.3	20 13.3	4 2.7	72 48.0	2 1.3
	小学生のいる世 帯	195 100.0	15 7.7	54 27.7	35 17.9	7 3.6	80 41.0	4 2.1
	中学生のいる世 帯	113 100.0	7 6.2	35 31.0	20 17.7	5 4.4	44 38.9	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	51 10.0	191 37.5	84 16.5	39 7.6	127 24.9	18 3.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	17 16.0	44 41.5	22 20.8	14 13.2	8 7.5	1 0.9
居住年数別	5年未満	106 100.0	10 9.4	27 25.5	11 10.4	6 5.7	50 47.2	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	7 4.6	35 23.2	25 16.6	8 5.3	72 47.7	4 2.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	21 6.9	103 33.7	45 14.7	13 4.2	116 37.9	8 2.6
	20年以上	1,001 100.0	86 8.6	359 35.9	185 18.5	61 6.1	276 27.6	34 3.4

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回答
全体		1,615 100.0	96 5.9	456 28.2	270 16.7	154 9.5	565 35.0	74 4.6
年代別	16～19歳	63 100.0	12 19.0	22 34.9	8 12.7	0 0.0	20 31.7	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	10 9.9	29 28.7	12 11.9	8 7.9	38 37.6	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	10 5.1	47 24.1	51 26.2	44 22.6	41 21.0	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	10 3.9	89 34.8	49 19.1	43 16.8	60 23.4	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	13 5.5	72 30.5	40 16.9	21 8.9	83 35.2	7 3.0
	60～64歳	125 100.0	3 2.4	31 24.8	20 16.0	9 7.2	59 47.2	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	17 4.9	96 27.8	59 17.1	16 4.6	139 40.3	18 5.2
	75歳以上	244 100.0	16 6.6	56 23.0	25 10.2	8 3.3	111 45.5	28 11.5
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	3 23.1	2 15.4	2 15.4	3 23.1	1 7.7
	若山台	165 100.0	9 5.5	47 28.5	22 13.3	14 8.5	64 38.8	9 5.5
	東大寺	139 100.0	6 4.3	42 30.2	22 15.8	15 10.8	48 34.5	6 4.3
	山崎	228 100.0	11 4.8	72 31.6	42 18.4	11 4.8	81 35.5	11 4.8
	広瀬	248 100.0	16 6.5	73 29.4	44 17.7	29 11.7	77 31.0	9 3.6
	百山	52 100.0	3 5.8	15 28.8	12 23.1	7 13.5	12 23.1	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	8 7.7	26 25.0	18 17.3	8 7.7	39 37.5	5 4.8
	青葉	203 100.0	8 3.9	53 26.1	26 12.8	24 11.8	84 41.4	8 3.9
	水無瀬	192 100.0	16 8.3	50 26.0	38 19.8	17 8.9	64 33.3	7 3.6
	江川	165 100.0	10 6.1	44 26.7	27 16.4	16 9.7	64 38.8	4 2.4
	高浜	55 100.0	2 3.6	17 30.9	11 20.0	6 10.9	16 29.1	3 5.5
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	5 3.3	38 25.3	53 35.3	49 32.7	4 2.7	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	15 7.7	75 38.5	48 24.6	43 22.1	12 6.2	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	7 6.2	41 36.3	26 23.0	18 15.9	18 15.9	3 2.7
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	30 5.9	130 25.5	70 13.7	24 4.7	230 45.1	26 5.1
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	6 5.7	23 21.7	15 14.2	9 8.5	48 45.3	5 4.7
居住年数別	5年未満	106 100.0	1 0.9	31 29.2	28 26.4	16 15.1	28 26.4	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	9 6.0	37 24.5	22 14.6	36 23.8	44 29.1	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	23 7.5	97 31.7	56 18.3	32 10.5	87 28.4	11 3.6
	20年以上	1,001 100.0	58 5.8	277 27.7	158 15.8	64 6.4	392 39.2	52 5.2

問 15-17「学校教育」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	103 6.4	509 31.5	276 17.1	120 7.4	533 33.0	74 4.6
年代別	16～19歳	63 100.0	19 30.2	29 46.0	5 7.9	2 3.2	7 11.1	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	11 10.9	30 29.7	16 15.8	4 4.0	36 35.6	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	10 5.1	65 33.3	39 20.0	20 10.3	59 30.3	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	15 5.9	92 35.9	60 23.4	35 13.7	50 19.5	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	15 6.4	73 30.9	37 15.7	21 8.9	82 34.7	8 3.4
	60～64歳	125 100.0	2 1.6	28 22.4	31 24.8	6 4.8	55 44.0	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	14 4.1	104 30.1	54 15.7	21 6.1	130 37.7	22 6.4
	75歳以上	244 100.0	12 4.9	73 29.9	29 11.9	6 2.5	100 41.0	24 9.8
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	4 30.8	5 38.5	0 0.0	4 30.8	0 0.0
	若山台	165 100.0	8 4.8	46 27.9	28 17.0	14 8.5	59 35.8	10 6.1
	東大寺	139 100.0	7 5.0	49 35.3	20 14.4	13 9.4	44 31.7	6 4.3
	山崎	228 100.0	11 4.8	75 32.9	49 21.5	10 4.4	73 32.0	10 4.4
	広瀬	248 100.0	16 6.5	79 31.9	42 16.9	26 10.5	76 30.6	9 3.6
	百山	52 100.0	5 9.6	19 36.5	9 17.3	4 7.7	12 23.1	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	6 5.8	31 29.8	17 16.3	8 7.7	37 35.6	5 4.8
	青葉	203 100.0	10 4.9	58 28.6	30 14.8	18 8.9	78 38.4	9 4.4
	水無瀬	192 100.0	22 11.5	56 29.2	36 18.8	14 7.3	58 30.2	6 3.1
	江川	165 100.0	11 6.7	56 33.9	24 14.5	5 3.0	64 38.8	5 3.0
	高浜	55 100.0	2 3.6	21 38.2	11 20.0	3 5.5	15 27.3	3 5.5
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	4 2.7	59 39.3	37 24.7	19 12.7	30 20.0	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	17 8.7	95 48.7	44 22.6	31 15.9	5 2.6	3 1.5
	中学生のいる世 帯	113 100.0	10 8.8	46 40.7	27 23.9	21 18.6	7 6.2	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	28 5.5	150 29.4	69 13.5	26 5.1	211 41.4	26 5.1
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	5 4.7	24 22.6	19 17.9	5 4.7	47 44.3	6 5.7
居住年数別	5年未満	106 100.0	3 2.8	39 36.8	12 11.3	7 6.6	43 40.6	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	12 7.9	38 25.2	34 22.5	18 11.9	45 29.8	4 2.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	28 9.2	125 40.8	48 15.7	30 9.8	65 21.2	10 3.3
	20年以上	1,001 100.0	55 5.5	291 29.1	176 17.6	60 6.0	367 36.7	52 5.2

問 15-18「生涯学習・スポーツ活動」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・無 回 答
全体		1,615 100.0	195 12.1	710 44.0	249 15.4	90 5.6	310 19.2	61 3.8
年代別	16～19歳	63 100.0	17 27.0	33 52.4	4 6.3	2 3.2	6 9.5	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	17 16.8	41 40.6	13 12.9	3 3.0	23 22.8	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	21 10.8	94 48.2	24 12.3	13 6.7	41 21.0	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	24 9.4	114 44.5	50 19.5	16 6.3	48 18.8	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	27 11.4	101 42.8	37 15.7	17 7.2	48 20.3	6 2.5
	60～64歳	125 100.0	5 4.0	58 46.4	25 20.0	6 4.8	28 22.4	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	35 10.1	145 42.0	67 19.4	22 6.4	60 17.4	16 4.6
	75歳以上	244 100.0	43 17.6	100 41.0	24 9.8	8 3.3	50 20.5	19 7.8
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	5 38.5	2 15.4	2 15.4	2 15.4	0 0.0
	若山台	165 100.0	18 10.9	79 47.9	26 15.8	8 4.8	26 15.8	8 4.8
	東大寺	139 100.0	15 10.8	58 41.7	25 18.0	11 7.9	27 19.4	3 2.2
	山崎	228 100.0	21 9.2	106 46.5	36 15.8	13 5.7	43 18.9	9 3.9
	広瀬	248 100.0	32 12.9	105 42.3	41 16.5	17 6.9	45 18.1	8 3.2
	百山	52 100.0	6 11.5	26 50.0	4 7.7	1 1.9	12 23.1	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	11 10.6	43 41.3	16 15.4	7 6.7	23 22.1	4 3.8
	青葉	203 100.0	29 14.3	82 40.4	27 13.3	12 5.9	47 23.2	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	27 14.1	90 46.9	31 16.1	9 4.7	29 15.1	6 3.1
	江川	165 100.0	24 14.5	65 39.4	24 14.5	6 3.6	43 26.1	3 1.8
	高浜	55 100.0	4 7.3	28 50.9	12 21.8	1 1.8	7 12.7	3 5.5
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	13 8.7	73 48.7	27 18.0	8 5.3	28 18.7	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	25 12.8	97 49.7	33 16.9	14 7.2	24 12.3	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	16 14.2	57 50.4	18 15.9	5 4.4	15 13.3	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	65 12.7	215 42.2	81 15.9	34 6.7	94 18.4	21 4.1
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	16 15.1	29 27.4	18 17.0	9 8.5	31 29.2	3 2.8
居住年数別	5年未満	106 100.0	7 6.6	47 44.3	10 9.4	5 4.7	35 33.0	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	17 11.3	55 36.4	29 19.2	11 7.3	36 23.8	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	45 14.7	141 46.1	39 12.7	17 5.6	54 17.6	10 3.3
	20年以上	1,001 100.0	120 12.0	443 44.3	165 16.5	54 5.4	179 17.9	40 4.0

■問 15-19「歴史文化遺産の保存と活用」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	171 10.6	654 40.5	195 12.1	62 3.8	470 29.1	63 3.9
年 代 別	16～19歳	63 100.0	16 25.4	27 42.9	5 7.9	0 0.0	14 22.2	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	20 19.8	37 36.6	7 6.9	0 0.0	33 32.7	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	15 7.7	80 41.0	14 7.2	7 3.6	76 39.0	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	26 10.2	110 43.0	30 11.7	10 3.9	76 29.7	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	21 8.9	99 41.9	31 13.1	10 4.2	71 30.1	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	6 4.8	47 37.6	18 14.4	8 6.4	43 34.4	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	27 7.8	149 43.2	58 16.8	11 3.2	83 24.1	17 4.9
	75歳以上	244 100.0	35 14.3	90 36.9	27 11.1	12 4.9	61 25.0	19 7.8
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	5 38.5	4 30.8	1 7.7	1 7.7	0 0.0
	若山台	165 100.0	11 6.7	63 38.2	23 13.9	8 4.8	50 30.3	10 6.1
	東大寺	139 100.0	11 7.9	55 39.6	13 9.4	8 5.8	50 36.0	2 1.4
	山崎	228 100.0	24 10.5	93 40.8	35 15.4	5 2.2	61 26.8	10 4.4
	広瀬	248 100.0	27 10.9	99 39.9	30 12.1	12 4.8	72 29.0	8 3.2
	百山	52 100.0	6 11.5	22 42.3	4 7.7	1 1.9	16 30.8	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	11 10.6	41 39.4	16 15.4	4 3.8	27 26.0	5 4.8
	青葉	203 100.0	31 15.3	84 41.4	22 10.8	8 3.9	53 26.1	5 2.5
	水無瀬	192 100.0	29 15.1	80 41.7	26 13.5	6 3.1	46 24.0	5 2.6
	江川	165 100.0	10 6.1	73 44.2	12 7.3	5 3.0	61 37.0	4 2.4
	高浜	55 100.0	4 7.3	24 43.6	5 9.1	0 0.0	21 38.2	1 1.8
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	10 6.7	66 44.0	12 8.0	6 4.0	55 36.7	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	19 9.7	86 44.1	24 12.3	6 3.1	58 29.7	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	17 15.0	50 44.2	11 9.7	4 3.5	29 25.7	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	50 9.8	200 39.2	67 13.1	29 5.7	142 27.8	22 4.3
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	8 7.5	38 35.8	20 18.9	5 4.7	32 30.2	3 2.8
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	8 7.5	46 43.4	4 3.8	4 3.8	42 39.6	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	19 12.6	54 35.8	12 7.9	4 2.6	59 39.1	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	37 12.1	131 42.8	32 10.5	6 2.0	91 29.7	9 2.9
	20年以上	1,001 100.0	102 10.2	408 40.8	142 14.2	43 4.3	265 26.5	41 4.1

■問 15-20「行財政改革」のクロス集計

上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	42 2.6	358 22.2	320 19.8	161 10.0	665 41.2	69 4.3
年 代 別	16～19歳	63 100.0	7 11.1	18 28.6	6 9.5	2 3.2	28 44.4	2 3.2
	20～29歳	101 100.0	8 7.9	24 23.8	11 10.9	5 5.0	49 48.5	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	4 2.1	46 23.6	30 15.4	20 10.3	92 47.2	3 1.5
	40～49歳	256 100.0	2 0.8	55 21.5	69 27.0	24 9.4	101 39.5	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	8 3.4	47 19.9	45 19.1	28 11.9	104 44.1	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	1 0.8	22 17.6	22 17.6	20 16.0	57 45.6	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	6 1.7	72 20.9	80 23.2	38 11.0	132 38.3	17 4.9
	75歳以上	244 100.0	5 2.0	65 26.6	51 20.9	18 7.4	80 32.8	25 10.2
居 住 地 区 別	大沢、尺代	13 100.0	0 0.0	3 23.1	3 23.1	3 23.1	3 23.1	1 7.7
	若山台	165 100.0	2 1.2	37 22.4	26 15.8	17 10.3	71 43.0	12 7.3
	東大寺	139 100.0	2 1.4	32 23.0	26 18.7	15 10.8	59 42.4	5 3.6
	山崎	228 100.0	5 2.2	46 20.2	49 21.5	16 7.0	100 43.9	12 5.3
	広瀬	248 100.0	10 4.0	60 24.2	48 19.4	33 13.3	89 35.9	8 3.2
	百山	52 100.0	2 3.8	14 26.9	8 15.4	0 0.0	25 48.1	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	5 4.8	19 18.3	24 23.1	12 11.5	39 37.5	5 4.8
	青葉	203 100.0	6 3.0	45 22.2	34 16.7	24 11.8	88 43.3	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	6 3.1	47 24.5	46 24.0	18 9.4	71 37.0	4 2.1
	江川	165 100.0	2 1.2	34 20.6	34 20.6	12 7.3	80 48.5	3 1.8
	高浜	55 100.0	1 1.8	12 21.8	16 29.1	5 9.1	19 34.5	2 3.6
世 帯 類 型 別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	2 1.3	36 24.0	27 18.0	15 10.0	69 46.0	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	2 1.0	52 26.7	43 22.1	18 9.2	77 39.5	3 1.5
	中学生のいる世 帯	113 100.0	3 2.7	27 23.9	26 23.0	12 10.6	42 37.2	3 2.7
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	11 2.2	111 21.8	106 20.8	55 10.8	204 40.0	23 4.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	2 1.9	21 19.8	27 25.5	9 8.5	42 39.6	5 4.7
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	1 0.9	27 25.5	15 14.2	5 4.7	56 52.8	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	2 1.3	29 19.2	30 19.9	17 11.3	70 46.4	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	11 3.6	72 23.5	53 17.3	29 9.5	129 42.2	12 3.9
	20年以上	1,001 100.0	27 2.7	221 22.1	216 21.6	103 10.3	388 38.8	46 4.6

■問 15-21 「町職員の対応」のクロス集計

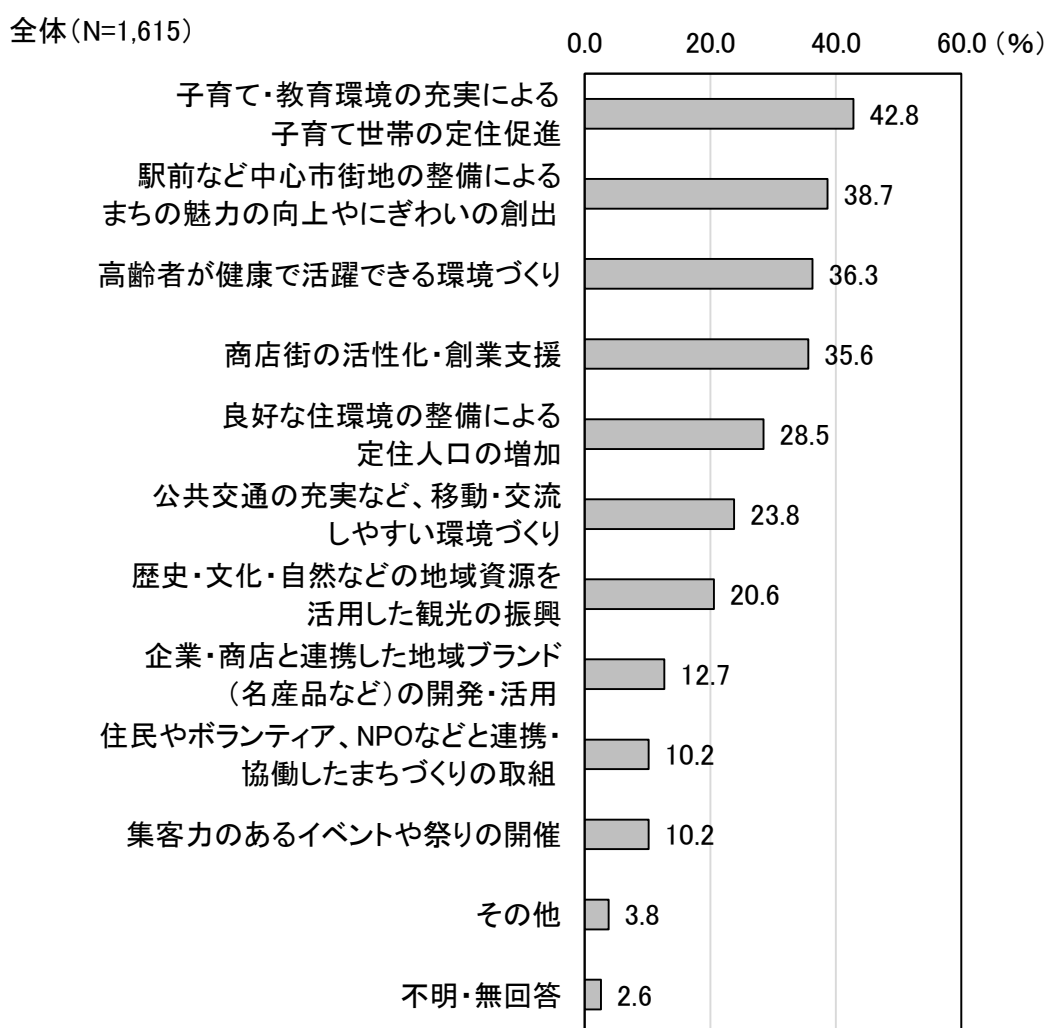
上段:件数 下段:%		調査 数	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わ か ら な い	不明・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	290 18.0	744 46.1	244 15.1	122 7.6	166 10.3	49 3.0
年代別	16～19歳	63 100.0	17 27.0	19 30.2	8 12.7	2 3.2	15 23.8	2 3.2
	20～29歳	101 100.0	15 14.9	41 40.6	12 11.9	6 5.9	23 22.8	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	29 14.9	87 44.6	34 17.4	22 11.3	21 10.8	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	38 14.8	117 45.7	43 16.8	23 9.0	30 11.7	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	44 18.6	102 43.2	33 14.0	20 8.5	33 14.0	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	15 12.0	64 51.2	22 17.6	11 8.8	10 8.0	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	67 19.4	167 48.4	57 16.5	22 6.4	19 5.5	13 3.8
	75歳以上	244 100.0	58 23.8	128 52.5	24 9.8	13 5.3	9 3.7	12 4.9
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	5 38.5	3 23.1	3 23.1	0 0.0	0 0.0
	若山台	165 100.0	26 15.8	84 50.9	20 12.1	18 10.9	12 7.3	5 3.0
	東大寺	139 100.0	26 18.7	67 48.2	18 12.9	12 8.6	13 9.4	3 2.2
	山崎	228 100.0	43 18.9	102 44.7	30 13.2	17 7.5	27 11.8	9 3.9
	広瀬	248 100.0	47 19.0	103 41.5	38 15.3	21 8.5	31 12.5	8 3.2
	百山	52 100.0	9 17.3	24 46.2	6 11.5	3 5.8	7 13.5	3 5.8
	桜井、桜井台	104 100.0	22 21.2	47 45.2	18 17.3	7 6.7	6 5.8	4 3.8
	青葉	203 100.0	30 14.8	98 48.3	29 14.3	16 7.9	26 12.8	4 2.0
	水無瀬	192 100.0	44 22.9	90 46.9	31 16.1	9 4.7	14 7.3	4 2.1
	江川	165 100.0	28 17.0	77 46.7	29 17.6	10 6.1	18 10.9	3 1.8
	高浜	55 100.0	5 9.1	29 52.7	11 20.0	3 5.5	6 10.9	1 1.8
世帯 類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	21 14.0	76 50.7	26 17.3	14 9.3	12 8.0	1 0.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	30 15.4	90 46.2	36 18.5	13 6.7	24 12.3	2 1.0
	中学生のいる世 帯	113 100.0	21 18.6	46 40.7	16 14.2	7 6.2	21 18.6	2 1.8
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	101 19.8	247 48.4	76 14.9	32 6.3	36 7.1	18 3.5
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	24 22.6	52 49.1	12 11.3	9 8.5	7 6.6	2 1.9
居住 年数別	5年未満	106 100.0	13 12.3	55 51.9	17 16.0	6 5.7	13 12.3	2 1.9
	5年以上10年未 満	151 100.0	31 20.5	65 43.0	23 15.2	13 8.6	16 10.6	3 2.0
	10年以上20年 未満	306 100.0	53 17.3	129 42.2	46 15.0	23 7.5	45 14.7	10 3.3
	20年以上	1,001 100.0	186 18.6	475 47.5	147 14.7	77 7.7	86 8.6	30 3.0

5 今後のまちづくりの取組について

【まちの活性化、にぎわいづくり】

問 16 あなたは、まちに活力やにぎわいをもたらすためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで複数回答）

まちに活力やにぎわいをもたらすために力を入れるべきことについては、「子育て・教育環境の充実による子育て世帯の定住促進」が 42.8%と最も高く、次いで「駅前など中心市街地の整備によるまちの魅力の向上やにぎわいの創出」が 38.7%、「高齢者が健康で活躍できる環境づくり」が 36.3%となっています。



■問 16「活力やにぎわいをもたらす施策」のクロス集計（年代別・居住地区別）

年代別にみると、16～19 歳と 50 歳代では「商店街の活性化・創業支援」、20～40 歳代では「子育て・教育環境の充実による子育て世帯の定住促進」、60 歳以上では「高齢者が健康で活躍できる環境づくり」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	良好な住環境の増加	子育て・教育環境の充実による子育て世帯の定住促進	高齢者が健康で活躍できる環境づくり	商店街の活性化・創業支援	駅前など中心市街地の向上にぎわいの創出	公共交通の充実など、移動・交流しやすい環境づくり	企業・商店と連携した地域ブランドの開発・活用	住民やボランティアの連携・協働	歴史・文化・自然などの地域資源を活用した観光の振興	集客力のあるイベントや祭りの開催	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	461 28.5	691 42.8	587 36.3	575 35.6	625 38.7	385 23.8	205 12.7	165 10.2	333 20.6	165 10.2	62 3.8	42 2.6
年代別	16～19歳	63 100.0	10 15.9	20 31.7	5 7.9	31 49.2	27 42.9	10 15.9	10 15.9	4 6.3	9 14.3	21 33.3	4 6.3	0 0.0
	20～29歳	101 100.0	23 22.8	45 44.6	19 18.8	33 32.7	43 42.6	23 22.8	17 16.8	6 5.9	18 17.8	15 14.9	7 6.9	2 2.0
	30～39歳	195 100.0	31 15.9	128 65.6	47 24.1	80 41.0	81 41.5	42 21.5	22 11.3	18 9.2	40 20.5	24 12.3	7 3.6	1 0.5
	40～49歳	256 100.0	58 22.7	143 55.9	69 27.0	92 35.9	110 43.0	61 23.8	42 16.4	20 7.8	53 20.7	25 9.8	14 5.5	4 1.6
	50～59歳	236 100.0	80 33.9	87 36.9	84 35.6	100 42.4	91 38.6	62 26.3	25 10.6	28 11.9	39 16.5	21 8.9	11 4.7	4 1.7
	60～64歳	125 100.0	45 36.0	42 33.6	52 41.6	51 40.8	38 30.4	33 26.4	19 15.2	14 11.2	25 20.0	14 11.2	2 1.6	4 3.2
	65～74歳	345 100.0	96 27.8	136 39.4	165 47.8	104 30.1	140 40.6	82 23.8	38 11.0	46 13.3	93 27.0	25 7.2	10 2.9	8 2.3
	75歳以上	244 100.0	102 41.8	71 29.1	129 52.9	63 25.8	82 33.6	66 27.0	24 9.8	23 9.4	47 19.3	13 5.3	5 2.0	13 5.3
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	6 46.2	5 38.5	8 61.5	2 15.4	6 46.2	6 46.2	0 0.0	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	若山台	165 100.0	49 29.7	66 40.0	66 40.0	50 30.3	65 39.4	58 35.2	15 9.1	24 14.5	39 23.6	15 9.1	8 4.8	2 1.2
	東大寺	139 100.0	36 25.9	65 46.8	44 31.7	47 33.8	48 34.5	36 25.9	15 10.8	15 10.8	31 22.3	14 10.1	8 5.8	4 2.9
	山崎	228 100.0	66 28.9	95 41.7	92 40.4	68 29.8	84 36.8	72 31.6	25 11.0	25 11.0	59 25.9	19 8.3	8 3.5	4 1.8
	広瀬	248 100.0	59 23.8	104 41.9	89 35.9	90 36.3	94 37.9	50 20.2	38 15.3	20 8.1	54 21.8	31 12.5	9 3.6	4 1.6
	百山	52 100.0	22 42.3	28 53.8	14 26.9	25 48.1	25 48.1	8 15.4	8 15.4	3 5.8	6 11.5	7 13.5	0 0.0	1 1.9
	桜井、桜井台	104 100.0	32 30.8	45 43.3	36 34.6	32 30.8	37 35.6	23 22.1	15 14.4	9 8.7	22 21.2	12 11.5	2 1.9	4 3.8
	青葉	203 100.0	56 27.6	83 40.9	80 39.4	68 33.5	77 37.9	49 24.1	30 14.8	27 13.3	38 18.7	15 7.4	7 3.4	6 3.0
	水無瀬	192 100.0	69 35.9	80 41.7	66 34.4	69 35.9	83 43.2	28 14.6	25 13.0	19 9.9	40 20.8	17 8.9	12 6.3	7 3.6
	江川	165 100.0	36 21.8	75 45.5	55 33.3	77 46.7	64 38.8	39 23.6	20 12.1	12 7.3	24 14.5	19 11.5	5 3.0	4 2.4
	高浜	55 100.0	13 23.6	25 45.5	21 38.2	25 45.5	28 50.9	9 16.4	6 10.9	5 9.1	9 16.4	8 14.5	1 1.8	0 0.0

■問 16「活力やにぎわいをもたらす施策」のクロス集計（世帯類型別・居住年数別）

世帯類型別にみると、【中学生以下の子どもがいる世帯】では「子育て・教育環境の充実による子育て世帯の定住促進」、【高齢者・介護を必要とする方のいる世帯】では「高齢者が健康で活躍できる環境づくり」が最も高くなっています。

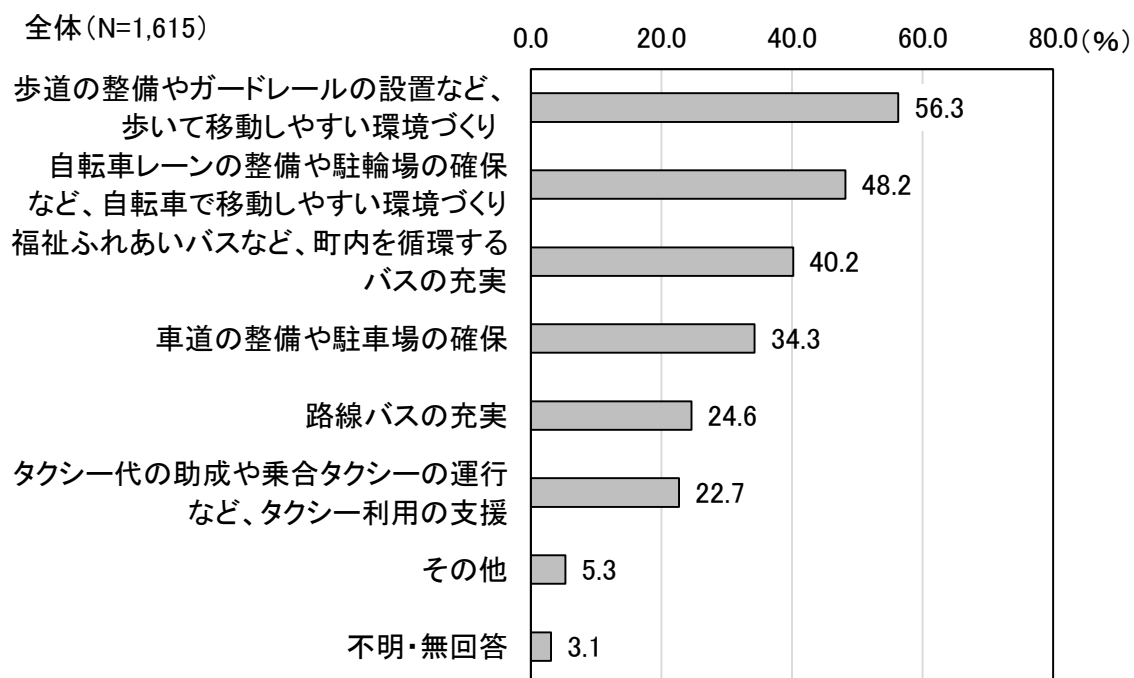
居住年数別にみると、20 年未満では「子育て・教育環境の充実による子育て世帯の定住促進」、20 年以上では「高齢者が健康で活躍できる環境づくり」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	良好な住環境の増加による定住人口の増加	子育て・教育環境の充実による子育て世帯の定住促進	高齢者が健康で活躍できる環境づくり	商店街の活性化・創業支援	駅前など中心市街地の向上にぎわいの創出	公共交通の充実など、移動・交流しやすい環境づくり	企業・商店と連携した地域ブランド（名産品など）の開発・活用	住民やボランティア、NPOなどと連携・協働したまちづくりの取組	歴史・文化・自然などの地域資源を活用した観光の振興	集客力のあるイベントや祭りの開催	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	461 28.5	691 42.8	587 36.3	575 35.6	625 38.7	385 23.8	205 12.7	165 10.2	333 20.6	165 10.2	62 3.8	42 2.6
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	24 16.0	123 82.0	30 20.0	58 38.7	60 40.0	31 20.7	14 9.3	10 6.7	26 17.3	16 10.7	9 6.0	2 1.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	36 18.5	140 71.8	42 21.5	78 40.0	83 42.6	40 20.5	25 12.8	13 6.7	35 17.9	27 13.8	7 3.6	2 1.0
	中学生のいる世帯	113 100.0	24 21.2	57 50.4	16 14.2	38 33.6	51 45.1	24 21.2	25 22.1	9 8.0	21 18.6	16 14.2	8 7.1	0 0.0
	65歳以上の高齢者のいる世帯	510 100.0	150 29.4	189 37.1	232 45.5	158 31.0	192 37.6	128 25.1	62 12.2	58 11.4	129 25.3	49 9.6	20 3.9	12 2.4
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	36 34.0	32 30.2	52 49.1	30 28.3	45 42.5	29 27.4	12 11.3	13 12.3	22 20.8	9 8.5	5 4.7	2 1.9
	5年未満	106 100.0	24 22.6	65 61.3	18 17.0	48 45.3	45 42.5	28 26.4	9 8.5	8 7.5	20 18.9	10 9.4	4 3.8	1 0.9
居住年数別	5年以上10年未満	151 100.0	41 27.2	93 61.6	39 25.8	63 41.7	64 42.4	28 18.5	19 12.6	16 10.6	27 17.9	10 6.6	11 7.3	1 0.7
	10年以上20年未満	306 100.0	64 20.9	132 43.1	74 24.2	113 36.9	123 40.2	69 22.5	51 16.7	22 7.2	62 20.3	45 14.7	15 4.9	9 2.9
	20年以上	1,001 100.0	315 31.5	381 38.1	438 43.8	330 33.0	380 38.0	254 25.4	118 11.8	113 11.3	215 21.5	93 9.3	30 3.0	25 2.5

【交通環境の充実】

問 17 あなたは、島本町の交通環境を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで複数回答）

島本町の交通環境の充実のために力を入れるべきことについては、「歩道の整備やガードレールの設置など、歩いて移動しやすい環境づくり」が 56.3%と最も高く、次いで「自転車レーンの整備や駐輪場の確保など、自転車で移動しやすい環境づくり」が 48.2%、「福祉ふれあいバスなど、町内を循環するバスの充実」が 40.2%となっています。



■問 17「交通環境を充実させる施策」のクロス集計（年代別）

年代別にみると、16～19 歳では「自転車で移動しやすい環境づくり」、30 歳以上では「歩いて移動しやすい環境づくり」、20 歳代では前記の両項目が最も高くなっています。また、60 歳以上では、「町内を循環するバスの充実」も比較的高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	歩道の整備やガードレールの設置など、歩いて移動しやすい環境づくり	自転車のレーンの整備や駐輪場の確保など、自転車で移動しやすい環境づくり	車道の整備や駐車場の確保	福祉ふれあいバスの充実など、町内を循環するバスの充実	路線バスの充実	タクシー代の助成や乗合タクシーの運行など、タクシー利用の支援	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	909 56.3	779 48.2	554 34.3	650 40.2	397 24.6	367 22.7	85 5.3	50 3.1
年代別	16～19歳	63 100.0	23 36.5	34 54.0	8 12.7	20 31.7	19 30.2	4 6.3	4 6.3	3 4.8
	20～29歳	101 100.0	52 51.5	52 51.5	33 32.7	29 28.7	20 19.8	15 14.9	7 6.9	4 4.0
	30～39歳	195 100.0	118 60.5	103 52.8	81 41.5	57 29.2	42 21.5	31 15.9	14 7.2	5 2.6
	40～49歳	256 100.0	145 56.6	125 48.8	110 43.0	75 29.3	72 28.1	43 16.8	21 8.2	5 2.0
	50～59歳	236 100.0	136 57.6	121 51.3	77 32.6	92 39.0	63 26.7	51 21.6	11 4.7	6 2.5
	60～64歳	125 100.0	62 49.6	52 41.6	47 37.6	55 44.0	39 31.2	30 24.0	6 4.8	4 3.2
	65～74歳	345 100.0	208 60.3	162 47.0	113 32.8	168 48.7	81 23.5	94 27.2	14 4.1	6 1.7
	75歳以上	244 100.0	138 56.6	108 44.3	69 28.3	135 55.3	52 21.3	93 38.1	6 2.5	11 4.5

■問 17「交通環境を充実させる施策」のクロス集計（居住地区別）

居住地区別にみると、大沢・尺代と若山台では「町内を循環するバスの充実」、百山、桜井・桜井台、高浜では「自転車で移動しやすい環境づくり」、それ以外の地区では「歩いて移動しやすい環境づくり」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	設置など、歩道の整備や歩きやすい環境づくり	自転車の確保など、自転車の整備や移動しやすい環境づくり	車道の整備や駐車場の確保	福祉ふれあいのバスなど、町内を循環するバスの充実	路線バスの充実	タクシー代の助成や乗合タクシーの運行など、タクシーの支援	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	909 56.3	779 48.2	554 34.3	650 40.2	397 24.6	367 22.7	85 5.3	50 3.1
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	3 23.1	5 38.5	5 38.5	9 69.2	6 46.2	5 38.5	0 0.0	0 0.0
	若山台	165 100.0	65 39.4	60 36.4	53 32.1	82 49.7	75 45.5	51 30.9	9 5.5	4 2.4
	東大寺	139 100.0	82 59.0	76 54.7	53 38.1	56 40.3	32 23.0	31 22.3	7 5.0	5 3.6
	山崎	228 100.0	127 55.7	92 40.4	77 33.8	109 47.8	58 25.4	52 22.8	16 7.0	6 2.6
	広瀬	248 100.0	149 60.1	117 47.2	104 41.9	81 32.7	55 22.2	53 21.4	11 4.4	5 2.0
	百山	52 100.0	27 51.9	31 59.6	20 38.5	14 26.9	14 26.9	10 19.2	1 1.9	2 3.8
	桜井、桜井台	104 100.0	46 44.2	50 48.1	36 34.6	46 44.2	19 18.3	30 28.8	3 2.9	5 4.8
	青葉	203 100.0	126 62.1	104 51.2	73 36.0	82 40.4	48 23.6	47 23.2	10 4.9	5 2.5
	水無瀬	192 100.0	120 62.5	101 52.6	57 29.7	67 34.9	31 16.1	37 19.3	17 8.9	8 4.2
	江川	165 100.0	104 63.0	86 52.1	38 23.0	61 37.0	37 22.4	32 19.4	7 4.2	4 2.4
	高浜	55 100.0	32 58.2	34 61.8	21 38.2	24 43.6	13 23.6	13 23.6	2 3.6	0 0.0

■問 17「交通環境を充実させる施策」のクロス集計（世帯類型別・居住年数別）

世帯類型別にみると、中学生のいる世帯では「自転車で移動しやすい環境づくり」、それ以外の世帯では「歩いて移動しやすい環境づくり」が最も高くなっています。

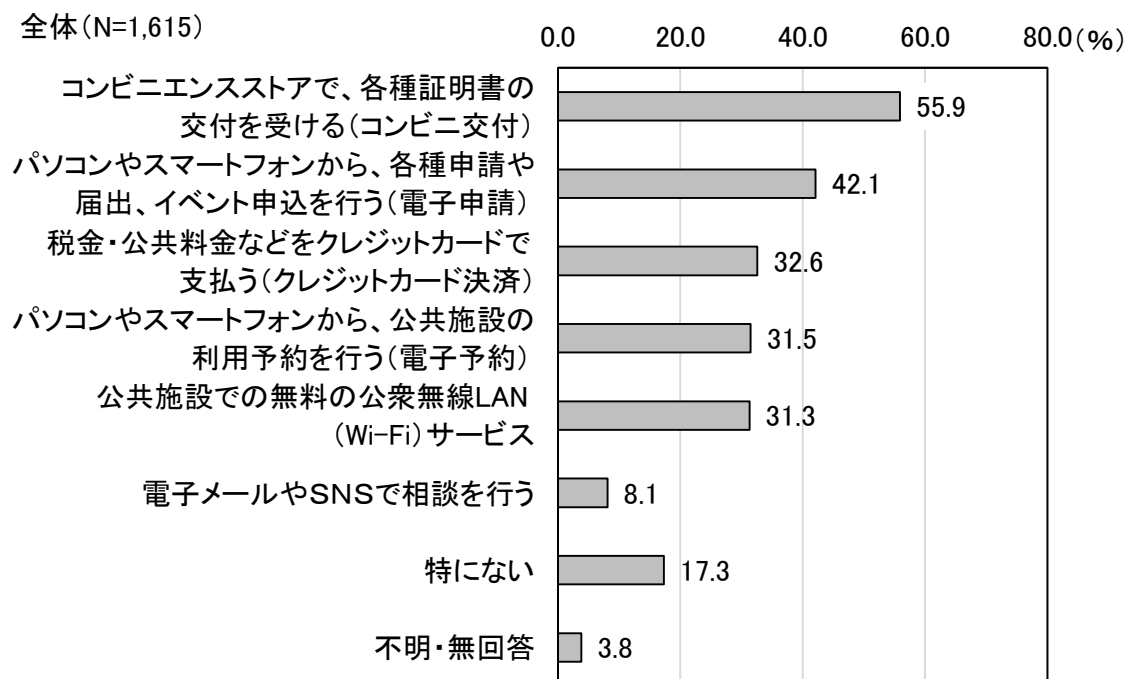
居住年数別にみると、いずれの区分においても「歩いて移動しやすい環境づくり」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	い設置歩 環境道の づくりの 整備 や 歩き ガ ー ド レ ー ス の	やの自 す確転 い保車 環なレ 境境ど づく の 自 転 車 で 移 動 し 場	車 道の 整備 や 駐 車 場 の 確 保	を福 循社 環ふ する あ い バ ス の 充 実 、 町 内	路 線 バ ス の 充 実	用シ のー 支の 援運 行 な ど 、 タ ク シ ー タ 利 ク	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	909 56.3	779 48.2	554 34.3	650 40.2	397 24.6	367 22.7	85 5.3	50 3.1
世帯 類型 別	就学前の乳幼児の いる世帯	150 100.0	94 62.7	77 51.3	63 42.0	47 31.3	33 22.0	18 12.0	10 6.7	4 2.7
	小学生のいる世帯	195 100.0	115 59.0	111 56.9	93 47.7	42 21.5	48 24.6	22 11.3	17 8.7	5 2.6
	中学生のいる世帯	113 100.0	53 46.9	67 59.3	48 42.5	36 31.9	26 23.0	11 9.7	10 8.8	4 3.5
	65歳以上の高齢者 のいる世帯	510 100.0	313 61.4	236 46.3	170 33.3	243 47.6	129 25.3	145 28.4	18 3.5	12 2.4
	介護を必要とする 方のいる世帯	106 100.0	64 60.4	56 52.8	39 36.8	51 48.1	26 24.5	38 35.8	3 2.8	0 0.0
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	61 57.5	54 50.9	37 34.9	37 34.9	26 24.5	20 18.9	9 8.5	1 0.9
	5年以上10年未満	151 100.0	95 62.9	80 53.0	57 37.7	48 31.8	38 25.2	26 17.2	11 7.3	2 1.3
	10年以上20年未満	306 100.0	161 52.6	159 52.0	105 34.3	86 28.1	82 26.8	39 12.7	19 6.2	15 4.9
	20年以上	1,001 100.0	565 56.4	463 46.3	339 33.9	459 45.9	242 24.2	275 27.5	44 4.4	26 2.6

【情報通信技術を活用したサービス】

問 18 あなたは、次のサービスを利用したいと思いますか。(複数回答)

利用したいと思うサービスについては、「コンビニ交付」が55.9%と最も高く、次いで「電子申請」が42.1%、「クレジットカード決済」が32.6%となっています。



■問 18「情報通信技術を活用しサービスの利用意向」のクロス集計（年代別）

年代別にみると、16～19 歳では「公共施設での公衆無線 LAN サービス」、それ以外の年代では「コンビニ交付」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	コンビニ交付 （各種サービスの受け取り）	各種サービスの受け取り （各種サービスの受け取り）	税金・公共料金などの支払い （クレジットカード）	ら、各種申請や届出、イン ト申込を行う（電子申請）	パソコンやスマートフォン （電子予約）	パソコンやスマートフォン （電子予約）	電子メールやSNSで相談を 行う	公共施設での無料の公衆無線 LAN（Wi-Fi）サービス	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	902 55.9	527 32.6	680 42.1	508 31.5	131 8.1	506 31.3	280 17.3	62 3.8		
年代別	16～19歳	63 100.0	25 39.7	9 14.3	30 47.6	30 47.6	8 12.7	46 73.0	3 4.8	0 0.0		
	20～29歳	101 100.0	73 72.3	35 34.7	63 62.4	55 54.5	8 7.9	49 48.5	4 4.0	2 2.0		
	30～39歳	195 100.0	131 67.2	110 56.4	124 63.6	85 43.6	31 15.9	83 42.6	12 6.2	2 1.0		
	40～49歳	256 100.0	158 61.7	132 51.6	146 57.0	120 46.9	31 12.1	96 37.5	20 7.8	3 1.2		
	50～59歳	236 100.0	142 60.2	86 36.4	124 52.5	81 34.3	23 9.7	80 33.9	29 12.3	5 2.1		
	60～64歳	125 100.0	75 60.0	40 32.0	51 40.8	29 23.2	6 4.8	34 27.2	23 18.4	6 4.8		
	65～74歳	345 100.0	161 46.7	74 21.4	99 28.7	78 22.6	14 4.1	85 24.6	99 28.7	8 2.3		
	75歳以上	244 100.0	110 45.1	24 9.8	29 11.9	21 8.6	5 2.0	20 8.2	85 34.8	28 11.5		

■問 18「情報通信技術を活用しサービスの利用意向」のクロス集計（世帯類型別・居住年数別）

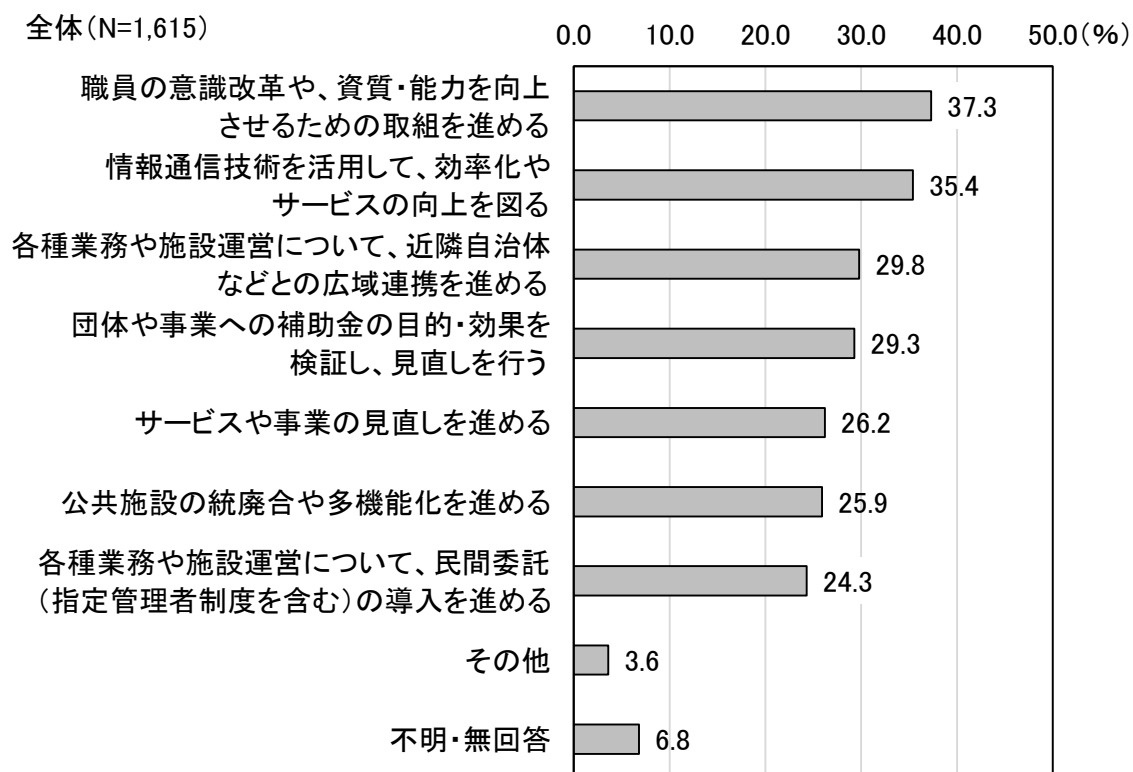
世帯類型別にみると、中学生のいる世帯では「公共施設での公衆無線 LAN サービス」、それ以外の世帯区分では「コンビニ交付」が最も高くなっています。

上段：件数 下段：%		調 査 数	種 証 明 書 の 交 付 を 受 け る （ コ ン ビ ニ 交 付 ）	コ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア で 、 各 種 証 明 書 の 交 付 を 受 け る （ コ ン ビ ニ 交 付 ）	ジ ツ ト カ ー ド 決 済 ）	税 金 ・ 公 共 料 金 な ど を ク レ ジ ット カ ー ド で 支 払 う （ ク レ ジ ット カ ー ド 決 済 ）	ら、各 種申 込を行 う（電 子申 請）	パ ソ コ ン や ス マ ー ト フ オ ン か ら、公 共施 設の 利用 予約 を行 う（電 子予 約）	パ ソ コ ン や ス マ ー ト フ オ ン か ら、公 共施 設の 利用 予約 を行 う（電 子予 約）	電 子 メ ー ル や Ｓ Ｎ Ｓ で 相 談 を 行 う	ビ ス ネ ス （ Ｗ ｉ － Ｆ ｉ ） サ ー ビ ス の 無 料 の 公 衆 無 線 Ｌ Ａ Ｎ	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	902 55.9	527 32.6	680 42.1	508 31.5	131 8.1	506 31.3	280 17.3	62 3.8			
世帯 類型 別	就学前の乳幼児の いる世帯	150 100.0	101 67.3	90 60.0	99 66.0	70 46.7	31 20.7	58 38.7	5 3.3	3 2.0			
	小学生のいる世帯	195 100.0	125 64.1	110 56.4	114 58.5	105 53.8	26 13.3	86 44.1	9 4.6	2 1.0			
	中学生のいる世帯	113 100.0	56 49.6	45 39.8	62 54.9	58 51.3	11 9.7	64 56.6	8 7.1	2 1.8			
	65歳以上の高齢者 のいる世帯	510 100.0	242 47.5	99 19.4	155 30.4	118 23.1	26 5.1	116 22.7	146 28.6	22 4.3			
	介護を必要とする 方のいる世帯	106 100.0	65 61.3	33 31.1	44 41.5	26 24.5	8 7.5	22 20.8	20 18.9	4 3.8			
	居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	79 74.5	66 62.3	70 66.0	49 46.2	14 13.2	33 31.1	2 1.9	0 0.0		
5年以上10年未満		151 100.0	94 62.3	71 47.0	94 62.3	65 43.0	21 13.9	52 34.4	12 7.9	3 2.0			
10年以上20年未満		306 100.0	163 53.3	105 34.3	149 48.7	124 40.5	30 9.8	134 43.8	33 10.8	13 4.2			
20年以上		1,001 100.0	538 53.7	267 26.7	352 35.2	261 26.1	61 6.1	274 27.4	227 22.7	39 3.9			

【行財政改革】

問 19 あなたは、限られた財源と人員の中で、効率的かつ効果的に行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。（3つまで複数回答）

効率的かつ効果的に行政サービスを提供するために必要な方策については、「職員の意識改革や、資質・能力を向上させるための取組を進める」が 37.3%と最も高く、次いで「情報通信技術を活用して、効率化やサービスの向上を図る」が 35.4%、「各種業務や施設運営について、近隣自治体などとの広域連携を進める」が 29.8%となっています。



■問 19「行財政改革の方策」のクロス集計（年代別・世帯類型別・居住年数別）

年代別にみると、50 歳代以下では「情報通信技術の活用」、60 歳以上では「職員の資質・能力向上」が最も高くなっています。

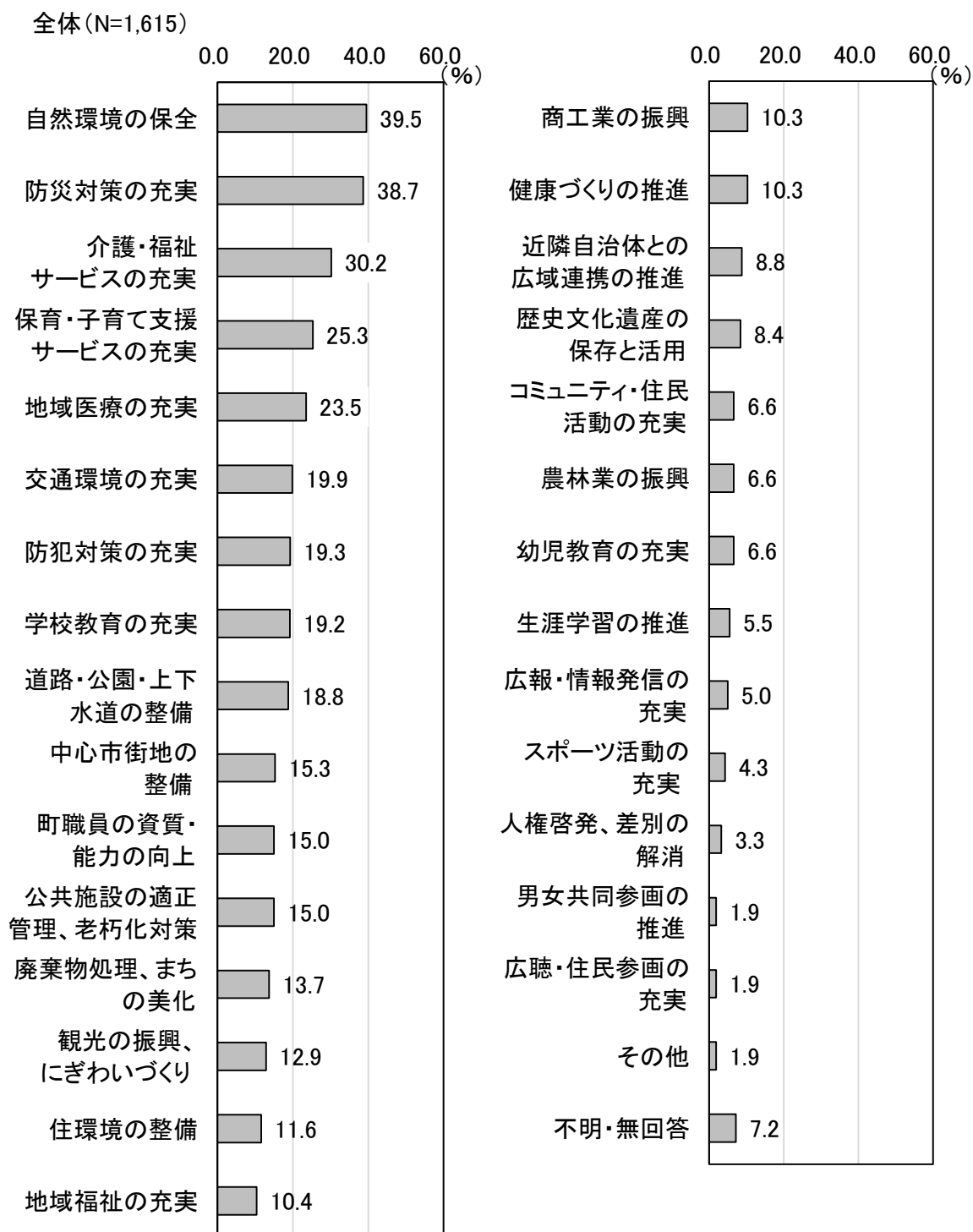
世帯類型別にみると、【中学生以下の子どもがいる世帯】では「情報通信技術の活用」、【高齢者または介護の必要な方のいる世帯】では「職員の資質・能力向上」が最も高くなっています。

居住年数別にみると、20 年未満では「情報通信技術の活用」、20 年以上では「職員の資質・能力向上」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	各種業務や施設運営について、民間委託（指定管理を含む）の導入を進める	各種業務や施設運営に隣接する自治体などとの連携を進める	各種業務や施設運営について、近隣自治体などとの連携を進める	情報通信技術を活用した効率化やサービスの向上を図る	公共施設の統廃合や多機能化を進める	サービスの事業の見直しを進める	団体の事業への補助金の交付や事業効果の検証、見直しを行う	職員の意識改革や、資質・能力を向上させるための取組を進める	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	393 24.3	482 29.8	572 35.4	418 25.9	423 26.2	473 29.3	602 37.3	58 3.6	110 6.8	
年代別	16～19歳	63 100.0	8 12.7	13 20.6	28 44.4	21 33.3	10 15.9	7 11.1	17 27.0	4 6.3	3 4.8	
		101 100.0	22 21.8	21 20.8	49 48.5	27 26.7	27 26.7	27 26.7	26 25.7	3 3.0	8 7.9	
	20～29歳	195 100.0	44 22.6	63 32.3	92 47.2	42 21.5	69 35.4	51 26.2	63 32.3	7 3.6	7 3.6	
		256 100.0	70 27.3	73 28.5	115 44.9	62 24.2	71 27.7	63 24.6	105 41.0	13 5.1	9 3.5	
	30～39歳	236 100.0	71 30.1	64 27.1	99 41.9	64 27.1	61 25.8	79 33.5	85 36.0	6 2.5	10 4.2	
		125 100.0	34 27.2	35 28.0	38 30.4	33 26.4	37 29.6	41 32.8	50 40.0	7 5.6	6 4.8	
	40～49歳	345 100.0	85 24.6	107 31.0	92 26.7	98 28.4	77 22.3	129 37.4	142 41.2	14 4.1	22 6.4	
		244 100.0	52 21.3	91 37.3	42 17.2	68 27.9	56 23.0	66 27.0	95 38.9	4 1.6	36 14.8	
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	43 28.7	54 36.0	63 42.0	38 25.3	51 34.0	36 24.0	48 32.0	7 4.7	6 4.0	
		195 100.0	57 29.2	64 32.8	78 40.0	54 27.7	53 27.2	58 29.7	66 33.8	11 5.6	6 3.1	
	小学生のいる世帯	113 100.0	37 32.7	32 28.3	48 42.5	27 23.9	26 23.0	26 23.0	41 36.3	7 6.2	8 7.1	
		510 100.0	108 21.2	162 31.8	149 29.2	130 25.5	133 26.1	169 33.1	213 41.8	14 2.7	31 6.1	
	65歳以上の高齢者のいる世帯	106 100.0	23 21.7	37 34.9	34 32.1	30 28.3	28 26.4	37 34.9	46 43.4	1 0.9	5 4.7	
		106 100.0	23 21.7	37 34.9	34 32.1	30 28.3	28 26.4	37 34.9	46 43.4	1 0.9	5 4.7	
	居住年数別	5年未満	106 100.0	37 34.9	36 34.0	46 43.4	25 23.6	31 29.2	22 20.8	25 23.6	2 1.9	7 6.6
			151 100.0	35 23.2	51 33.8	64 42.4	41 27.2	48 31.8	39 25.8	44 29.1	9 6.0	8 5.3
5年以上10年未満		306 100.0	68 22.2	69 22.5	126 41.2	84 27.5	70 22.9	96 31.4	101 33.0	14 4.6	23 7.5	
		1,001 100.0	245 24.5	311 31.1	319 31.9	264 26.4	259 25.9	306 30.6	412 41.2	33 3.3	63 6.3	
10年以上20年未満		1,001 100.0	245 24.5	311 31.1	319 31.9	264 26.4	259 25.9	306 30.6	412 41.2	33 3.3	63 6.3	
		1,001 100.0	245 24.5	311 31.1	319 31.9	264 26.4	259 25.9	306 30.6	412 41.2	33 3.3	63 6.3	
20年以上		1,001 100.0	245 24.5	311 31.1	319 31.9	264 26.4	259 25.9	306 30.6	412 41.2	33 3.3	63 6.3	
		1,001 100.0	245 24.5	311 31.1	319 31.9	264 26.4	259 25.9	306 30.6	412 41.2	33 3.3	63 6.3	

問 20 今後 10 年間のまちづくりで、特に力をいれるべき施策分野をお答えください。
(5つまで複数回答)

今後 10 年間のまちづくりで、特に力をいれるべき施策分野については、「自然環境の保全」が 39.5%と最も高く、次いで「防災対策の充実」が 38.7%、「介護・福祉サービスの充実」が 30.2%となっています。



■問 20「今後 10 年間で力を入れるべき施策分野」のクロス集計（年代別）

年代別にみると、30 歳代では「保育・子育て支援サービスの充実」、それ以外の年代では「自然環境の保全」または「防災対策の充実」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査 数	人 権 啓 発 、 差	男 女 共 同 参 画	全 自 然 環 境 の 保	廃 棄 物 処 理 、 ま ち の 美 化	実 防 災 対 策 の 充	実 防 犯 対 策 の 充	農 林 業 の 振 興	商 工 業 の 振 興	に 観 光 の 振 興 、 く	信 の 充 ・ 実 情 報 発	広 聴 ・ 住 民 参	動 の 充 ・ 住 民 活	コ ミ ュ ニ テ ィ ・ 住 民 活	交 通 環 境 の 充	住 環 境 の 整 備	整 備 中 心 市 街 地 の	備 上 道 路 ・ 水 道 ・ 公 園 ・ 整 ・
全体		1,615 100.0	54 3.3	31 1.9	638 39.5	221 13.7	625 38.7	312 19.3	106 6.6	167 10.3	209 12.9	80 5.0	30 1.9	107 6.6	321 19.9	188 11.6	247 15.3	304 18.8	
年 代 別	16～19歳	63 100.0	3 4.8	1 1.6	22 34.9	9 14.3	19 30.2	8 12.7	7 11.1	8 12.7	19 30.2	2 3.2	0 0.0	2 3.2	12 19.0	5 7.9	17 27.0	12 19.0	
	20～29歳	101 100.0	2 2.0	0 0.0	31 30.7	9 8.9	39 38.6	22 21.8	8 7.9	10 9.9	19 18.8	1 1.0	1 1.0	12 11.9	17 16.8	15 14.9	20 19.8	17 16.8	
	30～39歳	195 100.0	8 4.1	2 1.0	73 37.4	19 9.7	79 40.5	44 22.6	10 5.1	23 11.8	25 12.8	9 4.6	3 1.5	8 4.1	35 17.9	20 10.3	28 14.4	47 24.1	
	40～49歳	256 100.0	2 0.8	5 2.0	102 39.8	29 11.3	90 35.2	46 18.0	19 7.4	34 13.3	36 14.1	9 3.5	5 2.0	16 6.3	54 21.1	26 10.2	51 19.9	50 19.5	
	50～59歳	236 100.0	6 2.5	2 0.8	90 38.1	32 13.6	94 39.8	43 18.2	16 6.8	25 10.6	18 7.6	15 6.4	6 2.5	19 8.1	51 21.6	25 10.6	38 16.1	39 16.5	
	60～64歳	125 100.0	4 3.2	2 1.6	45 36.0	11 8.8	41 32.8	25 20.0	6 4.8	13 10.4	19 15.2	5 4.0	1 0.8	10 8.0	31 24.8	22 17.6	14 11.2	28 22.4	
	65～74歳	345 100.0	14 4.1	9 2.6	159 46.1	54 15.7	142 41.2	64 18.6	24 7.0	30 8.7	37 10.7	18 5.2	10 2.9	27 7.8	64 18.6	43 12.5	51 14.8	60 17.4	
	75歳以上	244 100.0	13 5.3	6 2.5	101 41.4	52 21.3	102 41.8	53 21.7	12 4.9	18 7.4	34 13.9	21 8.6	4 1.6	9 3.7	51 20.9	28 11.5	21 8.6	38 15.6	

上段:件数 下段:%		調査 数	推 進 健 康 づ く り の	実 地 域 医 療 の 充	実 サ ー ビ ス ・ 福 祉 の 充	実 地 域 福 祉 の 充	の 支 援 育 サ ー ビ 子 育 ス テ	実 幼 児 教 育 の 充	実 学 校 教 育 の 充	進 生 涯 学 習 の 推	の ス ポ ー ツ 活 動	の 歴 史 文 化 遺 産 と 活 用	推 進 近 隣 自 治 体 と の 連 携	化 正 公 共 管 理 ・ 老 朽 の 適 切 な 処 理	質 ・ 職 員 の 資 力 の 充 て	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	167 10.3	379 23.5	488 30.2	168 10.4	409 25.3	106 6.6	310 19.2	89 5.5	70 4.3	136 8.4	142 8.8	242 15.0	243 15.0	31 1.9	116 7.2
年 代 別	16～19歳	63 100.0	0 0.0	9 14.3	10 15.9	3 4.8	15 23.8	6 9.5	15 23.8	2 3.2	8 12.7	5 7.9	2 3.2	12 19.0	7 11.1	3 4.8	2 3.2
	20～29歳	101 100.0	9 8.9	17 16.8	18 17.8	9 8.9	33 32.7	14 13.9	16 15.8	3 3.0	6 5.9	11 10.9	6 5.9	11 10.9	10 9.9	2 2.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	11 5.6	38 19.5	35 17.9	11 5.6	99 50.8	37 19.0	80 41.0	5 2.6	10 5.1	9 4.6	12 6.2	32 16.4	23 11.8	4 2.1	9 4.6
	40～49歳	256 100.0	10 3.9	60 23.4	65 25.4	23 9.0	78 30.5	15 5.9	71 27.7	8 3.1	15 5.9	17 6.6	19 7.4	42 16.4	34 13.3	8 3.1	15 5.9
	50～59歳	236 100.0	22 9.3	68 28.8	72 30.5	30 12.7	52 22.0	13 5.5	25 10.6	12 5.1	11 4.7	17 7.2	19 8.1	29 12.3	38 16.1	5 2.1	21 8.9
	60～64歳	125 100.0	23 18.4	35 28.0	43 34.4	16 12.8	28 22.4	1 0.8	15 12.0	11 8.8	3 2.4	8 6.4	12 9.6	19 15.2	21 16.8	4 3.2	14 11.2
	65～74歳	345 100.0	44 12.8	89 25.8	133 38.6	46 13.3	63 18.3	11 3.2	40 11.6	27 7.8	14 4.1	40 11.6	40 11.6	54 15.7	57 16.5	3 0.9	21 6.1
	75歳以上	244 100.0	43 17.6	52 21.3	99 40.6	27 11.1	30 12.3	4 1.6	41 16.8	17 7.0	2 0.8	26 10.7	29 11.9	35 14.3	46 18.9	1 0.4	17 7.0

■問 20「今後 10 年間で力を入れるべき施策分野」のクロス集計（居住地区別）

居住地区別にみると、百山では「保育・子育て支援サービスの充実」、高浜では「介護・福祉サービスの充実」、それ以外の地区では「自然環境の保全」または「防災対策の充実」が最も高くなっています。

上段：件数 下段：%		調査数	人権啓発、差別の解消	進男女共同参画の推進	自然環境の保全	廃棄物処理、まちの美化	防災対策の充実	防犯対策の充実	農林業の振興	商工業の振興	観光の振興、にぎわいつくり	広報・情報発信の充実	広聴・住民参画の充実	コミュニティ・住民活動の充実	交通環境の充実	住環境の整備	中心市街地の整備	水道路・公園・上下
全体		1,615 100.0	54 3.3	31 1.9	638 39.5	221 13.7	625 38.7	312 19.3	106 6.6	167 10.3	209 12.9	80 5.0	30 1.9	107 6.6	321 19.9	188 11.6	247 15.3	304 18.8
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	0 0.0	3 23.1	2 15.4	7 53.8	4 30.8	3 23.1	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0	1 7.7	5 38.5	3 23.1	2 15.4	1 7.7
	若山台	165 100.0	7 4.2	5 3.0	75 45.5	19 11.5	54 32.7	33 20.0	14 8.5	17 10.3	10 6.1	5 3.0	5 3.0	10 6.1	50 30.3	19 11.5	17 10.3	21 12.7
	東大寺	139 100.0	4 2.9	2 1.4	57 41.0	22 15.8	51 36.7	27 19.4	12 8.6	16 11.5	18 12.9	8 5.8	1 0.7	4 2.9	35 25.2	14 10.1	22 15.8	31 22.3
	山崎	228 100.0	7 3.1	5 2.2	93 40.8	22 9.6	93 40.8	40 17.5	7 3.1	13 5.7	34 14.9	14 6.1	4 1.8	23 10.1	59 25.9	23 10.1	26 11.4	41 18.0
	広瀬	248 100.0	7 2.8	4 1.6	97 39.1	33 13.3	104 41.9	52 21.0	16 6.5	26 10.5	40 16.1	14 5.6	8 3.2	13 5.2	49 19.8	31 12.5	41 16.5	42 16.9
	百山	52 100.0	2 3.8	1 1.9	17 32.7	7 13.5	16 30.8	11 21.2	2 3.8	8 15.4	10 19.2	3 5.8	0 0.0	6 11.5	8 15.4	5 9.6	16 30.8	9 17.3
	桜井、桜井台	104 100.0	4 3.8	1 1.0	42 40.4	19 18.3	43 41.3	22 21.2	13 12.5	8 7.7	15 14.4	7 6.7	3 2.9	4 3.8	15 14.4	13 12.5	17 16.3	34 32.7
	青葉	203 100.0	7 3.4	6 3.0	81 39.9	28 13.8	83 40.9	36 17.7	11 5.4	22 10.8	31 15.3	6 3.0	5 2.5	15 7.4	32 15.8	28 13.8	27 13.3	37 18.2
	水無瀬	192 100.0	7 3.6	2 1.0	77 40.1	31 16.1	74 38.5	33 17.2	11 5.7	27 14.1	25 13.0	11 5.7	3 1.6	12 6.3	25 13.0	28 14.6	35 18.2	30 15.6
	江川	165 100.0	5 3.0	1 0.6	68 41.2	22 13.3	64 38.8	39 23.6	11 6.7	16 9.7	16 9.7	7 4.2	1 0.6	11 6.7	27 16.4	15 9.1	28 17.0	34 20.6
	高浜	55 100.0	1 1.8	0 0.0	13 23.6	10 18.2	18 32.7	8 14.5	2 3.6	6 10.9	7 12.7	3 5.5	0 0.0	5 9.1	9 16.4	5 9.1	9 16.4	11 20.0

上段：件数 下段：%		調査数	健康づくりの推進	地域医療の充実	介護・福祉サービスの充実	地域福祉の充実	子育て支援サービスの充実	幼児教育の充実	学校教育の充実	生涯学習の推進	スポーツ活動の充実	歴史文化遺産の保存と活用	近隣自治体との連携推進	公共施設の適正管理、老朽化対策	町職員の資質・能力の向上	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	167 10.3	379 23.5	488 30.2	168 10.4	409 25.3	106 6.6	310 19.2	89 5.5	70 4.3	136 8.4	142 8.8	242 15.0	243 15.0	31 1.9	116 7.2
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	1 7.7	4 30.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	5 38.5	0 0.0	2 15.4
	若山台	165 100.0	22 13.3	41 24.8	56 33.9	15 9.1	41 24.8	7 4.2	23 13.9	10 6.1	4 2.4	17 10.3	15 9.1	27 16.4	25 15.2	2 1.2	13 7.9
	東大寺	139 100.0	14 10.1	32 23.0	39 28.1	7 5.0	35 25.2	11 7.9	27 19.4	9 6.5	8 5.8	10 7.2	11 7.9	21 15.1	18 12.9	5 3.6	10 7.2
	山崎	228 100.0	25 11.0	61 26.8	91 39.9	27 11.8	56 24.6	13 5.7	38 16.7	12 5.3	24 10.5	17 7.5	31 13.6	36 15.8	3 1.3	10 4.4	
	広瀬	248 100.0	27 10.9	56 22.6	67 27.0	29 11.7	65 26.2	15 6.0	53 21.4	15 6.0	16 6.5	22 8.9	22 8.9	35 14.1	43 17.3	5 2.0	16 6.5
	百山	52 100.0	8 15.4	17 32.7	13 25.0	5 9.6	20 38.5	5 9.6	12 23.1	1 1.9	2 3.8	3 7.7	4 17.3	9 5.8	3 0.0	2 3.8	
	桜井、桜井台	104 100.0	8 7.7	21 20.2	29 27.9	8 7.7	20 19.2	8 7.7	20 19.2	8 7.7	2 1.9	9 8.7	9 8.7	15 14.4	12 11.5	1 1.0	8 7.7
	青葉	203 100.0	20 9.9	42 20.7	63 31.0	21 10.3	57 28.1	14 6.9	41 20.2	9 4.4	10 4.9	14 6.9	35 17.2	36 17.7	5 2.5	20 9.9	
	水無瀬	192 100.0	21 10.9	35 18.2	52 27.1	28 14.6	43 22.4	8 4.2	30 15.6	8 4.2	18 9.4	23 12.0	33 17.2	26 13.5	6 3.1	15 7.8	
	江川	165 100.0	13 7.9	46 27.9	42 25.5	16 9.7	48 29.1	15 9.1	47 28.5	9 5.5	9 9.7	16 10.3	17 10.9	18 14.5	24 1.8	3 3.0	5 3.0
	高浜	55 100.0	3 5.5	17 30.9	20 36.4	8 14.5	13 23.6	5 9.1	10 18.2	4 7.3	1 1.8	4 9.1	5 18.2	8 14.5	0 0.0	5 9.1	

■問 20「今後 10 年間で力を入れるべき施策分野」のクロス集計（世帯類型別・居住年数別）

世帯類型別にみると、小学生以下の子どもがいる世帯では「学校教育の充実」、中学生のいる世帯では「防災対策の充実」、高齢者のいる世帯では「自然環境の保全」、介護を必要とする方のいる世帯では「介護・福祉サービスの充実」が最も高くなっています。

居住年数別にみると、5年未満では「保育・子育て支援サービスの充実」、5年以上 10 年未満では「防災対策の充実」、10 年以上 20 年未満では「自然環境の保全」、20 年以上では「自然環境の保全」と「防災対策の充実」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	人権啓発、差別の解消	男女共同参画の推進	自然環境の保全	廃棄物処理、まち美化	防災対策の充実	防犯対策の充実	農林業の振興	商工業の振興	観光の振興、にぎわいづくり	広報・情報発信の充実	広聴・住民参画の充実	コミュニティ・市民活動の充実	交通環境の充実	住環境の整備	中心市街地の整備	水道路・公園・上下道の整備
全体	1,615 100.0	54 3.3	31 1.9	638 39.5	221 13.7	625 38.7	312 19.3	106 6.6	167 10.3	209 12.9	80 5.0	30 1.9	107 6.6	321 19.9	188 11.6	247 15.3	304 18.8
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	2 1.3	0 0.0	52 34.7	10 6.7	42 28.0	25 16.7	8 5.3	16 10.7	14 9.3	7 4.7	2 1.3	12 8.0	21 14.0	17 11.3	24 16.0
	小学生のいる世帯	195 100.0	6 3.1	2 1.0	61 31.3	18 9.2	67 34.4	40 20.5	14 7.2	19 9.7	20 10.3	6 3.1	1 0.5	7 3.6	35 17.9	20 10.3	39 20.0
	中学生のいる世帯	113 100.0	1 0.9	2 1.8	35 31.0	13 11.5	41 36.3	22 19.5	8 7.1	10 8.8	21 18.6	3 2.7	2 1.8	5 4.4	21 18.6	9 8.0	21 18.6
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	25 4.9	13 2.5	219 42.9	82 16.1	209 41.0	102 20.0	34 6.7	53 10.4	60 11.8	28 5.5	13 2.5	38 7.5	107 21.0	65 12.7	58 11.4
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	8 7.5	0 0.0	43 40.6	14 13.2	35 33.0	21 19.8	8 7.5	6 5.7	9 8.5	8 7.5	4 3.8	7 6.6	24 22.6	15 14.2	15 14.2
	5年未満	106 100.0	4 3.8	1 0.9	36 34.0	6 5.7	30 28.3	12 11.3	2 1.9	16 15.1	16 15.1	5 4.7	0 0.0	8 7.5	24 22.6	16 15.1	24 22.6
居住年数別	5年以上10年未満	151 100.0	2 1.3	0 0.0	53 35.1	16 10.6	56 37.1	36 23.8	9 6.0	18 11.9	19 12.6	5 3.3	1 0.7	9 6.0	29 19.2	20 13.2	28 18.5
	10年以上20年未満	306 100.0	6 2.0	5 1.6	119 38.9	37 12.1	106 34.6	51 16.7	30 9.8	33 10.8	53 17.3	14 4.6	6 2.0	22 7.2	58 19.0	26 8.5	58 19.0
	20年以上	1,001 100.0	40 4.0	21 2.1	414 41.4	156 15.6	414 41.4	205 20.5	61 6.1	94 9.4	119 11.9	56 5.6	23 2.3	65 6.5	204 20.4	121 12.1	130 13.0
	20年以上	1,001 100.0	40 4.0	21 2.1	414 41.4	156 15.6	414 41.4	205 20.5	61 6.1	94 9.4	119 11.9	56 5.6	23 2.3	65 6.5	204 20.4	121 12.1	130 13.0

上段:件数 下段:%	調査数	健康づくりの推進	地域医療の充実	介護・福祉サービスの充実	地域福祉の充実	子育て支援サービスの充実	幼児教育の充実	学校教育の充実	生涯学習の推進	スポーツ活動の充実	歴史文化遺産の保存と活用	近隣自治体との連携推進	公共施設の適正管理、老朽化対策	町職員の資質・能力の向上	その他	不明・無回答
全体	1,615 100.0	167 10.3	379 23.5	488 30.2	168 10.4	409 25.3	106 6.6	310 19.2	89 5.5	70 4.3	136 8.4	142 8.8	242 15.0	243 15.0	31 1.9	116 7.2
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	10 6.7	33 22.0	21 14.0	7 4.7	107 71.3	43 28.7	9 6.0	8 5.3	3 2.0	8 5.3	23 15.3	15 10.0	6 4.0	1 0.7
	小学生のいる世帯	195 100.0	8 4.1	48 24.6	30 15.4	16 8.2	86 44.1	25 12.8	7 3.6	19 9.7	3 1.5	16 8.2	30 15.4	19 9.7	8 4.1	14 7.2
	中学生のいる世帯	113 100.0	5 4.4	29 25.7	16 14.2	8 7.1	35 31.0	9 8.0	3 2.7	11 9.7	3 2.7	9 8.0	16 14.2	14 12.4	8 7.1	11 9.7
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	64 12.5	127 24.9	188 36.9	62 12.2	89 17.5	13 2.5	61 12.0	32 6.3	12 2.4	59 11.6	50 9.8	77 15.1	86 16.9	6 1.2
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	11 10.4	19 17.9	48 45.3	18 17.0	16 15.1	1 0.9	9 8.5	4 3.8	7 6.6	9 8.5	12 11.3	15 14.2	3 2.8	13 12.3
	5年未満	106 100.0	7 6.6	32 30.2	16 15.1	9 8.5	55 51.9	23 21.7	6 5.7	1 0.9	6 5.7	7 6.6	12 11.3	8 7.5	3 2.8	5 4.7
居住年数別	5年以上10年未満	151 100.0	10 6.6	37 24.5	30 19.9	10 6.6	55 36.4	16 10.6	7 4.6	14 9.3	10 6.6	14 9.3	23 15.2	15 9.9	5 3.3	9 6.0
	10年以上20年未満	306 100.0	22 7.2	69 22.5	74 24.2	24 7.8	84 27.5	21 6.9	74 24.2	12 3.9	20 6.5	13 4.2	41 13.4	40 13.1	6 2.0	23 7.5
	20年以上	1,001 100.0	122 12.2	231 23.1	356 35.6	122 12.2	203 20.3	41 4.1	129 12.9	60 6.0	28 2.8	97 9.7	105 10.5	158 15.8	173 17.3	16 1.6
	20年以上	1,001 100.0	122 12.2	231 23.1	356 35.6	122 12.2	203 20.3	41 4.1	129 12.9	60 6.0	28 2.8	97 9.7	105 10.5	158 15.8	173 17.3	16 1.6

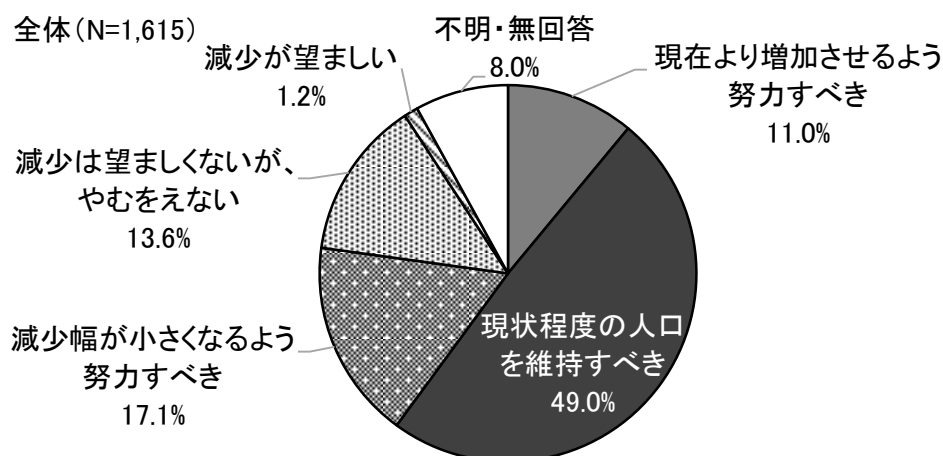
6 将来の島本町について

【今後の人口について】

問 21 島本町の人口は、現在 30,563 人（平成 30 年 7 月 1 日時点）ですが、国の研究機関における推計では、今後、全国的な傾向と同様に、島本町の人口も減少するとされています。あなたは、今後の島本町の人口について、どのように考えますか。
（単数回答）

今後の島本町の人口に対する考えについては、「現状程度の人口を維持すべき」が 49.0%と最も高く、次いで「減少幅が小さくなるよう努力すべき」が 17.1%、「減少は望ましくないが、やむをえない」が 13.6%となっています。

前回調査（平成 20 年）では、「現状程度でよい（29,000 人以上～31,000 人未満）」が 50.7%、「ある程度増える方がよい（32,000 人以上）」が 34.1%、「大幅に増える方がよい」が 6.3%、「少し減った方がよい（29,000 人未満）」が 3.2%、「わからない・不明」が 5.7%でした。（選択肢の構成は、今回とは一部異なります）



■問21「今後の人口に対する考え」のクロス集計（年代・居住地区・世帯類型・居住年数別）

各区分では、いずれも「現状程度の人口を維持すべき」が最も高くなっています。

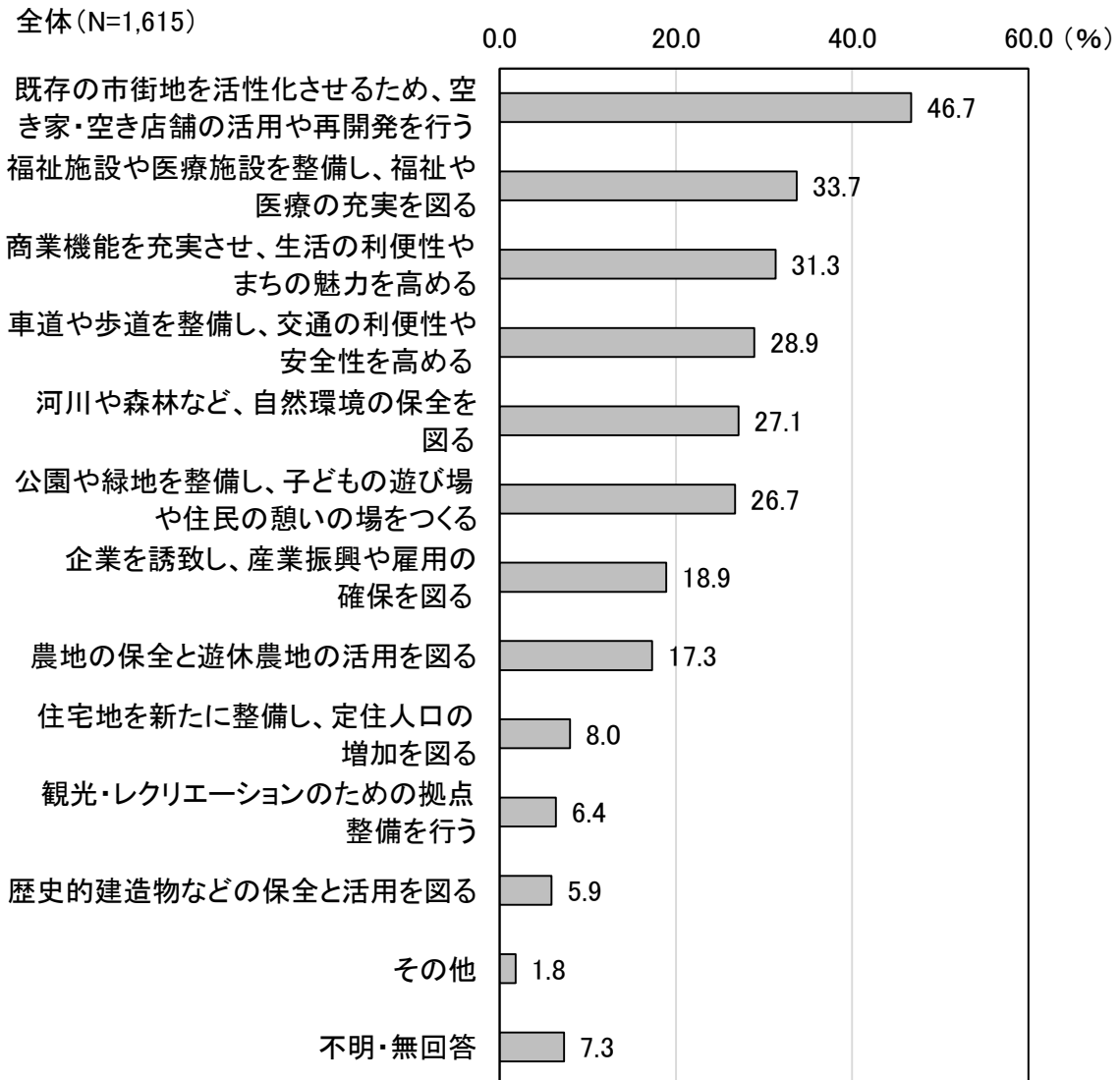
上段:件数 下段:%		調査数	現状より 努力増加 すべき	現状 程度 の人口 を維持 すべき	減少 幅が 小さく すべき	減少 が、 やむを えな い	減少 が望 ましい	不明・ 無回答
全体		1,615 100.0	178 11.0	791 49.0	276 17.1	220 13.6	20 1.2	130 8.0
年代別	16～19歳	63 100.0	11 17.5	31 49.2	14 22.2	4 6.3	1 1.6	2 3.2
	20～29歳	101 100.0	12 11.9	42 41.6	18 17.8	20 19.8	1 1.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	17 8.7	100 51.3	42 21.5	24 12.3	2 1.0	10 5.1
	40～49歳	256 100.0	15 5.9	134 52.3	52 20.3	32 12.5	5 2.0	18 7.0
	50～59歳	236 100.0	32 13.6	112 47.5	39 16.5	27 11.4	2 0.8	24 10.2
	60～64歳	125 100.0	13 10.4	61 48.8	19 15.2	16 12.8	2 1.6	14 11.2
	65～74歳	345 100.0	39 11.3	165 47.8	56 16.2	61 17.7	2 0.6	22 6.4
	75歳以上	244 100.0	30 12.3	125 51.2	33 13.5	29 11.9	5 2.0	22 9.0
	大沢、尺代	13 100.0	1 7.7	6 46.2	2 15.4	1 7.7	0 0.0	3 23.1
居住地区別	若山台	165 100.0	19 11.5	77 46.7	30 18.2	21 12.7	5 3.0	13 7.9
	東大寺	139 100.0	11 7.9	65 46.8	26 18.7	27 19.4	1 0.7	9 6.5
	山崎	228 100.0	12 5.3	130 57.0	40 17.5	31 13.6	0 0.0	15 6.6
	広瀬	248 100.0	27 10.9	120 48.4	44 17.7	34 13.7	5 2.0	18 7.3
	百山	52 100.0	6 11.5	29 55.8	9 17.3	6 11.5	0 0.0	2 3.8
	桜井、桜井台	104 100.0	11 10.6	50 48.1	13 12.5	21 20.2	1 1.0	8 7.7
	青葉	203 100.0	27 13.3	94 46.3	37 18.2	21 10.3	2 1.0	22 10.8
	水無瀬	192 100.0	27 14.1	90 46.9	30 15.6	25 13.0	2 1.0	18 9.4
	江川	165 100.0	20 12.1	85 51.5	32 19.4	20 12.1	3 1.8	5 3.0
	高浜	55 100.0	9 16.4	24 43.6	10 18.2	6 10.9	1 1.8	5 9.1

上段:件数 下段:%		調査数	現状より 努力増加 すべき	現状 程度 の人口 を維持 すべき	減少 幅が 小さく すべき	減少 が、 やむを えな い	減少 が望 ましい	不明・ 無回答
全体		1,615 100.0	178 11.0	791 49.0	276 17.1	220 13.6	20 1.2	130 8.0
世帯類型別	就学前の乳幼児 のいる世帯	150 100.0	12 8.0	85 56.7	33 22.0	15 10.0	1 0.7	4 2.7
	小学生のいる世 帯	195 100.0	14 7.2	100 51.3	39 20.0	25 12.8	1 0.5	16 8.2
	中学生のいる世 帯	113 100.0	14 12.4	54 47.8	22 19.5	11 9.7	0 0.0	12 10.6
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	55 10.8	242 47.5	87 17.1	79 15.5	6 1.2	41 8.0
	介護を必要とす る方のいる世帯	106 100.0	11 10.4	58 54.7	11 10.4	13 12.3	1 0.9	12 11.3
	5年未満	106 100.0	10 9.4	47 44.3	28 26.4	15 14.2	2 1.9	4 3.8
居住年数別	5年以上10年未 満	151 100.0	17 11.3	80 53.0	28 18.5	14 9.3	2 1.3	10 6.6
	10年以上20年 未満	306 100.0	40 13.1	141 46.1	56 18.3	39 12.7	3 1.0	27 8.8
	20年以上	1,001 100.0	103 10.3	501 50.0	161 16.1	144 14.4	13 1.3	79 7.9

【土地利用】

問 22 あなたは、今後の町内の土地利用について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで複数回答）

今後の町内の土地利用で力を入れるべきことについては、「既存の市街地を活性化させるため、空き家・空き店舗の活用や再開発を行う」が 46.7%と最も高く、次いで「福祉施設や医療施設を整備し、福祉や医療の充実を図る」が 33.7%、「商業機能を充実させ、生活の利便性やまちの魅力を高める」が 31.3%となっています。



■問 22「今後の土地利用で力を入れるべきこと」のクロス集計（年代別・居住地区別）

年代別にみると、20 歳代では「商業機能の充実」、65～74 歳では「福祉・医療施設の整備」、30 歳代では「商業機能の充実」と「公園・緑地の整備」、その他の年代では「既存の市街地の活性化」が最も高くなっています。

居住地区別にみると、大沢・尺代では「福祉・医療施設の整備」と「車道・歩道の整備」、百山では「商業機能の充実」、その他の地区では「既存の市街地の活性化」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	住宅地を増加を図る	既存の市街地を活性化させる	商業機能やまちの魅力を高める	福祉施設や医療施設の充実を図る	企業の確保を図る、産業振興や雇	公園や緑地を整備し、子ども	観光・レクリエーションのた	車道や歩道を整備し、交通の	河川や森林など、自然環境の	農地の保全と遊休農地の活用	歴史的建造物などの保全と活	その他	不明・無回答
全体	1,615 100.0	130 8.0	754 46.7	506 31.3	544 33.7	305 18.9	432 26.7	103 6.4	466 28.9	437 27.1	279 17.3	96 5.9	29 1.8	118 7.3
年代別	16～19歳	63 100.0	7 11.1	34 54.0	23 36.5	14 22.2	14 22.2	20 31.7	9 14.3	15 23.8	18 28.6	2 3.2	1 1.6	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	9 8.9	35 34.7	42 41.6	26 25.7	14 13.9	33 32.7	8 7.9	29 28.7	26 25.7	10 9.9	2 2.0	8 7.9
	30～39歳	195 100.0	12 6.2	85 43.6	79 40.5	52 26.7	31 15.9	85 43.6	16 8.2	53 27.2	53 27.2	28 14.4	7 3.6	10 5.1
	40～49歳	256 100.0	15 5.9	129 50.4	93 36.3	65 25.4	56 21.9	72 28.1	19 7.4	79 30.9	71 27.7	46 18.0	19 7.4	14 5.5
	50～59歳	236 100.0	17 7.2	125 53.0	72 30.5	82 34.7	39 16.5	46 19.5	14 5.9	55 23.3	68 28.8	44 18.6	11 4.7	25 10.6
	60～64歳	125 100.0	10 8.0	63 50.4	41 32.8	42 33.6	26 20.8	28 22.4	6 4.8	45 36.0	32 25.6	19 15.2	2 1.6	13 10.4
	65～74歳	345 100.0	26 7.5	155 44.9	84 24.3	157 45.5	65 18.8	81 23.5	22 6.4	110 31.9	94 27.2	23 20.3	5 6.7	19 5.5
	75歳以上	244 100.0	29 11.9	110 45.1	62 25.4	91 37.3	52 21.3	56 23.0	7 2.9	68 27.9	64 26.2	51 20.9	20 8.2	18 7.4
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	3 23.1	2 15.4	7 53.8	3 23.1	1 7.7	1 7.7	7 53.8	2 15.4	3 23.1	1 7.7	1 7.7
	若山台	165 100.0	13 7.9	72 43.6	47 28.5	51 30.9	26 15.8	42 25.5	8 4.8	54 32.7	46 27.9	35 21.2	8 4.8	14 8.5
	東大寺	139 100.0	6 4.3	59 42.4	44 31.7	56 40.3	28 20.1	40 28.8	9 6.5	47 33.8	37 26.6	17 12.2	5 3.6	10 7.2
	山崎	228 100.0	20 8.8	116 50.9	71 31.1	89 39.0	39 17.1	53 23.2	18 7.9	65 28.5	61 26.8	31 13.6	16 7.0	11 4.8
	広瀬	248 100.0	17 6.9	121 48.8	73 29.4	71 28.6	47 19.0	74 29.8	18 7.3	77 31.0	82 33.1	38 15.3	22 8.9	14 5.6
	百山	52 100.0	2 3.8	26 50.0	31 59.6	19 36.5	9 17.3	14 26.9	6 11.5	15 28.8	12 23.1	6 11.5	1 1.9	2 3.8
	桜井、桜井台	104 100.0	12 11.5	49 47.1	33 31.7	35 33.7	19 18.3	29 27.9	6 5.8	28 26.9	22 21.2	27 26.0	6 5.8	8 7.7
	青葉	203 100.0	25 12.3	94 46.3	51 25.1	62 30.5	35 17.2	52 25.6	12 5.9	51 25.1	59 29.1	45 22.2	13 6.4	22 10.8
	水無瀬	192 100.0	16 8.3	93 48.4	70 36.5	63 32.8	43 22.4	48 25.0	16 8.3	40 20.8	48 25.0	37 19.3	14 7.3	14 7.3
	江川	165 100.0	8 4.8	75 45.5	54 32.7	57 34.5	37 22.4	52 31.5	5 3.0	51 30.9	48 29.1	24 14.5	8 4.8	6 3.6
	高浜	55 100.0	4 7.3	28 50.9	19 34.5	20 36.4	11 20.0	16 29.1	2 3.6	19 34.5	9 16.4	7 12.7	0 0.0	5 9.1

■問 22「今後の土地利用で力を入れるべきこと」のクロス集計（世帯類型別・居住年数別）

世帯類型別にみると、就学前の乳幼児のいる世帯では「公園・緑地の整備」、その他の世帯区分では「既存の市街地の活性化」が最も高くなっています。

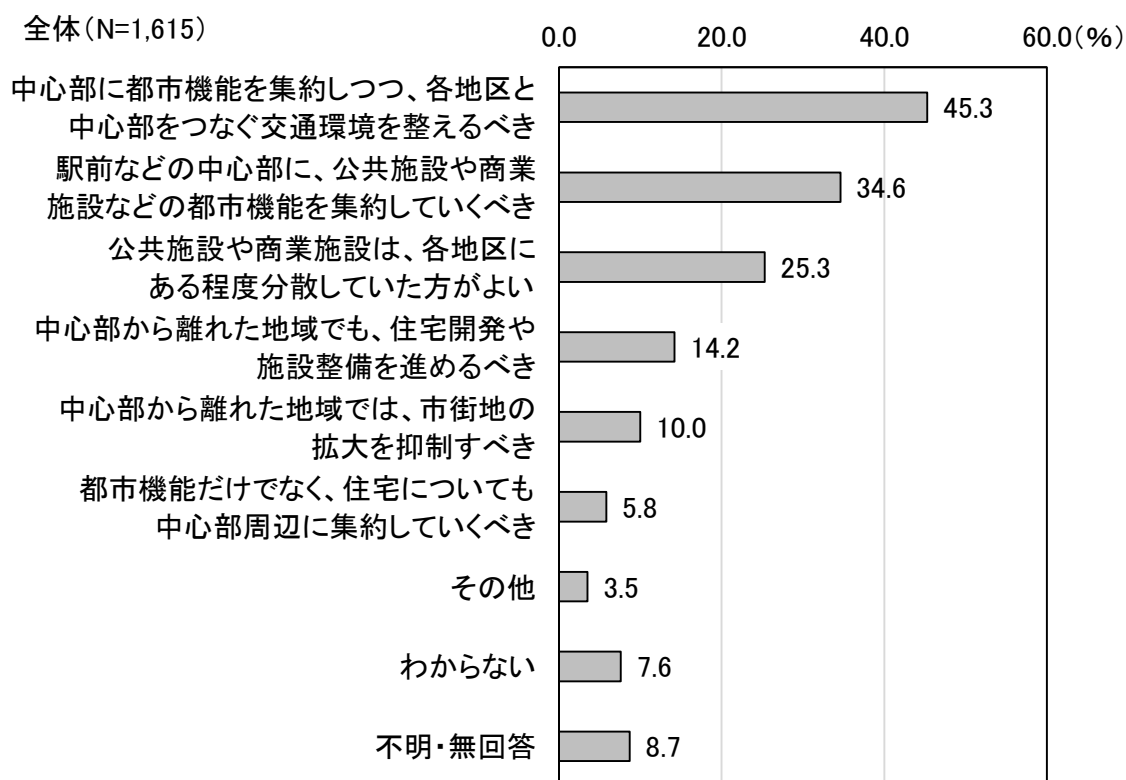
居住年数別にみると、いずれの区分においても「既存の市街地の活性化」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	住宅地の増加を図る	既存の市街地を活性化させるため、空き家・空き店舗の活用や再開発を行う	商業機能が充実させ、生活の利便性やまちの魅力を高める	福祉施設や医療施設を整備する	企業を誘致し、産業振興や雇用の確保を図る	公園や緑地を整備し、子どもの遊び場や住民の憩いの場をつくる	観光・レクリエーションのための拠点整備を行う	車道や歩道を整備し、交通の利便性や安全性を高める	河川や森林など、自然環境の保全を図る	農地の保全と遊休農地の活用を図る	歴史的建造物などの保全と活用を図る	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	130 8.0	754 46.7	506 31.3	544 33.7	305 18.9	432 26.7	103 6.4	466 28.9	437 27.1	279 17.3	96 5.9	29 1.8	118 7.3
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	11 7.3	72 48.0	51 34.0	41 27.3	25 16.7	75 50.0	12 8.0	52 34.7	37 24.7	25 16.7	4 2.7	3 2.0	2 1.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	9 4.6	99 50.8	63 32.3	47 24.1	39 20.0	79 40.5	17 8.7	65 33.3	49 25.1	28 14.4	5 2.6	6 3.1	13 6.7
	中学生のいる世帯	113 100.0	6 5.3	53 46.9	36 31.9	26 23.0	26 23.0	40 35.4	11 9.7	29 25.7	27 23.9	18 15.9	5 4.4	3 2.7	11 9.7
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	42 8.2	238 46.7	144 28.2	191 37.5	110 21.6	116 22.7	22 4.3	152 29.8	143 28.0	91 17.8	38 7.5	5 1.0	35 6.9
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	4 3.8	49 46.2	30 28.3	48 45.3	19 17.9	16 15.1	4 3.8	30 28.3	30 28.3	18 17.0	7 6.6	1 0.9	10 9.4
	居住年数別	5年未満	106 100.0	7 6.6	51 48.1	47 44.3	33 31.1	15 14.2	41 38.7	4 3.8	33 31.1	26 24.5	17 16.0	5 4.7	1 0.9
5年以上10年未満		151 100.0	12 7.9	68 45.0	58 38.4	40 26.5	30 19.9	57 37.7	12 7.9	36 23.8	43 28.5	24 15.9	7 4.6	8 5.3	8 5.3
10年以上20年未満		306 100.0	27 8.8	142 46.4	97 31.7	91 29.7	62 20.3	87 28.4	23 7.5	95 31.0	80 26.1	50 16.3	15 4.9	6 2.0	23 7.5
20年以上		1,001 100.0	79 7.9	473 47.3	294 29.4	365 36.5	190 19.0	236 23.6	62 6.2	290 29.0	277 27.7	177 17.7	67 6.7	11 1.1	72 7.2

【コンパクトなまちづくりについて】

問 23 人口減少や少子高齢化に対応するため、郊外への開発を抑制し、市街地の中心部に行政・医療・商業などの機能を集約し、居住者の利便性を高める「コンパクトなまちづくり」を進めるべきとの考え方（コンパクトシティ）がありますが、あなたの考えをお答えください。（複数回答）

コンパクトシティの考え方については、「中心部に都市機能を集約しつつ、各地区と中心部をつなぐ交通環境を整えるべき」が 45.3%と最も高く、次いで「駅前などの中心部に、公共施設や商業施設などの都市機能を集約していくべき」が 34.6%、「公共施設や商業施設は、各地区にある程度分散していた方がよい」が 25.3%となっています。



■問 23「コンパクトなまちづくり」のクロス集計（年代別）

年代別にみると、16～19 歳では「公共施設や商業施設は、各地区にある程度分散していた方がよい」、20 歳以上では「中心部に都市機能を集約しつつ、各地区と中心部をつなぐ交通環境を整えるべき」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	駅前などの中心部に、公共施設や商業施設などの都市機能を集約していくべき	都市機能だけでなく、住宅にいても中心部周辺に集約していくべき	公共施設や商業施設は、各地域にある程度分散している、地方がよい	中心部に都市機能を集約しつつ、各地区と中心部をつなぐ交通環境を整えるべき	中心部から離れた地域では、市街地の拡大を抑制すべき	中心部から離れた地域でも、住宅開発や施設整備を進めるべき	わからない	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	558 34.6	93 5.8	408 25.3	732 45.3	161 10.0	230 14.2	122 7.6	56 3.5	140 8.7
年代別	16～19歳	63 100.0	20 31.7	4 6.3	25 39.7	24 38.1	3 4.8	8 12.7	4 6.3	0 0.0	1 1.6
	20～29歳	101 100.0	26 25.7	7 6.9	18 17.8	47 46.5	5 5.0	6 5.9	8 7.9	3 3.0	11 10.9
	30～39歳	195 100.0	72 36.9	12 6.2	47 24.1	92 47.2	25 12.8	27 13.8	13 6.7	12 6.2	10 5.1
	40～49歳	256 100.0	85 33.2	16 6.3	60 23.4	121 47.3	27 10.5	33 12.9	13 5.1	12 4.7	21 8.2
	50～59歳	236 100.0	90 38.1	9 3.8	62 26.3	95 40.3	16 6.8	36 15.3	15 6.4	9 3.8	25 10.6
	60～64歳	125 100.0	46 36.8	6 4.8	25 20.0	71 56.8	12 9.6	21 16.8	4 3.2	4 3.2	13 10.4
	65～74歳	345 100.0	107 31.0	14 4.1	97 28.1	161 46.7	43 12.5	55 15.9	36 10.4	8 2.3	25 7.2
	75歳以上	244 100.0	94 38.5	22 9.0	63 25.8	101 41.4	21 8.6	40 16.4	27 11.1	7 2.9	26 10.7

■問 23「コンパクトなまちづくり」のクロス集計（居住地区別）

居住地区別にみると、広瀬では「駅前などの中心部に、公共施設や商業施設などの都市機能を集約していくべき」、それ以外の地区では「中心部に、都市機能を集約しつつ、各地区と中心部をつなぐ交通環境を整えるべき」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	を設駅 集や前 約商な し業の して施 い設中 く心部 などに べの、 き市公 機能施	てつ都 い市機 くても べも能 き中だ き心け 部で 部なく に、 集住 約宅 しに	が区公 よに共 いあ施 る設 程や 度商 分業 散施 設は い、 た各 方地	交つ中 通、各 環地 境に を区 整と える中 る心 部能 をを つ集 な約 ぐし つ	市中心 街部の 地から の拡大 を離 れ抑 制地 域す べは 、	ベ住宅中 き宅心 開部 発から や施 設離 れた 地 備 を整 地 域 を 進 め る	わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	558 34.6	93 5.8	408 25.3	732 45.3	161 10.0	230 14.2	122 7.6	56 3.5	140 8.7
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	0 0.0	4 30.8	6 46.2	0 0.0	5 38.5	1 7.7	0 0.0	2 15.4
	若山台	165 100.0	38 23.0	7 4.2	48 29.1	71 43.0	14 8.5	34 20.6	17 10.3	6 3.6	18 10.9
	東大寺	139 100.0	37 26.6	9 6.5	40 28.8	62 44.6	16 11.5	26 18.7	7 5.0	4 2.9	11 7.9
	山崎	228 100.0	60 26.3	9 3.9	75 32.9	111 48.7	18 7.9	38 16.7	18 7.9	8 3.5	13 5.7
	広瀬	248 100.0	97 39.1	18 7.3	67 27.0	90 36.3	25 10.1	26 10.5	26 10.5	8 3.2	16 6.5
	百山	52 100.0	18 34.6	3 5.8	17 32.7	20 38.5	5 9.6	8 15.4	0 0.0	2 3.8	4 7.7
	桜井、桜井台	104 100.0	29 27.9	5 4.8	35 33.7	52 50.0	6 5.8	21 20.2	3 2.9	1 1.0	8 7.7
	青葉	203 100.0	78 38.4	20 9.9	43 21.2	91 44.8	27 13.3	26 12.8	16 7.9	11 5.4	27 13.3
	水無瀬	192 100.0	83 43.2	9 4.7	37 19.3	100 52.1	21 10.9	18 9.4	15 7.8	8 4.2	18 9.4
	江川	165 100.0	72 43.6	10 6.1	24 14.5	81 49.1	15 9.1	18 10.9	13 7.9	7 4.2	8 4.8
	高浜	55 100.0	26 47.3	0 0.0	7 12.7	28 50.9	5 9.1	6 10.9	4 7.3	0 0.0	6 10.9

■問 23「コンパクトなまちづくり」のクロス集計（世帯類型別・居住年数別）

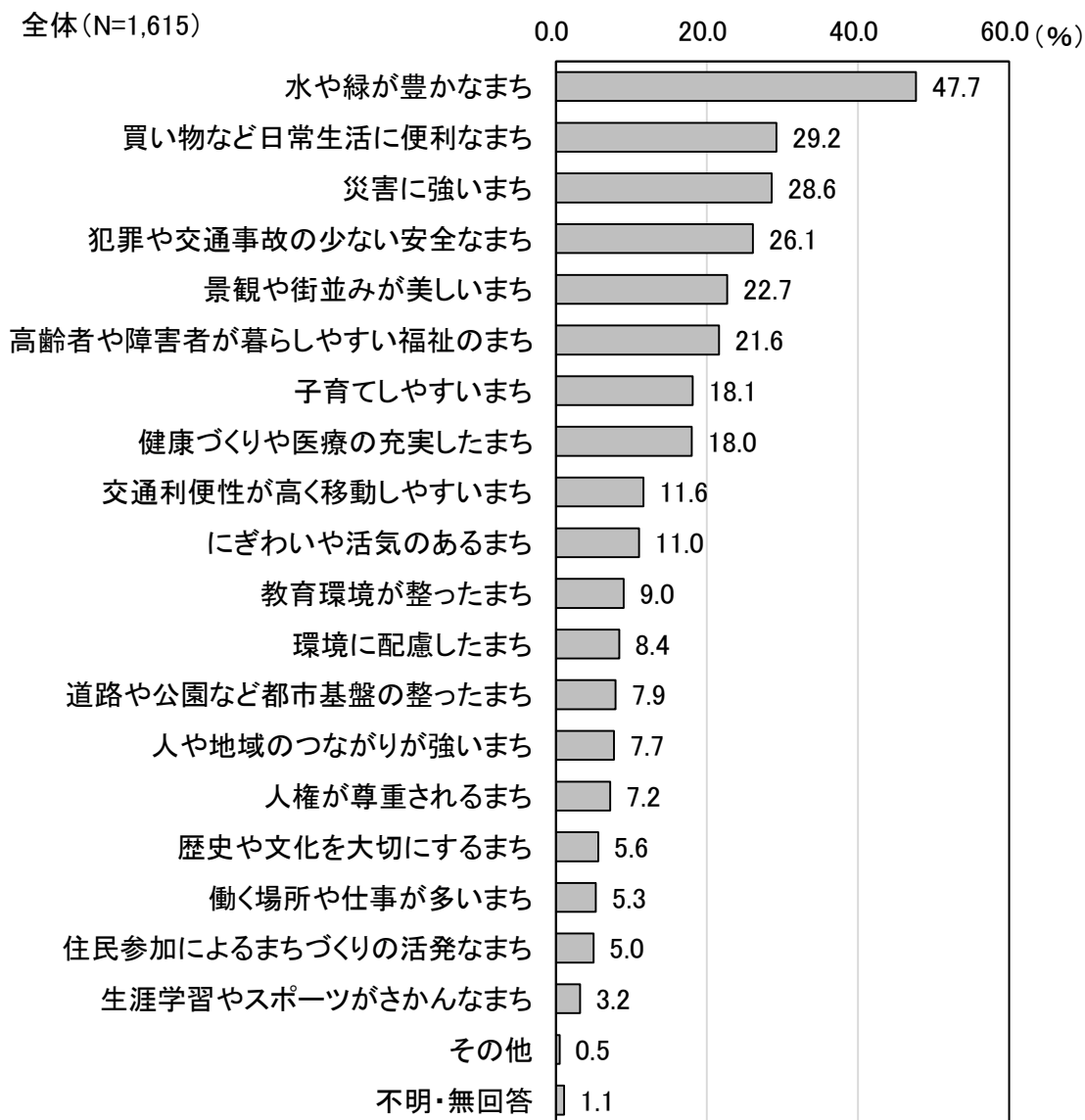
各区分では、いずれにおいても「中心部に都市機能を集約しつつ、各地区と中心部をつなぐ交通環境を整えるべき」が最も高く、次いで「駅前などの中心部に、公共施設や商業施設などの都市機能を集約していくべき」が高くなっています。

上段：件数 下段：%		調査数	を設駅 集や前 約商な し業ど て施の い設中 くな心 べどの 部に 都、 市公 機共 能施	てつ都 いいて く市 も機 べ能 き中 心 部 で 周 なく に、 集 約 宅 し に	が区公 よに施 いあ設 る程 度商 分業 散施 し設 ては い、 た各 方地	交つ中 通、心 環各部 境地に を都 整と市 え中 る心 べ部 きを 集 約 し な ぐ つ	市中心 街心 部部 の地 から 拡離 を大 抑た 制地 す域 すは べき	住宅中 宅心 開部 発から や施 離設 れた 地 整備 を域 進を めも る、	わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	558 34.6	93 5.8	408 25.3	732 45.3	161 10.0	230 14.2	122 7.6	56 3.5	140 8.7
世帯 類型 別	就学前の乳幼児の いる世帯	150 100.0	53 35.3	9 6.0	35 23.3	79 52.7	16 10.7	18 12.0	10 6.7	12 8.0	2 1.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	79 40.5	13 6.7	44 22.6	98 50.3	25 12.8	30 15.4	9 4.6	6 3.1	15 7.7
	中学生のいる世帯	113 100.0	35 31.0	6 5.3	33 29.2	48 42.5	9 8.0	18 15.9	5 4.4	5 4.4	13 11.5
	65歳以上の方の いる世帯	510 100.0	159 31.2	32 6.3	131 25.7	232 45.5	54 10.6	85 16.7	51 10.0	12 2.4	48 9.4
	介護を必要とする方 のいる世帯	106 100.0	44 41.5	9 8.5	32 30.2	47 44.3	8 7.5	26 24.5	6 5.7	2 1.9	13 12.3
居 住 年 数 別	5年未満	106 100.0	41 38.7	7 6.6	32 30.2	48 45.3	9 8.5	10 9.4	3 2.8	7 6.6	7 6.6
	5年以上10年未満	151 100.0	58 38.4	13 8.6	22 14.6	79 52.3	27 17.9	15 9.9	10 6.6	6 4.0	9 6.0
	10年以上20年未満	306 100.0	98 32.0	14 4.6	78 25.5	138 45.1	28 9.2	42 13.7	23 7.5	12 3.9	26 8.5
	20年以上	1,001 100.0	342 34.2	56 5.6	264 26.4	446 44.6	88 8.8	159 15.9	85 8.5	30 3.0	90 9.0

【まちの将来像】

問 24 あなたは、これからの島本町がどのような「まち」であってほしいと思いますか。
(3つまで複数回答)

これからの島本町がどのような「まち」であってほしいと思うかについては、「水や緑が豊かなまち」が47.7%と最も高く、次いで「買い物など日常生活に便利なまち」が29.2%、「災害に強いまち」が28.6%となっています。



■問 24「まちの将来像」のクロス集計（年代別）

年代別にみると、いずれの年代においても「水や緑が豊かなまち」が最も高くなっています。また、30 歳代では「子育てしやすいまち」が4割と、他の年代に比べて高くなっています。

上段:件数 下段:%		調 査 数	人 権 が 尊 重 さ れ る ま ち	水 や 緑 が 豊 か な ま ち	景 観 や 街 並 み が 美 しい ま ち	環 境 に 配 慮 した ま ち	災 害 に 強 い ま ち	犯 罪 や 交 通 事 故 の 安 全 な ま ち	活 買 い 物 な ど 日 常 生 活 に 便 利 な ま ち	多 動 い く 場 所 や 仕 事 が あ る ま ち	に ぎ わ い や 活 気 の あ る ま ち	人 や 地 域 の つ な が り が 強 い ま ち	住 民 の 参 加 に よ る 活 発 な い ま ち
全体		1,615 100.0	116 7.2	770 47.7	367 22.7	136 8.4	462 28.6	422 26.1	472 29.2	85 5.3	178 11.0	125 7.7	80 5.0
年 代 別	16～19歳	63 100.0	3 4.8	29 46.0	11 17.5	3 4.8	15 23.8	18 28.6	23 36.5	4 6.3	16 25.4	8 12.7	2 3.2
	20～29歳	101 100.0	3 3.0	54 53.5	25 24.8	9 8.9	26 25.7	24 23.8	23 22.8	6 5.9	14 13.9	14 13.9	2 2.0
	30～39歳	195 100.0	7 3.6	114 58.5	39 20.0	20 10.3	37 19.0	57 29.2	56 28.7	10 5.1	20 10.3	12 6.2	11 5.6
	40～49歳	256 100.0	9 3.5	137 53.5	61 23.8	24 9.4	74 28.9	81 31.6	68 26.6	15 5.9	22 8.6	18 7.0	12 4.7
	50～59歳	236 100.0	18 7.6	107 45.3	51 21.6	18 7.6	73 30.9	62 26.3	70 29.7	14 5.9	30 12.7	13 5.5	12 5.1
	60～64歳	125 100.0	12 9.6	51 40.8	23 18.4	10 8.0	42 33.6	31 24.8	37 29.6	5 4.0	15 12.0	9 7.2	9 7.2
	65～74歳	345 100.0	32 9.3	151 43.8	75 21.7	30 8.7	95 27.5	66 19.1	109 31.6	15 4.3	28 8.1	26 7.5	20 5.8
	75歳以上	244 100.0	26 10.7	97 39.8	69 28.3	18 7.4	87 35.7	72 29.5	73 29.9	15 6.1	29 11.9	19 7.8	10 4.1

上段:件数 下段:%		調 査 数	交 通 利 便 性 が 高 ま ち	市 道 基 盤 や 公 園 な ど ま ち	健 康 づ く し た り や 医 療 の 充 実 が ま ち	高 齢 者 や 障 害 者 が ま ち	子 育 て し や す い ま ち	教 育 環 境 が 整 っ た ま ち	生 涯 学 習 や ス ポ ー ツ が 盛 ん な ま ち	歴 史 や 文 化 を 大 切 に し る ま ち	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	187 11.6	127 7.9	290 18.0	349 21.6	292 18.1	146 9.0	52 3.2	91 5.6	8 0.5	18 1.1
年 代 別	16～19歳	63 100.0	7 11.1	4 6.3	7 11.1	9 14.3	9 14.3	4 6.3	3 4.8	3 4.8	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	101 100.0	11 10.9	11 10.9	12 11.9	9 8.9	25 24.8	11 10.9	1 1.0	7 6.9	2 2.0	0 0.0
	30～39歳	195 100.0	20 10.3	17 8.7	20 10.3	15 7.7	82 42.1	32 16.4	5 2.6	9 4.6	0 0.0	2 1.0
	40～49歳	256 100.0	29 11.3	22 8.6	27 10.5	32 12.5	67 26.2	31 12.1	10 3.9	18 7.0	2 0.8	3 1.2
	50～59歳	236 100.0	32 13.6	17 7.2	42 17.8	52 22.0	33 14.0	17 7.2	6 2.5	7 3.0	1 0.4	3 1.3
	60～64歳	125 100.0	19 15.2	7 5.6	34 27.2	34 27.2	16 12.8	7 5.6	6 4.8	2 1.6	0 0.0	3 2.4
	65～74歳	345 100.0	32 9.3	30 8.7	87 25.2	114 33.0	39 11.3	19 5.5	16 4.6	23 6.7	1 0.3	1 0.3
	75歳以上	244 100.0	31 12.7	18 7.4	51 20.9	76 31.1	14 5.7	16 6.6	3 1.2	19 7.8	2 0.8	4 1.6

■問 24「まちの将来像」のクロス集計（居住地区別）

居住地区別にみると、大沢・尺代では「交通利便性が高く移動しやすいまち」、それ以外の地区では「水や緑が豊かなまち」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調 査 数	ま 人 ち 権 が 尊 重 さ れ る	ち 水 や 緑 が 豊 か な ま	し 景 観 や 街 並 み が 美	ち 環 境 に 配 慮 し た ま	災 害 に 強 い ま ち	少 犯 罪 や 交 通 事 故 の	活 買 い 物 な ど 日 常 生	多 働 い ま ち 場 所 や 仕 事 が	ある ま ち に ぎ わ い や 活 気 の	り 人 や 地 域 の つ な が	住 民 参 加 に よ る な ま
全体		1,615 100.0	116 7.2	770 47.7	367 22.7	136 8.4	462 28.6	422 26.1	472 29.2	85 5.3	178 11.0	125 7.7	80 5.0
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	2 15.4	3 23.1	2 15.4	1 7.7	4 30.8	2 15.4	6 46.2	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	若山台	165 100.0	13 7.9	77 46.7	27 16.4	15 9.1	50 30.3	36 21.8	60 36.4	9 5.5	17 10.3	8 4.8	9 5.5
	東大寺	139 100.0	12 8.6	65 46.8	25 18.0	14 10.1	46 33.1	41 29.5	39 28.1	8 5.8	15 10.8	4 2.9	5 3.6
	山崎	228 100.0	19 8.3	116 50.9	52 22.8	13 5.7	55 24.1	64 28.1	60 26.3	6 2.6	24 10.5	18 7.9	12 5.3
	広瀬	248 100.0	12 4.8	119 48.0	53 21.4	12 4.8	83 33.5	65 26.2	72 29.0	17 6.9	24 9.7	24 9.7	14 5.6
	百山	52 100.0	1 1.9	24 46.2	15 28.8	3 5.8	5 9.6	20 38.5	22 42.3	3 5.8	11 21.2	3 5.8	2 3.8
	桜井、桜井台	104 100.0	7 6.7	47 45.2	24 23.1	10 9.6	30 28.8	36 34.6	28 26.9	4 3.8	8 7.7	8 7.7	7 6.7
	青葉	203 100.0	16 7.9	98 48.3	60 29.6	29 14.3	60 29.6	49 24.1	54 26.6	10 4.9	19 9.4	16 7.9	8 3.9
	水無瀬	192 100.0	12 6.3	89 46.4	47 24.5	16 8.3	50 26.0	51 26.6	55 28.6	13 6.8	32 16.7	22 11.5	10 5.2
	江川	165 100.0	13 7.9	76 46.1	35 21.2	18 10.9	46 27.9	37 22.4	45 27.3	8 4.8	16 9.7	11 6.7	9 5.5
	高浜	55 100.0	3 5.5	25 45.5	13 23.6	1 1.8	21 38.2	10 18.2	18 32.7	4 7.3	7 12.7	5 9.1	2 3.6

上段:件数 下段:%		調 査 数	移 交 通 し や 便 す い 性 が 高 く	ち 市 道 基 路 や の 公 整 園 つ た ま 都	の 健 康 づ く り や 医 療	の 暮 ら し や 障 い 害 福 者 祉 が	ち 子 育 て し や す い ま	ま 教 育 環 境 が 整 っ た	ツ 生 涯 学 習 や ス ポ ー チ	に 歴 史 や 文 化 を 大 切	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,615 100.0	187 11.6	127 7.9	290 18.0	349 21.6	292 18.1	146 9.0	52 3.2	91 5.6	8 0.5	18 1.1
居住地区別	大沢、尺代	13 100.0	7 53.8	1 7.7	1 7.7	3 23.1	0 0.0	1 7.7	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0
	若山台	165 100.0	22 13.3	10 6.1	29 17.6	37 22.4	34 20.6	9 5.5	1 0.6	11 6.7	1 0.6	5 3.0
	東大寺	139 100.0	21 15.1	11 7.9	18 12.9	31 22.3	31 22.3	18 12.9	7 5.0	4 2.9	1 0.7	0 0.0
	山崎	228 100.0	33 14.5	17 7.5	44 19.3	55 24.1	29 12.7	12 5.3	8 3.5	18 7.9	1 0.4	2 0.9
	広瀬	248 100.0	20 8.1	18 7.3	42 16.9	53 21.4	39 15.7	20 8.1	9 3.6	16 6.5	1 0.4	1 0.4
	百山	52 100.0	5 9.6	5 9.6	10 19.2	7 13.5	12 23.1	7 13.5	2 3.8	3 5.8	0 0.0	0 0.0
	桜井、桜井台	104 100.0	12 11.5	14 13.5	14 13.5	22 21.2	18 17.3	8 7.7	3 2.9	8 7.7	0 0.0	3 2.9
	青葉	203 100.0	15 7.4	19 9.4	44 21.7	47 23.2	34 16.7	21 10.3	8 3.9	9 4.4	1 0.5	1 0.5
	水無瀬	192 100.0	19 9.9	10 5.2	39 20.3	40 20.8	37 19.3	18 9.4	8 4.2	9 4.7	2 1.0	3 1.6
	江川	165 100.0	22 13.3	13 7.9	31 18.8	34 20.6	42 25.5	17 10.3	3 1.8	5 3.0	1 0.6	1 0.6
	高浜	55 100.0	5 9.1	8 14.5	8 14.5	12 21.8	8 14.5	6 10.9	1 1.8	3 5.5	0 0.0	0 0.0

■問 24「まちの将来像」のクロス集計（世帯類型別・居住年数別）

世帯類型別にみると、就学前の乳幼児のいる世帯では「子育てしやすいまち」、介護を必要とする方のいる世帯では「水や緑が豊かなまち」と「高齢者や障害者が暮らしやすい福祉のまち」、それ以外の世帯では「水や緑が豊かなまち」が最も高くなっています。

居住年数別にみると、いずれにおいても「水や緑が豊かなまち」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	まち権が尊重される	水や緑が豊かなまち	景観や街並みが美しいまち	環境に配慮したまち	災害に強いまち	少ない犯罪や交通安全なまち	買い物など日常生活に便利なお店が身近にあるまち	働く場所や仕事が多いまち	にぎわいや活気のあるまち	人や地域が強いまち	まちづくりに参加しやすいまち
全体		1,615 100.0	116 7.2	770 47.7	367 22.7	136 8.4	462 28.6	422 26.1	472 29.2	85 5.3	178 11.0	125 7.7	80 5.0
同居家族別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	3 2.0	84 56.0	27 18.0	15 10.0	23 15.3	47 31.3	29 19.3	6 4.0	17 11.3	15 10.0	11 7.3
	小学生のいる世帯	195 100.0	6 3.1	99 50.8	48 24.6	14 7.2	48 24.6	63 32.3	43 22.1	10 5.1	16 8.2	10 5.1	12 6.2
	中学生のいる世帯	113 100.0	5 4.4	49 43.4	27 23.9	11 9.7	30 26.5	39 34.5	30 26.5	5 4.4	9 8.0	8 7.1	3 2.7
	65歳以上の高齢者のいる世帯	510 100.0	47 9.2	236 46.3	108 21.2	43 8.4	158 31.0	126 24.7	155 30.4	25 4.9	46 9.0	40 7.8	30 5.9
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	11 10.4	41 38.7	19 17.9	9 8.5	35 33.0	25 23.6	38 35.8	2 1.9	6 5.7	9 8.5	4 3.8
居住年数別	5年未満	106 100.0	5 4.7	55 51.9	24 22.6	11 10.4	18 17.0	33 31.1	38 35.8	4 3.8	10 9.4	10 9.4	8 7.5
	5年以上10年未満	151 100.0	9 6.0	71 47.0	35 23.2	8 5.3	41 27.2	43 28.5	42 27.8	9 6.0	19 12.6	10 6.6	8 5.3
	10年以上20年未満	306 100.0	13 4.2	143 46.7	76 24.8	35 11.4	87 28.4	89 29.1	78 25.5	17 5.6	40 13.1	21 6.9	13 4.2
	20年以上	1,001 100.0	82 8.2	469 46.9	219 21.9	78 7.8	304 30.4	247 24.7	302 30.2	54 5.4	105 10.5	78 7.8	49 4.9

上段:件数 下段:%		調査数	移動しやすさや利便性が高いまち	道路や公共交通機関が整備されたまち	健康づくりや医療の充実したまち	高齢者や障害者の暮らしやすいまち	子育てしやすいまち	教育環境が整ったまち	生涯学習やスポーツが盛んなまち	歴史や文化を大切にするまち	その他	不明・無回答
全体		1,615 100.0	187 11.6	127 7.9	290 18.0	349 21.6	292 18.1	146 9.0	52 3.2	91 5.6	8 0.5	18 1.1
世帯類型別	就学前の乳幼児のいる世帯	150 100.0	9 6.0	14 9.3	13 8.7	7 4.7	91 60.7	33 22.0	6 4.0	3 2.0	1 0.7	1 0.7
	小学生のいる世帯	195 100.0	18 9.2	19 9.7	19 9.7	16 8.2	76 39.0	36 18.5	8 4.1	10 5.1	1 0.5	2 1.0
	中学生のいる世帯	113 100.0	13 11.5	11 9.7	15 13.3	14 12.4	32 28.3	22 19.5	6 5.3	4 3.5	1 0.9	1 0.9
	65歳以上の方のいる世帯	510 100.0	57 11.2	42 8.2	110 21.6	140 27.5	54 10.6	19 3.7	17 3.3	36 7.1	3 0.6	4 0.8
	介護を必要とする方のいる世帯	106 100.0	12 11.3	7 6.6	26 24.5	41 38.7	8 7.5	3 2.8	3 2.8	7 6.6	1 0.9	0 0.0
居住年数別	5年未満	106 100.0	15 14.2	7 6.6	13 12.3	6 5.7	40 37.7	15 14.2	0 0.0	5 4.7	0 0.0	1 0.9
	5年以上10年未満	151 100.0	10 6.6	13 8.6	20 13.2	19 12.6	47 31.1	27 17.9	9 6.0	8 5.3	1 0.7	1 0.7
	10年以上20年未満	306 100.0	36 11.8	25 8.2	43 14.1	48 15.7	62 20.3	27 8.8	12 3.9	12 3.9	3 1.0	4 1.3
	20年以上	1,001 100.0	120 12.0	81 8.1	204 20.4	267 26.7	135 13.5	68 6.8	29 2.9	63 6.3	4 0.4	10 1.0

問 25 これからの島本町のまちづくりについて、ご意見やご提案があれば、自由に記入してください。（自由回答）

（１）『環境・景観』について

① 自然環境・景観など

● 自然環境を保全するためこれ以上大規模マンションの開発を抑制すべき
● 町内に自然の資源がたくさんあるのに活かされていない。交通環境にも恵まれているが活気があるとは言いがたい。
● 緑豊かな町である。
● 自然を取り入れた落ち着いた街づくりを
● 建設ラッシュだが緑や自然が残ることをお願いします
● 自然環境の良さが街の魅力。他都市にないこの力をいかす道を中心に考えればユニークな街づくりにつながるのでは？
● 自然環境破壊しないよう留意する
● 島本町は、都会にも行きやすい場所にありながらも自然が残っていてとてもいい所です。ウグイス鳴きます。
● 島本町は近くに山や川があり、自然がいっぱいありそれらを守るのが良い。商売人が生活する事が良いが今は守るだけの商売だ。みんな長くいたくなるような町であってほしい
● 現状特に困っていない。自然を大事にする町であり続けてほしい
● 京都-大阪の中間にあり、天王山のふもと、サントリーや小野薬品があり自然も豊かでいい町と思っている。これを崩すような開発は反対で人口の急増化も避けるべきだ。
● 尺代の川で遊ぶ人が増えたがバーベキューなど火を使うのは厳禁にしてほしい。
● 水のおいしい町で嬉しい。年を追うごとに活気のない町になり寂しい。もっとおしゃれなカフェがあったり歴史の町でありながら近代的な雰囲気の町であつたら良いと思う。
● 自然を生かした街づくり。交通の便がいい田舎。マンションの増加は町の荒廃を招く恐れがある
● この自然環境を守っていけたらよいと思う
● 水のすばらしさを保全。
● 緑豊かで散歩道が充実している町。
● 私は島本町の緑を求めて移住してきました。まわりにマンションが多くできてきていますが、人が増えるのはいい事なのかもしれません。でもひょっとして緑が無くなってきてしまうのではないかと心配です。島本町はベッドタウンだと思ってます。緑を守るよう心からお願いします
● マンションが増え、空が狭く山が見えなくなった。町がぎゅうぎゅう。少しでも昔の島本のよさを残してください。子供たちの記憶に残るように。
● 42年前に緑豊かな街へと引っ越してきたがマンションが多くなった。
● 島本の自然の多さに惹かれて来たが、最近田畑がなくなりつつある。このままでは魅力がなく残念。特にＪＲ島本駅周辺は今のままでお願いします。
● 交通の利便性が高いのに自然豊かな街である。島本町を気に入ってます。朝市で地元の野菜が買えたり小学校で田植えが出来たりと子育てにも良い環境をこれからも残してほしいです。JR側の駅前（島

本駅西側) は自然豊かさを示す町の象徴だと思います。自然を残しかつ、JR と阪急の間の商業を活性化して町を賑わいのある街にしてください
● 人権尊重を一番に出すのは、憲法ですすでに認められていることの繰り返し。大切だが、これはあらゆる地域で尊重されるべきであって島本町の特色であってはならない。身近な自然をこれ以上開発という名目によって壊さないことが大切。自然を壊すのは数日だが、回復させるには数年も数十年もかかる。長いスパンで町の価値追及を考えていただきたい。目の前の利益に飛びつくのは愚の骨頂定見の現れ。しっかりと人と自然の共存する。人の環境を守ってほしい。
● 島本町はベッドタウンです。他市と同じような開発は不要で緑豊かな所が島本です。そこを強調して守るべきです。地権者の利益より今の住み続けている住人も大事にしてください
● 島本の景観を見て歩いて素晴らしい故郷を感じよう。
● 島本の緑豊かさがほしい。マンションの高さ考えて
● マンションによる景観の悪さが目立つ。
● マンション開発が多くなっているが、景観は考えられているか疑問。
● 高層マンションが建ち景観が悪くなってる。
● 大きな建物でせつかくの美しい山が見えなくなるのは大変残念。景観と自然を考えた開発を行ってほしい。
● 土地整備は無秩序な住宅開発は、やめていただきたい。景観を損なうばかり。
● 最近宅地開発が進みマンション、住宅がぞくぞく誕生し豊かな自然環境であった島本町の魅力が失われている。これ以上島本町を壊さないで
● 駅前の風景がなくなるのは残念。
● 島本駅前の環境を変えてほしくない気持ちの半分商業地域の利便性を考えると裏腹な気持ちになります。自分の年齢の事考えると現状維持で散歩道の水や鳥や緑がつぶしてほしくない気持ちです。
● 美しい山、農地、美味しい水が大切です。(島本ブランド) 大型スーパーはいらないです。高槻まで一駅。子育てしやすい自然に恵まれた、美味しい水、美味しい空気、環境を大切にしてほしい。災害に負けない町。年末のイルミネーションも静かな美しさで素敵です。少子高齢化の町になってもこの町が大好きと言えるように、目に焼き付ける景色であってほしい。
● 自然豊かな環境から気に入って他市から引っ越してきました。住んでみると暮らしやすく住む人たちも穏やかで環境についても意識が高く満足して住んでましたが、近年猛スピードで開発が進み、マンションや宅地が進み田畑が減ってきて車の量が増えこのままいくとどうなるのだろうと心配しています。結婚して他市に住んでいた息子夫婦が島本に越してきたこともあり、開発を頭から否定するものではありませんが、緑豊かで自然環境大切にされている。島本の良さを次世代に引き継げるよう広域にアイデア募って安易に田畑を無くさない方向でご検討いただけますように願っています
● これ以上住宅開発を進めないでほしい。定住人口の増加という面も理解できるが、最近のマンション建設や住宅開発はやりすぎている。長く島本町に住みこの町の自然や景観を愛する一人としては、マンションの乱立やそれによって失われる農地や自然が残念でならない。(島本駅の西側が特に！)
● 住宅が建ちすぎて自然がなくなってる気がします。
● 交通の便もよくなり、大変助かってますが、自然が失われるのは残念です。自然を大切にすることは忘れないでください
● 大阪から帰って駅に着き山の緑を見るとホッとしたものです。どこからも山が見えた緑豊かなで水の

美味しい島本町が随分と様変わりしてきました。農地も減り、高いマンションが増えどこにでもある都市近郊の町になってしまうのか・・・今からでも島本の緑を守って他とは違う島本らしさを生かしてほしいです。
● 昔は多く見かけた田畑や緑が、新しい家などでどんどん減っていくことが悲しい。高齢化が進んでいるのはわかるが、人口を増すだけだと島本の良いとことである自然が減っていく一方なので希少価値を上げるなどして自然と島本を守っていくべきだと思う
● マンション建設も良いですが、のどかな島本イメージが無くなるのが残念です。自然をもう少し残してほしい。
● 田んぼや畑がこれ以上少なくなったら、島本町の魅力が無くなる。ふるさと納税で田畑を買い上げ住民で田畑を管理する。できたものは、学校などで使う。食育と景観保全等の学びでできるのでは…自然に関心を持つことが防災にもなると思います。
● タウンミーティング等参加したことはないが、良い試みだと思う。駅前の田んぼ里山の保存をしてほしい。魅力は何といっても「水緑」。「水緑」ないならもっと買い物や交通の便の良い街に引っ越してくればよかったと思ってたと思う。新しくスーパーや商業施設を作るより、センター街の空き店舗が魅力的な店になる方が良いと思うし、新しくマンションを作るなら、若山台の空いてるマンションをイノベーションして住めるようにするとか。コミュニティバスが往来するとかで今あるものを活かしてほしい。駅前の田んぼでカエルやヤンを捕まえて里山で野草を教わり水無瀬川で遊んでいる子供。子育て世代にとってこの自然は最上の宝なので大切に守ってほしい。自然と子育てに特化する事で人口の維持できればと思います。
● 宝塚市や西宮市が従来から取り組んでいる良好な景観形成の保全、創造の為の諸施策（用途の地域規制、容積率、建蔽率、週宅の緑化率等）の基準の強化実行期待する。
● 水無瀬ゴルフ、町民プールの復活。大人子供の憩いの場が極端に少ない。プールが無くなってから、川で遊んだりする子供が激増している。町内にある池は外来生物ばかりいる。琵琶湖みたいに釣り人に駆除してもらるか、漁業券でも販売して開放すべきである。管理費用になる。〇〇の池は、特に景観を損なって汚すぎる。景観損なってる
● 島本町は自然を大切にしたい街づくりをしてほしいです。商業施設は高槻に行けば何でもそろいます。水無瀬川は以前はもっと生き物がいましたが減ったと思います。水無瀬川ウォッチングは良くないと思いました。それと公共施設（プール、住民ホール）などが取り壊されてしまったのが残念です。子育て世代には必要だと思います。自然を残すことで島本町に住みたいと思う人が増えないのでしょうか？
● 緑豊かで静か。過ごしやすい町である。
● 人口を増やそうと次々と高層マンションが建設され、島本の良さを減減させていると思います。高浜に建てられたマンションの様に元々田んぼや畑であったところに建設されたのはすごく残念でした。島本駅の裏側の田畑も維持するのは難しいと思いますが、あのままであってほしいです。
● 町の将来を考えると何よりも治山治水が大切です。山側の斜面を見ると天王山のあらゆる面で竹林が年々増えておりこれの拡張を阻止する事が最大の治山治水だと考えます。まずこの地域の土地の所有者を特定し、早急に竹林伐採できるように所有者に通告実施させる。所有者の死去不在などで町内にいない時は管理伐採を町が受け竹の生育を麻痺させることを実施する事が肝要

● マンション作りすぎ。大好きな島本がだんだんと嫌になってきました。何人か聞きます。マンションだけでなく、家もですけど…人の声を本当に聞いているのか？って思います。寂しくなります。欲張らないで、調子乗りすぎ。このままでは、夏の島本まつりも毎回並んで長い列を作るのですか？子供も大変だし、でも緑地でやるのは二度といや
● 島本町は自然豊かでとても良い街だと思う。田んぼや畑を無くしてしまう計画があると聞きました。絶対無くしてほしくないです。島本町の良さを消して、どこにでもある街になってほしくない。
● 自然環境に恵まれた島本町を本当に良い町と思っています。特に水や緑が美しい町です。ぜひお越しください
● 大型マンションの乱立により景観が損なわれており悲しく思う。
● 島本町の魅力は豊かな自然だと思います。その魅力を壊されないように街づくりをしてほしいと思います
● マンション建設が著しく自然を大切にできていない。人間が集まると自然や景観が破壊される。町の活気や財源にばかり目を取られ人口増加して失う弊害を想定していない。朝の通勤ラッシュでストレスを感じるようになった。昔の島本町の方が良かった。
● JR 島本駅西側の自然景観を残すこと、潤いと癒しのある街に（心の安らぎを覚える町）一部の利益により全体の利益を考え、将来に福を残すことができるよう、とりくんでほしい。島本の自然を生かした街づくり。
● 水無瀬川の保護
● 水無瀬川の中州、木や雑草が生えているので処理してほしい。
● 河川敷の駐車場の営業時間を延長し、河川敷の整備（緑化やウォーキングコースの確保）に努め防犯カメラの設置！きれいな河川敷にしてほしいです。（犬のふん等）
● 近年はたるが減少している。もっと放流してくべき。川があるのに花火や BBQ が出来ず若者が離れる原因に。愛着が薄れる
● 「見渡せば山も霞む水無瀬川」の景色を守り続けてほしいので、マンションをこれ以上建てない。建てるなら、阪急電車の沿線沿いをお願いしたい。田園が住居になって、緑が減って、ありふれた都会になってくのは耐え難い。人口=住所数を考慮していただきたい。近隣に高槻市があるので、賑わいや活気のある街を目指しても、徒労に終わる気がします。地味でも住みやすい町づくりを！！
● 駅の西側が開発されるのは仕方ないがもう少し緑を取り入れたい。プラットホームからマンションの駐車場が丸見えで嫌だ。ナンセンス！！緑の奥にマンション、その向こうの山が見えるようにしてほしい。でもロータリーは、あってもいいとおもう。コンビニもほしい。
● 島本町の一番いい所はやり自然豊かで住みやすい所だと思います。最近住宅街地の建設が増え、少しずつ緑が失われつつ残念に思います。ある程度の自然は残しつつ、住みやすい町で有り続けてほしいと願います
● 私が小さかった頃は空き地で遊ぶことが出来たり、田んぼで遊んだりすることが出来たのに、今は住宅街がたくさんできてしまい、緑が少なくなってしまったのがとても残念です。なので、これ以上緑を減らしてほしくないと思います。駅前の田んぼが無くなるという話を聞いたので、本当にやめてほしいです。島本町に都会みtainな施設やマンションはいらないと思います。
● マンション、家が多くたって緑がどんどん減り、人的破壊が進み、島本の「都会の田舎」良さが無くなったことが残念です。

● 最近やたらと町内でマンション、住宅地の建設が目につく。人口減少、空き家問題は頻繁に取りざたされる中、時代と逆行しているように思われる。島本町のいい所は、「自然と調和した美しい景観」なのだから、それを破壊するような街づくりはやめてほしい。ありきたりな都市開発よりも「島本の自然を生かした街づくり」をしてほしい。JR 西側に大型マンションを建てる事はどう考えてもばかげている。車の渋滞や騒音等、色々な問題も出てくるであろう。
● 島本は駅前の歩道をなぜ石で敷き詰めたのか？(人に優しい水はけがよいのあるのに)変わりばえの無い街になってきている。田畑有り、水の良い自然残る島本の良さが減少してきて寂しい。もっと住み続けたいと願う町づくりをしてほしい
● 最近関電のグランド跡地 R171 沿いのサントリー跡地などに、どんどんマンション建設されています。家までの帰り道に見えてた天王山の美しい山並みの景色が無くなり、マンションがそびえたってます。島本町は大阪にも京都にも、行きやすいのに自然豊かで天王山も近く、山見える景色はきれいで、水もおいしい。程よく田舎が残ってるのが自慢の土地なのにどんどんマンション建って景観が壊されていくのが嫌です。自然豊かさを売りに守っていくべきではないでしょうか？ただ人口を増やすためにマンション建てるのではなく、景観条例を制定し、高さ制限を設け、色も限定し、景観になじむものを許可する。京都市は景観になじむように制限があります。島本もそのように街づくりすべきです。
● これ以上のマンションを作らないでほしい。緑が減ってくのがさみしい。
● 水と緑を大切にしてほしい。
● ここ数年高いマンションが建築物が多く、景観が変わってきているように思います。
● 緑の整備と保全こそが島本に必要な事だと思います。
● 自然大切に
● コスモス畑無くさないでほしい。
● 自然が多い町との印象があるものの、ただ山や川があるだけ。山も川も整備されずあれているように思われる。
● 約7割が山地である。島本町は憲章にもあるように、自然と水と緑の街づくりが必須です。特に農業問題が心配です。後継者問題等で営農者が少なくなる中、マンション等宅地造成が増加、ますます緑が少なくなるように思われます。農地維持政策等緊急課題ではないでしょうか？
● 環境景観を守りながら、開発発展は、大変だと思いますが取り組まないと遅れます
● 開発にあたっては、なるべくみどりや自然な島本町にしてほしい
● 駅前大規模なマンション開発が進んでいるが、街に思入れの無い人が来たり、治安が悪くなるのが怖いので、限りある資金は町を魅力的にするための環境保全・水や緑の保全に使ってほしい。島本の良さは、自然と住民の愛着だと思う
● 島本町に住む様になって、長い年月がたちます。こちらに来た頃は美しい街だと思っていましたが、ここ最近は美しいと思えなくなりました。例えば、「東大寺公園」水無瀬川は以前の大量に運ばれた土砂がいつまでも放置されたまま。緑豊かなではなく、ただほっておかれたままの公園や山。街路樹も街灯も放置されたまま。緑豊かという人の手が加わって手入れされてこそと思います。最近の島本町は、何を目指していくのかビジョンが見えませんが、全てが中途半端な気がします。大きなマンションいくつもできて、住民が増えてよいかと思いますが、はたして町の環境は満足してもらえるのか？と思います。
● みどりや水の環境を守ってほしい。自然を壊して開発しないでほしい。マンション等高層ビルの乱立、

必要以上にベッドタウン化しないほしい
● JR 島本駅前の農地景観の特色として、残しておくべきと考える
● 島本町は、豊かな自然ときれいな空気が魅力で移り住んできました。住宅ばかりが沢山建ってる他の町とは、そこが違い少しの不便は有っても、心豊かに生活できます。豊かな自然をずっと残してほしいです。水無瀬駅前のせっかくの一等地商業施設でもっとにぎわえばよいかなと思います
● やや不満あっても、水や緑が豊かなら満足し、環境に優しい町が優しい人間を育てる
● 10 年前までは、田んぼもたくさんあって緑がいつでも目に入って来るような自然一杯の町だった。最近、田んぼなくなり、マンションや住宅ばかり建ってさみしい。人口増やすために仕方ないのかもしれませんが、もともとの自然も残してほしい
● 素晴らしい水源の水無瀬川を保全し、虫が毎年見れるような環境を町民の手で作上げる。その為には川のゴミ拾いや草取りなどをイベント的に行う方法を町に企画してほしい。下流だけでなく上流のゴミは素晴らしい水源を台無しにする。町民の手で自然環境を守っていく地域となるのが理想
● 自然環境が良いが蓮華畑やこいのぼりが見られなくなり残念。
● ○○神社自然そのまますぎて、うっそうとしすぎていると思います。環境を整えるために少し伐採等考えてほしい

② 生活環境・美化

● 何年か前にごみ袋が黒から透明に移行していますが、もっと早くに連絡してほしい。安い時にたくさん購入して使い道が無駄。周りの人からもそのような事聞いた。
● 高槻市みたいにゴミを無料で持って行ってほしい。リサイクルゴミを月 2 回収集してほしい。
● 採石場から砂ぼこりの飛散何とかならないか？
● 島本町も町内美化に取り組んでいると町報に書いてましたが、旧西国街道に農耕機がタイヤに泥つけたまま走って泥だらけです。農耕機もナンバーなしは交通違反です。近隣都市から歴史文化遺産巡りでよく島本駅、水無瀬駅から山崎の方へ小団体で散策されていますが、あまりイメージ良くないと思います。向日町の知人から一度指摘されました。住民の私も困ってます。農業従事者のモラルの問題と思いますが、広報でもっと大きく取り上げていただきたいと思います
● 道沿いの草を綺麗に刈ってほしい。
● 水無瀬川沿いの歩道は草が生い茂っているし犬の糞があるし不快。
● 阪急電車沿いの用水路（西側）の水が汚い。流水を止める桶が下りた状態が長い。
● 家の前が鈴谷瓦窯跡で空き地なのですが、犬がふんしたり車が駐車場代わりにしたりして困ってます。この間環境課に言いに行ったのですが、今の所何の対策もしてもらえてません。空き地の前に柵をしてもらいたいです
● 犬のふん多すぎる。本当に多い。公園の木に毛虫もいる。早急な対応が必要
● 犬のふん対策。
● 淀川河川敷ゴルフ場が放置され荒れ放題で汚いのでどうにかしてほしい。ペットの排泄物がほったらかしなので対策してほしい。
● 路上喫煙禁止にしてほしい。臭い、ポイ捨て多い
● 廃棄物処理については、広域連携をとってほしい
● ごみ焼却場の老朽化と処理能力が心配である。又、し尿処理場とその使用量の確保を危惧している

(2)『安全』

① 防災

● 前回の震災時、避難所開設と聞き行くと誰もおらず毛布も何もなく仕方なくローソンで過ごしたと話を聞き不安になった。避難に関して他の地域より遅くてない時もあるので不安。
● 水無瀬の滝に行く道標がない。災害避難時に水無瀬を渡らないといけないので大山崎と連携して施設を獲得すべきだと思う。
● 山崎4丁目の山際、土砂崩れ後は、次の災害を招く可能性あり、近隣住民の命に係わる為早急な補修を要望する。
● 災害のあと、いつも自宅前に土砂が流れて大変なので役場職員も見回りに来てほしい。
● 特に災害時は安全な場所確保を分散・増加策を推進する事。身体不自由な方の避難場所をもっと近くに設定するのが望ましい
● 6月の地震の時、学校の周辺の道路の危険を感じました。西国街道は、昔ながらの風景で素敵ですが、災害が起きた時道幅が狭く、倒れてくるものも多そうです。避難場所になる、第一小学校に救援がスムーズに来るか心配です。裏門の別のルートで車（できれば大型車）が通行できる道が出来れば事故や火災等で西国街道が通れない時も安心だと思います。
● 建築基準法改定前に建てられた公共の施設の老朽化対策を早く行ってほしい。第四保育所等。何年か前も話が前に進まず何かあってからでは遅い。
● 災害時の避難場所が遠いので災害時不安を感じる事があります。車や移動手段がない家庭は不安に思います。もう少し、避難場所を増やすとか、移動手段を考えて頂けるととてもありがたいと思います。
● (遠回りしないといけない)災害に関する注意、警報、広報車が地域を回ってるが何言ってるか分からない。窓を開けて聞いていても今まで全く理解できなかった。(放送われてる)ボランティア援助をいろいろな教養講座を広げてほしい。
● 山崎地区は防災無線が聞こえない。
● 大雨の時に防災無線全く聞こえません
● 町内放送がどんなに耳を澄ませても反響がひどく聞こえません。町内のどこにいても聞こえるように調査されたのでしょうか？団地に住んでますが、棟と棟の間でも反響に影響があるのではないかと思います。とにかく全く何を言っているのか分かりません。防災や緊急の事ならなおさら不安です。夕方5時のチャイムの事です、 「エリーゼの為に」「ふるさと」「のぼら」 がほとんどです。 「あかとんぼ」 や 「ゆうやけこやけ」 なんかもあったように思います。他にもいろいろあるのでしたら順に変えてほしいです
● たまに流れてくる防災無線が何言ってるか全然聞き取れない
● いつも役場から放送の内容が聞き取れません。（耳はよく聞こえています）
● 防災放送は声がこもった様子で、何を放送してるかほとんどわかりません。雨戸などしめていれどもっとです。もう少しはっきりした言葉で聞こえるようにして下さい。
● 災害時、スピーカーの音が乱れており聞き取りにくい。外へ出てみるも、何を言ってるかわかりづらい。（山崎一丁目）
● 災害の時町が放送を何処から流しているか、雨などで大切な時にほぼ聞こえない。晴れた時、想定さな場所の周囲だけ、聞こえたらよいのか？少し疑問に思う。（メールの配信は、受け取ってます）

● 住んでるところは青葉地区ですが防災無線聞きづらいので改善してほしい
● 防災無線全く聞こえません。若山台高齢者多いので考えてほしい
● 集中豪雨が通常化しているので、排水とか水害に対して、対策は十分ですか？
● 教育施設などの老朽化が進んでるため、そこを避難所に指定しても逆に危ない場合がある。大雨や地震など想定して、きちんと防災に対して、対応できる行政であることを、期待します。(6月の地震の際は、出勤できなかった職員も多かったのではないかと推測します)
● 災害時について…ほかの自治体で、水害の時、近くのマンション3階以上の廊下に避難できるようになったらいいです。
● 自信や大雨の時、避難所での対応が素早く感動しました。町長のTwitterも情報源の一つでした。島本のTwitterも作ってみられては？これからの街づくり期待します
● 想定外の災害が続いているので、淀川が氾濫する事もあるかもしれない。もっと高くすればなど、国に働きかけてほしい。
● 採石場から広くなり山も削れて山肌があらわ。記録的豪雨があると土砂災害にならないかと心配。若山台住宅前の道も碎石場に行くダンプが勢いよく通行している。危ないと思ってる。仕事場も大事ですが、人の命より大切なものはない、何かあってからでは遅い。災害に強く、人に優しい街になればいい
● 庁舎の建設について。天変地異に強い島本に。100年息づいてるサントリーのような。山を背に山の地中に奥深く、核シェルターを建設してほしい。消防署と連携して、建てて災害やいろんな緊急時に対応できる庁舎であってほしい。建物の壁はソーラーパネで自家発電の設備と空調整備とヘリポートも作って、水陸空の両用のヘリコプターも島本に整備出来たら最高。
● 防災を考えると町舎の建て替え、もしもの時の避難所としても生かせるような庁舎に。
● 近年戸建て住宅の火災が昔より増えているようなので、高齢化も進むので火災の無いようになってほしい
● 災害が頻発しています。避難所の再検討をお願いします。
● 若い世代が入ってくるのに、保育所は老朽化。南海トラフや北大阪地震に耐えられるか、不安がある。

② 防犯

● J R 島本町から三小までの照明に蜘蛛の巣があり整理されていない。不審者がいるのでガードマンの巡回できないだろうか。私は65歳以上ですが年配より子供たちに町税をお願いします。
● 子供が安心できるよう見守り隊の増員や宅配業者に依頼して見守りしてもらうなど考えてほしい。防犯カメラは未然に防ぐことはできない。
● 四小近辺の通学路の安全対策
● 職員による町内パトロールで異常個所の発見・対策を行ってほしい。
● 防犯カメラの設置による犯罪の防止。
● 島本町には自然が多く、有名な企業もあり、大阪京都へ出るにもJRと阪急利便性が高く、大変住みやすい町だと思う。が、20年来住む中で、安全と思い込んでいた町のイメージが狙われやすい町という事に気づきました。私は、空き巣ひったくりの被害に遭い、怖い思いをしました。もっと歩道に明るい街灯を！！そしてJR山崎駅阪急大山崎駅にもっとタクシー配車を。不審者に追いかけられたこともあります。若い子たちがそんな被害に遭ってトラウマにならないよう、安全な街づくりに期待します。

● 深夜の時間帯に寂しい場所、道路等が多いので警察車両等での巡回を強化してほしい
● 夜間の街灯がもう少し明るい方が良い。監視カメラを要所要所に設置したほうが良い
● 街灯・防犯課の人の数がもっと必要
● 町全体が街灯少なく暗い。防犯知識が少ない。高齢化が進むと公共交通機関の増加が必要。交番所に署員がいらない、常に在住してほしい。JR から見る島本周辺は、とにかく暗く、犯罪の温床にならないように街灯を増やす
● 街灯が暗い。LED に変えてほしい。
● 名神高速道路の下で蛍光灯切れてます。明るくしてください。
● 高齢の親が一人暮らししています。生活面、健康面特に防犯面で心配が付きません。今後も高齢者が一人一人安心して暮らせる街づくりを望みます
● 人口の急増により、混乱、トラブル犯罪の増加が懸念される
● 島本駅の出口(田んぼ側と水無瀬駅側)とで、あまりに電灯の数や賑わい方(例えばクリスマス時のライトアップ)に差がありすぎて、桜井在住の私としては、見捨てられた感がすごい。公園もないし。改善を切に求めます
● 犯罪防止策として、防犯カメラの大量設置の促進。
● 街灯をふやしてほしい。夜が暗い。不安。安全面を！！
● 最近の事件を考えると町内は物騒なところも多く、例えば、新幹線沿いの道路自転車で走る子供や女性が多いのに、暗く監視カメラもなく不安を感じます。監視カメラには、やはり事件の制御になると思います。もう少し町内に監視カメラつけそして、安全な街島本アピールしてほしい

(3)『産業・にぎわいづくり』

① 商業

● 店舗が少ないので商業施設を充実させる。
● 買い物するにも町外へ出ないと揃わない。買い物欲をそそるような商業施設を建ててほしい。
● 商業施設が少ないので増やしてほしい。(価格競争の発生必要)
● 商業施設を誘致してください
● 大型スーパーの設置。
● 買い物をする場所がないので大型ショッピングセンターなどほしい。
● 買い物をするのにどうしても欲しい物がそろってなく、町外の店に買い物に行くので町内にもいろいろなものがそろう大型店があったらと思う
● スーパーが少なくいい買い物をするには高槻市まで出る必要がある。家族で外出の選択肢もない。文房具なども含め日常の購入物が島本町でまかなえない
● 買い物に高槻まで出たり電車に乗るのが不便。スーパーはあってもそのほかの日用品の買い物に困る。病院の行き来にも電車を使うのが不便。
● 近くのスーパーがつぶれないように願うばかりです。車なし日用品雑貨は、スーパーで配達。しかし、布団とか配達まで行かない。シーツとかをスーパーで配達を無料にしてほしい
● 買い物などは車が無いと不便。駅前まで行っても用事が済まない。イオンのような大型の商業施設があると一か所で買い物が済むので便利になると思う。
● 青葉住民の買い物は、上牧駅前フレスコしかないなので、とにかくスーパーマーケットをもっと増やし

てほしいです。買い物と通院が便利な場所に、人は集まると思います。
● 家族で行くことが出来るような飲食店、ファミレスなどが少ないので、増やしてほしい。スーパーマーケットやホームセンターなど生活に役立つもの買える店を増やしてほしい。
● 新しいマンション建っているが、人増えるのにスーパー少くないか？地域密着型のスーパーを作ってほしい。少し高くても良いものが良いです。
● 駅近等、スーパーや飲食店を増やし気楽に出歩いたり時間を過ごせる場が増えてほしい。
● もっと若者が楽しめる施設（ショッピングモール、カフェ）あればうれしいです。
● 都市銀行 ATM を増やしてほしい
● JR 島本駅にゆうちょ銀行などの ATM 設置してください。高槻市まで出ないとなのは正直しんどいです。阪急水無瀬駅方面になんとか集中しすぎている気がします。とにかくお金をおろすために阪急まで行かないといけないのは問題ある
● 100 均を復活させてほしい
● 100 均が欲しい。阪急駅前の商店街がさみしい。夜遅くに集まれる喫茶店がないので町の方とコミュニケーションとりにくい
● ハンバーガーの店作ってください。
● モーニングサービスのある喫茶店を増やす。少し遠くてもそこまで歩いて行ったりして、健康維持にもつながると思います。
● 若い世代でも楽しめる施設が少ないと思います。ファーストフードやカラオケなど作ることににより、他の地域の人たちが島本町に来ることになり、そこから島本町の魅力が伝えられると思います
● 今の自然を残しつつアミューズメント施設をきれいに整備し、集客するとどうだろうか
● カラオケとプリクラの機械を置いてほしい。盛れるプリクラがいい。小さくていいからジャンカラかビックエコー作ってほしい。他はきれいなので OK です。バイトできる場所を増やしてほしい
● ファーストフードのチェーン店があつたらよいと思う。水無瀬駅前の一等地なのに、空店舗が多く残念で仕方ない。夫婦が趣味でやるような小さな店でもいいから店が増えると良いな～っと思います。
● 島本町はとても住みやすい町だと思っています。しかしもう少し飲食店が充実すればもっと良いと望んでいます。
● 飲食店が少なく、外食の際は、高槻に出る事が多い。外食産業大手メーカーの誘致なども良いのでは？
● 島本町は住み良いが、買い物、飲食のお店が少なく、活気がなく不便である。駅周辺の商店の活性化、国道沿いの商業施設・飲食店の誘致を進めてもらえないものか。もっと店舗も増やして、活性化してほしい。
● 商店街の活性化。衣類・雑貨・洋菓子店がもっとほしい。
● 水無瀬駅～島本駅間の活性化。食料品は町内で買いますが、衣料品等は、高槻まで出かけていかないと買い物できない。不便です。
● 商店街さびれてます
● 商店街を活気づける。
● 商店街の再開発。
● 駅前に魅力がある商店が少なく活性化になっていない。
● 商店街のお店がシャッターが閉まっているところが多いのがもったいない。せっかく駅近くの好立地条件なのに、上手に生かせてないのが残念

● 商店街活性化
● 阪急周辺の店をもっときれいにすべき
● 古くからある商店を再考してほしい
● 商店街がさみしく思います。駅前に充実した商店街になるよう期待します。町が力を入れてください
● 商店街の空き店舗も人口増やすなら、何とかすべきです。スーパーも増やして、居酒屋やファミレスを誘致すべきです
● J R 島本駅側にレストラン・カフェ・商業施設を充実させてほしい。企業が多い中、利用する所が限られているので困る。
● JR 周辺の再開発により町の賑わいを活性化できるのではないのでしょうか？ 商業施設や企業学校の誘致など検討してはいかがでしょうか？
● JR より山側、百山若山台側にスーパーが少ない為、買い物行くのに踏切を渡らないといけないといけなことが多い。踏切を渡るのを、子供だけで行かせることに不安がある。山側にも住宅地が増えてきているので、スーパーが出来たら便利になるのになと感じます。
● 島本町の一番の魅力は自然な街だと思います。その自然を大事にしながら子供や高齢者が暮らしやすい町になることを考えた街づくりをしてほしいです。商業施設などなくても充分暮らしやすいです。大きな娯楽施設ではなく、町民がゆったりと過ごせる小さな映画館やジム、カフェなどあればなおいいと思います。大きな施設は高槻や梅田、桂川京都に行けばあるので必要ないです
● JR より北部地区に食品スーパーが必要と思われる。空き地も多い。活用すべき
● 駅周辺の商業施設の開発をして人が集まり活気のある街づくりをしてほしい
● 個人的には今の島本（静かなアットホーム、交通の便が良い、イベントが多い）が好きです。ただ、駅前の中心部はもう少し活気や商業施設（特に買い物できる）があっても良いと思います。ちょっとした買い物も高槻まで行かないといけないのは不便です
● 若山台センターバス停前の店舗のオープン(買い物)を待ち望んでいます。
● 若山台にお店を誘致してほしい。リトルマートができ、少しは便利になったが、カフェやパンやなどがあればうれしい

② 企業立地

● 大手企業が町内から撤退し、税金が高くなったように思う。企業を誘致し安定した税収入を確保して。そういう街づくりに期待する
● 島本町内で企業出店を募集し、融資して町内での雇用を増やして町全体の活性化に。
● 若い移住者を積極的に誘致し、街づくりの起爆剤になればいいと思う。特に個人で事業をしている方々で、島本で開業してもらおう。ここに来ないと買えないとか、又、来てみたいとか、人材を活かして町に活気作りが出せたらよいと思う
● I T 化の推進によるコストカット・利便性の向上。I T 産業の誘致。
● I T 関連やA I 関連の企業誘致を考えられないか。水無瀬川を利用して淡水魚の養殖やレジャーなど考えられないか
● 企業の研究施設や教育研修施設の設置。IT 関連の事業支援による誘致を積極的に進め「勤住近接」の町にしてほしい。
● 大きな企業を呼び、街の環境づくり、活性化を進める。（例サントリー）

③ 農業

● 遊休地を活用し借り農園を増やす
● 農業は量より質を重視してブランド化を勧めれば活性化できると思います。
● 農地をこれ以上宅地にしないほしい
● 私の家は筍農家で、今年是不作と毎日竹やぶにイノシンが入り例年の半分ほどの量でした。毎年イノシンが増え猟師さんもいらっしやらない様子。「島本の筍」ブランドに力を入れてほしい。
● 島本町全体の宅地をこれ以上増やさず、今ある農地をすべて保存する。若者の新規就農が増加しており、これからは農業の時代である。JR 駅の西側の農地はすべて保存し道の駅などの農産物直売所を作り「駅から徒歩0分の田園風景」を高槻市の「とかいなか」にも負けない観光の目玉として活用していくべきである

④ 観光振興・にぎわいづくり

● 観光人口の増加への計画推進。個性的な街づくり
● 田植え、芋ほり、いちご狩りなど体験型観光場の整備。尺代での川遊び環境づくり、キャンプ場の環境・アスレチックなどの環境づくり。財政難であるなら企業を誘致すべきであるが田畑をなくすのは島本の良さをなくすことになる
● 町の特性を生かした人の呼び込み、例えば道の駅を作ったりインスタ映えの場所など
● 歴史の裏づけのある街として、（後鳥羽院、明智、明治維新）存在をもっとアピールして町民のモチベーションを上げてほしい
● 島本町は緑豊かな環境なので自然を守りながらその魅力を生かした街づくりをしてほしい。私は若山神社から太閤道を歩くのが好きだが、若山神社、尺台ダム溪谷ハイキング等町のイベントとして実施したらどうか？【広報にのせるとか】歴史ある神社や文化施設も大切にだけでなく、集客を高める努力が必要だと思う。島本駅前に写真を撮りに来なくなるような物を置いたらどうだろうか？これが島本町！というようなのを町で募集したらどうですか？
● 道の駅を作り町を活性化させてほしい。リストラせず町として利益を得る方法を考えてほしい
● 水や自然が良いと思うのでプールやキャンプ場などの施設充実を望みます。運営次第で観光名所にできるしアピールになります。
● とにかく田舎過ぎる。何もなさすぎる。山崎駅～サントリーまで観光客が毎日多く通るのにさびれていてもったいない。あの通りを活性化すると潤うと思う。観光客が立ち寄れるスポットを考えてほしい。撮り鉄もいっぱい来るし。店なさすぎ。街灯が少なくて暗くて怖い。道が狭いの、車が飛ばすので危ない。町が大きいのに町内イベントが少ない。町内対抗運動会やお祭り等
● 島本の水や緑を活かした事業(レストランカフェ、総合公園の様なアウトドア施設)に力を入れて、観光ではなく気軽に来れる町にしていく。例えば高槻茨木のカフェにいったり、大山崎のパン屋さんに行ったりするように。茨木や高槻の大きな公園に行くこともあるし、長岡のじゃぶじゃぶ池に行ったりする。他の町の人にも魅力ある島本にしていくべきである。(行きたい住みたいと思えるような)
● 島本と言えばイベントに力を入れる。大阪、京都で知られるような。規模の大きいロハス、フリーマーケット。最近で言えばインスタ映えポイントを作る。若者～ご年配の方まで楽しめる、毎月テーマ変えて(集客の年齢層を変えていくとか)良いイベント。などあれば島本を知らない人でも、足を運びたくなる。道の駅はもともと魅力的。寄りたくなる
● 大阪京都の間にあって、緑も多い。こうした利点を活かし、観光に力を入れてはどうか？

● 水もおいしい、タケノコもおいしい。島本と言えば〇〇ブランドというのを作れば良いと思います。バスもイオン行きたくさんあるので交通の便はいいと思います。
● 島本に行かないと見れない、食べられない、目玉があったらもっと人たちが集まって穏やかになると思います。
● サントリーのある街として、昔から好きな街でした。結婚子供が出来たことをきっかけに住んで、20年たちます。ウイスキーの故郷として、街を特徴づけてある程度、観光地になって、駅前からサントリーまでは、もっと賑やかになっても良いと思います。町として意思があまり感じられないところが残念です。

⑤ まちのPR

● 町外から来る人少ないので、町全体の知名度が低い。これだけ自然や水があるので、もっと活用するための取り組みが必要だと感じます。
● 歴史的にPRできる所が多くあるのにも関わらず活用掘り起こしが出来ないと考えます。又、納税返礼の水無瀬駒のストラップというのは、他府県として比較して魅力に欠けると考えます
● 島本町へ越してきました。大阪市民ですが、三島郡島本町と聞いた時、三島郡？郡？どこ？驚きました。私の周りも島本町知りませんでした。実際何もないので、有名にしてくれるような開発をお願いします。
● 島本町のイメージづくり、PRに注力する。「歴史と名水の里島本」として、駅町役場等の町名所に看板を出す。駅前、役場前に水飲み場と歴史の案内を整備する。名神拡張工事以来、湧き出ている、大量の地下水を現状は水無瀬川に流してるだけであるが、道路で水を汲んだり飲めるようにしておく、災害の時に大きな助けになる
● 町のPRは余計なことをせず3つくらいに絞るべき。静かな田舎町で子育てには良い町。人も温厚。ゆるキャラで人気をとるなら動物でないといけない。
● 島本町は程よい自然のある、住みやすい町です。これといって目玉になるものが無いので。島本町＝〇〇を考えるべきではないでしょうか？私は、島本＝オーガニックが良いなと思います。
● 50年ほど住んでいるが特に不満はない。近隣に比べて最高に自慢できる当町らしさを1つ作ってほしい。
● 住民が満足すれば口コミで島本町の良さが広まると思う
● 町の規模を見るといたずらに宅地開発は行う必要ない。何か一つ打ち出せる強みを確立することが重要である。子育て・学校教育・高齢者福祉など重点項目を決めて選ばれる街を目指すのがいいと思う。
● 自然や水のおいしさなどを町の特色としてPRしたいのであれば、今後それを保全する取り組みを最優先してほしい
● みづまる君をもっと前面に出してほしい。
● マスコットの存在があまり知られてない。楠木正成をもっと売り出すべき。
● 毎年度に一回ぐらい「みづまる君キーホルダー」を町民に配布する仕組みを作ってはいかがでしょうか？配布と販売(単価は500円ぐらい)の仕組みも考えてほしい
● みづまるくん可愛くないし、ふるさと納税にも参加してほしい。友達は島本町の存在を知らない。これからもあたたかい島本町であってほしい
● みづまるくんがあまり可愛くない。広まらなさそう。高槻市のはにたんのように駅前に出没したり、お店の前にマスコットやポスターを置いてもらったり、町内外の人々にアピールしたらいいと思う。

(4)『広報・広聴、住民参画、コミュニティなど』

① 広報、情報公開、情報発信など

● 広報しまもとカラーでなくても良い。ページ也多過ぎる。以前より費用がかかっているのでは？
● 広報紙は頑張っているのはわかりますが、内容いまいちで読んでません。
● 私が情報を知るのは「広報しまもと」と知人からのお話です。便利なパソコン・スマホなどは経済的に利用はできません。広報はページ数が増え読みにくくなりました。
● ふれあいセンターでどのような講座があるかわからないので広報しまもとで教えてほしい。
● 島本は島本の空気を大切に穏やかで活気のある街にしてほしい。そのためにイベントや取り組みを周知していただきたい。
● 住民への連絡は、内容判断できない広報カーでなくて、全戸に同時配信できる方策を考えるべし。現在の広報誌毎月あるのは無駄です。本当に知りたいことを適時に知らせる方法を
● 町のホームページで島本町の街づくり情報などが公開されているオープンな町、行政を望みます。
● 町のホームページ、広報しまもとは見ごたえあるが図書館などのホームページはわかりにくい。ぜひSNSなど活用して魅力ある施設や蔵書・イベントを情報発信してほしい。
● ラインなどで必要な情報が届けば助かると思う
● 数年間福祉委員を続けたことで今までわからなかった行政や町内の行事等を知ることになりました。いい経験でした。町の行事等を知らない人が多いと思います、もっとPRすべき
● 島本町が全国で何位にランクされるか、広報で開示してもらいたい。それぞれの項目・観点があるが他と比べてみたい
● 島本町の情報が各地区隅々までの確に行きわたることが、最大の願いです。ややもすれば、薄れているように思います。行事にしても島本町の中心部に偏るだけでなく、分散して頂けると嬉しいです。御一考を切に願います。
● 問21にあるように、人口の減少傾向になる対策として、マンションや住宅地開発が進んでいるのでしょうか？運営していくために人口は必要だと思うのですが、島本ならではの田んぼや緑、水が豊かな街というイメージは少しずつ失われているように思います。環境保全しながら人口増加、利便性を求めていくのは簡単な事ではないのでしょうか。今島本の現状は〇〇だから、〇〇していくことが必要。〇〇していきます。今〇〇しているのはこのためです。など情報公開してもらい、住民が知る機会が増えれば理解も賛同も得やすいと思います。
● 町民と行政の自由な議論。町当局からの情報公開。町議会議員間の自由な対論望む
● どんどんマンションが増えて、人口も増えていくので、島本町はいい所だなと思ってもらえる人が増えるようにしてほしい。

② 広聴、住民参画、協働

● コンパクトシティに可能なタウンミーティングなど実施の回数を増やし、行政と町民が一体となって進める「街づくり」の仕組みを確立すべき
● 暇も能力もあるのに時間をもてあましている人たちがいる。テーマを与えて動かす何かないだろうか。町が企画して協力を求めるテーマはないか
● 新しいマンションが増えているから若い世代の意見を取り入れた方が良いと思う。
● 様々な考え方や利害が相反する多様な人々がすべて、この町に暮らして行ける様、少数や弱者の意

見・存在を力で排除することなく、手間がかかっても充分な「対話」がつねに存在する町であってほしい。
● 元気な高齢者を活用する場を促進していただきたい。
● 私は3万人ほどでコンパクトな街域で、顔がわかる関係が作りやすい島本町に魅力を感じます。小さな町だから、財政的に無理が出来ないことは理解します。だから、行政に頼るばかりでなく、年齢にかかわらず、住民同士が助け合い、より良い島本町を作っていける仕組み作りを、行政に期待します。公共施設は減らして、代わりに空き家・店舗を借り上げ、フリースペースにして、運営を住民団体に任せるなど、地域力を育てる方向にシフトしてはどうですか？
● 自然や生活するための、優しい環境を守り、育てていってほしい。その為に住民が、無理のない形で参加や協力する姿が見られる町になればと思う。
● 町議会で大きな事業の決定が行われ、進められていくまでに、住人に経過や詳しいやり取りの情報をていねいに伝える。一人一人の住民参加型のまちづくりを目指してほしい。
● 町をよくする取り組みである、住民委員会は規模を縮小しでも継続していくべき

③ コミュニティ、住民活動、ボランティア

● 島本住人の方は非常に親切で話しやすい町です
● 自然が残る土地柄を生かし、自然環境を大切にと教える取組みに地域の大人がかかわれることがあると良い。共働きでも少しの時間や少しの意識で取組める地域づくりがあると地域に愛着がわくと思う。
● 人と人の触れ合いを大事にし、助け合っていける町にしたい
● 小さな町ならではの温かい人間関係を大事にしたい。
● 中大規模なマンションが、島本駅水無瀬駅周辺で、建設中であるが、新しい住民と既存の住民がうまく協調して町づくりできればいいと思う。
● マンションのせいか近所付き合いがない。近所の方とのコミュニケーションが大事だと思う。
● 今後の災害に向け地域と協力できるよう近所の人と交流しやすい町づくりをしてほしい。
● 月に1回は島本コミュニティーみたいな催しを色々な場所でしてほしい。場所を変えながら開催することで大山崎や高槻からたくさんの人が来てくれると思う。
● 小中高の様に「アイサツ」習慣を設定する 島本町全体で→まず地域各自治体から初めてやがて町全体の習慣日を設定する。例えば2週目の月曜から金曜日までとかのように。 気軽に会釈、こんにちは！おはようございます！行ってらっしゃい！おかえりなさい！一言で
● 住民相互のコミュニティを更なる発展にしやすい
● ベッドタウンでなく、住民が暮らしの中でつながりを感じ、楽しい日々が過ごせる街づくりが必要。お年寄りが引きこもらず、近所の人たちと手を携えて、地域の子供たちの見守りをしながら、明るい街づくりがしやすい場がもっと欲しい。(集会所など充実したい)
● 最近若い方が増えて可愛いお子さんをみれて楽しくなります。住民が笑ってお母さんとあいさつできる、和やかな街になりたい。細い道を少しでも手をつないで歩ける道であふれるようにしてほしい。新しい福祉施設を作らずとも、空き家の相続とかを利用して中高年の語らいの場や若い人の一休み家を用意して保持する費用は不要のボランティアの育つ街になってほしい
● 一人暮らしの高齢者が楽しく暮らせるようにコミュニティ作りなどをより活発に出来たらいいと思う。町内の雇用を増やしてほしい

● 遊休地をなくしたり、若山神社～尺代への道の竹林整備などボランティアでできるような体制にできないかと思います
● 年長者のボランティアしやすい基盤作り

(5)『交通環境』について

① 鉄道・駅

● J R 山崎駅にエレベーターの設置、反対側にも改札の設置をお願いしたい。
● マンションラッシュで人口増になりそうなので、JR 快速（朝） 島本駅に停車など訴えてほしい。
● 山崎駅のエレベーターエスカレーター設置
● JR と阪急駅にエスカレーターを希望します。
● JR 山崎駅も一部は島本町なので、エスカレーター又、エレベーターの設置に動いてほしい
● JR 山崎にエレベーターを設置してほしい。ベビーカー、年配の人、キャリーケースの人は困ってるのをよく見る。その都度、駅員さんに来てもらうのは申し訳ない。車いすの人は、利用できなくて非常に不便。
● JR 自由通路の拡充。立体都市の適用。山側駅の広さを作りその上に都市施設を構築。（新構造駅の補助、制度の利用）

② バス・タクシー

● 駅からのバスが少なすぎます
● 若山台に住んでますが、交通の便理が悪く、住みにくくなってます。住みやすい町になってほしいです。バスが少ないし、タクシーも少ないです
● 若山台に住んでます。バスの本数が少なく、不便を感じる。
● 水無瀬駅から町役場までの運賃高い。
● 高槻駅までのバスがあると交通の便もよくなる
● 鉄道は、二つとも利用しやすいが、高槻市バスや阪急バスを使えたらもう少し便利になるのと思う。（東和会病院に行ったり、高槻辻子方面に行くとき）災害で鉄道が止まるとバス乗り継いでも帰れません。
● なぜ、高槻市まで出られるバスが無いのか？長岡方面のバスが無いのか？駅(水無瀬島本)までもが遠いという人などはタクシーしか手段ない
● 若山台から駅にいく、ぐるりんバスなどもっと安くして利用しやすくしてほしい。
● 交通の利便性について…福祉バスや阪急バスが各住宅の中を通りバス停が近くなると高齢者や障がい者の外出がしやすく、孤独死もなくなるのでは！！
● 段々高齢化してくる時代に公共施設が坂のある便利の悪い場所では、何かと不便。今の場所が移動できない場合は、バスの便利をはからい、もっとバスの便を増やすとか、今のままではバスの回数が少なすぎる。又、水無瀬駅や島本駅の電車用にしても駅に行く足が少なすぎます。バスの回数を増やしてください。
● 若山台にイオンバスが止まるようにしてほしい。いちばん近いバス停が東大寺になるが、そこに行くまでに坂を上り降りしなければならないので、高齢者には体がしんどいと思います。
● 福祉ふれあいバス運行助かってます
● ふれあいバスについて、コミュニティバスの有料にて、誰でも乗れる、足となるバス交通機関として

考えて頂きたい。雨の日はタクシーもなかなか来ず駅まで歩くには大変です
● ふれあいバスの数をもう一つ増やせないか。
● ふれあいバスの運行を増やしてほしい。
● 島本町が島本町である独自性は何でしょう？ 私の生活圏は高槻市です。病院や、買い物もです。なぜなら足の便がいいから。免許証返上したから尚の事です。巡回バスのタイムテーブルご検討ください。
● 島本までのバスを運営してほしい。自然豊かで守りたいという思いもあるので、水無瀬駅から JR 山崎までの住民（お年寄りも含む）が島本駅周辺、役場、ふれあいセンター行の循環バスあれば良いのと思う。
● 福祉ふれあいバスをなくして公共の路線バスの充実。
● ふれあいバスを子供連れが利用できるようにしてほしい
● 町の巡回バスに妊婦さんや小さな子供を連れた人が乗れるようにしてほしいです。
● ふれあいセンター行のバス利用を子供(小学生)も追加し、習い事の送迎に利用できるようにしてほしい。車を持っていない為、ふれあいセンターの利用が難しい
● ふれあいバスを高齢者限定ではないものにしてほしいです。ルートを拡大し、60 歳未満は 1 回 100 円でも良いので、乗らせてもらえると体調不良の時や買い物等助かる方も多くいると思う。図書館をよく利用します。車が無い為自転車ですらい時があります。高齢者の方優先でなければと思いますが、誰でも利用できるととてもうれしいです。
● ふれあい行きバスも利用出来る年齢層の幅を広げてほしいです
● ふれあいセンターを利用させていただくことが多いのですが、炎天下で何うのが大変なので、バスを利用させてほしい。（高齢者のみでなく）
● 図書館へ行くバスに老人以下も乗せてほしい
● 町役場が不便なところにあり行きづらい。バスは、高齢者しか乗れず、乳幼児妊婦は特に雨が降ったらどうすればいいのか？
● 高齢化の進む地区では買い物難民が出ているのでふれあいバスの循環回数を増やしてほしい
● 若山台にもコミュニティバスを通してほしい。買い物難民の高齢者も多い。
● 有料で良いのでふれあいバスに 65 歳未満でも乗車できるように、なれば良いと思います。山崎に住んでいますが、役場に行くにも、図書館に行くにも自転車や車が無いと遠いので不便です
● 車を持たない高齢者が駅前で買い物し、気軽に乗れるふれあいバスを運行しているが誰でも乗れるバスも運行してほしい。
● 町のバス 100 円払ってもいいから買い物の時のりしたい。「万代前」とか「生協前」のバス停があれば良い。「健康モール前」とかも
● JR 山崎、島本、水無瀬に少なくとも 1 時間に 2 本ほどの循環バスを運行してほしい
● 私は当地へ 50 代で転居。今は 80 代になりました。ここ何年か前から足腰も弱くなり、自転車にも乗れなくなりました。徒歩で最寄りの駅まで行くのに 15 分で行けたのに、今は 20 分かかります。夫婦二人の生活で子供の援助もありません。駅までの道のりと病院まで行くのがタクシーに頼らなければなりません。（福祉バスは時間が合えば時々利用させて頂いてます。）町内を回る巡回バスがあればと思います。有料でも仕方ありません。なるべく低料金でと思います
● 島本町に 40 年以上住んでますが、年と共に自転車、バイクに乗れなくなり、住みにくくなり悩んで

います。いざタクシーを頼りにすると、雨の日など来てくれません。福祉ふれあいバスでは無理で、路線バスがあればどんなに生活しやすくなるかと思います。高齢者にとって、安心して、暮らしていけたらと願っております。大きなバスでなくて、マイクロバスの様なもので、有料で一日に何回かでも駅に行くことが出来たら、有難いと願っております。高齢者の多くの願いです。
● ふれあいバスは、どのような人が利用出来るのか？タクシー代の助成って誰にしているのでしょうか？
● JR 島本駅前のタクシー乗り場に、タクシーが1台もないのはどうしたのか？まことに不便である
● 足の具合が悪く徒歩でスーパーに行ってもタクシーを呼ぶことがある。待たされるので困る。
● めったに利用しないタクシーを利用しようと自宅から電話するとつながらず他のタクシー事業所に連絡するとつながりはしたものの30分以上待ちという事で大変困った経験があり、交通機関の充実を図ってほしいです
● 阪急の終バス時刻が早く、水無瀬駅や島本町にもタクシーも待機していないことがほとんど。直接タクシー会社に電話しても、水無瀬駅方面は、平日23時ごろで終了と言われる。交通手段なく、とても困る事多い。
● 問24でもありますが、交通機関が無いと移動に苦労する人が増加する事は必須です。見晴らしがよく、良い住居であっても、住み続けるのが難しいので、若山台、桜井台などにも、公共の交通機関が乗り入れできるよう進めていけば、いつまでも住み続けられるのではと思います。道が狭いので、アイデアが必要かと思います。どの年代の人も利用できる乗り物は必要だと思います

③ 道路・橋りょう

● 交通の利便性でJRをまたぐ道を増やしてほしい。
● 水無瀬川からJR島本駅への線路沿いの道を整備してほしい。
● JRの線路によって南北が分断されている。住宅や学校が北側に誘致していたり踏切やガードなどこのままでいいのか。
● 阪急沿線の東から西への道路はたくさんあるが、JR線沿いの東から西、西から東への道はたくさんあるが、JR沿線の東から西、西から東へ行く道が少ない。不便。東西道路の整備を。
● JR北西側から、R171へのアクセス向上を！水無瀬駅付近で渋滞も増えており、緊急時には確実にボトルネックになる。もう一本ぐらいはJRを楽に超えられる道路が必要ではないでしょうか？
● 西国街道の歩道を安心して通れるように整備してほしい
● 子供が1人で遊びに行くには歩道の整備がされていなくて不安。住居を増やすにもそのあたりができていないと結局転出になると思う。
● 関電社宅、旧テニスコートJR間に道路を作る計画どうなったのですか？ 広報で知らせるべき。
● 水路の上にある歩道（鉄板が敷いてある）は老朽化が気になる。
● 町内あちこちで見かける筍型の柵。さびています。今のうちに修理すれば塗装で済むと思います。
● マンション住宅が並ぶ割には道路の整備が出来ていないように思います。歩いていても自転車に乗っていても、何度も怖い目に遭ってます。早急に考えてほしい
● 枚方までつづく橋をかけてほしい。
● 島本だけの話ではないが、水無瀬駅対岸の淀川に新橋を設置してもらいたい。そうすれば京阪橋本駅やスーパーマツモト、コストコ、くずはモール、ニトリモール等の商業施設のアクセスも良くなり、活性化につながる。近所の者といつもそういう会話になり、都市計画では近々枚方大橋の近くに新橋

が出来るようだが、島本町方面に作ってほしい
● 町内美化活動。道路整備
● 広瀬にあるマンションと駐車場の間の道路において、排水設備がされておらず、大雨だけでなく小雨の時も必ず水たまりができる。小学生の通学路であり、安全面で不安に思う。浸水被害を未然に防ぐためにも是非排水の為の工事を早期に行ってほしい。
● 山崎 1 丁目西国街道、サントリーの工場から JR 山崎までの道を早急に整備してほしい。外国人の観光客と抜け道に利用するバイク・車自転車ととても危険。島本駅周辺には、賑わいがあるが、山崎の住民も参加活動しやすくなる。
● 道路がガタガタなのでちゃんと整備してほしい。
● 西国街道 JR 山崎～道路きれいにしてほしい。

④ 交通安全

● 水無瀬駅から郵便局にわたる歩行者が危ない。
● メインストリートの駐禁徹底を望む
● サイクリング用のベルのついていない自転車が猛スピードで走っているのを早急に止めてほしい。子供から老人の命にかかわることです。事故があってからでは遅い
● コンビニが出来たことで、周辺の交通量が増加。周辺の道路幅は狭く土日は車が混雑している。新しい店舗の開店等により交通状況が変わることをタイムリーに把握し、状況に応じた敏速な対策対応をしてほしい
● 道路での歩きたばこ、自転車に乗りながら煙草を吸う人がいるのが気になります。どうにかならないですか？
● 道路がどんどん悪化している。特に橋のある所はつなぎ目に段差有り、危険に感じる。名神のトンネルの所も段差がひどい。（車バイク自転車）乗り物についての運転手マナー悪すぎる。よく事故が起きないと感心している。運転教室の強化を希望する。ふれあいセンターの駐車場の有料化を提案します。特にケリアホールで催しがある時は困ります。又、一人しか乗らない自動車が多い。配慮していただきたい
● 平日高浜から堤防に通り抜けする車多くて危ないと思う（夕方 5 時から 6 時半ぐらい）
● 車の運転マナー向上に努めてほしい。
● 交通の利便性を上げるために駅前に 20 分以内無料などの駐車場を設置してほしい。開放していると無断駐車が横行します。現場を見てほしい。安心安全の為、パトカー、消防の巡回パトロールをしてほしい。犯罪の防止になると思います
● （水無瀬駅）傘さし自転車やめさせる。歩道は、歩く人優先なのに自転車が多く、歩きづらい。自転車が通れる所には矢印でわかりやすくするなどして、安全に歩けるようにしてほしい
● 水無瀬駅周辺～島本駅への道路の迷惑駐車対策が必要。関電グランド跡地にマンションや住宅建築に伴い、広瀬 1 丁目～JR 下道路の通行車両増により、危険度増加→信号による交互通行要請
● 西国街道の交通量が多いのに、歩道が整備されていない区間もあり、年配の方や子連れの歩行が難しいので対策必要。
● 第一中学校のプールの塀がブロックを高く積み上げ、横の細い道を通る時恐ろしくて足早に通り過ぎます。危険はないのでしょうか？ないのなら「安全」との表示をしてもらいたい。その細い道から 2 段の階段で降りなくてはならず、ベビーカー、シルバーカーなど走行困難者には降りられません。ス

ロープなどにしてください。その近道を迂回して車が通る道を歩くにしては、その道と阪急高架下島本センター出口付近、4車線が交わり、横断するためにとっても危険です。お年寄りなど足の遅い人は危ないです。信号を付けてください
● R171 から江川方面へ向かう道路にガードレールが無く、通学、登園時の通行が危険です。又、夕方などスピードの速い車両も多く、交通規制や取りしまり等対策を求めます。
● 水無瀬の交差点から、淀川堤防沿いまでの細い車道を早いスピードで走ってる車が多く、近くに小学校と保育園があり、危険を感じる。水無瀬駅 R171 側にある停車スペースに毎日同じ車が長時間とまってる
● 西国街道で自転車とバイク又は、自転車と車接触しそうな場面をよく見かけます。道幅が狭いので大変危険です。標識を増やすとか飛び出し注意を促すとか、何か注意喚起してもらえると有難いです。
● 最近車が多くなったと感じています。狭い島本町で広い道路は無理があるかと思いますが、安全な街づくりをお願いします。思考能力が落ち、十分な回答ではありませんがよろしくお願いします
● 自転車の通る道の整備が出来れば事故は減ると思うが、自転車に乗り子供を乗せてすごい猛スピードで走るのを見るが、安全教育、走行注意とか小中学校でもする必要があると思います。親子で学ぶ事が大切と思う。
● サントリー後の学校が移転後、バス通りの整備は計画されているのでしょうか？現在も町体横の坂道～小野薬品までの歩道が、人多すぎて通れない時間帯があります。後、名神手前の交差点も信号ないのに、大型車が頻繁に通る、大変危険です。信号設置をお願いします
● 道路上のミラーで曇っているところがあるので一度点検すべき。
● 安心して歩ける道、街の整備願います。
● トラックがびゅんびゅん走るので、時々ヒヤッとします。スピードも速いし、指導していただきたいです。
● 西国街道の交通量が多い。小学生のスクールゾーンとかぶる場所もあるが、地元の人ほどスピードを出して（慣れから来る）いることが多いため、7～9時、下校時間帯は一部通行止めにしてほしい。

⑤ 交通環境その他

● 公共の駐車場を作ってほしい。
● 駅の駐輪場を無料にしてほしい。（自転車バイク置き場）何年か前までは無料でした。
● これから自転車に乗れなくなったら買い物が不便だと思う。
● 免許返納しました。交通便利な街にしてください。
● 高齢者が増えてきます。家族は交通に不便なところに住んでいても、高齢者の親には、免許証返納を説得していますが、なかなか聞き入れてもらえません。下に降りる手段が無いからです。あつたとしてもふれあいバスは、回数も少なく留まる場所までの移動がしんどいです。町はこの対応をもっと考えるべきだと思います。ニュースで高齢者が起こす死亡事故は他人事だと思えません。もっと細かい対策を
● 中心部への移動手段が充実していない。（若山台方面以外）何らかの改善が必要。町内の商業施設が少なく、他市へ行く回数が増える。
● 山崎地区に住んでいます。以前より思ってる事がいくつかあります。山崎駅に一日も早くエレベーターを付けてほしい。大山崎の事もあるだろうが、高齢化が進んでいるのに、改善されない。水無瀬駅、島本駅の駐車場昼間2時間は無料だが、私たちはそれほど有難いとは思わない。年を重ねると町外の

病院に通うことが多くなる。町外の病院 2 時間で帰れない。せめて 3 時間 4 時間無料だと有難いと思う。イオンのバスは、島本駅、水無瀬駅方面だけ恩恵。山崎方面の方々はそれを利用するには、東大寺 3 丁目まで、歩くか、水無瀬までバス。ちょっとこっちの事も考えてほしい。以前ポンプ場解放されてたのに、閉められた。後なにもいまだ使用されていない。何もしなくても以前のように自転車バイク止められるようにしてほしい。それらの事考えると山崎地区は置き去りにされてるとしか思えない。同じ税金払ってるのに。水無瀬駅に偏った街づくりとしか思えない。町議員に何回かお話ししましたが、選挙の時だけ調子よく、そのあと一切音沙汰ない。

(6)『市街地・都市基盤の整備、住環境』について

① 駅周辺の整備

- 島本駅西側は、高層マンション住宅など立てずに現在の田園風景を残してほしい。一方東側は、商業施設を充実させてほしい。
- 島本駅西側の開発反対。
- JR 島本町北側の都市開発を見直してほしい。田畑の保護
- JR 島本駅の西側に商業施設やマンションを建てずに緑豊かな自然を残してほしい
- 駅西側の計画をもう一度住民の意見を尊重し、見直していただきたい。これ以上マンション乱立許せない規制すべき
- 島本町近くの開発は最小限して、美しくて身近な自然を残してほしいです。駅周辺の街の顔だと思います。建物ばかりの他の町の駅のようにしてはもったいないです。また、山が広く見えますが、島本の景観の良さだと思うのであまり高いマンションはこれ以上やめてほしいと思います。子供たちが大人になり、子育てするのに戻ってきたい街になれば良いと思います。自然を一度なくすと、元に戻るの難しい
- 島本町には、駅前すぐに農地が広がり、水や緑豊かである点が、魅力だと感じてます。コンパクトシティの考え方から、駅前宅地化の計画があるようですが、本当に住民が駅前に集まるように、転居するのでしょうか？他の市町と同じような街並みにしてしまうのではなく、島本町の特色を活かした、町づくりをしてほしいです。それによって、周囲の宅地の価値が向上し、日本全体の人口が、減少しても、結果的に島本町の人口減少を少なくすることが出来るのではないのでしょうか？
- 島本町西側の開発を進めても十数年すれば人口も減り新たに作った商業施設等が閑散としている。と、簡単に想像できる。景観を保ち持続的な街作りを行うという視点からも、あの土地に都市機能持たせるより、公園や貸農園等として活用していく事を望みます
- 西側の開発が叫ばれていますが、ここの土地活用は高齢者シニアグループが少しでも憩いの場として散策したり自分たちの小さな農園で作り出したものを売ったりして活気を生み出す一環として考えてみてはどうか？島本町独自のやり方(小さな場所でも島本が発信できるようなものにして頂きたいなと思います)
- JR 島本西側の開発反対します。住民の意見反映せず勝手に計画を進めているようですが、田んぼであった土地に高層マンション建てるなど、液状化の危険も高いうえに島本町の長所を台無しにします。島本町を転入先に選んだのは豊かな自然があふれつつ、大阪京都へのアクセス良いからです。こんな場所は稀だと思います。自然が削られて交通アクセスだけが良い場所になってしまいます。他の市との利便性では勝てません。高層マンション建てても島本の良さ感じられず結果的に流出していくと思います。

● JR 島本駅西側開発全体公園にする。災害時避難場所になる
● JR 島本駅西地区の開発については、治安が悪くならないようにしてほしい
● J R 島本町前の再開発は都市計画に沿った内容であってほしいと願う。
● 歴史資料館でのイベントが多く離れた地区では参加しにくい。最寄りが山崎の地区では駅前開発など充実していない。
● JR 島本駅西側の開発について、どんな手順を経て開発計画を決定したか見えてこない。開発構想によくあるのが、ゼネコンのコンサル、シンクタンク、また有権者によってブレスト、アイディアラッシュによって、何案か開発構想を例業。その例業した開発計画をあらゆる角度から検討し、何案か構想計画を調整研究する。真の住民ファーストと考えるならばサンプルか、限定されたタウンミーティングで検証するのに疑問有り。また、施設構想するのであれば、エリア、年齢等を考慮した上で住民のフィルターを通した施設の開発を望む。
● J R 島本駅西の街づくりについてはありきたりのマンション街でなく大きな公園を設けるべきなど緑の町・島本をアピールしてほしい。地下水100%の水道水の復活をさせおいしい水・島本を売りにする。
● JR 島本西側開発が問題になってますが、町の大部分を占める山林など整備して、自然緑豊かに残せばよいと思う。田を残して、高齢者に便利に使える都市機能を後回しにする意図が分からない。高級マンションを建設し、高所得者が多く来れば税収も増えてよいと思う。10分歩けば美しい緑や川に囲まれた街。中心部は活気ある町。その方がずっと素敵だと思う。現状維持を続ける事に力を注ぐべきでない
● 島本駅（JR）西側開発に当アンケートの総意が活かされるように願っています。若山台に住んでいますが、特に買い物か幾分でも便利になると有難いです。子育てしやすい町と、若い夫婦が移ってきてくれば、人口増につながるのでは？と期待します
● JR 島本駅の周辺に山歩きや歴史散策で来られた方が、休憩できる喫茶室や食堂などあれば楽しくにぎわうことが出来るのではと思います。夏の夜など、野外で子供向けの映画会なども企画してほしいです。JR 西側にはコンビニもないので、早急に作ってほしいと思います
● 水や緑が豊かな事は良い事です、あまりにも何も無く、買い物遊ぶにしても不便すぎます。島本駅周辺をもっと開発してください。
● 島本町北部も宅地開発が進められており、学校も誘致されるため、商業施設を北側にも立地させるように積極的に取り組んでほしい。島本町駅前開発に期待します。
● 島本駅西側の開発について、高槻市から総合病院を誘致できないか。町長が先頭になって努力すべき。行動力に期待します
● JR 駅北側が開発が遅いと感じます。いろんな機会を失ってます。いろんな意見は出ると思いますが、スピードのある決定は大切だと思います。調整している間に時期を逃したり機会を損失してしまったりすること多いと思いますので、強いリーダーシップをもって開発等進めてください
● 島本駅西側が開発に時間ががかりすぎる。早期開発を望みます。
● JR 西開発遅れてる
● JR 阪急の西側駅前を整備し、活気な賑わいのある町にすることが大事ではないか。今は駅前がさみしい限りである。一等地としての使い方を工夫すべきである
● なるべく駅近くの広場で高層マンションにし、3階位は商業施設を建設していただければ毎日の買い

物に行けると思う。今の状態では買い物もいけなくなる。
● 水無瀬駅、島本駅周辺の計画性ある開発をしてほしい。J R 島本駅西側の開発遅れ、水無瀬駅中心部の遊休店舗はもったいない。
● 島本駅と水無瀬駅の間を整備、商業施設の集約。
● 阪急駅前の整備、古い商店が汚く町の美観を損なってる
● 駅前に子供たちが水遊びできる憩いの環境を作してほしい
● 駅前に役場の移動センターがあると便利。駅前にもっとお店があり年寄りもいける便利な駅前周辺開発を望む。
● 道路を広くして駅の周辺を活性化させるのも強い街づくりにつながるようにも思います。島本町がとても好きな街なのでもっと発展してほしいです。よろしくお願いします。
● 島本は小さな町なので、駅前に集約しても利便性があると思います。街はずれの地域には公共バスを巡らせて歩けない老人も駅前に出てきやすいようにしてほしい
● 街づくりは小さな積み重ねだと思う。J R 島本駅改札口前にベンチを置くことを一蹴されたが再要請したい。
● 駅近くの道路の整備を早急に。マンションの人が車で家族を駅まで送っていくときは山崎駅や大山崎駅ではなく、島本駅、水無瀬駅まで送ってる。それは道路が狭く、危険だからである。私自身、山崎駅、大山崎駅へは歩いていきますが、車での送迎は水無瀬駅か島本駅に変更します。早急に駅近くの道路の整備すべきです。
● 駅前に食べる場所が少なく不便です。大きな商業施設が建てば、子育て世代も高齢者の方も便利になるのではないのでしょうか？
● マンション建設をされていますが、もっと駅前に飲食店などスーパーも増やしてほしい。どこへ行くにも少し遠いので、駅前にがにぎわえば高槻まで買い物行かずに地元で買い物できると思います。まずは、地元が活性化しないと、人口も増えるだけでは、楽しい街にはならないと思います。
● サントリーの山崎は山崎駅から行く人が多いので、向こうの方が駅前にカフェや飲食店など魅力的になっているように思います。

② 市街地整備・住宅

● 中心部以外の区域の環境整備や施設整備を行ってほしい(中心地ばかり考えてその他は考えてもらえないようにも考える)。
● 名神より南側は市街化区域にするべき。
● 一種低層住宅周辺の整備。行政の対応の遅れを感じている
● 電柱の地下埋設工事推進への取り組みを図っていただきたい
● 村意識が強いのでもっと開発が必要。
● 空き家対策をして欲しい。
● 空家が増えつつあるので行政から持ち主へ連絡してほったらかしにならない工夫をしてほしい。家が老朽化すると二次災害の心配がある
● 古い塀の家があるので助成して直すべき。
● 住宅街の道路整備、古住宅街の再開発が必要だと思われる
● 住環境が大事だと思うのでどこにでもある集合住宅の乱立は良くない。人口減少社会で 10 年から 20 年先を考えた行政を進めるべきである

● 住宅地を増やして人口が増えると思っています。今後の事を考え整備等しっかりとして校区の変更等万人から不満の出ないようにしてほしい
● マンション住宅地が建ち、人口は増加する傾向にあると思う。自然を利用した公園やランニング、サイクリングコースを作してほしい。
● 現在大型マンションの建設があちこちで進んでいますが、町内では働くところも商店なども少なくベッドタウン状態だと思う。特に賃貸に住んできると地域のつながりがあまり感じられない。地元民が集まる場に新人が入り込めない。もっと働く場所や商業施設があるといい
● ここ最近大型マンションの建設が多くなっているがその人口増加に対しての教育・医療・福祉の受入れは考えているのか？
● これ以上マンションを建てるのはやめてほしいです
● マンションが乱立しているが、受け入れ態勢が整っていないのでは？学校・道路の整備、が心配。
● たくさんのマンションが建設され、住む場所だけが増えると、その人口に対して普段の暮らしで必要な施設・設備に不満が出てくると思う。緑が前より少なくなって悲しい
● 最近大規模なマンションが乱立しているのは、やや異常な状況ではないかと感じています。一度に住民が増加して、教育や福祉が追いつくのか。住んでる住民にしわ寄せがくるのではないかと不安になります
● ここ数年マンションが増えているがインフラは大丈夫？ 最近車の量が増えている。何か解決策はないか？
● 高層住宅やビルが今以上に増えないようにしてほしい。
● これ以上の宅地開発は反対です！これ以上大型マンションを増やすな！！
● マンション建て過ぎ
● マンションを建てる前に保育所や学校の環境を整える。尺代のやまぶき溪谷の道を整備する。役所横の空き家を整備する。町の空き家を処分する
● 現在多くのマンションが建ち始めているが、人口減少のあかつきには廃墟になっていく建物が増えていくことになるので、人口減少してから空き地をどう利用するか、その時のニーズに合わせられるように開けておく方が良いのでは？市街地にしていくと他の町と同じになり、独自性がなくなるので、今の比較的緑の近い街をキープしておくことが唯一の島本らしさで魅力だと思う
● 人口がどんどん増え、子育て環境が悪化してるように感じました。50 年後今開発してるすまいは、どんどん空き家になり、島本が空っぽになるのでは？と危惧します
● もうこれ以上マンションを建てないでください。
● また、自然を残しマンションばかり増えるのは望みません。
● マンションはもう建てないでほしい。
● 高層住宅の建設ばかり目立ちすぎ。公園墓地建設を
● 今後大規模な集合住宅の建設は不要と考えます
● 企業の跡地に住宅ばかり、もういらない。
● これ以上の開発。（マンションなど、特に西側開発）はすべきではない。50 年後人口年齢階層分布を考えて先手を打って投資すべき分野を選択すべき
● マンション等ビルの少ない町が魅力で島本に来ました。最近住宅地にマンションを建てたりと圧迫を感じ、狭いまちになってきたと感じます。どこにでもマンションを建設するのは良くないと思います。

● 大規模なマンション開発よりも、企業や大学など教育機関の誘致や今あるマンションや団地などに空室があまり出ないよう、周辺整備や再開発などで美しい街を維持する努力をする方が良いのではないのでしょうか？
● 自然が美しく、水がおいしく、島本町は最高だと思い数年暮らしてきましたが、近年次々と建設された大型高層マンションを見、少し息苦しくなってきました。その反面若い人たちが活気を与えてくださると期待もしています。
● 高齢者が移動するのに不便な地域の交通手段や増える空家対策等、自然環境のいい街を守り住みやすい町づくりをよろしく
● 人口が減少していくのに、マンションや新住宅がどんどん建設されてますが、空室が多くなり無駄にならないのか？ 医院も歯医者や整体院ばかり偏って増え、外科が少ない。駅前から離れた地区は、高齢化で活気もなく交通も不便。スーパーもない。小さな町でも差が大きい(駅前は便利) プール(町営)が無いのも問題。火葬場もない為他市で使用するしかないか、7倍の料金がかかるのも問題
● 町民の自家用車の保有率の今後の見極め、公共交通依存症か、自家用車依存症により、整備の方向性が全く異なる。島本町の人口から、これ以上の商業施設の誘致は厳しいと思う。自家用車依存症で今後も推移するなら、171号線周辺の活性化。公共交通依存型で、今後も推移するなら、JR 阪急周辺の活性化。

③ 公園・子どもの遊び場

● 住宅街の中にある小さな公園（滑り台しかない）は、子供が利用する事はほぼないのに、維持をするのも費用がかかるので見直し、ある程度の広さと遊具のある公園を整備してほしい。
● 小さな子供たちと遊べるような所がいい。BBQ が出来るような公園等を町の施設として作ってほしい。淀川河川敷が少しも活用できていないような気がする。大山崎町ではそういった場所もあるのに、島本町には家族が一緒に遊んですごせる様な場所が一つもないような気がする。田舎なのにどうして？
● 子供が過ごしやすい場所が少なく、ふれあいセンターのような場所が他にもあれば良いのと思う。(各学校区等、別場所)
● 子供たちが思いきり走り回って遊べるスペースを作ってあげてほしい。水や緑の豊かな島本町であり続けてほしいので、これ以上住宅の開発はしてほしくないと思います
● 淀川沿い（元ゴルフ場）の整備を進めてほしい。子供たちが伸び伸び遊べる場所が少ない。ボールを使える場を増やしてほしい
● 子供たちの為の公共施設を充実してほしい。町営プールがなくなり…どんどん子供たちの遊び場がなくなっている。
● 人の集まる街づくり、自然を最大限に生かした公園を作る
● 子供が自然の中で伸び伸びと走り回って遊べる町であってほしいです。
● 高齢者向け遊具の件。公園に1人でも運動できる遊具の設置してほしい。以前あったのですが、壊れたら撤収されました。残念です。
● 大きな公園があれば、季節により、行事が出来るのではないのでしょうか？

④ 上下水道

● 水道料金のクレジット決済を導入してほしい
● もう少し水道料金が安くなるとよい

● 水道料金が高いと思います。
● 人口が増えたら水道料金を安くしてほしい。
● 水道料金を下げてほしい。
● 水がきれいなのは良い事です、水道代が高いです。どうにかしてほしい事ばかりです。
● 水道代が高すぎる。
● 水道料金の見直し。
● 上下水道を早く整備してほしい。
● 府営水道からの供給を止め町独自の水道に戻す。おいしい地下水の活用を図る。
● 淀川の水を取り入れないで、島本の水が飲める街。
● あしかりの水復活してほしい
● 昔のおいしい水道水に戻してほしい。行政に騙された。
● 引っ越してきた当初は本当に水がおいしかったのに、それからしばらくしてまずくなった。
● 水がおいしくない。(白い成分が大量に付着する。いい成分か悪い成分か分からないので、体への影響が心配)
● 水は命の源です。水質源(地下水を含む)は島本の宝です。水質源を守るために、水道の利用者に水質源の保護のご理解をいただくキャンペーン。議会で水質源保護条例を設定し、1 円/㎡の水質保護費を集める。山林地主にご協力をお願いし、水質保護を山林整備に使う
● 駅周辺に高層マンションが建築ラッシュな状態であるが、水の確保とか、減少しつつある地下水の利用等。現実についていつまで持つのか？府の水道水が%を大きくするのはと危惧してる。水や緑が豊かなイメージ遠くなる。
● 下水道の整備を早くするべき。
● 環境や美化をあげながら下水道整備ができていない地区がある。
● 下水道を完備してほしい。
● 下水道を 100%にしてほしい。
● 公共下水道の 100%化を進めてほしい

(7)『健康・福祉』の分野について

① 健康・医療

● 特定健診の項目を有料でも増やしてほしい。
● 医療機関をもっと充実してほしい。不安がある。
● 病院が少ないので医療機関の充実をしてほしい。
● 町内に総合病院があれば高齢者にはいいと思います。市街地に…
● 町中心部に中核病院の誘致又は、設立をお願いしたい。
● 医療設備を充実させてほしい。総合病院の設立を希望します
● 現在島本町には入院設備等のある病院が水無瀬病院しかなく、高齢施設のみに力をいれる状況で地元で人口が増える予定(マンションの増設)なのに。大学病院クラスは無理でも 2 次クラスの病院がほしいです。そういう病院があれば、永住率も多くなると思います。今後の誘導を検討して頂ければ幸いです。
● 大きな病院がないため検査に高槻市に行くことが不満なところです。子供が小さいときは救急対応

できる病院が皆無で大変。親の介護も高槻市に頼っている。高槻市に吸収合併された方がいいのでは？
● 開業医は多いが総合病院が無い。町立病院など検査が出来て診察してもらえる病院が出来たらうれしい
● 健康づくりや医療の充実した街づくりに感想が多いですが、特に医療の先生方の技術を高めていただきたい。
● 総合病院、町民病院等の町民が安心してかかれる病院があれば良い。島本町にも町が運営する葬儀場があれば便利ですし、花屋さんやそれに伴う商売人も潤うと思う
● 高齢化に伴った、小さくても日常生活が便利、近くで医療が受けられる、人と人とのつながりがある町が良い。
● 島本町内には小児科が少ない。大多数の人が上牧に行ってる。
● 小児科が少なくとても困ってます。
● 小児科を駅前に作るべき！車に乗れない人もいる。予防接種も不便
● 耳鼻科が少ないのが理由があるのですか？歯医者はたくさんあるのに…先生と合わないので、町外に行ってます。めんどくさい

② 介護・福祉

● 今後は高齢者が増加傾向になると予想される。高齢者が街を移動しやすい状態になればいい。シルバー人材の活用も含め高齢者をいかに活用するかを検討してください。
● 高齢化に伴い中心部だけでなく各地区に分散させて高齢者が気軽に利用出来る街角デイサービス、グループホーム等の施設がほしい。(空家、古民家の再利用の工夫)施設で子供も出入りできるような取り組みもあれば良いと思います。(高齢者が作る手作りのおやつ提供、昔の遊びを行う、教える。)
● これから先目指すのは違っても高齢者の割合は高まるのは絶対です。そういう方が不便を感じない町づくりが差し当たって一番重要と感じます。そうしなければ定住する方は減ると思います
● 介護サービスの向上に努めてほしいです
● 高齢者が高齢者の介護でそのうえ買い物にも行き、この先どう生活したらいいか心配している
● URに住んでますが、高齢者には家賃が高く、何か優遇制度あればうれしく思います
● 高齢者施設がもう少し安くいれること。介護負担が高い。
● この先高齢者が増加するので、安心して暮らせる信頼のできる病院、ホームに入れるよう望んでいます
● これからの高齢者増加に向けて暮らしやすい町にしてほしい。医療や福祉が充実した島本町であってほしい。
● 老人ホームを作ってほしい。ある程度有料でいいので一人暮らしが安心して住める場所があると安心。
● 高齢者が増えるため老人ホームを作り入りやすい福祉にしてほしい。
● 私も高齢者の仲間入りになり、老人ホームなどの施設が少ないと思っています。もっと安心していられるように増やしてください
● 高齢者も増えて来てますから、元気なうちは働き続けられる仕事の環境も整えてほしい
● 若山台団地等、少し不便な場所の空き家が増えてきていると聞きます。そこを利用して、老人施設を沢山作り、島本住民や近隣の方に有料で利用してもらえば、島本の収入になると思います。小さな畑で、みんなで野菜を作り、料理づくりをみんなで手伝ったり協力し合って、老人村つくる。その中に

お巡りさん、医者、看護師の方が一人づつ・・・理想的
● 高齢化が進むため高齢者向けのサービスが増えるのはわかるが、若者にも焦点を当てないと若者が減っていくのは明らかだ。
● 老人ばかりが優遇される印象が強い。バス風呂など…人口を増やすなら若い世代や子供にもっと配慮すべき。信頼できる病院が少なすぎる
● ファミリー世代が急に増え過ぎ、十数年後には高齢化が進むだろう。福祉対策が追いついていないと思う。プールもなくなり体育館も古く危険。何を優先すべきか考えてほしい
● この町は少々障がい者支援に偏りすぎ。もっと広い福祉支援に力入れてください。町のイメージアップのためにも郡から市へ変わってほしい。
● 障がいを抱える人も町内を普通に歩いたり、散歩できるようにしてほしい
● 他県を見て福祉サービスが大変プアに思います。

(8)『子育て・教育・生涯学習』について

① 子育て支援・保育・幼児教育

● マンションや戸建てが増える中、待機児童問題が改善されていない。また、駅も狭い。これから家を買うのは子育て世代だと思う。島本町のよりよい未来のためにどうぞよろしくお願いします
● 地域の繋がりがなく、子育てに不安がある人が多いと思う。学生ボランティアを募ったり共働きでも安心できる街にしてほしい。島本大好きです
● 高齢者には優しい街だから、子育て世代にとっては支援が弱く、新しく定住するには若い世代が不安を持つ声をよく聞く。
● 昔遊んでいた島本プールもなくなり、自然も消えつつあり田舎のわりに待機児童も多く子育てに不便を感じる。ふれあいセンターの講座や図書館に行くにも江川からだとの坂道がベビーカーで行けない。
● 若い世代がたくさん来てくれるように、子育てや便利な街づくりをしてほしい。ちょっとおむつを買いに行くときも、歩いていける場所にドラッグストアなどもっと増やしてほしい。(食料や飲料水も) 普段の生活する中で、保育園をもっと増やしてほしい。でも空いてる児童館があると助かる。島本は時間や曜日が決まってるので不便です。
● 町の収入のため若者の増加が必要、例えば保育所・学校の整備、医療補助金の充実など。
● 子供を大切に！私は実態知りませんが、町内で虐待や欠食が無いように地域で連携してください。
● 保育所も先生がついていけない感じがあったので1人1人丁寧に見てほしい。
● 子育て世代にもっと補助金を充実させてほしい。
● 県外からの転入だが、子育ての支援が弱い。待機児童ゼロは当たり前と考え、第一優先でやるべき。人口増減が気になるのであれば県外からの転入者にも、魅力ある様な子育て支援(医療費)をもっとすべき。医療費は中学生ゼロにすべき。ベッドタウンとしては立地に恵まれており、もったいない感じする
● 島本町は、自然以外に何も無い。近隣の自治体と比べても医療費の助成も昔から見劣りします。少子化で、子供の人数も減ってるのに、一クラス40人以上のすし詰め学級。このままでいいのか？もっと何かインパクトになる施策が必要では？国の基準で思い切った少人数学校や医療費助成の対象年齢の引き上げ等。島本に住んで子育て出来て幸せだな！と思えるような街にほしい

● 子供の医療費の補助を中学生までにしてほしい。
● 子ども医療費を小学生までから中学生までに引き上げてほしい。
● 医療・福祉の充実してほしい。子供の医療費 500 円を中学生でも行ってほしい
● 住民税が高いわりに、乳幼児の医療費は所得制限があり、小さいころから支払ってると両親から聞いている。誰にも等しくサービスを受けれるようにしてほしい。
● 医療費の助成を中学校までにしてほしいです。
● 高槻市みたいに子供の医療費一回 500 円中 3 までにしてほしい。
● こちらに越してきて中学生の医療補助ないのがビックリしました。子育ての世代を大事にしないと、人口減る一方だと思います。
● 子どもの医療費助成、現小 6 までを中 3 までに延長してほしい
● 児童の医療費が周辺の自治体に比べて、高額となってる。(年齢) マンションが増えてる中で、若い世代への補助は、厚くしていくべきと考える。高齢者への対策も必要だが、それは働ける場を提供する等による。活動する場を増やしていく事で元気な街づくりを進める事で将来的に向けて定住化をはかっていくことになるかとおもう。
● もう少し子育てがしやすく教育に力を入れてほしい。医療費の助成を中学生までにしてほしい。高槻市茨木市は、中学生に延長した。島本町は遅れている。小中学校の通学路に防犯ビデオを設置してほしい
● マンションや宅地開発に見合った保育施設を確保してほしい。現状でも待機児童や教育不足の対策が取られていないと思う
● さらに待機児童が増えそうで不安。大きな子供の施設もなくふれあいセンターの空いている部屋で常設しえもらえると助かる。島本町はすこし子育てしにくい印象。
● 待機児童の事は保育園と幼稚園を一緒にして、0～3 歳保育、あとは幼稚園というのはどうですか？
● 民間保育所は定員割れしてますがなぜ？
● マンションや家を建てるなら保育園や幼稚園をもっと建ててほしい。対応が悪すぎる
● 府内一子育てがしやすい町で有ってほしいと願ってます。教育、保育環境の整備と充実をより一層進めたいと思っています。具体的には駅近くに保育所・こども園があるとより働きやすく、子育てと仕事を両立させやすいのではないかと考えます。第一幼稚園の子供園化も含めて是非取り組んで頂けないでしょうか？
● これから分譲マンションの建設。入居により子育て世代が増えると思いますので保育園の増加等の施策が早急に必要だと思います
● 民間保育所が十分機能してないのに第 4 保育所を閉鎖して次もまた民間のこども園で大丈夫なのか？
● 保育子育てサービスは、まだまだ遅れている部分が沢山あると感じます。マンションが開発されるのは喜ばしい反面、子供の人口増加による、対応が気になります。市内レベルのサービスを期待しています。
● 町営プールの再開。町立幼稚園の再開。町立小学校の整備。お年寄り巡回バスに赤ちゃん親子も乗せてあげたい。もっと子育ての為に税金使ってください。いちばん税を納めているのは、働き盛りの世帯では？
● 来年 4 月から保育所へ預けたいと思っていますが、今の待機児童数や第 4 保育所の一時閉所など考え

ると絶望的な気持ちで不安なまま過ごしております。町外の無許可の保育所も検討しておりますが、保育料が高く、第1子学童、第2子就労支援で幼稚園、第3子町外無許可となると、生活が成り立つのか、現実的でなく送り迎えも出来るのか心配です。何卒後対応の程お願いします
● 最近の島本町はマンションが沢山建ち住民が増えうれしいこともあるかもしれませんが。保育所は入れない。小学校の教室は足らないなんてことになりそうで不安です。高齢者の車の運転も多く、子供たちが事故に巻き込まれることが多くなりそうで、もっとタクシーやバスの利用を進めてほしいです。子育てに不満なく過ごせる島本町で有ってほしいと願います。この暑い夏でもプールはなく水無瀬川では保護者付きでないと遊べない。子供らしく成長できる町であってほしいです。
● 子供を2保に通わせています。これは町政には関係ないのかもしれませんが、自転車置き場に屋根がない！！(保育所側使用中)ベビーカー置き場も簡易すぎる！なぜおむつを持って帰るのか？(不衛生)街づくりも大切ですが、子育ての為の機関整備にも注力してほしいです。おむつは特に問題です。ウイルスが移ります。取り組んでください！！自然豊かな街に住みたくて、京都より越してきました。しかしマンションは建ち、待機児童が増え、越してきたことに少しづつ後悔してます。JR 付近の開発もマンション建設もいりません。町のイベント、子供が増え出店やら何かと需要が多いのに、供給が伴っていない。すぐ売れきれし、いつも長蛇の列で行きたくありません。でも子供の為に参加してます。この辺もどうか対策してほしいです。
● 急にマンションなどが増えすぎて来て、教育環境や学校設備が整わないまま、人口が増えてしまっているように思います。保育所の待機も多すぎます。子供や子育て世代に優しい町でないと将来、島本町で暮らしたい、戻ってきたいと思う人が少なくなってしまうのではないのでしょうか？
● 第二幼稚園の閉鎖に伴い、幼稚園や、保育所等子育て支援について関心も持ちました。マンションや二階建てが増築され、子供の数も増加していくと思われるので、若い親の助成が急務と思う。働きたい母親を支援してほしい。
● 幼児教育や児童教育の場が乏しいので誘致してほしい。子育て世代が住んでも、兼業家庭だと習い事などが近場に無いと困る。選択肢が無くて、妥協していかせることになるが、(私立を受験する人は高槻の塾に通ってる)教育が良いと住民が集まる。京都市の御所南学区など全国から孫の為に祖父母がマンションを購入して住ませる。それぐらいないと町としてこれから廃れそう
● 幼稚園、保育園が少なすぎる。幼稚園も今の時代に2年保育はダメだと思う。
● 第2幼稚園の維持を望みます。あの場所は、自然豊かで島本の自然を十分に使って教育できます。その様な場所を民間に渡すのは、大事な自然豊かな街を売り渡すのと変わらないと思います。せめて町営でのこども園望みます。
● 子育て世帯の為、幼稚園の統廃合の件について不満がある。こども園が出来てから、第2幼稚園を廃止するなど、町立幼稚園等に入園希望者が定員オーバーで困らないような施策としていただきたいかった。すべてが決まってからの、「タウンミーティング」実施しても全然意味がない。
● 町立プールが無くなってしまったことはとても残念でした。この先数年でマンション等が建ち、人口が急激に増えるあたり病院やスーパーで混むのではないかな？学校や保育所などはどのような状況になるのかな？など心配もあります。むやみに住宅を増やすより、子供たち同士で気がるに遊びに行ける町立プールのような場所がもっと整備されてほしいです。これからの変化に伴う私たちの心配や不安に具体的に答えてもらう説明が【広報など】ほしいです
● 就学前の子供を育てているので、その事に関してですが。保育施設が少ないこと。家ばかり増えて、桜の木や景観が損なわれ残念です。小児科も限られており、徒歩しか交通手段のない人は困ると思い

ます。ふれあいバスはいつもガラガラなので、そういった親子も乗れるようにして下さい。ふれセンにも、年長者座敷しかなく、子連れで雨の日、暑い寒い日にも集える児童館の様などがほしいです。住宅を増やす前に施設設備整えてください。子供と一緒に歩いていると、危ない・怖い所が沢山あります。これから年長者運転手をもっと増えると思うので、対策願います。イベントが多く、お年寄りや地域の人々の交流が深まるのでうれしいです。昔から住まれている方と、新しく越してきた人たちが、仲良く暮らせる町であってほしいです。
● 人口の増加に対して、保育・教育環境が追い付いていないように思います。待機児童は少ない方だと思いますが、保育内容をもっと充実させてほしいです。又、小学校のクラスあたりの人数に関しても、国基準よりクラス人数を少なくし、目の行き届くようにしている市町村も多いので、島本町もそちらも考えていってほしいです。
● 子供の遊び場を増やしていただきたいです。町営プールの再建を強く望みます。また、マンション・一戸建ての建設が進む中、街の保育所が追い付いていない状況下に少々不安を感じています。島本町には、環境面でもとても住みやすく感じっていますが、保育園に不安、遊び場がもっと増えるといいなと願っています。宜しくお願い致します。
● 老人に優しく、子供に厳しい町というように思う。例えば、ふれあいセンターに老人の憩いの場があるが子供の遊び場(町営プールなど)はなくなってしまった。触れ合いバスに子連れは乗れない。一小的遊具が少ない。他校に比べて可哀そうすぎます。子供の医療費助成。中学生も対象にしてほしい。役場の老朽化が心配。大規模な災害(地震)に耐えられないのでは？
● ふれあいセンターはお年寄りばかり、優遇されているように感じる。未就園児の遊べる場やもっと子供が使える場にしてほしい。緑地公園は草が生えまくりで、日陰もなく、せっかく充実した遊具があるのにもったいない。近隣の公園も整備されていないし、ボール遊びは不可らしい。こんなに自然豊かなのに、子供たちの遊べる場所がない。駅前には老人のゲートボールのせいで、遊べない時もありました。ふれあいバスも老人と妊婦のみ。もっと子供たちへ力を注いでほしいです。
● 現在ある保育園、幼稚園小中学校の建物でおいづきますか？この島本に来てよかった。子育てにもいい街だと思う島本町を作ってください。
● 大型マンションや宅地開発が進む中、保育のニーズ見通しがたっていない。平成30年で2幼を閉鎖した後児童の受け入れの不足、30年度末まで。2幼を閉鎖した時点で31年度の初めよりこども園が始動するように整備すべきであった。町内の学校教育においては指導の低下を感じる。個人情報だ人権だという言葉で子供たちへの指導を避けている印象した。
● 高槻市等で行われてる幼稚園等の保険料の無償化等の子育てに関する支援を進める
● 子育てがしやすいように保育園や学校教育の拡充ご尽力。
● 高齢者福祉や障がい者福祉について、よく知らないのですが意見は言えませんが、自分が子育て中なので、子育てしやすい町になってほしいなと思ってます。他の市に比べても、子供の医療費や教育費の助成は少ないと感じているので…シングルマザーや低所得世帯からでも福祉が良くなれば良いと思ってます。お金を渡すのではなく、子供の医療費負担が少ないとか、保育幼稚園の助成とか、有効に使われるように。娯楽に使う親もいると思うので。
● まだ待機児童が多いので、無くすよう努力してください。本当は外で働きたいお母さんが沢山いるのに、保育園に預けることが出来ず働けない為、仕方なく会社を退職した方もいますし、共稼ぎでないと生活が成り立たない。二人目三人目ほしいのに、あきらめている人も多いと思います。このままだと高齢者だらけで子供はますます減少し、街の環境は悪化するだけです。早く、少子化何とかしない

とまずいですよ。
● ひとり親に優しい街になってほしい。
● 大型マンションが増えていき、子供の受け入れが整っていないのでは？と不安に感じます。島本育ちの友人が多いのも、島本が子育てしやすい環境だからこそです。自然がどんどんなくなっただけ、島本に住みたいと思う人少なくしていくと思います。
● マンション建設はいいが、幼稚園や保育園の定員など、考えていますか？待機児童は島本町でもいるし、二幼は、閉園。小さい子供がいるのでこれから不安です。
● 5年後10年後を見据えた緑の街づくりをお願いしたい。（大型マンションによる人口流入で、若い人が増えるので数年先に増えるだろう、子供への対策おこなう）子供などがボールを使って遊んだり、ランニングを安全に行える場所が少ない。対策として、閉鎖された水無瀬ゴルフの跡地を、大きな公園にするのは、どうかと思う？子供が伸び伸びと遊ぶ場所がある事は、街の魅力の一つになり、子育て世代の定住促進につながると思う。
● マンションが増え、子育て世代が増えたにもかかわらず、児童館や小児科が全くない。子育て中の親は、困ってます。安心して暮らせるために、子供の居場所作ってください
● 今現在多くの住宅が建てられていますが、学校などの受け入れ体制はどうなってますか？高校生以下、小中学生とそれ以下の児童が急激に増え、待機児童などの原因になることは、わかっていると思うがその対策は？
● 京都大阪へのアクセスの良さを活かし若い人が住みやすい町にしてください。子育て学校の整備にも力を入れてほしいと思います。若い世代が住みたくする街を
● 私は今の島本町あまり知りません。ただ感じるのは福祉施設なども増え、保・幼稚園も少なくはありません。2小も立て替えてからは、とてもいいなと思いますが、スポーツチームや習い事を出来る環境少ない。町内チーム作ったりすることで、小学生もイキイキするのではないかと思います。
● これからますます高齢化が進む中、マンションや戸建ての増加で子育て世代が増えるのは、その後も継続した子育て世代の人口比保てるように工夫が必要だと思う。
● 若い世代を増やし世代間のバランスを取る必要があるのではないかと想像します。そのために子育て支援の充実が1つの方法かと考えます。現在感じることで屋内外の子ども（幼児）が遊べる施設を増やしてほしいと思います。ふれあいセンターで未就園児が遊べる場所を作りたいです。

② 学校教育

● たくさんのマンションが建ち、子供の数が増えて行ってます。一部の学校に子供が集中し、先生が目が届きにくくなったり、ゆったりした気持ちで勉強を受けたりできないことも起こると思います。児童が多くなる所には、それなりに整備が必要だと思います
● 小学校のクラス当たりの人数を減らし、サポートの先生を増やしてほしい。
● 人口が増加し学校等が将来足りなくなる恐れがある。
● 私は塾講師をしています。島本の子供への学力低下には危機感が増すばかりです。教育活動の活性化を強く希望します。
● マンション建設を許可する前に子供の教育受け入れ可能か検討すべき。
● 私は小・中学校といじめられたがそれをなくしてほしい。
● 教育環境を充実して学力のレベルを上げてほしい。学力が上がれば他市から人が来ると思う。（宿題が少ない）

● 小学校の学区の分け方に偏りがあると思う。もっと分散できるように柔軟に見直しを行うべきだと考える。一部の小学校の生徒が増えすぎている
● 元々がコンパクトシティな街。例えば祭りも中学校のグラウンドだけでなく、もっと廻りを巻き込んでも良いのでは？小中学校の数多くない。もっと学校間の交流会っても良いのでは？
● 学校の給食の量が少なく、保育所と時よりも減り、いつもお腹すかせて帰ってくる。
● 私立の中高校が設立されるが、町立学校の魅力を持ってほしい。地元の高校である島本高校には、行かない町民が多いと聞いている。
● 有名な大学・高校が欲しい。
● 小中一貫校や中高一貫校の計画。
● 島本高校を魅力ある学校にするために学科の見直しや新規学科開設などを考えてはいかがでしょうか？
● 近隣の高校の偏差値を上げる努力。たまに町で見かけますが、服装や化粧、しゃべってる内容などレベルが低く感じます。
● 島本の畑のある方の開発について、以前に名門私立学校の建設があったようですね。マンションなど、建てるよりよほどいいと思います。高槻は関大、茨木市は立命館、島本は？

③ 青少年の健全育成

● YY ワールドは是非復活していただきたい。孫が楽しみにしていましたが、なくなり残念がってました。また町営プールも復活していただきたい。子供が楽しみにしているものが無くすのはどうかと思います
● お年寄りの為の社会福祉は充実してると思うが、もっと若い人の事を考えてほしい。子供がもっと自由に遊べたり学生が立ち寄る所があるといい。町内を歩いていて知ってる人に全然会うことが無いのがあまりよくないです。学生がいるまちになってほしい。
● 町とプールや学習室公園など子供の居場所、集える場所を増やしてほしい。田植えなど環境を生かした体験教育を子供たちにしてほしい
● 中高生で大人数で集まれる場所を作してほしい。（高槻まで出ないと適した場所ない。）
● 青少年のためには姉妹都市提携先との交流を活発化して国際的視野を広げるにより町の将来に繋げる

④ スポーツ・レクリエーション

● 町営プールがないのは活気が低下していると思う。町営プールの造設を。
● 子供の遊ぶ場所として町営プールは必要。今は電車に乗ってプールへ行ってる。
● 一般の人でも使用できる屋内プールを作してほしい。年中使用できるように温水プールも作ってほしい。
● プールがないので危険と分かりながら水無瀬川で遊ばせるしかない。小中学校のプールを開放してほしい。
● 子どもの頃にたくさん遊びに島本町町営プールに行きました。今の子ども達にも楽しいプールや夏の思い出を残してあげたいです。再建してほしいです。プールのためのクラウドファンディングやふるさと納税など作ってもらえたら寄付したいです。
● 子供たちが安心して遊べる公園やプールが無いので、学校開放も増やす。プールの利用出来るようにしてほしい。

● 屋内プールにトレーニングジムを併設する施設の誘致
● 町民皆が参加でき、生き生き暮らせる街として。例えば水無瀬神宮の横の旧町営プールの跡地に若者から高齢者まで使えるジムの施設。（室内プールも含む）があればと思います
● 町民プールを復活させてほしい
● 町営プールが無くなり、町営プールの計画が無いようなので是非作ってほしい。
● 町のプールがほしいです。名神の下の川でもいいですが…
● 町営プールの再建。安全で無料のプールは子供の成長に必要です
● 公営プール作り、公営の野営場作り
● 温水プールを作ってほしい。
● 温水プールを作ってほしい。健康・体力作りに必要で島本町のみない状況。
● 島本町にみんなが行けるプールが無く、子供たちが遠くの場所に行く。子供たちが、犯罪に巻き込まれないか心配です。島本町に子供が増える分、温水プールを作って頂きたいと思います。高齢者も利用できるのでは・・・
● 市民プールの再建してほしい。水の町をアピールするのであれば、プールの水質に特徴を持たせてはどうか？島本以外の利用者は、高めの料金設定をして、ハイグレードのプール事業をしたらいいと思う。
● 今以上に充実した機器やプールを持った施設があるといいと思う。マラソン大会や町民が参加できるスポーツイベントがあるといいと思う。
● 島本町には、プールもなく、子供が遊べるプールや児童施設があれば、若い人も満足できるし、体育館ももっと大きく整備されたら、健康増進に役立ち、楽しめるのではと思います。無駄を省いて限られた税収を有効に活用して頂けるようにと思います。
● 広い体育館がほしい。イベント・スポーツ・体育祭・健康づくりが出来る場所が一か所でできればいいと思います。交通の便の良い、低い土地があれば良いのですが・・・山手に向かっていくのは大変なので…
● 町立体育館以外も使えるようにしてほしい
● マンション住宅建設でこれから人口が増えると思われるが、大変心配してるのは、公共施設の老朽化や若者向き、元気な高齢者を支えるためのスポーツ施設が島本にはありません。隣町には買い物ついでにスポーツに通う人も多いのに、わざわざ電車乗って通ってる人も多い。（主人は高槻に行ってます）ず〜っと要望してるのは「健康のためのスポーツ施設、プール施設」です。何とか提案してください
● 町民が健康で人との触れ合いが多く、笑顔でいられる町づくりを目指してほしい。スポーツ施設充実し、プロアマの大きな大会を開く。ラグビーが良い。個人的には剣道。後野球、サッカーバスケ、バレーボール
● 体育館が古いからジムを兼ねた施設を新しく建ててほしい。
● 若者が集まる場所が少ないと思う。町営プールを復活させるか、夏場に水遊びできる所作ってほしい。町内の飲食店について情報が少ない。キャンプ場の営業時間を延ばしてほしい。
● 野球場やテニスコートなどスポーツ施設の充実による健康の増進や交流の促進を実現していただきたい。
● プール、テニスコート町体育館等のスポーツ施設充実。町役場改築に伴うホールの建設

● 健診結果、運動をする人のため、介護される人を減らすためにもスポーツ施設の充実を図る。
● 水無瀬川の名神高速道路高架下広場で以前はバーベキューが出来たのに現在は禁止されている。路駐、ごみによる苦情があったと思われるが、地域の活性化の為に高速道路から JR までの河川敷の整備を行い駐車スペースの確保、バーベキュー場、川遊び、スポーツ広場を整えてほしい
● 水無瀬川でバーベキューが出来るようにしてほしい。クレームなどがめんどくさいなどでなんでも禁止にしないでほしい。規則に縛られない自由な街になってほしい
● 淀川河川敷を町民の憩いの場に整備し健康づくりの推進。
● 水無瀬川名神高架下をバーベキューできるように整備し、有料でゴミの収集や使用の予約制など環境づくり。シルバーの雇用もでき老若男女共同の運営もいいのでは？
● 淀川三川合流から歩道へ簡単な丸鉄管を曲げたりだけのベンチ。ハイキング道の整備！若山台→尺代→天王山ハイキングの道の整備

⑤ 歴史・文化、生涯学習

● 島本町の歴史と文化を学びたい。生涯学習
● 引っ越してきて、7年ぐらいになりますが、いまだに地域になじめていません。住民参加できる講演会や生涯学習を増やしてほしいと思います。
● マンション・人口が増えてきた。町民プールや住民ホールが壊され文化施設が不足している。文化祭や島本祭など人が集まるところで施設建設のための寄付や募金を募ってはどうか
● あったかい歴史跡文化を大切に
● 音楽美術などの芸術文化を大切に
● 新しい物を作ったり、開発する事に力を入れるよりも今ある物や文化を活かし、手入れをして大切にしていく方がリスクが少ないと思う

(9)『まちづくり全般・その他』について

① 財政健全化・行財政改革など

● 町民にみえる財政改革・行政改革をしてほしい
● 町内マンションの建設増加に伴う人口増加による財政負担を住民税にしわ寄せの無いよう、人員削減・行政改革の推進をもっとやるべきです。高齢者の増加による地域の介護福祉の維持向上を望む。現状程度の人口を維持する事。空き家空き店舗の活用
● 現在の島本町は高齢者への支援は充実しているが、働いてる世代へや若者は、支払っている税金を自ら関係ない部分へ使われているように感じていると思う。今後はより高齢化が進み、歳出も増加するが、いつかは高齢者等への支援に見切りをつける時期が来るかもしれないと思う。国の財政の様に未来に負債を残し続けないよう、町の財政を健全化していただきたい
● 今夜の町の活性化を目指すのであれば高齢者の福祉よりも子育て世代への手厚い医療や福祉に重点を置くべきであろう。限られた税収・財源であれば目的をもって使う方が納税側も納得するのではないか。税の使い道報告も一括福祉ではなく、明細が必要。（生活保護費、高齢者医療、介護、子育て等）
● 何でもお金を出すのではなく、歴史資料館のトイレ清掃は職員がするなど税金の無駄使いはやめましょう
● 町の税金を上げても行政の政策が実現できるようにする。行政の政策評価をしっかりとやる。

● 少子高齢化は、島本町においても回避できない問題である。行政サービスを選択、集中し、効率的に実施する。若い定住世帯をふやす。（子育て婚活パーティ）行政主導の出会いの場を企画してください
● 税金が足りないからと言って施設をつぶして住宅地に変えていくのは反対。経営は右左でなく必ずバランスが必要、その落としどころが見えない
● 財力が無い街なので、短期・中期計画を優先順位を明確にして確実に進めてほしい。財源を確保するために、無理な企業誘致や宅地の開発はやめてほしい。子育てや教育に力を入れて若い世代が定住するような環境づくり
● 町の税収(収入)に対し、サービスのコスト(建物や施設の維持管理費及び人件費も含め)はどのくらいの比率になっているのか？近隣の町(高槻市、茨木市等)に比べ高くなっていませんか？効率化を計る手段は、サービスのカットではなく、最も比率を悪くしている項目から手を付けるべきでは？
● 将来を見据え今後も実施すべき事業であるか判断し、組織業務のスリム化を計って頂きたい。例・すべての事業について必要性や有効性を検証する。「街として担う事業」「手法として外部化すべき事業」「縮小廃止すべき事業」を検証した上で町として役割明確にする。結果「街として担うべき業務」については一層の効率化を進めたい。
● 各種証明書のコンビニ交付はぜひ導入してほしい。
● 役場の駐車場有料化などを行い、町の財政負担を減らす対応をすべき
● ふれあいセンター・体育館の駐車場を有料化し、そのお金で各施設の維持・管理を充実させる。図書館の民間委託を希望する
● 公的機関の民営化は反対です。
● 街づくりに必要な財源を町民の負担を軽減しながら、どう工面するかを、町民全てに問うことが必要

② 広域連携

● 高槻市との合併賛成。
● 高槻市民になりたい
● 高槻市と合併すべき
● 高槻市と合併してほしい
● 高槻と合併した方が良いと思う
● 高槻市との合併を見据えたうえで町庁舎の建て替えなど進めていかないと税金の無駄使いになる。
● なぜ高槻市と合併しないのでしょうか？生活圏は全て買い物、医療他高槻に出ている。現状の島本町又、町議会では何も変わらないのでは？既得権を離したくないのでは？町役場の受付必要ですか？人が余っているのですか？売店必要ですか？人件費もったいないですね。職員利用の為の売店ですか？若い町長でこそ改革できるのではないですか？まあ古い利権に流されるでしょうけど。前記の質問を次の「しまもと」に答えを載せてもらえますか？多分載せないでしょうが。
● これ以上人口が増えると島本町の機能がマヒする。高槻市と合併した方が色々な面で充実すると思う。
● 三島郡島本町ではなく、高槻市島本町になれば都市化のイメージアップで人口増加すると思う
● 高槻市合併により、合理化を計るべきと考えます。少子化が進むことで避けられないことで、重複する行政サービス、議会などについて限られた税財源でどうしていくかは真剣に検討すべき時期にしています。3万人の町と30万の市が合併すれば合理的な案が多く出ます

● 住民税が高槻市に比べ(他市も含め)高いと思う。高槻市と合併すべき。島本にまともな総合病院がなく、介護施設も良いとは思えない、島本町だけの力では無理ある。
● 早く高槻市と合併望みます
● 高槻との合併推進。
● 人口の減少等、企業誘致、税収に見込みが無ければ(安定した) 外部委託や連携、もしくは高槻の協力、合併も視野に入れた街づくり対策を検討する必要があるかもしれない
● 高槻市との合併。住民のサービス向上を図る。
● 都市開発の計画性も町民に説明もなし。もっと住民税を収められる人が住むような住環境を作らないと豊かな町でなくなる。はやく高槻市との合併を希望します。
● 高度な都市機能が身近で集約している高槻市と合併してほしい。
● どこかと合併して規模が大きくないと未来ないと思う。現状維持だけでは、発展無いです。
● 高槻市と統合した場合、いろんな面に於いてプラスになるとおもいます。いつまで三島郡では成長無いですね。例えば高槻市バスの 70 歳から無料とのこと、高齢者が動かなければだんだんさみしい街になるでしょう。買い物行くにも車なければ不便
● 火葬施設もなく、バスもなく、町として単独で存在する事は不可能。高槻市等含め広域合併すべき
● 高槻市と共同するなどレベルアップを図ったほしい。(近隣の企業と共同して、支援する仕組みも面白いように思います。
● 高槻市との合併について再度住民投票等をするべきだと思います
● 古くからの住民と新しく転入した住民のコミュニケーションが円滑にできる様施策を考える。高槻市への合併についても再検討の余地あると思います。
● 島本町はお金があるので合併しないと聞いていたが、引っ越してきて公共施設や道路がボロボロでびっくりした。災害が起こると避難所も危ないのではと思う。小さい町で財政も厳しいので高槻市や大山崎町との合併をもう一度考えてはどうだろうか。
● 全国的な少子化、高齢化の流れの中、人口減少はやむえないが、その中でも高齢化の抑制は、重要な目標であると考え。単純に住宅開発を狙うと他市町村と差別化が出来ない。現在本町の強みが何なのか？ぶれない軸を定めてほしい。その上で高槻方面のみならず、京都方面をむいた広域連携も検討してほしい
● 他都市との連携が必要な面と害になる面を明らかにし、真剣に考えなければならない。島本独自の良い所はたくさんあるのでそれは守りたいけれど、将来を見据えて島本だけでやっていけるかどうか不確実な感じがする。他都市と連携すべきところは連携し、島本の良い所は残していけるようにするのが行政の力だと思う。
● 今のままでよい。合併は反対
● 合併・連携は絶対やめてください。反対！！島本は島本で独立した自治としてほしいです
● 合併は反対！！
● 合併は反対です
● 他の都市と合併はせず今まで通り単独で進めてほしい
● 市町村合併なしの現状が良い。少子高齢化において空き家が増えいろいろな問題が予想される
● 小さな町であってほしいです。
● 今までどおり小さな町であってほしい。近隣都市との合併反対

③ 人口

● 新しい人が増えつつ、島本らしいのどかさが残る街づくりをしてほしい
● マンション・住宅が建設ラッシュで人口が増えると思っていたが減少すると聞いてびっくり。島本にずっと居たい。人口が増えるより今くらいがいい
● 今後の町民の人口動態を予測し、町の財政・福祉が成り立っていくか推測し危険なところがひどくならないよう対策していきたい。
● 人口増加はいいことだが、今までの町の景観とは違い暮らしにくい感じ。これ以上大きな建物は増えてほしくない。
● スーパーやカラオケ、映画館など一切なく人口だけ増えている。人口を増やすことで住みにくくなるなら元も子もない。働く場所も増やしお金がまわる仕組みも必要である。
● 高齢者優遇→子育て世代への充実（人口減少対策）
● 人口をやたらと、増やすのではなく、街を大きくするのではなく、今ある島本町の良さを大切にしてほしいです。自然が豊かで水がきれい歴史ある島本町が好きで引っ越してきました
● 次々とマンション建設が進み今後人口も増加する傾向がしばらくの間続きそうです。人と人の関わり（交流）や様々な情報などショッピングセンターやファミリーレストランその他施設を増やし人の出入りを多くできる街づくりを目指してれば良いかと思います。つい高槻市や長岡京へ行く気持ちを「わが町島本」で満足できればさらに良いかと思います
● 島本町の今の人口でカントリー風のゆったりした穏やかな街。雑多な都会から帰ってくると心のリセットが出来る町です。私にとっては島本町は理想の郷、終わりの住み家です。人口増加による秩序の乱れや犯罪のトラブル等が心配されます。医療の充実、生活環境の充実、安全で安心して生活でき、自慢のできる島本町でありますように願います
● 教育環境の充実や子育てしやすい町になれば、若年層が増え人口の減少の歯止めになると思う
● 町の人に誇れる町にしてほしい。町の良い部分をより伸ばす市政を行って頂きたい。それが地域度の向上と共に人口減を妨げる事が出来ると思う
● 今マンションが連立し、戸建て住宅も次々出来ているがそれでも島本は問21のように減少傾向なのか？保育所学校など大丈夫なのか？不安に感じる
● 新しいマンションばかり建ててますが、人口が増えていません。町内移動が多いのかと思います。それだと古い家が空き家だらけになっているのではないのでしょうか？マンション誘致だけでも意味がないかと思います
● 人口が減少するといわれているのに、新たに JR 駅前を開発しようというのは 30 年後のことをどのように考えているのか。住宅を増やしても将来は空き家や孤独死などが増えるだけである。今ある住宅を活用（リノベーションなど）して、緑豊かな町でいてほしい。JR 駅前にショッピングモールができた場合、近くの小さな店はほぼ潰れる。その後、人口減少で採算が取れなくなると撤退。その時にはもう店がないので買い物難民ができることになると思う。本当に町民のことを考えるなら大規模開発はするべきではないと思う。
● 人口が増えることにより今の住民が豊かに暮らせる街づくりをお願いします。小さな町だからできることを考えてほしい。今育てている子供が島本町を好きになり戻って来なくなる街にしてほしい。

④ 税金

● 高齢者や主婦など町内だけで過ごす人ばかりが便利な町ではなく、納税者の利便性と満足度を高めて

いただきたい。田園風景ばかり声高に叫ぶ人がいるが、駅前土地を有効活用し税収を上げるべき。私の税金はいったい何に使われているの？
● 支出を減らす前に収入増を図る事で豊かな環境も維持できる。ふるさと納税は、それまで思いとどまっていたが、勤労所得者が納得して税を払う、「象徴的何か」がほしい。なければ季節ごとの海の幸に納税しそう。
● 税金高い。（住民税）安くしてほしい
● 高齢者や子育てのサポートも大事だが、働く人への（納税者）への還元が少なすぎる
● 島本の人口はここ数年でマンション建設などで、3万1千人をこえるとおもいます。この人たちがいかに町内にお金を落としていくかを考えた時、その施設があまりにも少なすぎます。ふるさと納税にしてももっと本気で考えてほしい。いかに町民から納得のいく金を集めそれを町民に別の形で返していくことが出来れば素晴らしい街になると思います
● 税収を増やす努力をしてほしい。有名なサントリーと町がコラボして島本の特産品を開発・商品化・販売したり観光客向けのビジネスするべき。
● 私達夫婦には子供がいません。子供のいない働く年代の夫婦って、働き損ですね。子供がいる家庭って色々給付金があったり、控除があったりするけど、私達みたいな夫婦は、税金取られるだけで、何もない。せめて団地に入るための収入金額の設定どうにかしてほしい。夫婦二人でも、このご時世2人で働いても、収入少ない。
● ふるさと納税の利用も長岡のように学校に活用してもらえたら、子供たちの教育にも行かせると思います。
● ふるさと納税をもっと魅力アップした方が良い。今のままでは他市に寄付したいと思ってしまう

⑤ 公共施設・公共サービス

● 町役場の老朽化が顕著である。行政サービスを向上させるためにも町職員の「職場環境」の改善が必要であり、一定以上の庁舎の更新が今後必要と思われる
● 町役場の改築を考えているようですが、町民に説明していくべきだと思います。独断先行の考えがおかしいと思います
● 役場の建替え反対。
● 役場の建て替え、現位置ではなく、駅前に移転すべき。役場の場所は、民間売却で移転に必要な費用を最小化。
● 課題、今後10年の町の人口構成の増々の高齢化と人口減少のリスク対策。既存の小学校の建て替えをして低層階は、小中学校や保育所、中高層階は、病院と役場にする。ことも検討してください。
● 役所は中心にあるべき
● 役場まで行く手段ない老人、障がい者の方々が、自分で手続きできるよう近くの施設で代行できる体制作り
● 役場だけでなく駅前、山崎や尺代出張役場サービスがあるとよい。
● 駅前に住民サービスを受けられる出張窓口を作るべき。アレルギーを持つ人にも優しい町づくりが必要。
● 町役場、ふれあいセンターが遠いので分室があれば良いと思う
● 島本町の駅近くに住んでおり便利(交通・申請書類取得等)ですが、尺代、山崎に住んでおられる方は、いろんな場面で不便を感じておられていると思います。出張所等の設置も必要だと思います

● 私の地域では、書類や手続きとなると役場まで車か、バス利用になるので高齢者には足腰が弱く重荷で、身軽にできる水無瀬駅前中心に事務所（出張所）を希望したい。
● もっと便利な所に行政機関を置いてほしい。ふれあいセンターの自習室を増やしてほしい。席が空いてなくて、行っても勉強できない時がある。新聞や本を読んでもただの方々は、机がいない席に行ってほしい。机に荷物置いて、いるだけの人がいる。長時間どこかへ行き帰ってきません。迷惑です。
● ふれあいセンターや町役場が小高い丘にあるため、タクシーや自家用車でないと行きたくない。高齢化に対し JR 島本駅北側に（平地）将来必要。
● ふれあいセンターはみんな活用する場所だが車使えない人は不便。
● 二中方面に勉強する「ふれあいセンター」があるけど一中方面に住んでる人は少し遠く感じます。一中方面にもすぐ行って勉強できるスペースがあると助かります。ふれセン並みに大きい建物だと無理だと思うけど、少し小さな建物だったら作らなくても空いている場所があるはずなのでよかったら、一中方面にも勉強スペースを作ってほしいです
● 役場の土日を開けるようにしてほしい。また、各種手続きの土日窓口を作ってほしい
● 月 1 回でいいので土曜日か日曜日も住民票や戸籍謄本等各种手続きを取れる様窓口を開けてほしい。又は、夜(平日)八時ぐらいまで窓口を開けてほしい。
● 役場の使用時間を長くしてほしい。(働いてると休みなどとしていかなければならないので)
● 住民ホールの土地や建物が活用されずもったいない
● ケリヤホールは、収容人数少ないので全住民ホールのように成人式やイベント、講演会が行えるホールを作してほしい。
● 集会場所をもっとたくさんほしい。ふれあいセンターの音楽室は、20 人しか入れない
● 高槻市や茨木市の図書館で本の予約をして自分で取りに行くシステムにしてほしい。
● 図書館の蔵書を充実させてほしい。職員は丁寧に対応してくれるのでもっと充実した施設にしていただけることを願ってます。
● 図書館の分室を作してほしい。
● 図書館が遠い。例えば駅周辺で本の受け取りや返却できると大変ありがたい。
● 図書館の閉館時間が早い。勤め人が利用しにくい。(平日) 今のは「図書室」程度の規模なので少々狭くても独立の建物であってほしい
● JR 島本駅や阪急水無瀬駅に図書館のブックポストを設置した方が良いと思います
● 商店街の空きスペースを利用して、サテライト図書館を設置してほしい。返却ボックスと宅配ボックスの様な、暗証番号式のロッカーを設置して、働く社会人が利用できるようにしてほしい(メールで予約しておけば、ロッカーに入れておいてくれて、パスワードを入力して受け取るイメージです)
● 図書館をふれあいセンターから離してほしい。図書館を利用する人は車の無い中学生高校生お年寄りも多い。なぜ坂のある山の中、建物 4 階で不便、行きにくいのか不明である。平地駅前など人が気軽にに行けるようにすべき
● 図書館において資料の充実・CD が古い。体育館が狭い。清掃工場の職員の教育。
● 老朽化している町役場や体育館など徒歩でも行ける平地・島本駅西地区に移転、図書館だけでも。避難場所のキープもしてほしい。
● 町立体育館を使用させていただいてますが、冷暖房が無く今夏は命の危険を感じるぐらいの暑さでした。付ける費用が無いのであれば使用禁止にするのもありかと思います

● 住民ホール、町民プールは絶対必要である。努力してほしい
● 高齢者が集まるような施設があればいいと思う。
● マンションが増えるのはいいけれど施設の充実も視野に入れるべき。
● セクシュアルマイノリティに寄り添った施設の在り方になっていくと良い。
● 結婚相談所を創設してほしい
● 建設中の中高一貫校にもし大規模なホールがあるのなら、町の文化祭利用させてもらうようにならないだろうか？
● 文化ホール、町立体育館の充実。新設してほしい。(避難所として機能しないのでは?)歴史資料館を有効に活用してほしい。体育館の利用を3時間単位でなく、1時間単位に。
● 島本町のホームページにも書いてありましたが、町営プールを作る予定が無いようですね。私は、是非再開してほしいと思います。成人式がちゃんとできるホールも作ってほしいです。ケリアホールではどのイベントにするにも狭すぎます
● 人口集約に住宅が増えているけど、結局町内での移動がある事多い気がする。町営プールも耐震の面でなくなったとしたら、また新たに作るべきではないか？どんどん遊び場なくなり、今では緑地公園しか大きなグラウンドない。イベントするときも同時に何か所か分散させ各会場で盛り上げた方が良いのでは？夏祭りも出し物が年々減り、同じものばかりなのでは？
● 島本町主催の教室が夜もあればうれしい。平日昼間のみだと働く人は参加できない。たくさん税金納めてる人たちが参加できないことに矛盾を感じます
● 住民サービスの充実。
● ふれあいセンターの有料施設の予約をインターネットで出来るようにしてほしいです。予約状況もリアルタイムで見れるようにしてほしいです。その方が利用しやすいです。ぜひ電子予約を進めてほしいです。最近音楽イベントなどいろいろ企画があって町の賑わいづくりが盛んになってよいとおもいます

⑥ 町議会

● 町会議員が多すぎる。
● 議員の人数が多すぎる。
● 議員定数の見直し
● 議員の数減らす。定数の見直し。
● 小さな町なので町議会議員そんなにいらないです。その分他に活かしてほしい。
● 町議会議員定数削減。
● 需要と供給のバランスを見ながら前進してほしい。議員の数を考え70歳以上はやめてほしい。
● 議員定数削減。議員のレベルが低すぎる。
● 町議会議員が多すぎ。人口に見合う数にし、コンパクトな体制にするべき。住民の大半はそうに思っているはず。何かの変化を求めるのであれば、内部から改革を。
● 町会議員を減らし無駄な支出を抑える
● 島本町の街づくりで先頭に立ち考えていくべき立場の町議会議員の資質の劣化が感じられる
● 町議の方々は選挙前後の活動しか見えない。愛層の悪い人もいる。公共施設の更新費用がかかるので議員報酬を見直すべき。
● 町長が主導取り運営しないとダメ。議員に遠慮しすぎ！選挙支援の事を考えず、町長の為に頑張っ

て！このままだと次回は？まだ間に合います
● 町議員の利権の無い調整を望みます
● 町議員の意識改革が無ければだめ。何もしない、考えない議員は必要ない。職員からもどんどん意見すべき
● 町会議員の給料が少なすぎると思う。町会議員が合併について、賛成・反対の意見の公表をしてほしい。

⑦ 町職員

● 町職員の意識の強さが大切。それによって町民を意識して強い関心を持つことができると思う。
● 若い町長さん、スタッフの方々をこれからも応援したいと思います。
● 役場の窓口で相談に行くと係員が分からず別の人に尋ねに行く。もっと判断力のある係員を配置してほしい。
● 役場での丁寧な対応を心掛けてほしい。
● 問題意識を持ち提案・改善する職員を育ててください。
● 町の職員でもっと仕事に取り組んでほしい。余分なサービスは思い切って止めるべき。何でも無料はお金があってもたりない。このアンケートも全ての漢字に振り仮名がありかえって読みにくい。
● 去年の給与支払報告書の送付ミス・国からの小学校の地震対策の申請に関する遅れなどからこんな人たちに任せて大丈夫なのかと思う。町に対する愛情はあるのかしら
● 役場の方も時々町内を歩いてみてほしい。気づくことがあると思う。
● 役場の職員の対応に不満がある。誤った対応に損しそうになったり学童保育の振替を忘れられたり。
● 行政職員の資質能力向上させる
● 島本町役場の職員の方は親切で何時もわかりやすくお話ししてくださいます
● 町職員の教育
● 街づくりの件ではないのですが、役場の職員さんの対応が頭にきている。保険証を返しに行った時にものすごい悪すぎる態度をとられた。もう少し、態度を柔らかくできませんか？そういういった人に税金払って給与を貰っていると思うと不満があります。
● 町長をはじめ全職員が責任をもって、将来のまちづくりをしてほしい。今日の中央庁の様な仕事をしないことを明確に説明を
● 職員はもっと愛想良くしてください。だるそうに動かないで！！もっと教育してください。民間企業はもっときちんとしてますよ。島本の為にお願いします
● 町立体育館の受付の態度悪すぎる
● 広報は行政の活動が中心に書かれています。本来は行政が行き詰ってる問題を提起すべきです。島本町の職員でありながら、高槻市等の他の市町に定住されている方が多いと聞きます。島本町のまちづくりをしながら、島本町に魅力がない。なぜですか？三小学区の JR 西駅前に高層マンションを建てる→児童も増える→耐震化が不十分な校舎に児童を集約する。→命の危険にさらされている児童が増える。→行政として、人として、街づくりの基本として、職員の方の意見が聞きたい。
● 役場の窓口の職員さんの対応が雑です。もっと丁寧にしてほしい
● 町職員がもっと仕事してほしい。
● 役場には 10 年に一度くらいしか行かないのですが、福祉や街づくりには気持ち協力してるつもりですが、たまにしかいかない役場、対応というか気持ち伝わらず…

- 役場は、市役所みたいに人が多くなく、利用しやすいですが、対応悪すぎます。勉強だけでなく、きちんと対応できる人にしてほしい。他の町からきて、最初に来る場所ですので。いい所は残して、新しく取り入れる事は変化していく事が必要。
- この町で本当に良かったと思っています。普段なかなか伝える機会がございませんが、安心して暮らせるのも、役場の皆様のおかげです。ありがとうございます

⑧ まちづくり全般・その他

- 民意の立場での行政
- 町ならではの特徴を生かした街づくり
- 敏速な判断、行動をお願いしたい、遅い事が多い
- 高齢者・共働きに対して臨機応変の対応を望みます。
- 歩道の整備、河川の整備、町を定期的に巡回して整備するべき。
- 子育て・福祉・防災など安心できる街を充実させてほしい。無駄を省き良い取組を他府県から学び本当に必要なことにお金を使ってください
- 他の地域にはないいいところを見つけて大切にしてほしい。合理的になりすぎない方がよい。
- 都市に近い場所なのに、静かで暮らしやすい町です。現状維持を望みます
- 日本全体高齢者が増えているが子供たちの明るい声が聞こえる町にしてほしい。色々な働き方ができると若い人でも元気な老人でも働ける。
- 子育て世代と高齢者がともに住みやすい町を目指してほしい。
- 若者も老人も元気に過ごせる街であってほしい
- 期待しているのでよろしくお願いします
- 今まで通り静かな島本町が好きでマンションが多くなるのは好ましくない。のんびり子育てできる町がよい。
- 大阪や京都にでやすい利便性がありながら自然豊かな町だと思う。行政などコンパクトに集約されて情報が分かりやすく町の行事にも参加しやすいと思う
- 島本市設立に向け一丸となって活動してください
- 島本町は大阪府の端でなく玄関であってほしい。うまくリードしてくれれば日本を代表する町民・町政になると思う。皆で頑張ろう。
- 島本町は小さいのに便利さと自然環境が一緒になっていて魅力がある。
- 町会議員役場職員多すぎる。町会議員、職員の給与高すぎる
- 子供が大きくなった 20 年後のビジョンが見えない。田舎のイメージしかない
- 大阪府の端と言われますが、私は心から落ち着く住みやすい町だと思います。
- これからも住みやすい島本町のために頑張ってください。
- 京都、大阪のベッドタウンとして暮らしやすい町にしてほしい。若い世代が暮らしやすい町は自然と活気のある町になると思う
- 空きテナントが多すぎる。買い物不便。またファミリー層を増やすなら精神的に高められる教育に力を入れる。あと、水の研究をする。
- ほぼ現状維持を願ってます。小さな町の良さをこれからも継続できればうれしいです
- 自然に惹かれて住み始めた人が多い中その期待を裏切らないようにしてほしい。地権者の意見を大切にしながら具体的にできることを示し努力してほしい

● 水がおいしいし、緑豊かな島本町が大好きです。人や地域のつながりが深く暖かな街だと思っています。しかし近年上記いずれも薄れてしまうのかな？という傾向がみられ残念であり、心配しています。島本町は十分充実しています。新しい物を取り入れるのではなく、島本の良さを伸ばして、愛される街づくりを期待します
● 緑が多い、自然が豊かで、色々な植物を町内で見ることが出来る。人と人とのつながりがある。こんな美点は、この周辺の市見られないこと。開発する事は出来ても、一度無くした自然を回復する事は難しい。大阪市内で勤めていても、市内に住もうとは全く思えない。確かに、派手なアピール性や刺激はないけれど、駅を降りた途端に、ほっとできる空気がある、そんな島本町を守っていくことで、他にはない魅力がどんどん出てくると思う。田舎である事こそが、島本町の魅力だと思います。
● 今町ではマンションが増加し人口増加を重視されているのでしょうか？ 住民税による収入増加分を町内の交通利便性の見直しをして頂きたい。私自身若山台→東大寺2丁目→江川と自分の老後を考え、転居しています。その一番の理由は特に東大寺2丁目には、移動手段が車か自転車しかない為、老後の暮らしでは不可能と判断したためです。そして、医者が少ない為どこの医院も京都市内とくに比べるととても混んでいる。後、水無瀬駅から島本駅の幹線道路が今後、役所前のマンションと戸建て住宅増加で、かなりの混雑が考えられる。コープの信号の所に右折車線を設けるべきです。171号線沿いにへんなビデオショップなどの建設許可をしないでほしい。町のイメージダウンです！！私は、30年以上も住民票を置いてますが、大阪・京都への利便性のみで町に対しての愛着はほとんど感じることなく現在に至っています。それも問題ではないですか？
● 「夢物語」と言わずに理想を求めたコンパクトシティを目指していただきたい。他の町から見学が来るようなモデルの町に。エネルギーは太陽光など自然エネルギーに。住居は地震、火災に強いマンション化。周辺には豊かな緑農地。電柱、電気水道ガスの一体地中埋設。道路には多くのポイントに休める椅子。毎日散歩したくなる環境。
● 結婚と同時に島本在住50年。町の発展を住民として共に歩んできました。自然に恵まれたコンパクトながら行き届いた行政。誠に暮らしやすい島本だと感謝しています。今後若い世代に引き続き良い環境づくりを期待します
● 問24の回答がすべて当てはまってほしいような、とにかく島本に住んでよかったという町であってほしい。小さな町でも充実して安心して住む町であってほしいです。置き去りにされてしまいます。反対です。小さくても充実した街島本であってほしいです。職員の対応も上からでなく、対等であってほしい
● 島本町は住みやすい町だと思っています。アンケートは希望があります。住民に皆様でこの町は良い街だと言えるような街にしてください。以前ゴルフ場があった河川敷は、公園スポーツ場にと活用は大きいと思います。町の努力を期待しています
● 個々の財産等いろんな事情があるだろうが、町全体の緑多いゆったりした街を言う印象のある環境をこのまま守り続けてほしい。人に優しい街で助け合いのある町であってほしい。人づくりを大切にし、教育もしっかり取り組んでほしい
● 元気なしまもとで有ってほしい
● 私は結婚を機に島本に住んで30年を過ごしました。2人の子供を育て伸び伸び成長してくれました。島本の環境は大好きです。引っ越しなど考えてません。これから私も高齢者となっていきますが、高齢者でも住みやすい優しい街であってほしいです。よろしくお願いいたします。
● 昨年から妻の地元の島本に転居しました。自然豊かで地域活動も活発で、とてもいい街だと感じてい

ます。歴史のある街ですから子供たちも島本への愛着強いのではないかと思います。祭りなどの地域活動はもちろんですが、仕事を持つ住民の皆さん、町外はもちろん地域で働いておられる方も多いと思います。小中高にはぜひ仕事はどういうものかを知る機会を通じて、働く事で町へ貢献できること、周りに働く大人によって支えられてる事を実感する機会が増えれば学習意欲や経済観念に身をつき将来の為になるかと思ひます
● 図書館や役場がかなり坂の上にあり、不便。町営プールをぜひ再開してほしい。イオンバスの停車、青葉あたりにも作って！貸農園を返却しないで済むようにしてほしい。マンションたち過ぎでない？隣は何をする人ぞになりつつで寂しい
● 現在の町役場の立地が悪いと思う。町の中の中心に役所があり、ふれあいセンターも立地条件が良いとは思われない。高齢になると、自転車で役所、ふれあいセンターに行くのも大変です。循環バスやの停留所の所在が分からない、時刻表も見当たらないし、一日の回数ももっと増やしてほしい。水無瀬駅周辺やダイエー前等の道路の整備をしてほしい。役所の建て替えが予定されていると聞きますが、水無瀬駅周辺等・・・立地条件がよいとおもわれるが？高齢者の住みよい街になってください。明るく健康的な街づくりをしてほしい
● 児童館の様ないつでも行けて遊べる室内型の公共施設がほしい。大型マンションを作りすぎていると思う。島本町選ぶ人は便利（京都大阪近い）なのに、自然が多い所に魅力を感じていると思うが、マンションや住宅が建ちすぎて魅力が減ってる。ふれあいセンターの駐車場少ない。音楽イベント、歴史博物館でのコンサートなどの企画とても良いと思う。水無瀬川で遊べるようにしてほしい
● 「じゃぶじゃぶ池」は不要。維持費や利用者の層を考えると費用の対効果は良くない。水無瀬川の高速道路高架下で充分。通勤族で、子供が生まれてから4つの自治体で暮らし、島本町が子供の行政サービスでは最も充実してない自治体と感じる。しかし、それを補う充分な自然環境があり、都会では味わえない自然との楽しい対話ができ、こちらへ来てよかったと思う。山々田畑川が近くにあり、これらこそ開発によりも優先して大切にしていっての方が良いのではないかと。人口が少ないので仕方ないが、図書館のサービス、蔵書数、本の質は良くない。図書館の立地もアクセスしにくい。町長がやっていますが、島本町公式アカウントで島本町のアピールするつぶやきをして良いのではないのでしょうか？
● 島本町に越してきて5年ほどたちました。小さい子供にも優しい方ばかりで、出来ればこの町に永住したいと思うほど気にいっています。島本町は交通の便もよく、とても助かっています。町の景観も気に入っておりますので、出来ればこのまま、過度の発展を行わず、空き家等新しくしていく程度が良いと思っています。上記のようにおおむね不満等ありませんが、JR 山崎駅にエレベーターを付ける様要望を出していただければよいと思います。（県境なのは承知していますが）
● 小さな町ですが、住みやすい町で大好きです。人が多い事便利な事が必ずしも良い事とは思いません。ずっと島本に住んでいるので他の町と比較が出来ませんが、新しい物を作っていくよりも今あるものを大切にして生かしてく街づくりを希望します
● 島本町に特化していて、高齢者の人が住みやすい(高齢者が多い)イメージがとても強いと思います。そのイメージも残しつつ、今後は島本はもっと、「明るい街」という印象を与えてほしい。例えば子供たちが活動(スポーツ等)している情報を広めて行ったり、町に街灯を増やすなどして明るいイメージを作っていくことで、高齢者だけでなく、若い人が集まって来る町に代わってくると思ひます
● 島本町に転入してきました。緑と自然が豊かで、空気と気温が大阪の他の町に比べて違うと感じます。また、ボランティアも盛んで地域住民のつながりを感じます。行政が暮らしの中で感じられるものも

島本町のよい所だと思い転入してきてよかったと思います。去年よりマンションが次々と建てられ、島本町が他の町と同じような雰囲気を感じます。人口増加により、自然と歴史文化、人権住みよい島本町こそ、他の町に無い魅力です。少ない財政の中で、住民のパワーと先進的技術をもっと活用して小さな町の豊かさと穏やかな暮らしを作ってほしいです。医療機関の充実、地域医療は今後、絶対必要だと思います。
● 尺代、高浜島本駅周辺。広瀬(神宮)各拠点を充実し、道路の歩道、自転車の車道を整備し、子供から大人まで学習したり、食事したりできる所を各各特色だし、つくり、その4か所を歩いて自治体で行動し、そこで働いたりイベントボランティア参加して生涯現役で過ごす。(健康の秘訣)名神高速道路の斜面の木々が大きくなってきたので今のうちに緑少なくなったところをもとのように多くしてほしい。移植を
● 勝手な声ばかり書きましたが、良い島本町の為をお願いします
● 京都・大阪の中間地。高槻市、茨木市長岡京より格下の自治体。長期的には人口減は歯止めかからず、町の収入も採算割れ。公的サービス機能の停止を懸念。コンビニスーパー、JR 島本駅内のKIOSK/コンビニ設置で毎日の通勤者の利便性確保必要。東京23区の図書館は夜8時まで開館。例えば公的サービス受付時間をサラリーマンにも利用しやすく改善。高齢者への孤独化を防ぐ。サークルの活発化
● 後期高齢者が増える中、店舗・交通等負担の少ない街作り希望
● 島本町のまちづくりは、よくここまで発展して、住みやすく、利便性に富んでいると常に感謝しています。老いて何の協力も出来ず申しわけない。〈有料老人ホームが町にできればと勝手に思うのみです〉
● マンションや戸建てが急激に建てられています。子育て世代の増加が見込まれるのかな？と思います。保育所幼稚園小学校中学校・・・教育に関する体制、そして子育ての環境が不十分なのでは？と感じます。又、島本の魅力は自然に近い事だと思ってます。本当に必要な所に目を向けて、無駄のない無理のない街づくりをお願いしたいです
● 10年前に転勤でこの町に越してきました。緑も多く、住みやすい町ですが、水道料金が高すぎです。おいしい水だとは思いますが。これなら安い料金で水を買っても同じだと思いました。ごみの収集の不燃ごみ月一回しかないのにもびっくりしました。人件費や作業費がかかるのもわかりますが、せめて月2回程度に出来ないのかと思います。この2点の他は良いと思います
● 外部の力を取り入れた、活性化や賑わいは望みません。穏やかに住みやすい町になればうれしいです。
● 小学生と小さな子供がいるのですが、町立の幼稚園が急につぶれたり、困ります。新しくできた一戸建て、マンションはすごく素敵だとは思いますが、設定金額が高すぎたり、もう少し金額を抑えたものも、建ててほしいし、その周辺の事しか考えてないような、街づくりになっている気がする。新しい事をするのはいいのかもしれないですが、もっと今までの事も考えてほしいと思う。
● 島本はとてもきれいな街なので暮らしやすいです。
● とても素敵な暮らしやすい町なので、さらに良い街になることを楽しみにしています。
● 他府県が取り組んでるみたいに島本町もふるさと納税で、犬や猫の殺処分減らしてほしいし、野良猫も減らしていく取組をしてほしいです。あと、マンションばかり建設目立ちますが、マンションよりも水無瀬病院のような、大きい病院が必要だと思いますし、商店街もシャッター商店街になっているから、そういうのもこれからどうしていくか決めてほしいです。マスコットもうすこし可愛くならなかったのかな？…と思いました。
● 災害に強く子育てに優しい町

● 島本町へ移住時、コンパクトな街であるが故、行政を身近に感じることが出来、居心地いいです。また、自然が多く、環境が良く、住環境としていいと思っています。民間企業の誘致による税金の確保を行い、独立した島本町の行政にこれからも期待します。
● 子供の医療費の拡充(高槻市との差が多い)健診項目の拡充、運転免許返納者に対するメリットを検討してほしい。病院、塾、子供の習い事教室が増えるような(運営側のデメリット減少につながる)策の検討。「検討して回答します」。と言ったことに対しては必ず回答してほしい。聞いてから1年以上なるが、回答なし。それでは町政に対する信頼が薄れる
● 活気のある街にしてください
● 高齢者の一人ですが、これからの島本町の働く場所があり、人口が少しでも減少し、孫たちが子育てを教育の充実で、将来ある人たちが生活しやすい町で有ってほしいと思います。
● 住宅街に関して、あまり考えずに開発がすすめられている様感じる。保育や教育の事も考慮してほしい。都会に近い田舎が良い所だと思います。近隣に無い魅力をどう生かすか考えてください。
● 島本町の街づくり失望しています。島本の良さを魅力を壊す方向が進んです。島本の人間はなぜ島本選んで住んでいるのか？どこに魅力を感じ、何を望んでいるか、その声を真剣に聞いてください。島本の住民は自然豊かで美しいのどかな、島本町を愛してるのあって、大規模な都市開発は望んでない。都市として機能や役割は、高槻市等周辺の都市で満たされているので、島本は、「自然と共存するのどかな街」「子育てしやすい町」「大阪でありながら田舎を味わえる」という路線で打ちだした方がはるかに良いと思います。なぜ私たちが島本に住んでいるか考えてほしい。蛍や桜四季折々の自然が美しいのどかな田園風景が広がる町、そこでゆったり伸び伸び子育てしたいです。これ以上住民の思いや希望を無視した開発を進め島本の魅力を失うことがあれば島本から出ていく事も考えます。ずっと住みたいと思っていた島本町、大好きだったのに残念です。どうか西側区域の開発考え直してください
● 歴史と自然守りつつ駅前の整備。防災強化。税収を伸ばすため施策を今後どうしていくか町会議員他、地域から移住施策の促進
● 京都一大阪間の便利な土地である。自然豊かなことを生かし、教育や子育て、医療に力を入れ若い世代の流入を促すと思う。住みよい町を目指してほしい。
● せっかくの田畑や緑が豊かな所を生かせてほしい。他市町村と同じこととしては大きな町に取られてしまいます。人口が増えなくても大きなショッピングモールが無くても、この町にいたい人をつかむ方法が最終的には生き残れると思います。他市町村とはそこがどう違うのか、それを町民がどう感じているのか？できるだけ「島本らしさ」を生かせてほしいです
● JR 北側の日本の自然を感じれる景色が好きで引っ越ししてきました。他の都市と同じような安易な人口増加狙うような、大きなマンションを増加すると、島本町でなくてもいいのではないかと他の都市と同じではないかと感じてしまいました。島本町が良いここに住みたいと感じれるような島本町の自然と歴史を感じられるような街になってほしいとおもいます
● 街づくりは国造りのミニチュア版だと思います。今の国を見る時、大勢が幅を利かし少しおかしいと、思われてもどんどん進めている。街づくりではそれを見習い、小さな意見も充分取り込んで後々に悔いが残らないように進めてほしい
● 現時点では特にながが今後関心をもち生活していこうと思います
● 夜の仕事を終えて帰宅し、朝は出勤で町外へ出るため、あまり島本町で行われている事が分からないのをこのアンケートで気づきました。今のままでも十分良い街なのですが、自然や景観をとるか、利

便性に重きをおいて都市化を計るか、しっかりとした街のイメージを作ることが新しい住人を呼び込める重要な気します。個人的には、緑豊かで、食料品や日用品なら近場で買えて困らない程度に医療もうけられて、トレーニングなどの街並みを歩いて、帰りに温泉でのんびり過ごして帰れたらな～っと思います。シェアルーム充実させても。

- 町の広報がレイアウトのセンス良くなりじっくり読むようになりました。ホームページもリニューアルして、内容も充実し広報とともに、外から来られる方にも魅力的な街だと感じて頂けるとと思います。又、子連れやお年寄りおひとりさまにも、体に良い食事ができて、ほっこりできるようなカフェも次々出てきました。子ども食堂も始まり、手作り市も増え、にぎわってます。みづまろくんも登場し、若い新しいそよ風吹き始めてるのを感じます。一方、地震や災害など、急に増えて、ハザードマップを見ると、水害共に心配ない場所の少なさわかり、又避難所が水深想定が深い所あったり建物古く、強い地震にたえられるか、見直し必要。特に住民センターは、老朽化し、耐震も出来ておらず、建て替え予定はあるようですが、今地震は続いているので、大きな災害時に対応できるための最低限安全な建物に移すなどして、万が一の時はそこで仮業務出来るような準備もいるのでは？と思います。災害時には、街の住民の命を預かる必要になるのですから、職員の方が少しでも疲れを癒せる仮眠室、簡易ベッドなど絶対いると思います。避難する場合は、体が不自由な方や高齢などの移動が難しい方を誰が連れてくるかなど未然に話し合い等があると思います。島本駅西側開発について、業者さん作成の計画予定図を最近見ました。はっきり言ってがっかりしました。あの田園風景もなくなり、山さえも見渡せなくなくなる。こんな地元愛がいるのは、身近に触れられる自然が多くて、どんな風景が残ってるかということがとても大きいと思います。町の将来を考えると人口が減るより増えた方が、良いと思いますが、今でも巨大マンションや戸建ての住宅が急激に増えており、自然環境・田園風景とのバランスが崩れていってます。自転車ではしれば、接すること出来た田園風景はどんどんなくなり今は、ある程度広い田園風景は島本駅西側に残るのみとなりました。だから余計に残したいと思う人の思い入れも強くなるのだと思います。どこかの真似でなく、島本の良さを一度考えてください。地権者さんたち意見要望を聞き、出来る事を考える。専門家や住民と研究し計画を見直すこと。そこから始めるのは不可能ですか？例えば、商店街を活性化、島本駅西側の住民も移動しやすいように循環バス、乗り合いタクシー制度など作り買い物通院しやすくする。空き家をリノベーション。駅前農園の立地活かし、都市へ通勤しながら農業する。一部は、観光農園にし、大阪市内の方が電車であって気軽に農業体験できるようにする。果樹お茶の木など植えてオーナー制度作り自分の木に料金払ってオーナーになり、収穫体験などして頂く、遠くだったりして、収穫に来られない人は収穫物を送付する。自分の木を持つと遠くの方でも愛着湧き、田園風景守ってるという喜びも持てる。農業は一人でするの大変だから、分担して続けていけるようにするといい。保育所高齢者向けの施設を島本町西側に建てて、お年寄りと子供が共に日々草ぬきや散歩で触れ合いが出来るように環境をつくる。集合住宅でも三階建てまでにし、島本西側に建てて、東側に今の農地残す。水路に小さな水車やビオトープ作り、田園風景を魅力的なものし、ホームへ降りてみたいという気にさせる。ホームでは、タケノコや中華ちまきなどを売り、いい香りでいっぱい。貴重な駅前の田園風景を町の人以外にも味わっていただき町の誇りとして、大切にします。

- マンション、住宅地を新しく開発される等これからの子育てをされる若い世代を町に迎えようとしていているのが伺えます。しかしながら待機児童の問題や子供の遊ぶ場所の少なさから、期待外れの町だったとよく聞きます。開発をされる前に今住んでる住民の満足度を先に検討されてみてはどうでしょうか？長年こちらに住んでますが、年々島本町にはがっかりする事が多いです。

● 島本町で暮らして 20 年たちますが、地味ながらも住民の手に届く範囲にきちんとしたものが作られていて暮らしやすい、素敵な街と考えてます。治安も良く、本当に住みやすい町として誇れると思います。ただ、交通の便が良いこともあり、急激にマンションや住宅が建つことで、街づくりが追い付いてない感あります。計画的な街づくりが行われることを願ってます
● 若い世代が住みよい、活動しやすい町づくりを望みます。
● 新たな予算や計画を決定される前によくよく検討され調整を進めてほしい。
● 人口が増えれば財政が豊かになると思いません。駅前や人が集まる所を開発するのではなく、それを含めて島本全体がどうかを考えないといけないのではないのでしょうか？第 2 幼跡地に認定こども園の計画があるとか？保育所など作ればよいのでしょうか？保護者にとっても便利な場所？高齢者が増えて歩道もない町の道は歩きやすい？美しい景観残す？残せばよいのか？島本町の街づくりはとても大事な事ですか？じゃどうやって残すのですか？いうだけではいけませんよね？ただ住宅を作ればいい。開発すればいいはいけません。大変なお仕事ですが、この島本町に住んでよかったという街づくりしていただきたいと思います。将来の事考えると今の幼保小中の子供たちが成長してこの町に住み続けてくれるような教育も必要
● 問 23 でも記載したが、町域がコンパクトシティで市街地であり、各施設の都市機能を集約しやすい。若い世代が、住んでみたい街。住み続けたい街を実現するため、子育てがしやすい町教育環境の整った町目指す。→住民税の UP 及び企業誘致につながる。若い世代が多ければ、働き手の確保→企業誘致→法人税、事業所税の増。上記実現のため、賑わいや活気のある島本町を作り上げてく。
● 歴史文化資料館で、年に 2 回「うたうかい」あります。たくさんの方が、こられています。もっと回数を増やして、シニアの集まれる、場所を増やしてほしい。島本駅前の開発に賛成です。このまま人口が減ると財政が厳しい。高槻との合併にも大賛成です。体育館で行われているおけいこの 1 週間の時間割を張ってほしい。長岡京バンビオ 1F 生涯学習センターはファイルがあり、どんなおけいこなども非常にわかりやすい。（ふれあいセンターは、係の人にいつてファイルを見せてくれる）置いてくれたら、自分で見やすい。（係の人に言うのがハードル高い）ふれあいセンター島本駅、山崎駅、水無瀬駅、水無瀬病院、緑地公園集会室前、人権文化センター（それ以外にも間隔こまかく、）バス停にする場所は、雨風をしのげる場所希望。町内の循環バスを走らせてほしいです。夏は、ますます暑く冬は年々寒くなっていく昨今、車に乗れない私どもは、近所にクーラーの聞いた商業施設も商店街もなく、一日中家から出る事が難しいです。この環境では、年を重ねると家から出ない日が多くなり、痴ほうが早くなったり、健康寿命も短くなりそうです。外に出ても畑など、外気を遮るものが無いので、外に出れません。図書館にもふれあいセンターにも行きたいですが、如何せん遠い。おまけに坂です。公民館が生かされていないような、何かしているかどうか？近くの公民館「サントリーの前の踏切近く」の前を通るのですが、掲示板が高い場所にあり、道を通っても道から掲示板までの距離があり、読めない。各公民館だと、歩いていける距離にあるのでしょうか。スローヨガ、歌声喫茶、リズムたいそう、ペン習字、盆踊り、よさこい踊り、などをしてほしいです。人権文化センターも入り口に毎週どんなおこいこをやってるのかを貼ってほしいです。せっきくの施設が生かされていないような。高槻は、各公民館、農協の 2 階、老人ホーム内（歌を歌う）高槻総合市民交流センターでもいろいろな取り組みをしています。せっきくの住民のアンケートなので、私どもの希望ばかりで申し訳ございません。古い役場は、すごく暑くてすごく寒いので、ふれあいセンターのがら空きの部屋に移るわけにはいかないのでしょうか？

(10)『アンケート・総合計画』について

● このアンケートがネットでできるようになると、回答率が上がると思う。フランクフォート市との姉妹提携をきっかけに自由に交流ができるといいと思う。島本高校に農業コースを作ると少しは農林業に興味を持ち新興に繋がるのでは
● 願うべくはこのアンケートの結果・町の現状・10年後の展望など検討されたうえで総合計画の作成にあたってほしい
● アンケートに答えるのが非常に難しかったです。なぜ難しいかと考えてみると島本町の取り組みや話題、めざす姿を知らないからだと思いました。20代や若い世代にとってはあまり知られていないのでは？もう少し情報発信して行く必要があると思います
● こういう計画がある事に知りませんでした。もっと町民に知ってもらうように情報発信した方が良いと思います
● 閉鎖的な風土をなくすこと。このようなアンケートでさえ電子化されていないことにあきれる。
● こういう調査は有用と思う。
● 障がい者が理解できないのにこのようなアンケートが必要ですか？代理で母親が書きました。もう少し障がい者の事を考えてください
● 困難ではあると思いますが、どのような街づくりをして行くのか、明確なビジョンを持って進めていくことが必要だと考えます。子供をここで育てたいという意識をもって移住する人が出る様な計画がほしいです。我々老人はいずれいなくなりますから…
● 豊かな自然、豊かで充実した教育環境は安心して子育てできる街につながる。アンケートにあげられた事柄一つ一つ切り離して考えられるものでない。総合的に進めていける企画力を期待したい。場当たりの予算の進め方があってはならない
● このアンケート結果を公表し項目別の町の行政としてどのように取り組んでゆくか目標設定。何か世間に誇れる町にするべきです。大阪府内でも島本町は全く知られていません。自然か水か人かをよく検討して実行してください
● まず山田町長が島本町の町づくりのビジョンを発表してもらい、その為にもプロのデザイナーに費用を使って書いてもらったらどうですか？先日 JR 島本駅西地区の開発セミナーに出席させていただきましたが、食の安全などで、農地を残す等、現実離れの意見をどんどん述べられていた。島本町にはこのような人が多く、議員さんも多いようですので、山田町長のリーダーシップを期待したい
● 今回のようなアンケートするのは良い事なので、今後も続けるべき
● 現状の政策の肯定で仕方なく、人口が上がることになる将来像の提示がない。税収減で国からの補助で今の行政をやっているのでしょうか？もっとシビアに現実を見た将来像を提示してください。合併問題はどうか？ごみ処理問題も何一つ解決してない
● 質問の内容や項目は、日本全国どの町にも当てはまるように感じました。島本の置かれた状況、将来どのように判断するかの内容に絞ったアンケートでなければあまり意味を感じません
● リーダーは選挙で住民が決めますよねその人がやらんとする事をやる。それが町の行政ですよね。今さらアンケート取って町民の意見を聞いてもそれぞれの思いがありますからね。リーダーシップの取れない人が、リーダーになるなら、町外から呼んできたらい。
● 今後アンケートの質問内容については、年齢別、家族構成別に各各質問内容変えてはどうですか？現

状の質問内容では、該当しない質問もあるので、分からない回答が多い。
● 一部の有力者の声ばかりが通る、精神的な田舎性は意識して排除。新しい住民は、箱物で呼び込めても定住を促すには意識の改革である。自ら振り返る厳しいまなざしを行政には持っていただきたい。本アンケートは10年間は、必ず保存。10年を目標とする総合計画に用いる以上、10年その期間中は保存。「どこにいったかわからん」は論外。PDF化すれば、安易。それぐらいできない町には、住民は、何も期待していない。定住望めない。
● 町は島本町の将来をどのように考えているのでしょうか？ビジョンが見えません。マンションをあんなに乱立させ、景観を損なって、島本町らしさが失われてしまうのではと危惧します。人口も一気に増えるかもしれませんが、数年後には一気に高齢化します。JR駅の西側に開発についても島本町が他の都市と違ってアピールできる点はどこか、又今後何を売りにしていくのか、長期的なビジョンをじっくり考えたうえ、で進めてほしいです。役場内に町外在住者多いから自分たちの事として考えられないのでは？
● 住民の見えないところですでにいろいろな事が決まってしまう。このような、行政への不信感が増しています。このアンケートがどのような意見を持つのか？島本町はどうなっていくのでしょうか？
● 町民に対する意識調査が、形式的なものになることが、無用。ニーズに合った、環境をできるだけ多く取り入れてほしい。人口増加による増税と自然を売りにするという策を大切にしてほしい
● 理解力、判断力どの「力」も衰えていますので回答難しい
● 計画が進んでいるかが、分からない。実際ここ数年で何が変わったのか？理解できるような説明があれば良い街だと思うので、頑張ってください
● アンケート調査の選択肢が内容的に重複していたり、本表は大項目・小項目などに分けられるように思いますが、並列的に並べられるなどしています。選択するのに少し困りました。

3 中学生アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第五次島本町総合計画」の策定にあたり、町立中学校の2年生からまちの魅力や将来の姿などを伺い、計画づくりの参考とするため実施しました。

(2) 調査方法・実施期間

調査方法	学校を通じた配布・回収
調査対象者	町立中学校の二年生 258 人
調査期間	平成 30 年 8 月 27 日～平成 30 年 8 月 31 日
回収結果（回収率）	254 件（98.4%）

(3) 報告書の見方

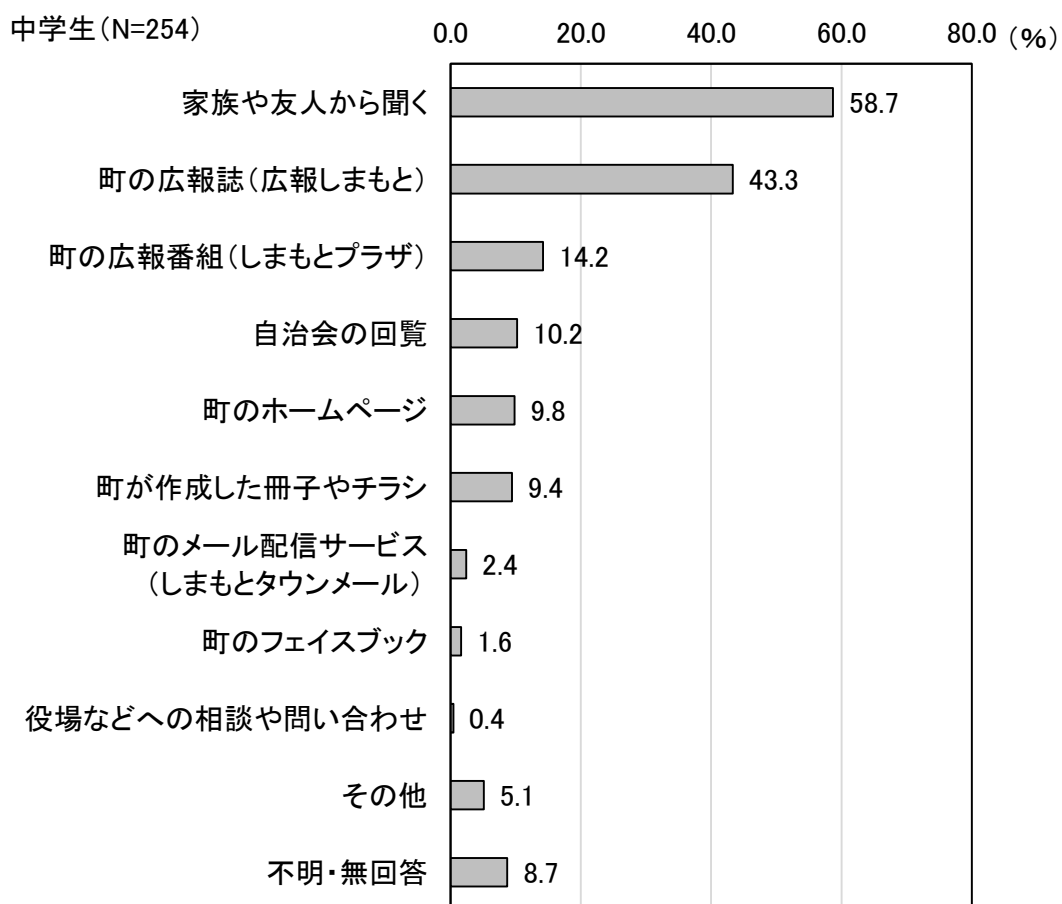
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 本調査でいただいたご意見について、文章は原則として原文のまま掲載しています。なお、明らかな誤字・脱字は訂正するとともに、特定の個人・団体等が判別でき、その権利や利益を侵害する恐れがあるなど、公表することが適切でないと判断した表現については、一部修正しています。

4 中学生アンケート調査の結果

1 島本町に関する情報について

問1 あなたは、島本町での暮らしに関する情報を、主にどの手段で得ていますか。（3つまで複数回答）

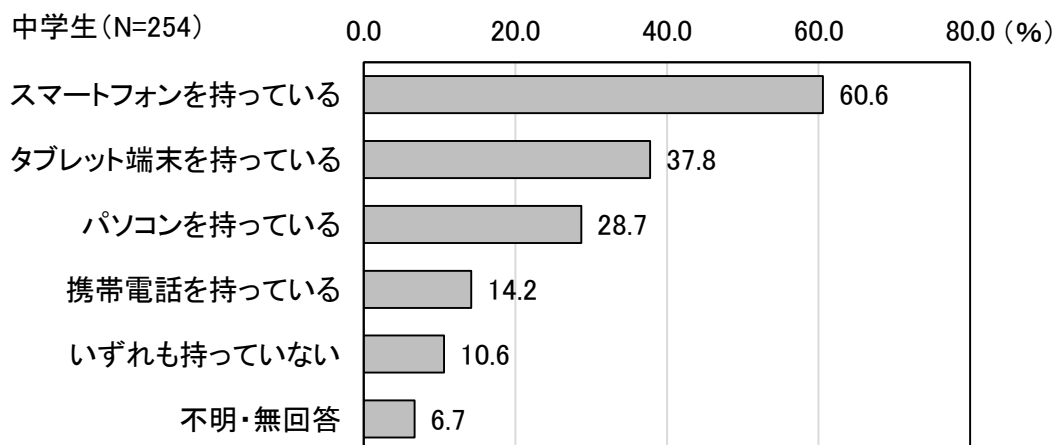
島本町での暮らしに関する情報収集の手段については、「家族や友人から聞く」が58.7%と最も高く、次いで「町の広報誌（広報しまもと）」が43.3%、「町の広報番組（しまもとプラザ）」が14.2%となっています。



問2 あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコン、タブレット端末を持っていますか。（家族が持っているものをあなたが日常的に使用している場合も含みます。）
（複数回答）

携帯電話やスマートフォン、パソコン、タブレット端末の所持状況については、「スマートフォンを持っている」が60.6%と最も高く、次いで「タブレット端末を持っている」が37.8%、「パソコンを持っている」が28.7%となっています。

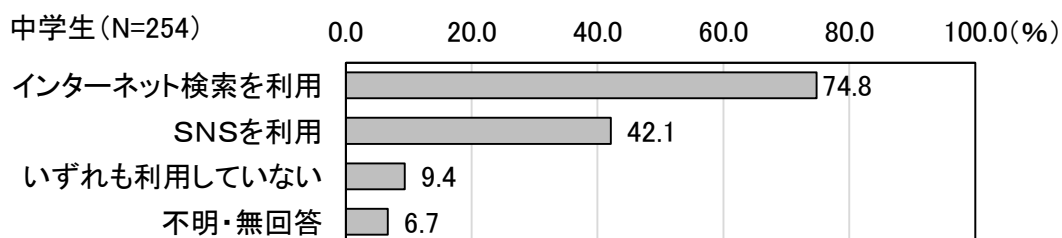
なお、【携帯電話とスマートフォンのいずれか（または両方）を持っている方】の割合は、65.4%となっています。



問3 あなたは、情報を入手したり共有するために、パソコンやスマートフォンなどを使ってインターネットで検索したり、SNS※を利用したりしていますか。（複数回答）

インターネットや SNS の利用状況については、「インターネット検索を利用」が 74.8%、「SNSを利用」が 42.1%、「いずれも利用していない」が 9.4%となっています。

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）：P 6 参照〔住民アンケート／問9〕

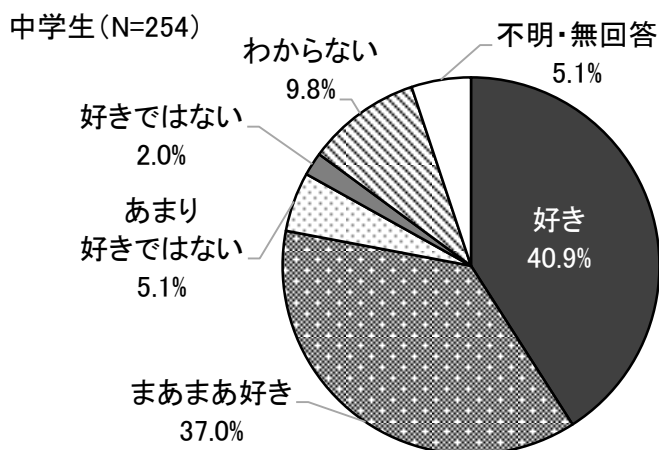


2 島本町での暮らしについて

問4 あなたは、島本町が好きですか。（単数回答）

島本町が好きかについては、「好き」が40.9%と最も高く、次いで「まあまあ好き」が37.0%、「わからない」が9.8%となっています。

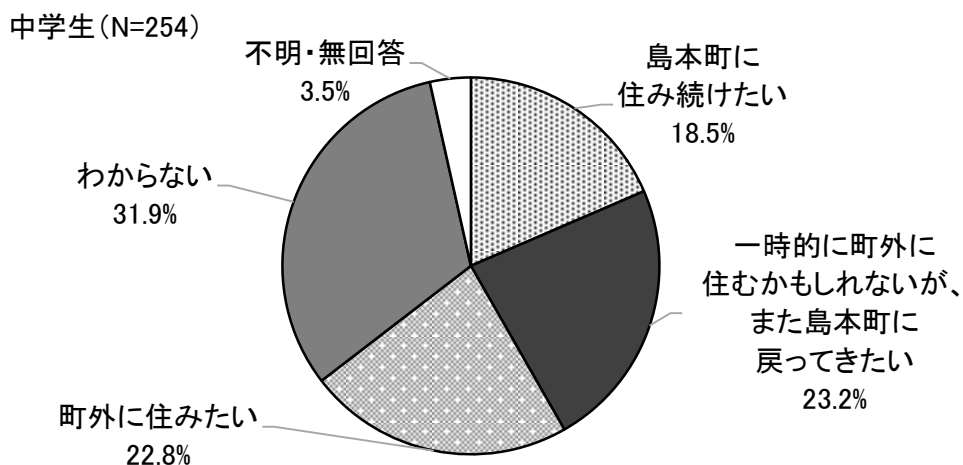
「好き」と「まあまあ好き」の合計割合は77.9%となっており、「好きではない」と「あまり好きではない」の合計割合は7.1%となっています。



問5 あなたは、将来、大人になっても島本町に住み続けたいと思いますか。また、その理由についても教えてください。（単数回答）

大人になっても島本町に住み続けたいと思うかについては、「わからない」が31.9%と最も高く、次いで「一時的に町外に住むかもしれないが、また島本町に戻ってきたい」が23.2%、「町外に住みたい」が22.8%となっています。

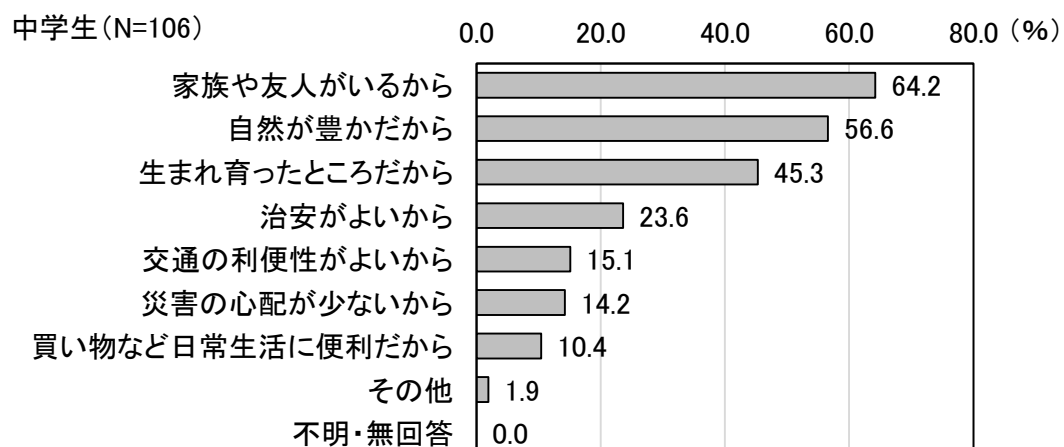
なお、将来の町内への居留意向を示す「住み続けたい」と「また島本町に戻ってきたい」の合計割合は41.7%となっています。



問5で「1. 島本町に住み続けたい」または「2. 一時的に町外に住むかもしれないが、また島本町に戻ってきたい」と答えた方に対する設問

問5-1 町内に住み続けたい理由は何ですか。(3つまで複数回答)

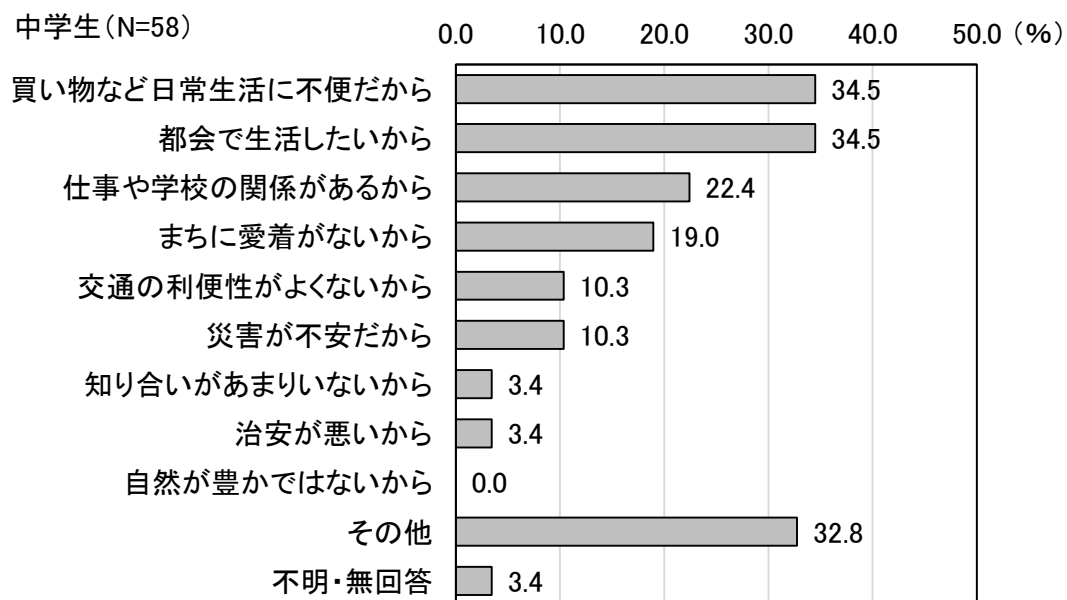
島本町に住み続けたい理由については、「家族や友人がいるから」が64.2%と最も高く、次いで「自然が豊かだから」が56.6%、「生まれ育ったところだから」が45.3%となっています。



問5で「3 町外に住みたい」と答えた方に対する設問

問5-2 町外に住みたい理由は何ですか。（3つまで複数回答）

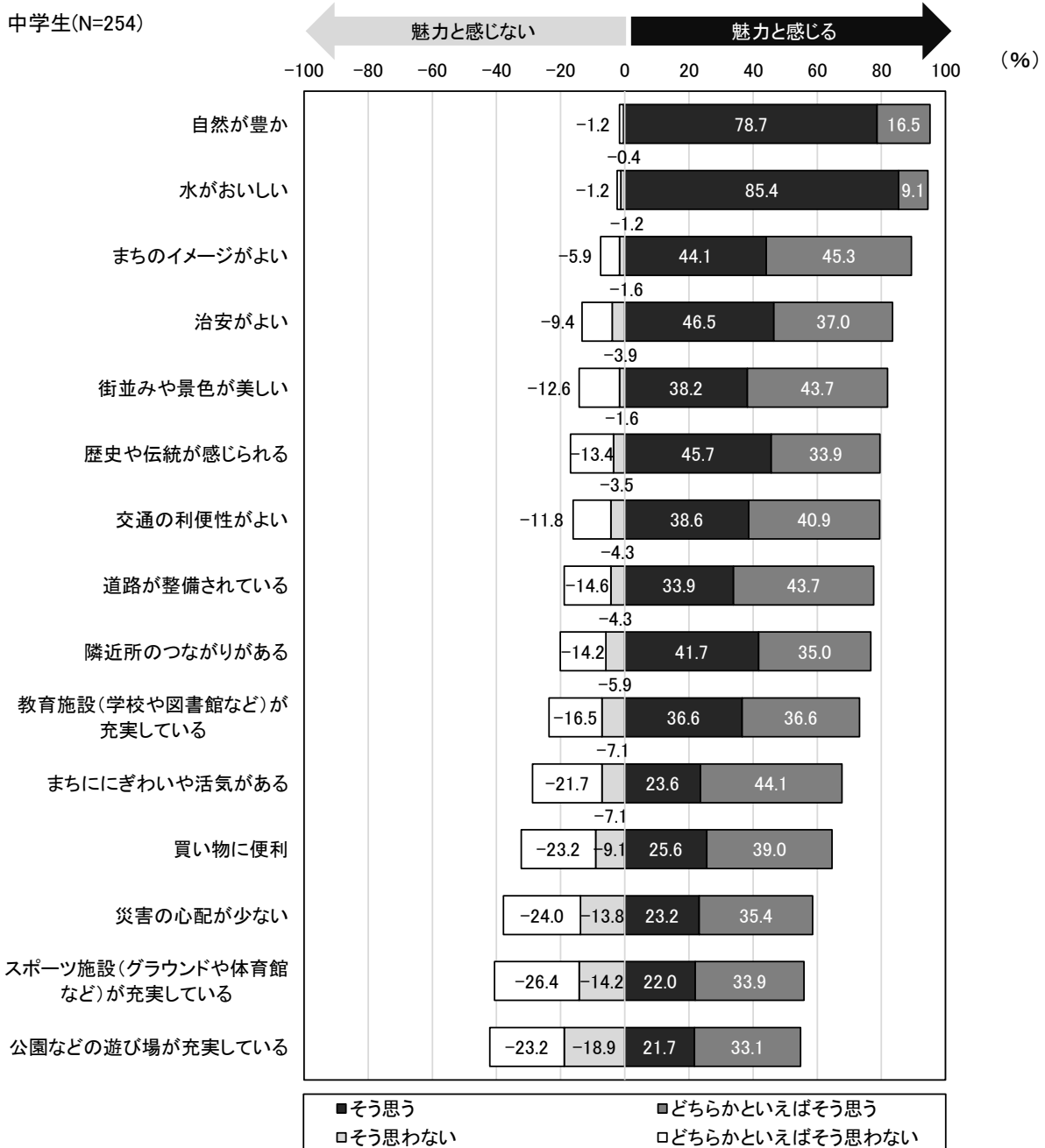
島本町外に住みたい理由については、「買い物など日常生活に不便だから」「都会で生活したいから」がともに 34.5%と最も高く、次いで「その他」が 32.8%、「仕事や学校のある関係があるから」が 22.4%となっています。



問6 島本町について、あなたが普段の暮らしで感じていることを教えてください。（項目ごとに単数回答）

島本町での普段の暮らしで感じていることについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計割合では、「自然が豊か」、「水がおいしい」、「街並みや景色が美しい」、「治安がよい」、「まちのイメージがよい」が8割から9割と高くなっています。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計割合では、「スポーツ施設が充実している」、「公園などの遊び場が充実している」が4割と、比較的高くなっています。



※魅力度の高い順に並び替え（不明・無回答は除く）

問7 あなたが島本町について「自慢できるもの」は何ですか。（自然、場所、歴史、イベント、施設など）（自由回答）

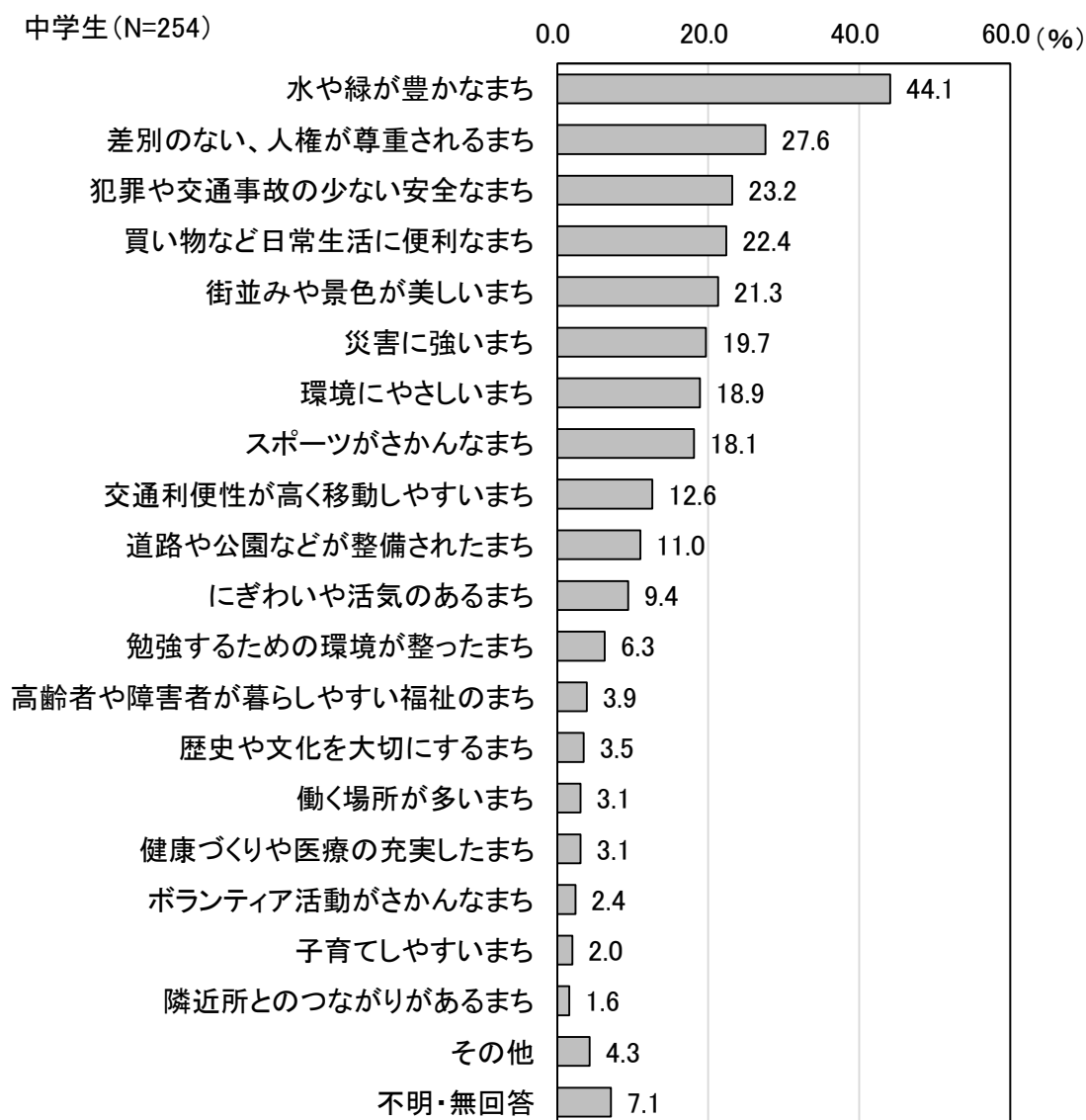
■ご意見の分類と件数

分類	件数	主な内容
自然・環境	205	自然豊か、水、川、山、緑、町がきれい など
場所・施設	30	サントリー、水無瀬神宮、ふれあいセンター、歴史文化資料館、桜井駅跡、第一中学校、第二中学校、島本高校、公園 など
歴史・文化	20	歴史がある、楠木正成、水無瀬駒、桜井の別れ など
ひと・地域	17	人が優しい、親切、温かい、学校同士のつながり深い など
イベント	16	夏まつり、イベントが多い、音楽フェスティバル、手作り市 など
まちの立地・利便性	15	京都・大阪に行きやすい、交通利便性 など
安全	9	治安がよい、安全 など
食べ物	8	ウイスキー、タケノコ、川魚 など
その他	5	暮らしやすい、心落ち着く など

3 島本町の将来について

問8 あなたは、これからの島本町がどのような「まち」であってほしいと思いますか。
(3つまで複数回答)

これからの島本町がどのような「まち」であってほしいと思うかについては、「水や緑が豊かなまち」が44.1%と最も高く、次いで「差別のない、人権が尊重されるまち」が27.6%、「犯罪や交通事故の少ない安全なまち」が23.2%となっています。



問9 あなたがもし町長になったら、どんなことに取り組んでみたいですか。アイデアや意見がありましたら、自由にお書きください。(自由回答)

(1)『自然・環境』について

● 島本町の田んぼの残す ● 自然を活かす取り組み ● 田んぼ森を増やす ● 緑をつぶさない ● 自然をもっと豊かにしたい。 ● 自然豊かしたい ● もっと自然増やす ● 自然をもっときれいにする。 ● 自然大切にしたい ● 環境守って、美しい街にする ● 緑をもっと増やしたい。自然を大切にしたい。 ● 環境や緑豊かになるように自然にお金かけるようにする ● 水無瀬川、きれいにする	● 水無瀬川をきれいにする取り組み。(ごみの回収や、汚れた所掃除) ● 水は、今でもきれいだから、それを守っていききたい ● 虫駆除する ● いらないこととして、失敗するよりも、何もしない方が良い。祭りとか、しょうもないこと減らして、公園や木をたてた方が良い。いっぱいビル、マンションを建てても、学校狭いし、小さいから公園とか木をたてた方が良い ● 消えそうなほたるを放流したりする。田んぼ守る。マンションや家はもういらん。人は多くならず、お年寄りが新築に引っ越すだけやから、空き家増える。空き家を買ひ、木を植えて公園作る
--	---

(2)『商業』について

● ファーストフード建ててほしい。 ● ハンバーガーショップ作る。 ● ファーストフードの誘致 ● ファーストフード、コンビニ作る ● わざわざ町外に出て買うもの(マクドとか)を島本に作ってほしい ● マクドナルドと映画館を作ってほしい ● イオン、マクド、を建てたい。 ● イオン作る。映画館作る ● 家の前にイオン。横にコンビニ ● ショッピングモールほしい。マクドナルドもほしい ● 何も使っていない土地があるから、スーパーとか作る ● ショッピングモールを作りたい。 ● イオンモール建てる ● ショッピングセンター ● でかいショッピングモール作る	● ラウンドワンを作る。とりあえず遊べる施設を作る。 ● スタバ作る。 ● 百均という便利なのがいい ● アニメイトを近くに作って、漫画喫茶をオープンする ● 空いてる家壊し、便利なコンビニとかにする ● 大きいスーパー作る。商店街を増やしたり、大きくしたりする ● 商店街を盛んにする ● 若い世代に人気のある店などを取り入れ、良い感じにする ● 飲食店増やす、買い物ができる所も増やしたい ● コンビニ以外の小さなお店とかを増やしてみたい。(すでにあるならば、広報で特集を組むとか?) 手作り市をもう少し増やしてほしい ● 桜井の近くに大きなスーパーない。グルメシティぐらいのスーパー作って
---	---

(3)『教育・学校』について

● 部活の規制図る ● 部活時間増やす ● 一中のテニスコートをオムニコートかハードコートにしてほしい。 ● 一中のテニスコート不備なので新しくしてほしい。ラインのどこ釘で止めているのですが、雨の後だと釘が出てきて危ないです。 ● 一中のテニスコートきれいにしたい。 ● 中学校もっとでかく。 ● 教育施設を充実させる ● 学校にエアコンつける	● 姉妹校との交流をもっと増やしたい。 ● 姉妹都市との交換留学 ● 年に2回ぐらい中学生とか留学する(交換留学) ● 夏休みの宿題なくす ● 夏休み増やしてほしい ● 第一中学校、第二中学校のテスト同じにし、成績基準を一緒にしてほしい。 ● 皆が楽しめる時間作る ● 給食をもっとおいしくする ● 教育に力を入れる ● 勉強するために施設や環境を作る。塾を作る。
---	---

(4)『スポーツ・レクリエーション』について

● プール作る (同様の回答が計 19 件) ● プールを作ってほしい (同様の回答が計 6 件) ● プール (同様の回答が計 6 件) ● 町立プールの復活 (同様の回答が計 4 件) ● プールほしい！！ ● プールまた作る。温水プールで室内で。 ● マンション減らして町のプール作りたい ● プールを建てたい ● 市民プールがほしい ● ふれあいセンターの中のプールを町民用にしてほしい。 ● 町営プールを又作りたい。川で遊んではいけないというのに、プールが無くて、夏楽しくないから。 ● 水無瀬川河川敷を有料化して、BBQ をしても良くする。プール作る。スポーツ施設作る。 ● プールや体育館作り ● プールなどを作る。自然を楽しみながら、BBQ など。 ● スポーツできる環境増やす ● スポーツ盛んな街にする ● スポーツクラブを充実させる取り組み ● 小さな子供たちが好きにグラウンドでスポーツを自由にできる活発な街 ● スポーツ施設充実	● スポーツ総合運動公園的なものがほしい。 ● スポーツ施設作る ● スポーツできるところ増やす ● スポーツの施設を作り、誰でも気楽に出入りできる所 ● 大きな体育館を作りたい ● スポーツできる大きな公園作る ● グラウンドを買収し、整備して開放する ● バトミントンコートが6面はれるような大きい体育館。理由は、次の試合で、島本町がコートなどの場所を用意しなければならない。中学校の体育館は4面で、町立体育館は、2面だからなくて困ってる。だから作る ● BBQ 出来るように、水無瀬川の一角にフェンスなど建てて、町民は1000円とか町外の方は2000円とかして、人件費をかせぐ。みんながBBQしたらごみ出るから、みんなが払ってくれたお金で、ごみ収集車呼んで、ポイ捨て無くす。川が危ないので、プール作りお金集める。 ● ガンバ大阪のチケット無料配布。サッカー場作る ● 私が町長になったら、プロ野球チームと野球場を作りたい ● 甲子園作る ● バスケットコート作ってあげる
---	--

(5)『都市整備』について

● もっといろんな物つくってほしい。枚方と島本つなぐ橋を作ってほしい ● 島本は自然が良い。都市にしようという計画なしにしたい。家を建てるのをやめて、イオンなどデパート作る。若者が楽しく暮らせる街 ● 都会にはさせず、でも充実した街、景色が良い街にする ● もっと観光施設をつくる。 ● 不要な建造物無くす ● 道路をきれいにする ● 道路の整備、凸凹段差無くす ● 医療関係の建物をもっと作る。 ● トイレをバリアフリー化	● 都会にしたい ● 建物の高さ制限 ● マンション建てすぎ。 ● マンション多すぎ。 ● マンション作らない。田んぼ残す。 ● マンションそんなにいないから、学生が楽しめる場を作ったり、年齢関係なく住める街にする ● マンションばかり建てるのではなく、もっと自然に優しくする。いないものを作らない。(人口減ってるのに、マンション建てまくるとか)どうしても作りたいけど、自然壊れるなら町の人みんな、少なくとも周りに住んでる人にアンケート取って決める。
--	---

(6)『子どもの遊び場・公園など』について

● 子どもや大人が楽しむ場所 ● 今の島本町は、公園あるけどルールが厳しくて、近所の人からいっぱい怒られるので、周りに迷惑かけない公園やプール作りしたい ● 遊べるような公共の施設がほしい(プールや体育館など) ● 子どもの施設を重点的に作った方がよい。子供の遊べる環境があまり整っていない。高齢の方の施設多すぎると思います ● 子供が遊べるプールや遊園地作る。 ● もっと公園作る ● 町の遊べる施設をたくさん作る ● 皆が遊ぶ場所作りたい ● 遊び場を増やす。 ● 子供などが広く遊べる場所を作る ● 子供たちが遊べる場所多くする ● 子供らの遊び場増やす ● 遊べる場所増やしてほしい。 ● 子供がもっと遊べるようにする。 ● 子どもの遊び場作ってほしい ● みんなが楽しめるプールや遊び場作る ● 子どもの遊び場を作り、幼稚園や保育所を増やす。	● 公園少ないもっと作ってほしい。 ● 公園での花火 OK ● 大きい公園作る ● 公園を増やしたい。自然に近い山の上でアスレチックなど ● 子どもの楽しく遊べる公園かプール作る。 ● もっと遊べる所を増やす ● 公園増やす ● 公園もっと作る ● 公園増やす。(中学生とかでも楽しいもの) ● プール・公園たくさん作る。 ● 公園増やす。どこでも遊べる町にする。 ● 公園に遊具をいっぱい作る ● 和式トイレ少なくするとともに、公園増やす。 ● ある一定の場所の遊具を増やすのではなく、全体的に遊具が少ない公園を壊して、広く開いてる土地に公園を移す ● プールとか川とか夏に遊ぶ場所作る。公園作る ● 今、マンションなどがたっているけれど、ボール遊びができる場所や施設がほしい ● 自然を使って遊べるところを作りたい。 ● 川で遊べるようにする。(保護者の許可なく) ● 子供だけで、川へ行行って良くしたい
--	--

● プールや中学生でもめいっぱい遊べる場所を増やす	● 川を入れてよいようにする
---------------------------	----------------

(7)『公共施設』について

● 図書館をふれあいセンターでなく、下の方（駅周辺）にも作ってほしい。 ● 図書館に本をもっと増やす。自習室作る ● ふれあいセンターをもっと下の方に作ってほしい ● 老朽化が進んだ学校や建物を建て替えたい。	● 施設新しくする。 ● スポーツ勉強が自由にできる施設作りたい。 ● 駅に下りのエレベーターつける ● 町のシンボルである、役場を建て替えるべきだと思います。
---	---

(8)『まちのPR』について

● SNSなどで島本町のアピール ● 島本町の名を多くの人に知ってほしい。Twitterなど作って、街のいい所発信する ● もっと有名にするために、島本水つくる。島本のCM作る。 ● 若い人たちから高齢の方まで、何回も来たいと思うようにしたい。例プリクラ機つくる。お店の近くにたくさん作る ● もっと大阪府内って感じを出していく。	● 町の公式キャラクターを変える。もっとメディアにアピールする。駅とかにでかい看板（Welcom 島本的な）を作る。町のイメージを自然からほかの物にかえる。 ● 他の市などにいっぱいアピールして「いいところや」っていう事をたくさん知ってほしい。でもマンション沢山建てたりとかしないでほしい。都会みたいになってしまう
---	--

(9)『イベント』について

● どんなイベントしたいか聞いてそのイベント作る ● もっと島本にちなんだイベント増やしたい。 ● 若い子が来るようなイベント考えたい	● 月ごとに祭りや大きな行事で、町民全員で触れ合えたり、楽しめることを取り組んでみたい ● 夏祭りで花火する ● 祭りの屋台増やす
---	---

(10)『防災』について

● 災害少なくしたい ● 災害に強い街にしたい ● 災害起きても誰も死なない頑丈な街	● 島本町は、災害に弱い気がするから、強化する。 ● 山の崩れをふせぐ。
--	---

(11)『まちづくり全般・その他』について

● お金を貯める ● 水や緑が豊かな街づくりはもちろん、スポーツや子育てしやすい町にしたい。 ● 今島本町の南部都市化が進んでいるが、待機児童問題もあるので、マンションを建てると同時に保育所を充実させる。後はいじめに関して、もう少し町は内容を把握する活動する ● 安全かつ豊かな街にするように、心掛けたい ● 映画作る ● 町民の意見を参考にして仕事する ● 町民の意見を尊重し、みんなが住みやすい町を作る。 ● いじめや差別のない街にする。 ● 絶対平和にする ● 募金活動したい ● 町民が住みやすい町にする取り組み ● 便利な街になるようにしたい ● 交通の手段を増やす ● 活気がある街作る ● みんなが笑顔で、学校や社会に行ける町	● 遊び場とプールと自然を守る事 ● みんなが楽しい気持ちになれるようにいろんな取り組みをする。 ● 生活費を税金で支払う ● 沢山の給料で寝そべりながら生活したいです ● 具体的な意見ないけれど、過ごしやすくするための取り組みをしたい。 ● 高槻と合併 ● 先日、島本駅前の田圃をどうするか？という会議で埋め立て反対の住民の方が、会議で起きた出来事のチラシを配っていました。(僕もチラシ見ました。)その後の議員さんの方からのチラシで、「誤解」としてましたが、そのように住民の方が思ってる。つまり、町民の様々な意見の中の一つなのですから、そこも加味すべきではないかと思っています。 ● 自然や歴史を大事にする。町民や観光客を大事にする町(高齢者を支持する施設、家の無い人に募金)にする
--	--

5 住民アンケート調査票

だいご じしまもとちょうそうごうけいかく さくてい 「第五次島本町総合計画」策定の じゅうみん ちょうさ ための住民アンケート調査

きょうりょく ねが
(ご協力のお願い)



しまもとちょうこうしき
島本町公式マスコットキャラクター
「みづまるくん」

みな ひごろ ちょうせい りかい きょうりょく
皆さまには、日頃より町政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
ほんちょう だいよ じしまもとちょうそうごうけいかく ちと そうごうてき けいかくてき
本町では、「第四次島本町総合計画」に基づき、総合的・計画的にまちづくりを進めて
いますが、この計画が平成31(2019)年度に目標年次を迎えるため、今後10年間のま
ちづくりの基本指針となる「第五次島本町総合計画」の策定に向けた取組を進めていると
ころです。

けいかく さくてい き そしりょう やくだ こんご
計画の策定にあたり、基礎資料として役立てるため、今後のまちづくりについてのアン
ケート調査を実施します。

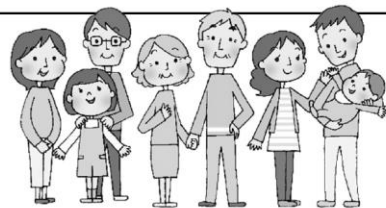
ちょうさ しゅし りかい
調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

へいせい ねん がつ しまもとちょう
平成30年8月 島本町

ちょうさ ひょう きにゆう 調査票のご記入にあたって

- 1 この調査は、16歳以上の町民から無作為に3,000人を選び、調査票をお送りして
います。
- 2 調査には無記名でお答えいただき、回答はすべて統計的に処理しますので、個人が特定
されることはありません。また、回答結果を調査目的以外に使用することはありません。
- 3 ご本人(封筒の宛名に記載された方)がお答えください。ご本人の記入が難しい場合
は、ご家族などが、本人のお考えを聞いてかわりに記入してください。
- 4 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、文章などを記入いただく場合
があります。注意書きに従ってご回答ください。
- 5 ご記入いただいた調査票は、**8月31日(金)までに同封の「返信用封筒」に入れ、
切手を貼らずに投かんしてください。**(調査票及び返信用封筒には、氏名や住所は記
入しないでください。)

■アンケート調査に関する問い合わせ先
しまもとちょうやくば せいさくきかくか
島本町役場 政策企画課
でんわ
電話 : 075-962-5411
ファックス : 075-962-0385



1 あなた自身のことについて



問1 あなたの性別をお答えください。

どちらかに○

1 男性

2 女性

問2 あなたの年齢（平成30年8月1日時点）をお答えください。

ひとつだけに○

1 16～19歳

2 20～29歳

3 30～39歳

4 40～49歳

5 50～59歳

6 60～64歳

7 65～74歳

8 75歳以上

問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。

ひとつだけに○

1 大沢、尺代

2 若山台

3 東大寺

4 やまざき山崎

5 ひろせ広瀬

6 ひゃくやま百山

7 さくらい、さくらいだい桜井、桜井台

8 あおば青葉

9 みなせ水無瀬

10 えがわ江川

11 たかはま高浜

問4 あなたの家族構成について、お答えください。

ひとつだけに○

1 ひとり暮らし

2 夫婦のみ

3 おや、こ（二世帯）

4 おや、こ、まご（三世帯）

5 その他（ ）

問5 あなたの同居家族の中で、次のような方（あなた自身を含む）はいますか。

あてはまるすべてに○

1 就学前の乳幼児

2 小学生

3 中学生

4 65歳以上の方

5 介護を必要とする方

6 いずれもない

問6 あなたが島本町にお住まいの期間（通算）をお答えください。

ひとつだけに○

1 5年未満

2 5年以上10年未満

3 10年以上20年未満

4 20年以上

2 まちづくりに関する情報について



問7 あなたは、町政やまちづくりに関する情報を、主にどの手段で得ていますか。

3つまでに○

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1 町の広報誌（広報しまもと） | 2 町のホームページ |
| 3 町のフェイスブック | 4 町の広報番組（しまもとプラザ） |
| 5 町のメール配信サービス（しまもとタウンメール） | 6 町が作成した冊子やチラシ |
| 7 役場などへの相談や問い合わせ | 8 自治会の回覧 |
| 9 知人や家族から聞く | 10 その他（ ） |

問8 あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコン、タブレット端末を持っていますか。

あてはまるすべてに○

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 携帯電話を持っている | 2 スマートフォンを持っている |
| 3 パソコンを持っている | 4 タブレット端末を持っている |
| 5 いずれも持っていない | |

問9 あなたは、情報を入力したり共有するために、パソコンやスマートフォンなどを
使ってインターネットで情報を検索したり、SNS※を利用していますか。

あてはまるすべてに○

- | | |
|----------------|----------|
| 1 インターネット検索を利用 | 2 SNSを利用 |
| 3 いずれも利用していない | |

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）＝ インターネットを通じて交流や情報共有を行うサービス。ツイッター、ライン（LINE）、フェイスブック、インスタグラムなどがある。

問10 今後、ホームページやSNS、メールなどで、インターネットを通じた発信・提供
を期待する情報はありますか。

あてはまるすべてに○

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 行政サービスや制度の情報 | 2 イベントや講座の情報 |
| 3 災害に関する情報 | 4 不審者など防犯に関する情報 |
| 5 コミュニティ・住民活動に関する情報 | 6 まちのPRや観光に関する情報 |
| 7 その他（ ） | 8 特になし |

3 しまもとちょう く 島本町での暮らしについて



とい 問11 あなたは、しまもとちょう あいちやく かん 島本町に愛着を感じていますか。

ひとつだけに○

- 1 あいちやく かん 愛着を感じている
- 2 いぜん あいちやく さいきんあいちやく 以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた
- 3 いぜん あいちやく さいきんうす 以前は愛着があったが、最近薄れてきた
- 4 あいちやく かん 愛着を感じていない
- 5 わからない

とい 問12 あなたにとって、しまもとちょう く 島本町は暮らしやすいまちですか。

ひとつだけに○

- 1 く 暮らしやすい
- 2 どちらかといえばく 暮らしやすい
- 3 どちらかといえばく 暮らしにくい
- 4 く 暮らしにくい
- 5 わからない

とい 問13 あなたは今後も こんご しまもとちょう す つづ 島本町に住み続けたいと思いますか。

ひとつだけに○

- 1 いま ばしょ す つづ 今の場所に住み続けたい
- 2 ちょうない べつ ばしょ うつ 町内の別の場所に移りたい
- 3 いったん ちょうがい てんしゅつ しまもとちょう ちど いったん町外に転出するかもしれないが、また島本町に戻ってきたい
- 4 ちょうがい てんしゅつ 町外に転出したい
- 5 わからない

問14 あなたが感じる島本町の「よいところ・魅力」についてお答えください。

*各項目について、1～4のいずれか1つに○をつけてください。

項目	選択肢	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらか といえば そう思わ ない	4 そう思わ ない
1) 自然が豊かな		1	2	3	4
2) 水がおいしい		1	2	3	4
3) 景観がよい		1	2	3	4
4) 交通の便がよい		1	2	3	4
5) 通勤・通学に便利		1	2	3	4
6) 買い物に便利		1	2	3	4
7) 子育てしやすい		1	2	3	4
8) 教育環境がよい		1	2	3	4
9) 医療機関が充実している		1	2	3	4
10) 保健・福祉サービスが充実している		1	2	3	4
11) 公共施設が充実している		1	2	3	4
12) 道路や公園が整備されている		1	2	3	4
13) 治安がよい		1	2	3	4
14) 災害の心配が少ない		1	2	3	4
15) 歴史や文化が感じられる		1	2	3	4
16) にぎわいや活気がある		1	2	3	4
17) まちのイメージがよい		1	2	3	4
18) 人や地域のつながりが強い		1	2	3	4
19) その他、特に気に入っている島本町の「よいところ・魅力」があれば記入してください。 					

4 まちづくりの取組への評価



問15 あなたが感じる島本町のまちづくりの取組への評価（満足度）をお答えください。

*各項目について、1～5のいずれか1つに○をつけてください。

施策分野（主な取組内容）	選択肢	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
1) 人権尊重 差別解消に向けた啓発や教育、人権文化センターの運営、 人権相談、平和意識の高揚、男女共同参画の推進		1	2	3	4	5
2) 自然環境の保全 地下水・水辺環境・森林の保全、環境教育の推進、地球 温暖化防止対策		1	2	3	4	5
3) 廃棄物処理、まちの美化 ごみ・し尿の処理、ごみ減量やリサイクルの推進、不法 投棄の防止、緑化・美化の推進		1	2	3	4	5
4) 防災・防犯 防災対策、公共施設や住宅の耐震化、治山・治水対策、 消防・救急体制、防犯対策		1	2	3	4	5
5) 農林業の振興 農業従事者への支援、ファミリー農園、農林業祭、やさい 朝市、企業やボランティアと連携した森林整備		1	2	3	4	5
6) 商工業の振興 商工会への支援、商店街の活性化、中小企業への支援、 企業立地の促進		1	2	3	4	5
7) 観光の振興、にぎわいづくり 観光資源のPR、離宮の水ブランドやマスコットキャラク ターの活用、にぎわいづくりを行う団体への支援		1	2	3	4	5
8) 広報・情報発信の充実 広報誌、ホームページ、フェイスブック、町広報番組（ケ ーブルテレビ）、メール配信サービス		1	2	3	4	5
9) 広聴・住民参画の充実 私の声、タウンミーティング、町長席、パブリックコメ ント（意見公募）、審議会への公募委員の参画		1	2	3	4	5
10) コミュニティ・住民活動の充実 自治会などコミュニティ活動への支援、ボランティア活動 への支援、NPOとの連携、国際交流		1	2	3	4	5

せんたくし 選択肢 し さく ぶ ん や お も と り く み な い よ う 施策分野（主な取組内容）	まんぞく 満足	やや まんぞく 満足	やや ふまん 不満	ふまん 不満	わから ない
11) 交通環境の充実 ふくし うんこう だいい じょうせいい ちゅうしゃじょう 福祉ふれあいバスの運行、タクシー代の助成、駐車場・ ちゅうりんじょう かくほ こうつうあんぜんたいさく 駐輪場の確保、交通安全対策	1	2	3	4	5
12) 住環境の整備 ちつじょ じゅうたかぐわいはつ けうどう りやうこう けいけいん けいせいい あ 秩序ある住宅開発の誘導、良好な景観の形成、空き家 たいさく ちやうさいじゅうたか い じ かんり 対策、町営住宅の維持管理	1	2	3	4	5
13) 市街地・都市基盤の整備 ちゅうしん しがいち せいい だうろ こうえん じやうげいどう せいい こうきょうしせつ 中心市街地の整備、道路・公園・上下水道の整備、公共施設 らうきやうかたいさく か の老朽化対策・バリアフリー化	1	2	3	4	5
14) 健康・医療の充実 かくしけんしん じょうせのしめ けんこうきやういく けんこうさうだん こころ けんこう 各種健診、予防接種、健康教育、健康相談、心の健康づく ちいき ちやうさいじゅうたか いりやう せいのきやう り、地域の医療体制の充実、医療費の助成	1	2	3	4	5
15) 介護・福祉の充実 こうれいしか しょうがいしか しまん かいご かくし ちいきかくし 高齢者・障害者への支援、介護・福祉サービス、地域福祉 じゅうじつ おやかてい しまん ていしよとくしか しまん の充実、ひとり親家庭への支援、低所得者への支援	1	2	3	4	5
16) 子育て支援・幼児教育の充実 ほいく こぞだ しまん ほいくせん にんてい さん せいい 保育・子育て支援サービス、保育園・認定こども園の整備、 がくどうほいくしつ しょうちえん じどうぎやくだい ぼうし 学童保育室、幼稚園、児童虐待の防止	1	2	3	4	5
17) 学校教育の充実 がっこう たいしんか りやうきやうかたいさく かくりよく こうじやう とくしよく きやういく 学校の耐震化・老朽化対策、学力の向上、特色ある教育、 きやういく うんさく 教育センターの運営	1	2	3	4	5
18) 生涯学習・スポーツ活動の充実 かくしきやうしつ こうぞ かくさい ぶんかさい としよかん うんさく ちやうみん 各種教室・講座の開催、文化祭、図書館の運営、町民スポ さい ちやうりつちやういりく せん うんさく ーツ祭、町立体育館の運営	1	2	3	4	5
19) 歴史文化遺産の保存と活用 ぶんかざい ぼぜん かつよう さいぞうぶんかざい ちやうさ ねきしぶんかしりやうかん 文化財の保存と活用、埋蔵文化財の調査、歴史文化資料館の うんさく 運営	1	2	3	4	5
20) 行財政改革の推進 じ せ じぎやう みなお こういきれんけい さいしん みるかんかつりよく かつよう 事務や事業の見直し、広域連携の推進、民間活力の活用、 こうきやうしせつ てきせいかんり ざいせい けんぜんか そしき みなお 公共施設の適正管理、財政の健全化、組織の見直し	1	2	3	4	5
21) 町職員の対応 まどぐち だんわ てつづ ちやうしよくいん たいおう せつぐう 窓口や電話、手続きなどでの町職員の対応・接遇	1	2	3	4	5

5 今後のまちづくりの取組について



【まちの活性化、にぎわいづくり】

問16 あなたは、まちに活力やにぎわいをもたらすためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

3つまでに○

- 1 良好な住環境の整備による定住人口の増加
- 2 子育て・教育環境の充実による子育て世帯の定住促進
- 3 高齢者が健康で活躍できる環境づくり
- 4 商店街の活性化・創業支援
- 5 駅前など中心市街地の整備によるまちの魅力の向上やにぎわいの創出
- 6 公共交通の充実など、移動・交流しやすい環境づくり
- 7 企業・商店と連携した地域ブランド（名産品など）の開発・活用
- 8 住民やボランティア、NPOなどと連携・協働したまちづくりの取組
- 9 歴史・文化・自然などの地域資源を活用した観光の振興
- 10 集客力のあるイベントや祭りの開催
- 11 その他（ ）

【交通環境の充実】

問17 あなたは、島本町の交通環境を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

3つまでに○

- 1 歩道の整備やガードレールの設置など、歩いて移動しやすい環境づくり
- 2 自転車レーンの整備や駐輪場の確保など、自転車で移動しやすい環境づくり
- 3 車道の整備や駐車場の確保
- 4 福祉ふれあいバスなど、町内を循環するバスの充実
- 5 路線バスの充実
- 6 タクシー代の助成や乗合タクシーの運行など、タクシー利用の支援
- 7 その他（ ）

【情報通信技術を活用したサービス】

問18 あなたは、次のサービスを利用したいと思いますか。

あてはまるすべてに○

- 1 コンビニエンスストアで、各種証明書^{かくしゅしょうめいしょ}の交付^{かうふ}を受ける（コンビニ交付^{こうふ}）
- 2 税金・公共料金^{ぜいきん こうきょうりょうきん}などをクレジットカード^{しはら}で支払^{しはら}う（クレジットカード決済^{けっさい}）
- 3 パソコンやスマートフォンから、各種申請^{かくしゅしんせい}や届出^{とどけで}、イベント申込^{もうしこみ}を行う（電子申請^{でんししんせい}）
- 4 パソコンやスマートフォンから、公共施設^{こうきょうしせつ}の利用予約^{りようよやく}を行う（電子予約^{でんしよやく}）
- 5 電子メール^{でんし}やSNS^{そうだん}で相談^{さうだん}を行う
- 6 公共施設^{こうきょうしせつ}での無料^{むりょう}の公衆無線LAN^{こうしゅうむせん}（Wi-Fi）サービス
- 7 特にない

【行財政改革】

問19 あなたは、限られた財源^{ざいげん}と人員^{じんいん}の中で、効率的かつ効果的^{こうりつてき こうかてき}に行行政サービス^{ぎょうせい}を提供^{ていきょう}するためには、どのような方策^{ほうさく}が必要^{ひつよう}だと考^{かんが}えますか。

3つまでに○

- 1 各種業務^{かくしゅぎょうむ}や施設運営^{しせつうんえい}について、民間委託^{みんかんいたく}（指定管理者制度^{していかんりしやせいど}を含む^{ふく}）の導入^{どうにゅう}を進める
- 2 各種業務^{かくしゅぎょうむ}や施設運営^{しせつうんえい}について、近隣自治体^{きんりんじちたい}などとの広域連携^{こういきれんけい}を進める
- 3 情報通信技術^{じょうほうつうしんぎじゅつ}を活用^{かつよう}して、効率化^{こうりつか}やサービスの向上^{こうじょう}を図る
- 4 公共施設^{こうきょうしせつ}の統廃合^{とうはいごう}や多機能化^{たきのうか}を進める
- 5 サービスや事業^{じぎょう}の見直し^{みなお}を進める
- 6 団体や事業^{だんたい}への補助金^{じぎょう ほじょきん}の目的・効果^{もくてき}を検証^{こうか}し、見直し^{けんしやう}を行う
- 7 職員^{しょくいん}の意識改革^{いしきかいかく}や、資質・能力^{ししつ のうりょく}を向上^{こうじょう}させるための取組^{とりぐみ}を進める
- 8 その他（）

問20 今後10年間のまちづくりで、特に力をいれるべき施策分野をお答えください。

5つまでに○

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 人権啓発、差別の解消 | 2 男女共同参画の推進 |
| 3 自然環境の保全 | 4 廃棄物処理、まちの美化 |
| 5 防災対策の充実 | 6 防犯対策の充実 |
| 7 農林業の振興 | 8 商工業の振興 |
| 9 観光の振興、にぎわいづくり | 10 広報・情報発信の充実 |
| 11 広聴・住民参画の充実 | 12 コミュニティ・住民活動の充実 |
| 13 交通環境の充実 | 14 住環境の整備 |
| 15 中心市街地の整備 | 16 道路・公園・上下水道の整備 |
| 17 健康づくりの推進 | 18 地域医療の充実 |
| 19 介護・福祉サービスの充実 | 20 地域福祉の充実 |
| 21 保育・子育て支援サービスの充実 | 22 幼児教育の充実 |
| 23 学校教育の充実 | 24 生涯学習の推進 |
| 25 スポーツ活動の充実 | 26 歴史文化遺産の保存と活用 |
| 27 近隣自治体との広域連携の推進 | 28 公共施設の適正管理、老朽化対策 |
| 29 町職員の資質・能力の向上 | 30 その他（ ） |

6 将来の島本町について



【今後の人口について】

問21 島本町の人口は、現在30,563人（平成30年7月1日時点）ですが、国の研究機関における推計では、今後、全国的な傾向と同様に、島本町の人口も減少するとされています。あなたは、今後の島本町の人口について、どのように考えますか。

ひとつだけに○

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 現在より増加させるよう努力すべき | 2 現状程度の人口を維持すべき |
| 3 減少幅が小さくなるよう努力すべき | 4 減少は望ましくないが、やむをえない |
| 5 減少が望ましい | |

【土地利用】

問22 あなたは、今後の町内の土地利用について、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

3つまでに○

- 1 住宅地を新たに整備し、定住人口の増加を図る
- 2 既存の市街地を活性化させるため、空き家・空き店舗の活用や再開発を行う
- 3 商業機能を充実させ、生活の利便性やまちの魅力を高める
- 4 福祉施設や医療施設を整備し、福祉や医療の充実を図る
- 5 企業を誘致し、産業振興や雇用の確保を図る
- 6 公園や緑地を整備し、子どもの遊び場や住民の憩いの場をつくる
- 7 観光・レクリエーションのための拠点整備を行う
- 8 車道や歩道を整備し、交通の利便性や安全性を高める
- 9 河川や森林など、自然環境の保全を図る
- 10 農地の保全と遊休農地の活用を図る
- 11 歴史的建造物などの保全と活用を図る
- 12 その他（ ）

【コンパクトなまちづくりについて】

問23 人口減少や少子高齢化に対応するため、郊外への開発を抑制し、市街地の中心部に行政・医療・商業などの機能を集約し、居住者の利便性を高める「コンパクトなまちづくり」を進めるべきとの考え方（コンパクトシティ）がありますが、あなたの考えをお答えください。

あてはまるすべてに○

- 1 駅前などの中心部に、公共施設や商業施設などの都市機能を集約していくべき
- 2 都市機能だけでなく、住宅についても中心部周辺に集約していくべき
- 3 公共施設や商業施設は、各地区にある程度分散していた方がよい
- 4 中心部に都市機能を集約しつつ、各地区と中心部をつなぐ交通環境を整えるべき
- 5 中心部から離れた地域では、市街地の拡大を抑制すべき
- 6 中心部から離れた地域でも、住宅開発や施設整備を進めるべき
- 7 わからない
- 8 その他（ ）

【まちの将来像^{しょうらいぞう}】

問24 あなたは、これからの島本町^{しまもとちょう}がどのような「まち」であってほしいと思いますか。^{おも}

3つまでに○

- | | |
|--|---|
| 1 人権 ^{じんけん} が尊重 ^{そんちょう} されるまち | 2 水 ^{みず} や緑 ^{みどり} が豊かなまち ^{ゆた} |
| 3 景観 ^{けいかん} や街並み ^{まちなみ} が美しいまち ^{うつく} | 4 環境 ^{かんきょう} に配慮 ^{はいりょ} したまち |
| 5 災害 ^{さいがい} に強いまち ^{つよ} | 6 犯罪 ^{はんざい} や交通事故 ^{こうつうじこ} の少ない安全 ^{あんぜん} なまち |
| 7 買い物 ^{かもの} など日常生活 ^{にちじょうせいかつ} に便利なまち ^{べんり} | 8 働く場所 ^{はたら} や仕事 ^{ぼしよ} が多いまち ^{しごと おお} |
| 9 にぎわいや活気 ^{かつき} のあるまち | 10 人や地域 ^{ひと ちいき} のつながりが強いまち ^{つよ} |
| 11 住民 ^{じゅうみん} 参加 ^{さんか} によるまちづくりの活発 ^{かつぱつ} なまち | 12 交通利便性 ^{こうつうりべんせい} が高く移動 ^{たか} しやすいまち ^{いどう} |
| 13 道路 ^{どうろ} や公園 ^{こうえん} など都市基盤 ^{としきばん} の整ったまち ^{ととの} | 14 健康 ^{けんこう} づくりや医療 ^{いりよう} の充実 ^{じゅうじつ} したまち |
| 15 高齢者 ^{こうれいしゃ} や障害者 ^{しょうがいしゃ} が暮らしやすい福祉 ^{ふくし} のまち | 16 子育て ^{こそだ} しやすいまち |
| 17 教育環境 ^{きょういくかんきょう} が整ったまち ^{ととの} | 18 生涯学習 ^{しょうがいがくしゅう} やスポーツがさかんなまち |
| 19 歴史 ^{れきし} や文化 ^{ぶんか} を大切 ^{たいせつ} にするまち | 20 その他 ^た （ ） |

問25 これからの島本町^{しまもとちょう}のまちづくりについて、ご意見^{いけん}やご提案^{ていあん}があれば、自由^{じゆう}に記入^{きにゅう}してください。

質問^{しつもん}は以上^{いじょう}となります。アンケートにご協力^{きょうりょく}いただき、ありがとうございました。

回答^{かいとう}後の調査票^{ちょうさひょう}は、返信用封筒^{へんしんようふうとう}に入れ、8月31日（金）^{がつ にち きん}までに、切手^{きって}を貼らずに
ポストに投かん^{とう}してください。

6 中学生アンケート調査票

「第五次島本町総合計画」策定のための アンケート調査にご協力ください！

しまもとちょうこうしき
島本町公式マスコットキャラクター
「みづまろくん」



しまもとちょう げんざい こんご ねんかん きほんしん だいご しまもとちょうそうごうけいかく
島本町では、現在、今後10年間のまちづくりの基本指針となる「第五次島本町総合計画」

の策定に向けた取組を進めているところです。

けいかく む とりぐみ すす
計画づくりの参考とするため、島本町の将来を担う中学生の皆様に、島本町の魅力
しょうらい すがた しまもとちょう しょうらい にな ちゅうがくせい みなさま しまもとちょう みりょく
や将来の姿などについてのアンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いします。

へいせい ねん がつ しまもとちょう
平成30年8月 島本町

* アンケートは、氏名を記入せずに行いますので、個人の名前や意見が他の人にわかることはありません。

* 答えにくい質問については、答えなくてもかまいません。

1 島本町に関する情報について



とい しまもとちょう かん じょうほう おも しゅだん え
問1 あなたは、島本町での暮らしに関する情報を、主にどの手段で得ていますか。

3つまでに○

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1 町の広報誌（広報しまもと） | 2 町のホームページ |
| 3 町のフェイスブック | 4 町の広報番組（しまもとプラザ） |
| 5 町のメール配信サービス（しまもとタウンメール） | 6 町が作成した冊子やチラシ |
| 7 役場などへの相談や問い合わせ | 8 自治会の回覧 |
| 9 家族や友人から聞く | 10 その他（ ） |

とい けいたいでんわ たんまつ も
問2 あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコン、タブレット端末を持っていますか。
（家族が持っているものをあなたが日常的に使用している場合も含みます。）

あてはまるすべてに○

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 携帯電話を持っている | 2 スマートフォンを持っている |
| 3 パソコンを持っている | 4 タブレット端末を持っている |
| 5 いずれも持っていない | |

とい じょうほう にゆうしゅ きょうゆう
問3 あなたは、情報を手したり共有するために、パソコンやスマートフォンなどを
つか けんさく りよう
使ってインターネットで検索したり、SNS※を利用したりしていますか。

あてはまるすべてに○

- | | | |
|----------------|----------|---------------|
| 1 インターネット検索を利用 | 2 SNSを利用 | 3 いずれも利用していない |
|----------------|----------|---------------|

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）：インターネットを通じて交流や情報共有を行うサービス。ツイ
ッター、ライン（LINE）、フェイスブック、インスタグラムなどがある。

2 しまもとちょう 島本町での暮らしについて



問4 あなたは、しまもとちょう 島本町が好きですか。

ひとつだけに○

- | | |
|-------------|----------|
| 1 好き | 2 まあまあ好き |
| 3 あまり好きではない | 4 好きではない |
| 5 わからない | |

問5 あなたは、将来、大人になってもしまもとちょう 島本町に住み続けたいと思いますか。また、その理由についても教えてください。

ひとつだけに○

- | |
|---|
| 1 しまもとちょう 島本町に住み続けたい |
| 2 一時的に町外に住むかもしれないが、またしまもとちょう 島本町に戻ってきたい |
| 3 町外に住みたい |
| 4 わからない |

「1」または「2」に○をつけた方は、
問5-1もお答えください。

「3」に○をつけた方は、
問5-2もお答えください。

問5-1 町内に住み続けたい理由は何ですか。

3つまでに○

- 1 生まれ育ったところだから
- 2 家族や友人がいるから
- 3 自然が豊かだから
- 4 交通の利便性がよいから
- 5 買い物など日常生活に便利だから
- 6 治安がよいから
- 7 災害の心配が少ないから
- 8 その他
(具体的に:)

問5-2 町外に住みたい理由は何ですか。

3つまでに○

- 1 まちに愛着がないから
- 2 知り合いがあまりいないから
- 3 自然が豊かではないから
- 4 交通の利便性がよくないから
- 5 買い物など日常生活に不便だから
- 6 治安が悪いから
- 7 災害が不安だから
- 8 都会で生活したいから
- 9 仕事や学校の関係があるから
- 10 その他
(具体的に:)

問6 島本町について、あなたが普段の暮らしで感じていることを教えてください。

*各項目について、1～4のいずれか1つに○をつけてください。

項目	選択肢	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない
1) 自然が豊かな		1	2	3	4
2) 水がおいしい		1	2	3	4
3) 街並みや景色が美しい		1	2	3	4
4) 交通の利便性がよい		1	2	3	4
5) 買い物に便利		1	2	3	4
6) 教育施設（学校や図書館など）が充実している		1	2	3	4
7) スポーツ施設（グラウンドや体育館など）が充実している		1	2	3	4
8) 道路が整備されている		1	2	3	4
9) 公園などの遊び場が充実している		1	2	3	4
10) 治安がよい		1	2	3	4
11) 災害の心配が少ない		1	2	3	4
12) 歴史や伝統が感じられる		1	2	3	4
13) まちににぎわいや活気がある		1	2	3	4
14) まちのイメージがよい		1	2	3	4
15) 隣近所のつながりがある		1	2	3	4

問7 あなたが島本町について「自慢できるもの」は何ですか。（自然、場所、歴史、イベント、施設など）

A black and white line drawing of a family of six. From left to right: a man, a woman, a young girl, a young boy, another woman, and another man. They are all standing and holding hands in a loose circle, smiling. The man on the far left has short dark hair and is wearing a sweater. The woman next to him has shoulder-length hair and is wearing a dress. The young girl has short hair and is wearing a dress. The young boy has short hair and is wearing a shirt and pants. The woman next to him has short hair and is wearing a dress. The man on the far right has short hair and is wearing a sweater.

3つまでに○

- 問9 あなたがもし町長^{ちやうちやう}になったら、どんなこと^とに取り組んでみたいですか。アイデア^{とく}や意見^{いけん}がありましたら、自由^{じゆう}にお書きください。

[illegible]

きにゆうご　　ちょうさひょう　　ふうとう　　い　　ていしゅつ
記入後の調査票は、封筒に入れて提出してください。